

大和市 高齢者保健福祉計画 介護保険
事業計画(第8期)策定のための実態調査

報 告 書

令和2年8月
大 和 市

■ 目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象・方法・期間	1
3	回収状況	1
4	注意事項	1
II	調査の結果（一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者）	2
1	家族や生活状況について	12
2	からだを動かすことについて	19
3	食べることについて	29
4	毎日の生活について	32
5	地域での活動について	46
6	たすけあいについて	62
7	健康について	70
8	介護保険制度等について	82
9	認知症施策等について	105
10	介護保険サービス等について	107
11	介護の状況について	129
III	調査の結果（介護保険サービス供給量）	165
1	法人の概要	165
2	法人の事業展開について	166
3	事業所の経営状況について	184
4	介護ロボットの導入について	193
5	高齢者施策等について	196
IV	調査の結果（居宅介護支援事業所）	197
1	事業所の概要	197
2	ケアプラン作成について	198
3	本市の介護サービスについて	203
4	高齢者施策等について	206
5	医療・介護関係者との情報共有について	208
6	介護ロボット（自動排泄処理装置）について	216
V	資料編	220

I 調査の概要

1 調査の目的

第8期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定のため、高齢者保健福祉及び介護保険に関連する業務について、市民の意識・ニーズ等の実態調査を行いました。本報告書は、その調査結果をとりまとめたものです。

2 調査対象・方法・期間

調査名	対象者
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための実態調査	【一般高齢者対象調査】 65歳以上の無作為抽出の高齢者(介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援認定者、要介護認定者を除く)
	【要支援認定者等対象調査】 無作為抽出の介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援認定者
	【要介護認定者対象調査】 無作為抽出の要介護認定者
介護保険サービス供給量調査	市内に事業所を置く介護保険サービス事業者(法人ごと) (居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター除く)
居宅介護支援事業所調査	市内の居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター(法人ごと)

調査方法：郵送配布・郵送回収

抽出方法：母集団の日常生活圏域ごとの構成割合を加味した人数を無作為で抽出

調査期間：令和2年2月13日～令和2年4月5日

3 回収状況

調査名	発送数	回収数	回収率	集計対象数 ^{*1}	対象外・無効	有効回収率		
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための実態調査	一般高齢者	5,000	3,358	67.2%	国モデル	3,272	86	65.4%
					市独自	3,356	2	67.1%
	要支援認定者等	2,000	1,388	69.4%	国モデル	1,350	38	67.5%
					市独自	1,387	1	69.3%
	要介護認定者	2,500	1,336	53.4%	国モデル	1,120	216	44.8%
					市独自	1,334	2	53.4%
介護保険サービス供給量調査	136	86	63.2%	85	1	62.5%		
居宅介護支援事業所調査	55	48	87.3%	48	0	87.3%		
合計	9,691	6,216	64.1%	6,210	6	64.1%		

^{*1} 国モデルの設問については、国の指針に基づき、施設入所者を除外し、市独自の設問については、施設入所者も含めて集計

4 注意事項

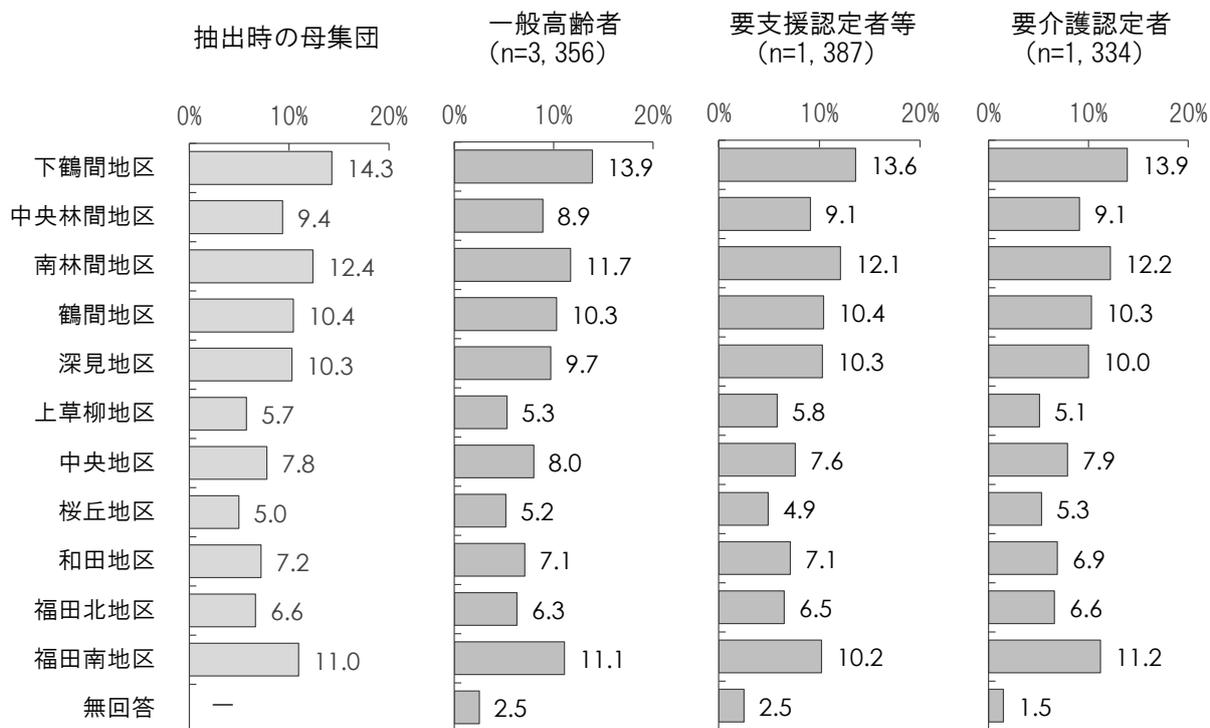
- ※回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示してある。
- ※百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- ※1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ※基本属性等のクロス集計については、特徴的な結果がみられるものを中心に記載してある。
- ※クロス集計のグラフでは、分析軸の回答が「無回答」の結果は表記していない。
- ※スペースの関係上、一部設問、選択肢の文言を省略している箇所がある。

II 調査の結果（一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者）

《一般高齢者：属性・要支援認定者等：属性・要介護認定者：属性》

回答者の居住地区（日常生活圏域）（単数回答）

【単純集計】



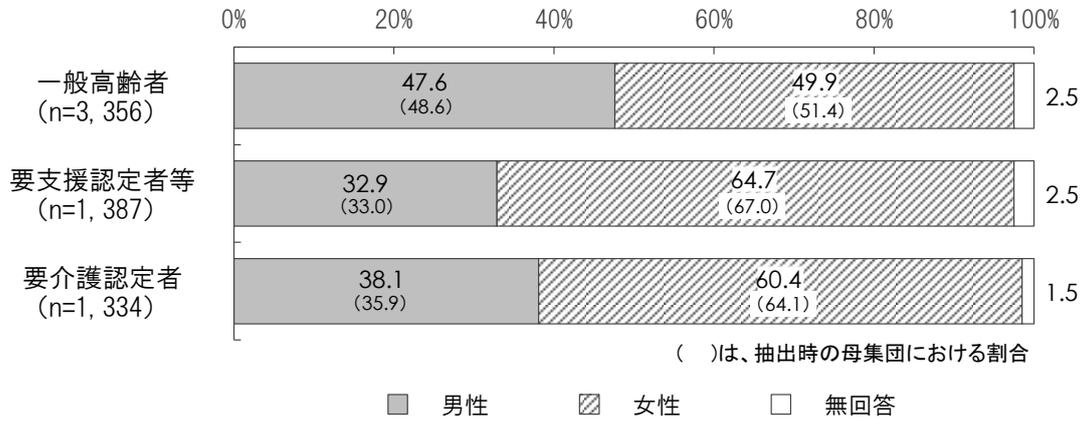
回答者の居住地区（日常生活圏域）は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、「下鶴間地区」が最も多く、「南林間地区」が続く。第3位以降の順位は異なる一方で、割合に大きな差はみられない。

また、抽出時の母集団の割合との差異も最大でも、要支援認定者等における「福田南地区」の0.8ポイントに留まっており、地区別の回収数は概ね母集団の割合と一致している。

《一般高齢者：属性・要支援認定者等：属性・要介護認定者：属性》

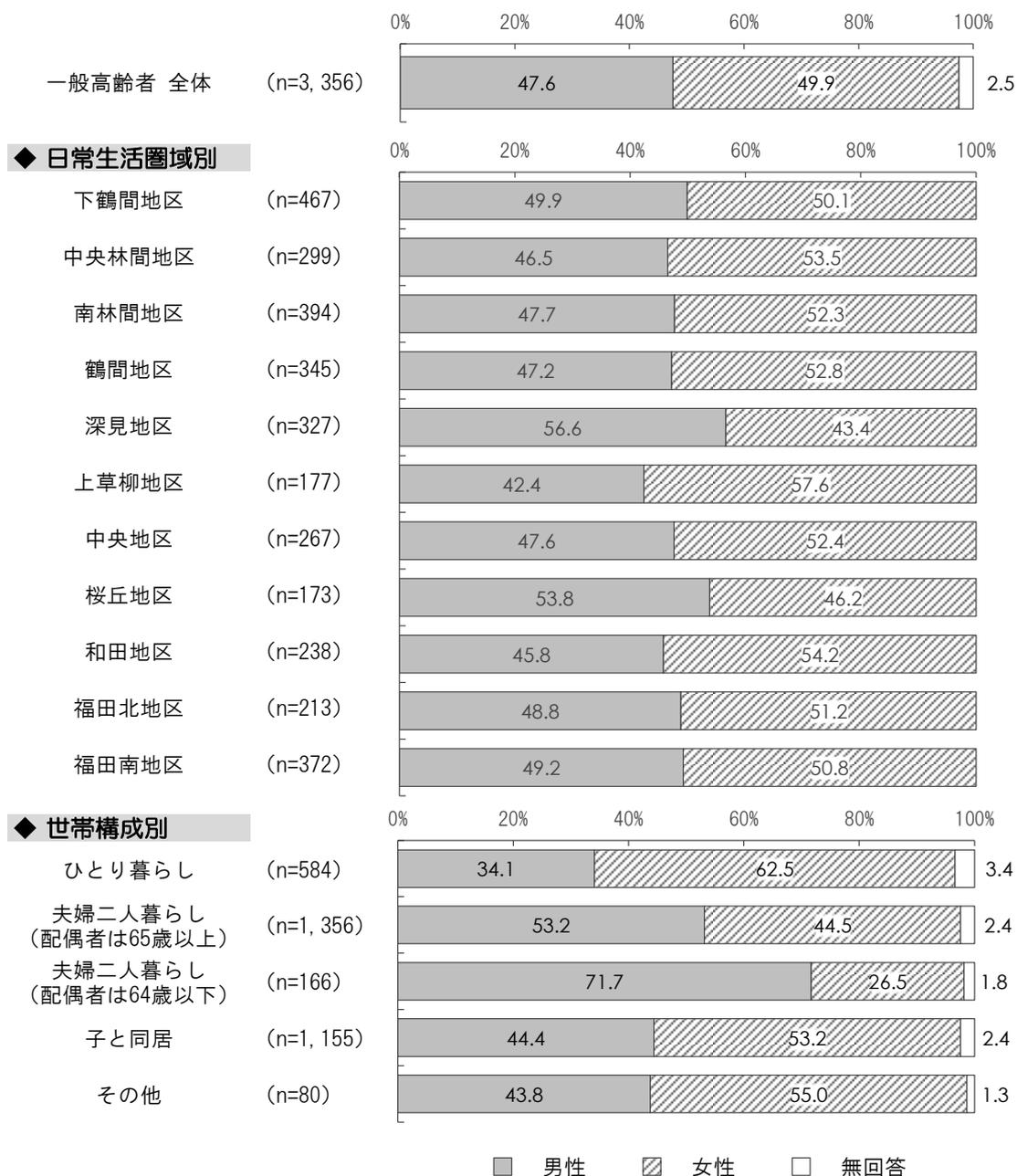
回答者の性別（単数回答）

【単純集計】



回答者の性別は、一般高齢者において「男性」、「女性」がほぼ半数ずつになっている一方で、要支援認定者等・要介護認定者においては「女性」が6割を超えて多くなっている。
また、抽出時の母集団における構成割合と比較すると、要介護認定者において、男性の回答率が高いことがうかがえる。

【クロス集計：一般高齢者：世帯構成別】



一般高齢者の結果を日常生活圏域別にみると、「深見地区」と「桜丘地区」においては「男性」が過半数を占めている。一方、「男性」の割合が最も少ない地域は「上草柳地区」の42.4%で、最も多い「深見地区」とは14.2ポイントの差となっている。

世帯構成別にみると、「夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）」において、「男性」が一般高齢者全体よりも24.1ポイント多い一方で、「ひとり暮らし」においては、「女性」が一般高齢者全体よりも12.6ポイント多いことが注目される。

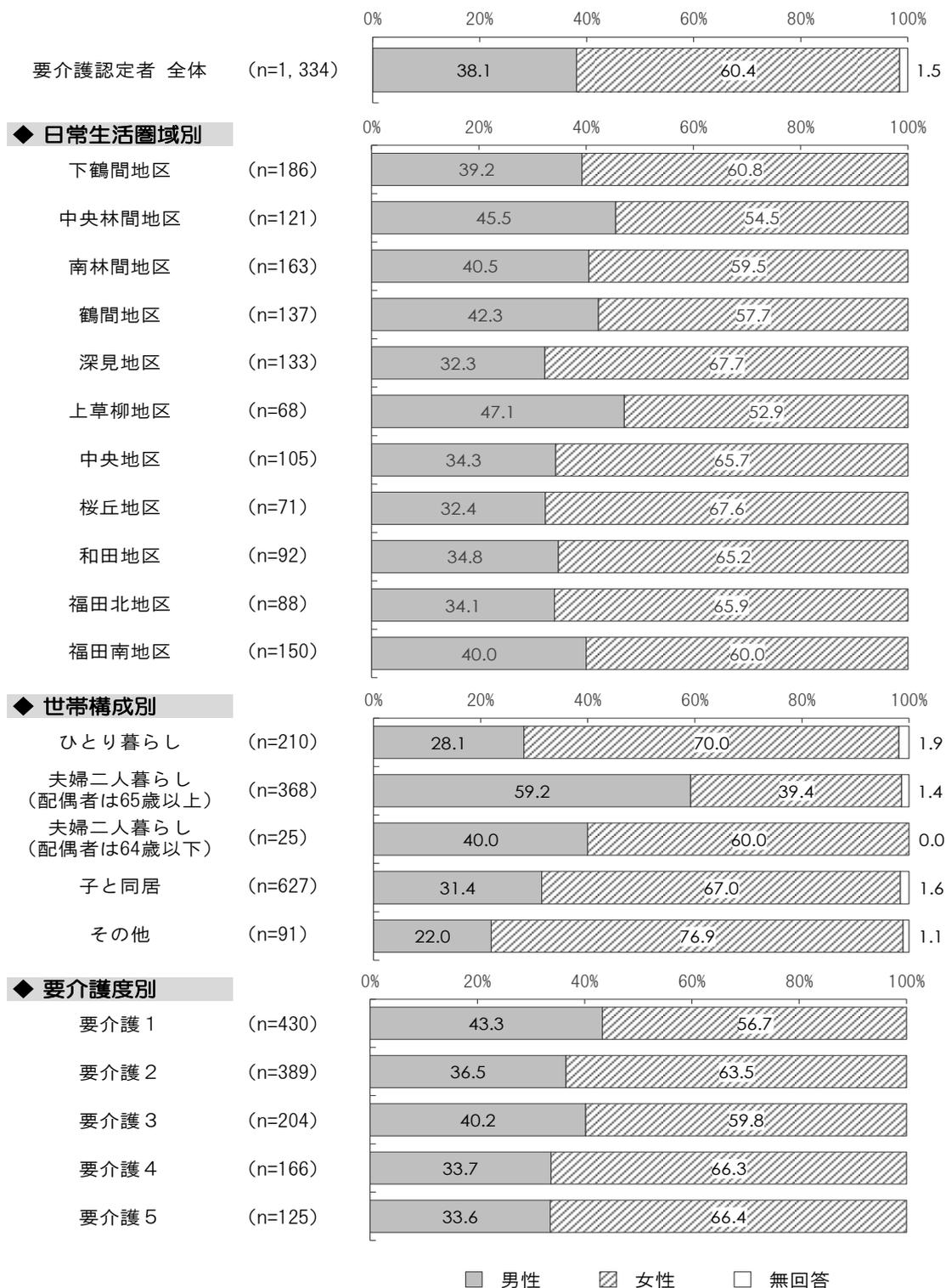
【クロス集計：要支援認定者等：世帯構成別】



要支援認定者等の結果を日常生活圏域別にみると、一般高齢者に比べて、地区による差異は大きくなく、いずれの地区においても「男性」は3割台、「女性」は6割台となっている。

世帯構成別にみると、一般高齢者と同様に、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》において、「男性」が要支援認定者等全体よりも20.4ポイント多い一方で、《ひとり暮らし》においては、「女性」が要支援認定者等全体よりも9.1ポイント多いことが注目される。

【クロス集計：要介護認定者：世帯構成別・要介護度別】



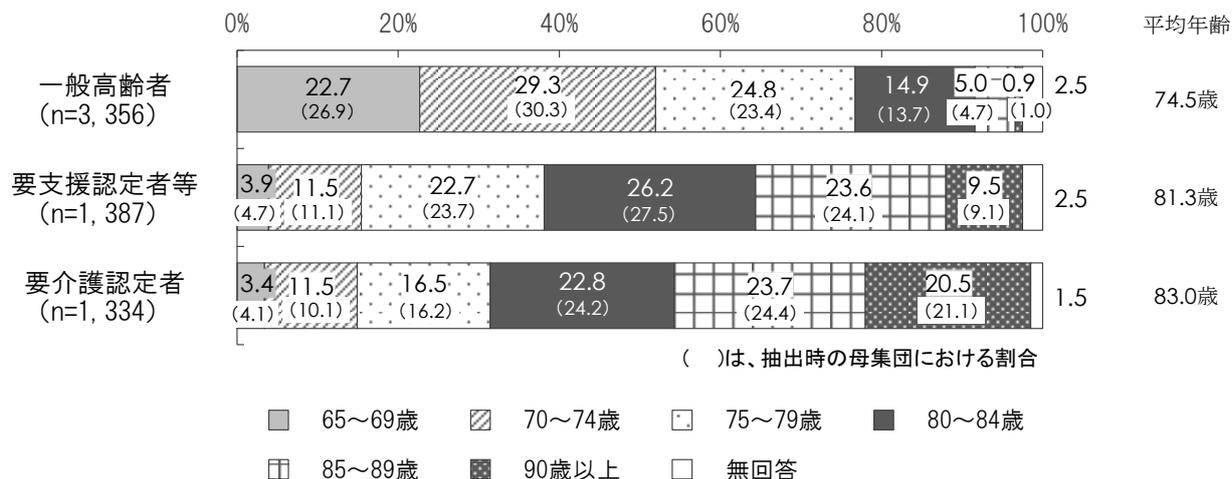
要介護認定者の結果を日常生活圏域別にみると、「上草柳地区」では「男性」が47.1%と半数近くで多く、「男性」の割合が最も少ない「深見地区」とは14.8ポイントの差となっている。世帯構成別にみると、一般高齢者や要支援認定者等と異なり、「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」において「男性」が59.2%と約6割を占めており、老老介護の状況下にあるのは「男性」の方が多いことがうかがえる。

要介護度別にみると、顕著な傾向ではないものの、介護度が重いほど、女性の割合が多くなっている。

《一般高齢者：属性・要支援認定者等：属性・要介護認定者：属性》

回答者の年齢層（単数回答）

【単純集計】



回答者の年齢は、一般高齢者において「65～69歳」、「70～74歳」の前期高齢者が過半数を占めている一方で、要支援認定者等と要介護認定者においては、後期高齢者が8割以上と、介護認定を受けている、受けていない違いで、顕著な差が見られる。さらに、要支援認定者等と要介護認定者においては、「80～84歳」、「85～89歳」ではさほど差は見られないが、要支援認定者等では「75～79歳」が2割以上、要介護認定者では「90歳以上」が2割以上と、この年齢層の差が目される。平均年齢を算出すると、一般高齢者では74.5歳、要支援認定者等では81.3歳、要介護認定者では83.0歳と、要支援認定者等と要介護認定者では、2歳未満の差だが、一般高齢者とは約7歳の差が見られる。

また、抽出時の母集団における構成割合と比較すると、一般高齢者の「65～69歳」の構成割合は4.2ポイント少なく、他の年齢層と比較して差異が大きく、回答率がやや低いことがうかがえる。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者：日常生活圏域別】

一般高齢者	調査数(人)	年齢層						平均年齢	
		65	70	75	80	85	90		
		5	5	5	5	5	歳以上		
全体	3,356	22.7	29.3	24.8	14.9	5.0	0.9	74.5	
日常生活圏域別	下鶴間地区	467	23.8	28.3	27.4	13.3	5.8	1.5	74.5
	中央林間地区	299	32.1	26.4	20.4	15.1	6.0	0.0	73.6
	南林間地区	394	20.6	29.9	25.1	18.0	5.6	0.8	74.9
	鶴間地区	345	25.8	30.1	22.9	15.9	4.6	0.6	74.1
	深見地区	327	26.3	29.4	24.8	13.1	5.5	0.9	74.3
	上草柳地区	177	20.9	31.1	29.4	13.0	4.5	1.1	74.6
	中央地区	267	24.3	29.6	24.0	14.6	5.6	1.9	74.6
	桜丘地区	173	16.8	31.8	29.5	18.5	3.5	0.0	74.9
	和田地区	238	22.3	30.7	25.2	15.5	5.5	0.8	74.6
	福田北地区	213	19.7	30.5	26.8	16.0	5.2	1.9	74.9
	福田南地区	372	19.6	33.9	27.2	15.6	3.5	0.3	74.4

要支援認定者等	調査数(人)	年齢層						平均年齢	
		65	70	75	80	85	90		
		5	5	5	5	5	歳以上		
全体	1,387	3.9	11.5	22.7	26.2	23.6	9.5	81.3	
日常生活圏域別	下鶴間地区	188	5.9	12.2	21.3	28.2	22.3	10.1	81.0
	中央林間地区	126	5.6	9.5	22.2	28.6	24.6	9.5	81.3
	南林間地区	168	1.8	11.3	24.4	25.6	25.6	11.3	81.8
	鶴間地区	144	4.2	13.2	21.5	25.7	25.7	9.7	81.5
	深見地区	143	2.1	12.6	22.4	28.0	24.5	10.5	81.7
	上草柳地区	81	9.9	18.5	19.8	17.3	24.7	9.9	79.8
	中央地区	106	4.7	11.3	18.9	26.4	25.5	13.2	81.7
	桜丘地区	68	1.5	7.4	27.9	36.8	22.1	4.4	81.2
	和田地区	98	3.1	14.3	28.6	25.5	24.5	4.1	80.5
	福田北地区	90	1.1	11.1	23.3	25.6	26.7	12.2	82.2
	福田南地区	141	4.3	9.2	27.7	28.4	21.3	9.2	81.2

要介護認定者	調査数(人)	年齢層						平均年齢	
		65	70	75	80	85	90		
		5	5	5	5	5	歳以上		
全体	1,334	3.4	11.5	16.5	22.8	23.7	20.5	83.0	
日常生活圏域別	下鶴間地区	186	1.6	11.8	17.7	24.7	21.5	22.6	83.5
	中央林間地区	121	3.3	11.6	17.4	23.1	22.3	22.3	82.8
	南林間地区	163	1.8	8.6	10.4	22.1	34.4	22.7	85.0
	鶴間地区	137	4.4	14.6	16.1	22.6	24.8	17.5	82.1
	深見地区	133	5.3	15.8	17.3	18.0	22.6	21.1	82.3
	上草柳地区	68	7.4	8.8	16.2	19.1	26.5	22.1	82.8
	中央地区	105	1.9	12.4	18.1	23.8	18.1	25.7	83.4
	桜丘地区	71	0.0	9.9	18.3	21.1	32.4	18.3	83.9
	和田地区	92	5.4	10.9	17.4	28.3	18.5	19.6	82.0
	福田北地区	88	5.7	8.0	18.2	22.7	26.1	19.3	82.9
	福田南地区	150	4.0	13.3	19.3	26.7	19.3	17.3	82.3

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

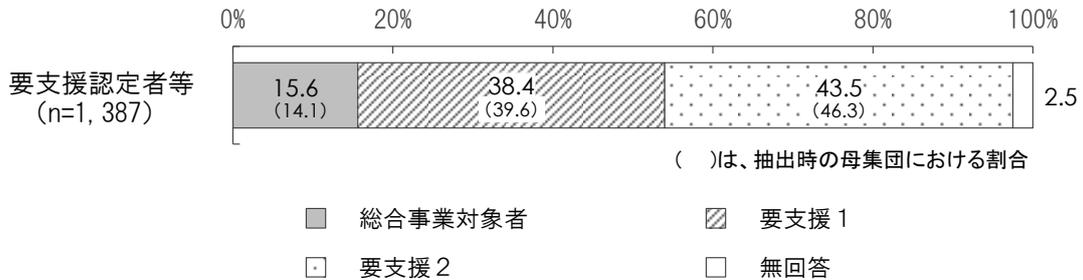
日常生活圏域別にみると、白抜きや網掛け部分の個数から、要支援認定者等と要介護認定者において、日常生活圏域による年齢層の割合の差異が、一般高齢者よりも比較的大きい地区が多いことがうかがえる。

特に、要介護認定者において《南林間地区》と《桜丘地区》では、年齢層が比較的高い「85～89歳」で3割を、《中央地区》においては「90歳以上」で25%を、それぞれ超えており、年齢層の高い要介護者が居住していることが特徴となっている。

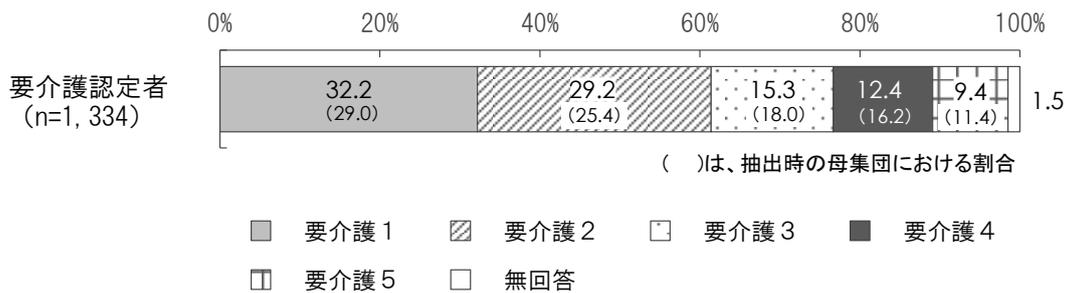
《要支援認定者等：属性・要介護認定者：属性》

要介護度（単数回答）

【単純集計：要支援度（要支援認定者等）】



【単純集計：要介護度（要介護認定者）】



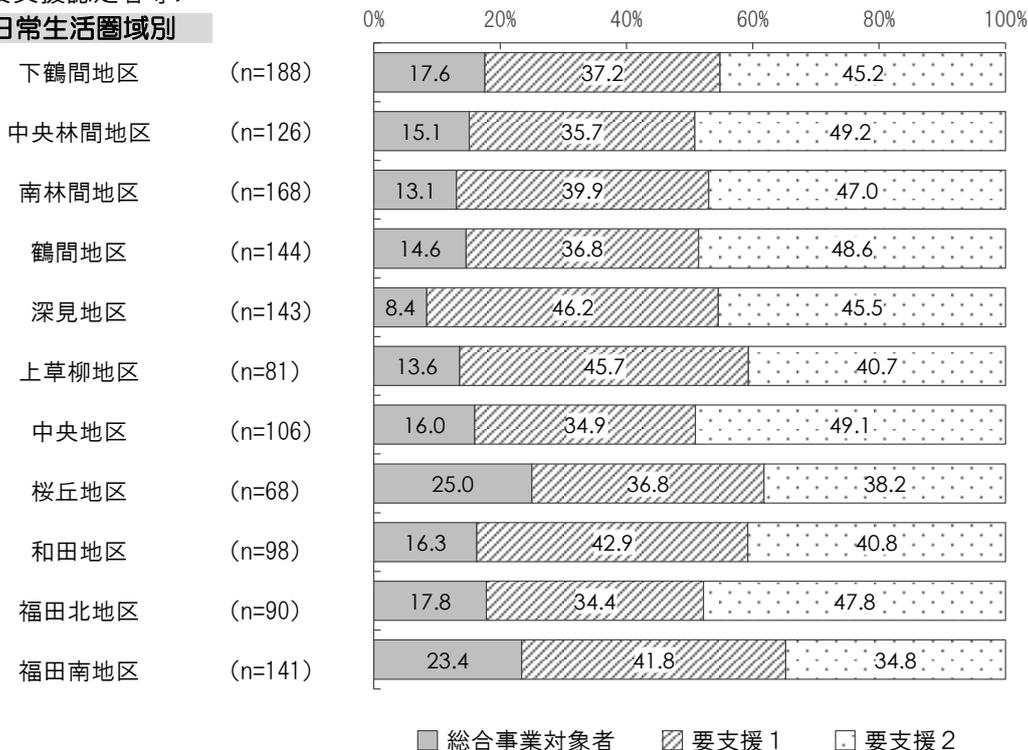
要介護度は、要支援認定者等において、「要支援2」が43.5%と最も多く、次いで「要支援1」が38.4%、「総合事業対象者」が15.6%となっている。要介護認定者においては「要介護1」が32.2%と最も多く、次いで「要介護2」が29.2%と、比較的介護度が軽い方が6割以上を占めている。

また、抽出時の母集団における割合と比較すると、要支援認定者等においては、「要支援2」で2.8ポイントの差がみられるものの、無回答が2.5%あることを考慮すると、大きな差異は見られない。一方、要介護認定者においては、比較的介護度が軽い「要介護1」や「要介護2」で回答率が高く、「要介護4」では3.8ポイントの差が見られ、介護度が重い対象者ほど、回答が難しいことがうかがえる。

【クロス集計：一要支援認定者等・要介護認定者：日常生活圏域別】

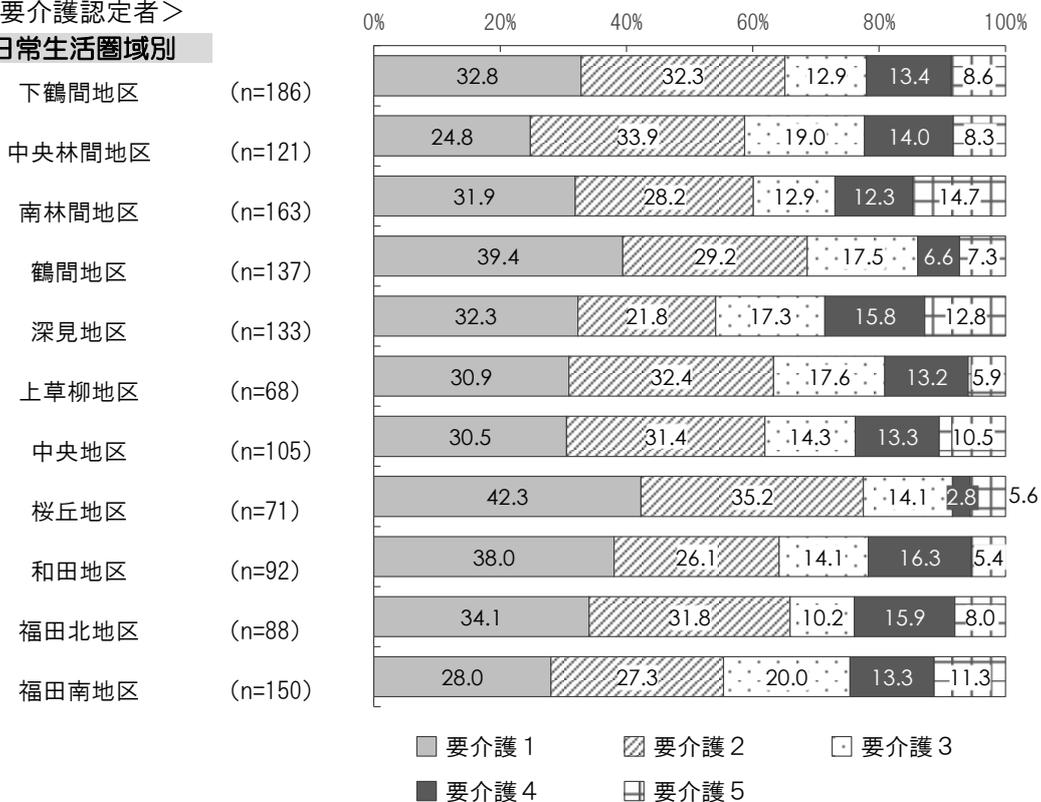
<要支援認定者等>

◆日常生活圏域別



<要介護認定者>

◆日常生活圏域別

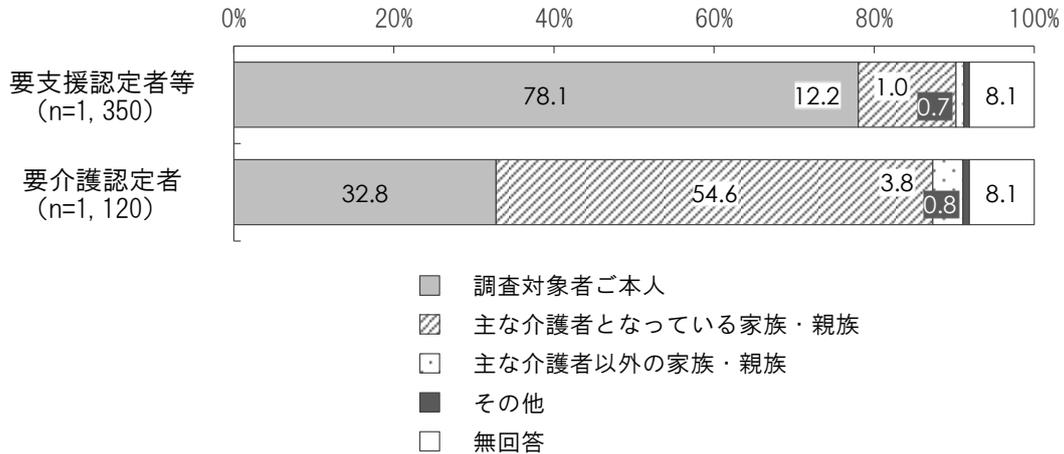


日常生活圏域別にみると、要支援等の状況においては「桜丘地区」と「福田南地区」の2地区で「要支援2」が4割を下回っている。また、要介護度においては「桜丘地区」は「要介護4」が2.8%、「要介護5」が5.6%と、重度割合が他の地区よりも非常に少なくなっている。

《要支援認定者等：事前設問・要介護認定者：事前設問》

この調査票に記入される方はどなたですか。（単数回答）

【単純集計】



調査票の記入者は、要支援認定者等において「調査対象者ご本人」が78.1%と、約8割と大半を占めている一方で、要介護認定者においては「主な介護者となっている家族・親族」が54.6%と、半数以上を占めている。

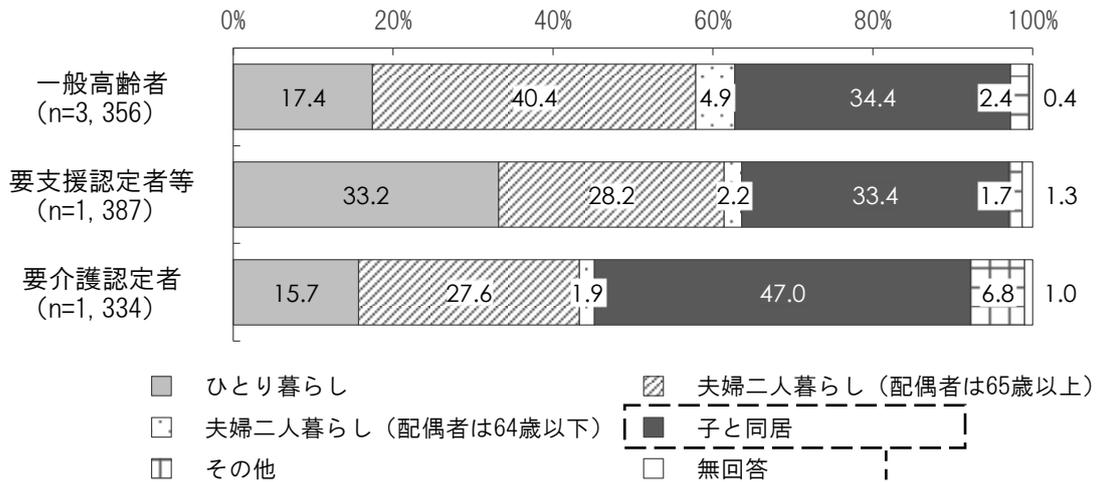
要介護認定者は身体的介護や認知機能低下等のため、介護度が重くなるほど、対象者本人が直接、回答するのが難しい状況がうかがえる。

1 家族や生活状況について

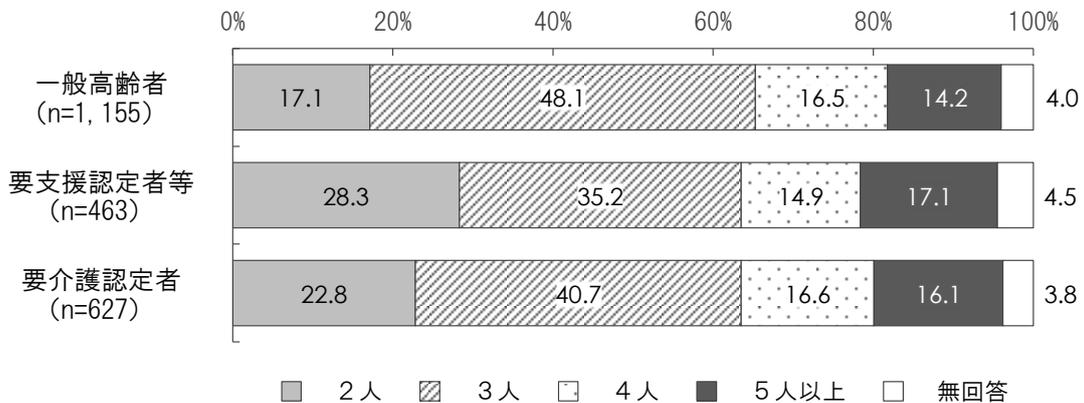
《一般高齢者：問1・要支援認定者等：問1・要介護認定者：問1》

ご家庭の世帯構成は、次のどれですか。(それぞれ単数回答)

【単純集計：世帯構成】



【単純集計：本人を含めた同居人数（「子と同居」のみ）】←



世帯構成は、一般高齢者では「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」が40.4%と最も多くなっている一方で、要支援認定者等では、「子と同居」と「ひとり暮らし」がほぼ同率で多く、要介護認定者では「子と同居」が47.0%と、半数近くを占めている。背景としては、要支援認定者等は、一般高齢者よりも年齢層が高いため、配偶者が亡くなり、「ひとり暮らし」の割合が多くなるが、要介護状態になると、ひとり暮らしでは不安や心配が増えるため、「子と同居」が増加する傾向が推測される。

子と同居している方の同居人数は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者ともに「3人」が最も多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者：日常生活圏域別】

一般高齢者	調査数（人）	世帯構成						
		ひとり暮らし	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）	夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	子と同居	その他	無回答	
全体	3,356	17.4	40.4	4.9	34.4	2.4	0.4	
日常生活圏域別	下鶴間地区	467	13.7	48.0	5.1	31.0	1.9	0.2
	中央林間地区	299	19.7	38.8	5.0	34.1	1.7	0.7
	南林間地区	394	21.1	35.8	6.1	34.0	3.0	0.0
	鶴間地区	345	16.2	39.7	2.6	37.1	3.5	0.9
	深見地区	327	14.4	40.7	6.4	34.9	3.1	0.6
	上草柳地区	177	18.1	34.5	2.8	40.1	2.8	1.7
	中央地区	267	21.0	36.7	6.0	34.5	1.9	0.0
	桜丘地区	173	12.7	45.1	2.3	36.4	2.9	0.6
	和田地区	238	23.1	41.2	4.2	29.8	1.7	0.0
	福田北地区	213	20.2	33.8	6.1	38.5	0.9	0.5
	福田南地区	372	12.6	44.6	5.9	33.6	2.7	0.5

要支援認定者等	調査数（人）	世帯構成						
		ひとり暮らし	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）	夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	子と同居	その他	無回答	
全体	1,387	33.2	28.2	2.2	33.4	1.7	1.3	
日常生活圏域別	下鶴間地区	188	26.1	34.0	2.1	33.5	2.7	1.6
	中央林間地区	126	31.7	30.2	1.6	34.9	1.6	0.0
	南林間地区	168	35.1	32.1	1.2	26.8	3.0	1.8
	鶴間地区	144	35.4	18.8	2.8	39.6	0.7	2.8
	深見地区	143	33.6	25.2	2.8	35.7	2.1	0.7
	上草柳地区	81	21.0	21.0	2.5	50.6	3.7	1.2
	中央地区	106	39.6	24.5	0.9	33.0	0.0	1.9
	桜丘地区	68	22.1	27.9	2.9	42.6	1.5	2.9
	和田地区	98	49.0	27.6	5.1	16.3	2.0	0.0
	福田北地区	90	34.4	28.9	1.1	33.3	1.1	1.1
	福田南地区	141	31.2	34.8	2.1	30.5	0.7	0.7

要介護認定者	調査数（人）	世帯構成						
		ひとり暮らし	夫婦二人暮らし （配偶者は65歳以上）	夫婦二人暮らし （配偶者は64歳以下）	子と同居	その他	無回答	
全体	1,334	15.7	27.6	1.9	47.0	6.8	1.0	
日常生活圏域別	下鶴間地区	186	10.8	32.3	1.6	48.9	6.5	0.0
	中央林間地区	121	11.6	28.9	2.5	47.9	5.8	3.3
	南林間地区	163	17.2	29.4	1.8	43.6	6.7	1.2
	鶴間地区	137	21.9	24.1	0.7	46.7	5.8	0.7
	深見地区	133	19.5	21.8	2.3	43.6	12.8	0.0
	上草柳地区	68	10.3	39.7	2.9	41.2	5.9	0.0
	中央地区	105	17.1	23.8	1.9	45.7	10.5	1.0
	桜丘地区	71	16.9	18.3	0.0	59.2	5.6	0.0
	和田地区	92	16.3	32.6	3.3	39.1	5.4	3.3
	福田北地区	88	18.2	25.0	0.0	53.4	3.4	0.0
	福田南地区	150	13.3	27.3	3.3	49.3	5.3	1.3

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

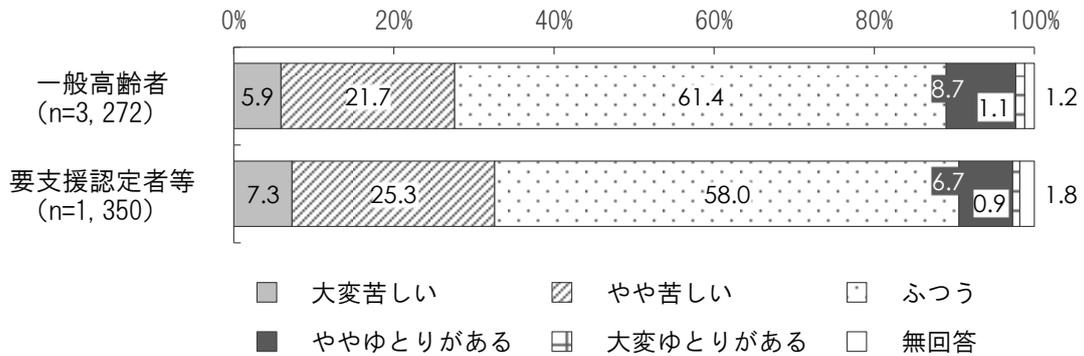
日常生活圏域別にみると、白抜きや網掛けの個数から、要支援認定者等と要介護認定者において、日常生活圏域による世帯構成の割合の差異が、一般高齢者よりも比較的大きい地区が多いことがうかがえる。

特に、「ひとり暮らし」及び老老介護にあたる「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」の多い地区が課題といえるが、一般高齢者においては《下鶴間地区》の「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」が、要支援認定者等においては《和田地区》と《中央地区》の「ひとり暮らし」が、要介護認定者においては《上草柳地区》の「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」が、それぞれ全体平均よりも5ポイント以上多く、なおかつその地区で4割程度を占めて多くなっている。

《一般高齢者：問3・要支援認定者等：問2》

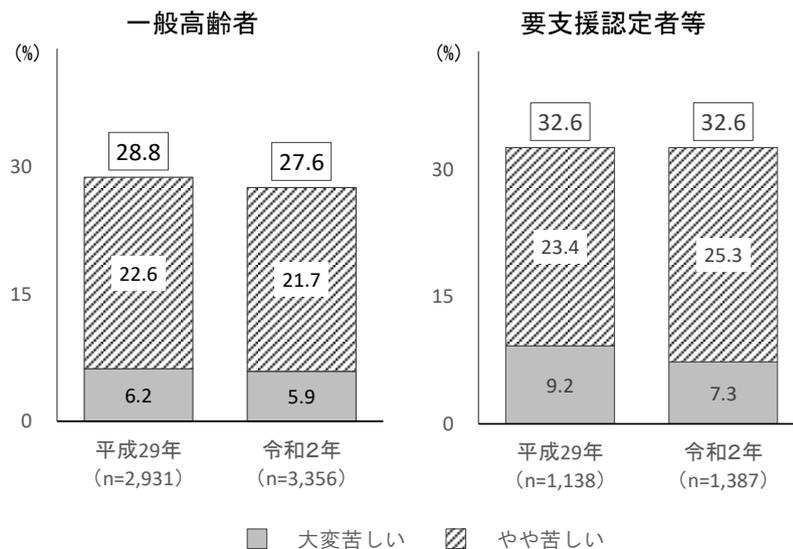
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

【単純集計】



経済的にみた暮らしの状況は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「ふつう」が最も多くなっている。また、『苦しい(大変苦しい+やや苦しい)』は、一般高齢者 27.6%、要支援認定者等 32.6%で、『ゆとりがある(大変ゆとりがある+ややゆとりがある)』は一般高齢者 9.8%、要支援認定者等 7.6%となっている。

【経年比較】



* 要介護認定者 及び 平成 26 年調査においては、当該設問は設けていない

前回と比較してみると、『苦しい(大変苦しい+やや苦しい)』は、一般高齢者では 28.8% から 27.6% に 1.2 ポイントの微減、要支援認定者等では 32.6% で同じパーセントで推移しているが、「大変苦しい」においては、一般高齢者・要支援認定者ともに微減となっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：年齢層別／日常生活圏域別／世帯構成別／介護度別】

	調査数（人）	暮らしの状況						
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	
全体	3,272	5.9	21.7	61.4	8.7	1.1	1.2	
年齢層別	65～69歳	7.1	23.9	58.8	9.1	0.7	0.5	
	70～74歳	4.9	23.0	60.3	10.0	1.3	0.5	
	75～79歳	7.1	19.4	62.8	7.8	1.1	1.8	
	80～84歳	4.9	19.4	64.5	7.6	1.2	1.8	
	85～89歳	1.6	3.6	21.6	62.3	8.4	1.2	3.0
	90歳以上	2.9	0.0	20.7	69.0	6.9	3.4	0.0
日常生活圏域別	下鶴間地区	3.6	21.6	63.0	10.5	0.4	0.9	
	中央林間地区	6.0	18.7	61.9	9.7	2.7	1.0	
	南林間地区	6.1	19.0	62.7	9.9	2.3	0.0	
	鶴間地区	5.5	22.9	61.4	6.1	0.9	3.2	
	深見地区	7.0	22.0	63.0	6.4	0.6	0.9	
	上草柳地区	11.9	23.2	54.8	7.9	0.0	2.3	
	中央地区	5.6	20.2	61.4	10.9	1.1	0.7	
	桜丘地区	4.6	18.5	63.6	11.6	0.6	1.2	
	和田地区	8.4	31.1	52.9	5.9	0.8	0.8	
	福田北地区	6.1	21.1	62.0	9.4	0.5	0.9	
	福田南地区	4.3	21.5	63.4	8.1	1.3	1.3	
世帯構成別	ひとり暮らし	9.8	26.1	55.0	7.4	1.1	0.7	
	夫婦二人暮らし（65歳以上）	4.5	19.9	64.0	9.7	1.3	0.6	
	夫婦二人暮らし（64歳以下）	3.1	20.9	61.3	12.9	1.8	0.0	
	子と同居	6.2	22.1	61.8	8.0	0.7	1.2	
	その他	5.1	16.5	68.4	6.3	2.5	1.3	

	調査数（人）	暮らしの状況					
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体	1,350	7.3	25.3	58.0	6.7	0.9	1.8
年齢層別	65～69歳	13.0	35.2	46.3	5.6	0.0	0.0
	70～74歳	9.4	28.3	54.7	6.3	1.3	0.0
	75～79歳	8.6	26.8	55.4	6.1	0.3	2.9
	80～84歳	8.0	29.9	53.8	5.5	0.5	2.2
	85～89歳	5.2	20.1	64.6	6.7	1.2	2.1
	90歳以上	3.1	14.5	67.9	12.2	2.3	0.0
日常生活圏域別	下鶴間地区	7.4	20.2	63.3	8.0	0.5	0.5
	中央林間地区	6.3	20.6	61.1	6.3	3.2	2.4
	南林間地区	4.8	23.4	59.3	9.6	0.0	3.0
	鶴間地区	3.5	27.8	56.9	7.6	1.4	2.8
	深見地区	9.8	26.6	55.9	5.6	1.4	0.7
	上草柳地区	13.6	33.3	44.4	3.7	1.2	3.7
	中央地区	5.7	22.6	62.3	7.5	0.0	1.9
	桜丘地区	7.4	20.6	63.2	5.9	0.0	2.9
	和田地区	9.2	33.7	54.1	3.1	0.0	0.0
	福田北地区	7.9	33.7	50.6	4.5	2.2	1.1
	福田南地区	8.6	23.6	59.3	7.1	0.0	1.4
世帯構成別	ひとり暮らし	9.7	29.1	52.6	7.0	0.7	0.9
	夫婦二人暮らし（65歳以上）	5.7	21.7	64.0	7.0	0.5	1.0
	夫婦二人暮らし（64歳以下）	16.7	23.3	60.0	0.0	0.0	0.0
	子と同居	5.9	25.8	59.5	6.8	1.5	0.4
	その他	9.1	22.7	63.6	4.5	0.0	0.0
介護度	要支援1	7.2	22.5	60.9	6.6	0.8	2.1
	要支援2	7.8	26.4	57.0	6.1	0.8	1.8
	総合事業対象者	6.5	29.5	53.5	8.3	1.4	0.9

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

年齢層別にみると、一般高齢者ではさほど顕著ではないが、要支援認定者等では、年齢層が上がるほど『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』が少ない傾向が見られる。

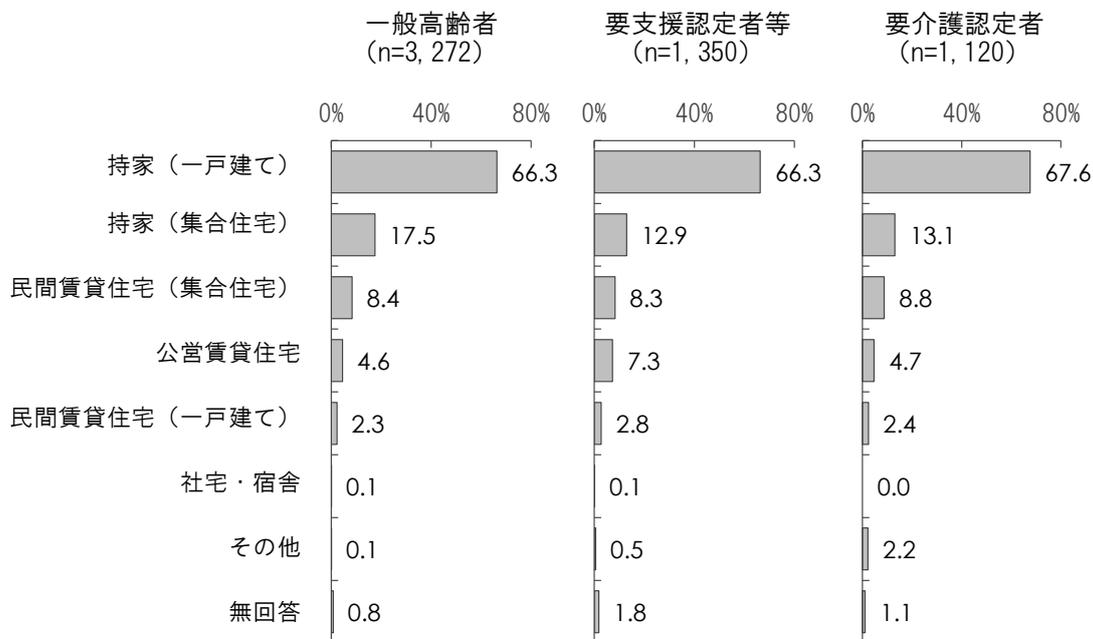
日常生活圏域別にみると、「上草柳地区」と「和田地区」において、一般高齢者、要支援認定者ともに『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』が、比較的多くなっている。

世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」において、一般高齢者、要支援認定者ともに、「ふつう」が全体平均よりも5ポイント以上少なく、その分『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』がやや多くなっている。一方、介護度別では大きな差異は見られない。

《一般高齢者：問4・要支援認定者等：問3・要介護認定者：問2》

ご自宅は次のどれですか。(単数回答)

【単純集計】



自宅の種類は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、「持家（一戸建て）」が6割を超えて最も多く、「持家（集合住宅）」、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が続く。

Ⅱ 調査の結果（一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者）

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：年齢層別／日常生活圏域別／世帯構成別／暮らしの状況別／介護度別】

	調査数（人）	自宅の種類							無回答	
		持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	社宅・宿舍	その他		
一般高齢者										
全体	3,272	66.3	17.5	4.6	2.3	8.4	0.1	0.1	0.8	
年齢層別	65～69歳	762	55.5	24.5	4.5	3.4	11.5	0.3	0.0	0.3
	70～74歳	982	67.3	17.9	3.7	2.4	8.1	0.0	0.1	0.4
	75～79歳	833	70.5	14.2	5.3	1.9	7.1	0.1	0.0	1.0
	80～84歳	499	68.5	15.2	5.4	1.8	7.0	0.0	0.4	1.6
	85～89歳	167	77.8	8.4	5.4	0.6	6.0	0.0	0.0	1.8
	90歳以上	29	89.7	3.4	0.0	0.0	6.9	0.0	0.0	0.0
日常生活圏域別	下鶴間地区	467	61.0	27.6	3.0	2.8	5.1	0.0	0.0	0.4
	中央林間地区	299	66.9	21.1	2.3	0.7	7.7	0.7	0.0	0.7
	南林間地区	394	68.3	15.2	0.3	2.0	14.2	0.0	0.0	0.0
	鶴間地区	345	63.2	22.3	2.3	1.7	7.5	0.0	0.3	2.6
	深見地区	327	62.1	18.0	3.7	3.1	11.9	0.3	0.3	0.6
	上草柳地区	177	72.3	11.3	0.0	3.4	10.2	0.0	0.0	2.8
	中央地区	267	59.2	32.2	0.0	1.1	7.1	0.0	0.4	0.0
	桜丘地区	173	80.9	11.6	1.2	2.9	2.9	0.0	0.0	0.6
	和田地区	238	47.5	1.7	38.7	3.4	8.4	0.0	0.0	0.4
	福田北地区	213	69.5	9.9	5.6	2.3	12.2	0.0	0.0	0.5
福田南地区	372	82.5	8.9	0.5	2.7	4.8	0.0	0.0	0.5	
世帯構成別	ひとり暮らし	564	43.8	18.4	9.6	3.5	23.0	0.4	0.5	0.7
	夫婦二人暮らし（65歳以上）	1,324	70.1	19.0	4.2	2.1	4.5	0.0	0.0	0.2
	夫婦二人暮らし（64歳以下）	163	54.0	30.1	4.3	2.5	8.6	0.6	0.0	0.0
	子と同居	1,127	76.0	13.6	2.8	1.7	5.4	0.0	0.0	0.5
	その他	79	62.0	17.7	2.5	6.3	10.1	0.0	0.0	1.3
暮らしの状況別	大変苦しい	194	41.8	17.0	10.8	8.2	20.1	0.0	0.5	1.5
	やや苦しい	709	54.7	15.9	8.2	4.2	16.9	0.0	0.0	0.0
	ふつう	2,009	71.5	18.1	3.4	1.4	5.2	0.1	0.1	0.1
	ややゆとりがある	286	76.2	19.9	0.3	0.3	2.8	0.3	0.0	0.0
	大変ゆとりがある	36	86.1	11.1	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0

	調査数（人）	自宅の種類							無回答	
		持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	社宅・宿舍	その他		
要支援認定者等										
全体	1,350	66.3	12.9	7.3	2.8	8.3	0.1	0.5	1.8	
年齢層別	65～69歳	54	33.3	24.1	0.0	5.6	35.2	0.0	0.0	1.9
	70～74歳	159	62.3	15.7	5.0	3.1	13.8	0.0	0.0	0.0
	75～79歳	314	66.6	10.2	9.9	2.5	7.0	0.0	0.3	3.5
	80～84歳	364	65.7	12.4	8.0	4.1	6.6	0.3	1.1	1.9
	85～89歳	328	68.9	13.4	7.9	2.1	5.5	0.0	0.6	1.5
	90歳以上	131	79.4	11.5	3.8	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0
日常生活圏域別	下鶴間地区	188	64.9	18.6	4.3	1.6	8.5	0.0	0.5	1.6
	中央林間地区	126	64.3	24.6	4.0	3.2	3.2	0.0	0.8	0.0
	南林間地区	167	71.9	14.4	0.6	0.0	10.8	0.0	0.6	1.8
	鶴間地区	144	63.2	16.7	4.9	0.7	11.8	0.0	0.0	2.8
	深見地区	143	60.8	11.9	3.5	9.1	11.2	0.0	1.4	2.1
	上草柳地区	81	69.1	6.2	0.0	9.9	11.1	0.0	1.2	2.5
	中央地区	106	57.5	27.4	1.9	1.9	9.4	0.9	0.0	0.9
	桜丘地区	68	80.9	2.9	1.5	1.5	8.8	0.0	1.5	2.9
	和田地区	98	32.7	1.0	59.2	1.0	4.1	0.0	0.0	2.0
	福田北地区	89	75.3	0.0	12.4	2.2	9.0	0.0	0.0	1.1
福田南地区	140	87.9	4.3	0.7	2.1	2.9	0.0	0.0	2.1	
世帯構成別	ひとり暮らし	443	51.0	15.1	12.0	4.7	15.1	0.2	0.7	1.1
	夫婦二人暮らし（65歳以上）	383	71.5	14.4	6.3	2.1	5.2	0.0	0.0	0.5
	夫婦二人暮らし（64歳以下）	30	53.3	13.3	20.0	3.3	10.0	0.0	0.0	0.0
	子と同居	454	80.6	9.7	2.9	1.8	4.6	0.0	0.0	0.4
	その他	22	50.0	13.6	9.1	0.0	4.5	0.0	18.2	4.5
暮らしの状況別	大変苦しい	99	44.4	6.1	12.1	8.1	25.3	0.0	2.0	2.0
	やや苦しい	342	53.8	13.7	11.7	5.8	13.2	0.3	0.6	0.9
	ふつう	783	74.5	12.9	5.7	1.0	5.0	0.0	0.4	0.5
	ややゆとりがある	90	80.0	13.3	1.1	2.2	3.3	0.0	0.0	0.0
	大変ゆとりがある	12	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護度	要支援1	530	68.1	13.0	7.4	2.8	5.8	0.2	0.4	2.3
	要支援2	603	63.8	12.6	7.5	3.3	10.4	0.0	0.8	1.5
	総合事業対象者	217	68.7	13.4	6.9	1.4	8.3	0.0	0.0	1.4

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

【クロス集計：要介護認定者：年齢層別／日常生活圏域別／世帯構成別／介護度別】

要介護認定者	調査数(人)	自宅の種類								
		持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	社宅・宿舍	その他	無回答	
全体	1,120	67.6	13.1	4.7	2.4	8.8	0.0	2.2	1.1	
年齢層別	65～69歳	43	46.5	14.0	9.3	4.7	25.6	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	139	54.0	21.6	4.3	2.2	16.5	0.0	1.4	0.0
	75～79歳	195	66.7	14.9	6.2	2.1	8.2	0.0	0.5	1.5
	80～84歳	265	65.7	11.7	7.9	2.3	9.1	0.0	2.6	0.8
	85～89歳	273	74.0	11.4	2.6	2.9	6.2	0.0	1.5	1.5
	90歳以上	205	76.1	9.8	1.5	2.0	3.9	0.0	5.4	1.5
日常生活圏域別	下鶴間地区	163	69.3	14.7	3.7	0.6	7.4	0.0	3.1	1.2
	中央林間地区	108	61.1	23.1	2.8	0.9	7.4	0.0	4.6	0.0
	南林間地区	141	77.3	10.6	0.0	3.5	5.7	0.0	2.1	0.7
	鶴間地区	124	70.2	13.7	1.6	2.4	11.3	0.0	0.8	0.0
	深見地区	104	55.8	20.2	0.0	2.9	15.4	0.0	2.9	2.9
	上草柳地区	56	80.4	5.4	0.0	5.4	8.9	0.0	0.0	0.0
	中央地区	87	56.3	18.4	2.3	3.4	16.1	0.0	1.1	2.3
	桜丘地区	65	83.1	9.2	1.5	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0
	和田地区	75	45.3	1.3	38.7	2.7	6.7	0.0	2.7	2.7
	福田北地区	76	65.8	9.2	11.8	0.0	10.5	0.0	2.6	0.0
	福田南地区	121	76.0	9.9	0.8	3.3	7.4	0.0	0.8	1.7
世帯構成別	ひとり暮らし	171	43.9	13.5	7.6	1.2	25.7	0.0	7.0	1.2
	夫婦二人暮らし(65歳以上)	334	63.8	18.0	7.2	3.6	6.6	0.0	0.3	0.6
	夫婦二人暮らし(64歳以下)	23	60.9	8.7	8.7	8.7	8.7	0.0	0.0	4.3
	子と同居	550	79.6	10.5	2.5	1.6	4.9	0.0	0.5	0.2
	その他	33	42.4	9.1	0.0	3.0	9.1	0.0	27.3	9.1
介護度	要介護1	421	63.2	13.8	5.2	2.6	12.8	0.0	1.7	0.7
	要介護2	365	70.7	11.2	5.2	1.9	7.1	0.0	2.5	1.4
	要介護3	156	69.9	15.4	0.6	3.2	6.4	0.0	2.6	1.9
	要介護4	109	67.9	10.1	8.3	1.8	8.3	0.0	2.8	0.9
	要介護5	69	72.5	18.8	2.9	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

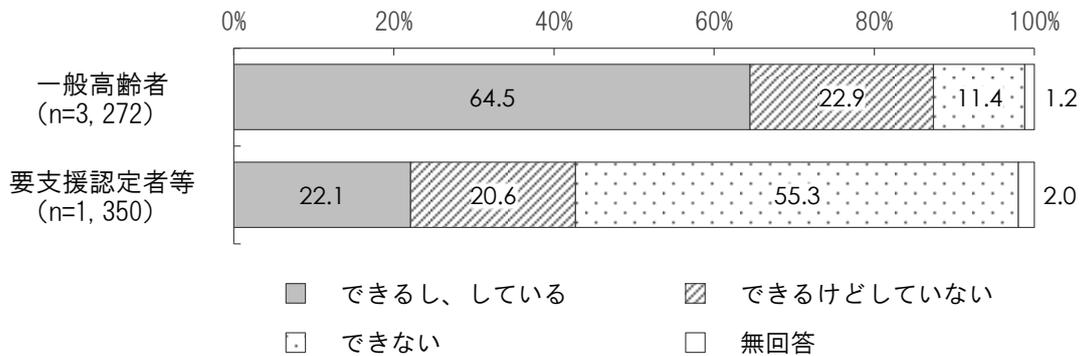
全体的には、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者の調査種別による大きな差異は見られないため、いくつかの分析軸で比較してみると、年齢層別では、要支援認定者等と要介護認定者の《65～69歳》《70～74歳》の比較的若い年齢層において「民間賃貸住宅(集合住宅)」が多くなっている。日常生活圏域別では、《和田地区》と《福田北地区》で、「公営賃貸住宅」が圧倒的に多くなっている。世帯構成別では、《ひとり暮らし》において、「持家(一戸建て)」が少なく、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が比較的多くなっている。暮らしの状況別では、《大変苦しい》において、「公営賃貸住宅」と「民間賃貸住宅」が比較的多くなっている。介護度別では、要支援認定者等では大きな差異は見られないが、要介護認定者では、《要介護5》において一戸建て、集合住宅問わず、「持ち家」が比較的高くなっている。

2 からだを動かすことについて

《一般高齢者：問5・要支援認定者等：問4》

階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。（単数回答）

【単純集計】

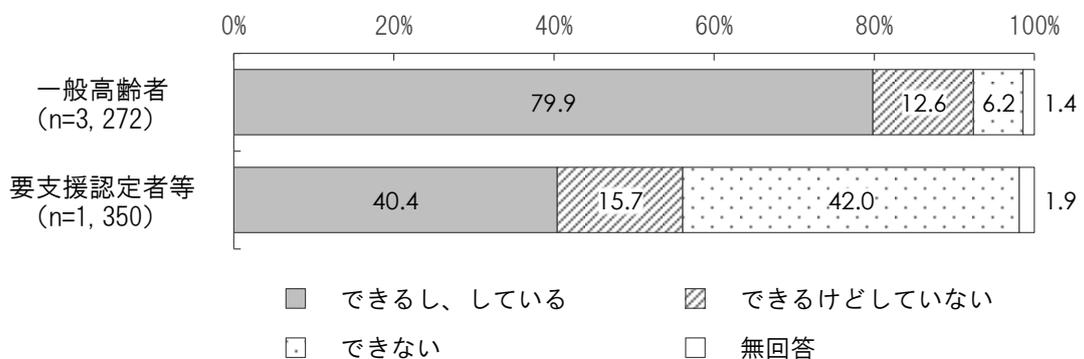


階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは、一般高齢者において「できるし、している」が64.5%で、6割以上となっている一方で、要支援認定者等においては「できない」が55.3%と過半数を占めている。

《一般高齢者：問6・要支援認定者等：問5》

椅子に座った状態から、何もつかまらずに立ち上がっていますか。（単数回答）

【単純集計】

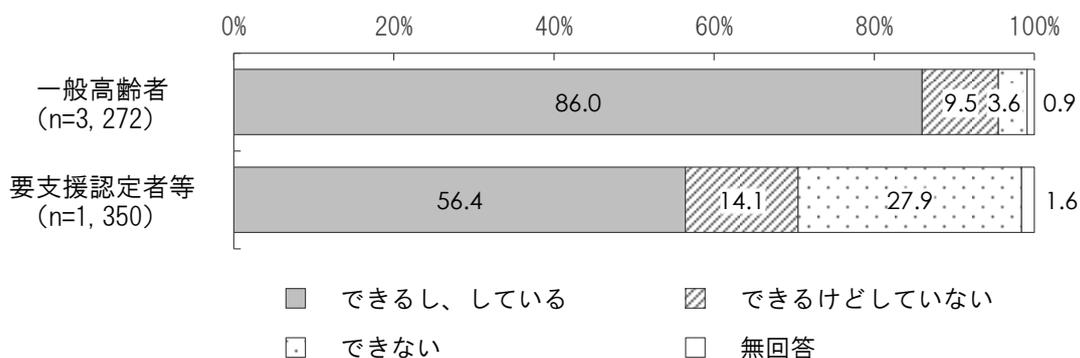


椅子に座った状態から、何もつかまらずに立ち上がっているかは、一般高齢者において「できるし、している」が79.9%で、約8割と大半を占めている一方で、要支援認定者等においては「できない」が42.0%、「できるし、している」が40.4%と、拮抗している。

《一般高齢者：問7・要支援認定者等：問6》

15分位続けて歩いていますか。(単数回答)

【単純集計】

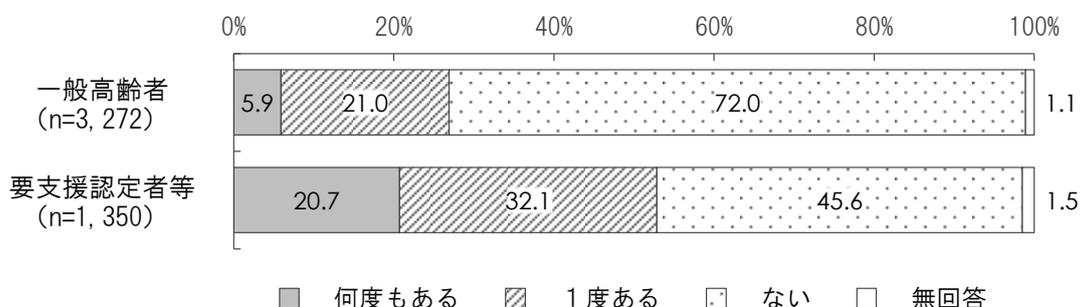


15分位続けて歩いているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに「できるし、している」が最も多くなっている。また、「できない」は、一般高齢者 3.6%に対して、要支援認定者等 27.9%と、24.3ポイントの差がみられる。

《一般高齢者：問8・要支援認定者等：問7》

過去1年間に転んだ経験がありますか。(単数回答)

【単純集計】

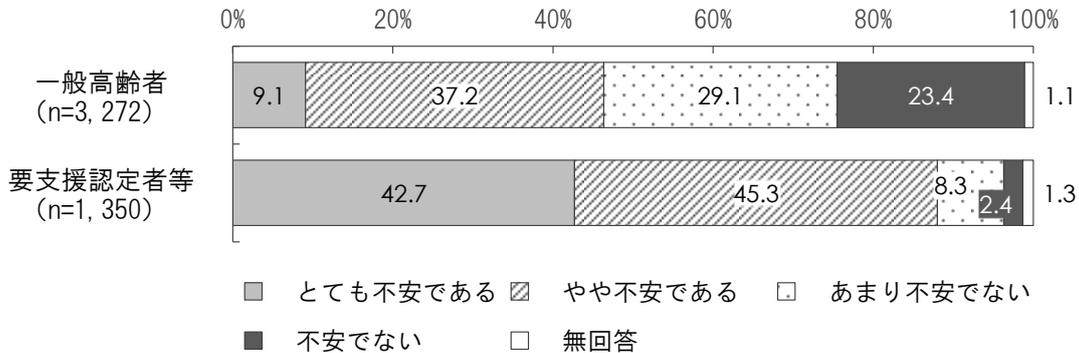


過去1年間に転んだ経験の有無について、『ある(何度もある+1度ある)』は、一般高齢者においては 26.9%となっているのに対し、要支援認定者等においては 52.8%で半数以上を占めている。特に、「何度もある」は、一般高齢者の 5.9%に対し、要支援認定者等では 20.7%と、14.8ポイントの差がみられる。

《一般高齢者：問9・要支援認定者等：問8》

転倒に対する不安は大きいですか。（単数回答）

【単純集計】



転倒に対する不安は、一般高齢者・要支援認定者等ともに「やや不安である」が最も多くなっている一方で、一般高齢者 37.2%、要介護認定者 45.3%と、8.1ポイントの差がみられる。また、『不安である（とても不安である＋やや不安である）』は、一般高齢者 46.3%、要支援認定者等 88.0%と、41.7ポイントの差がみられる。

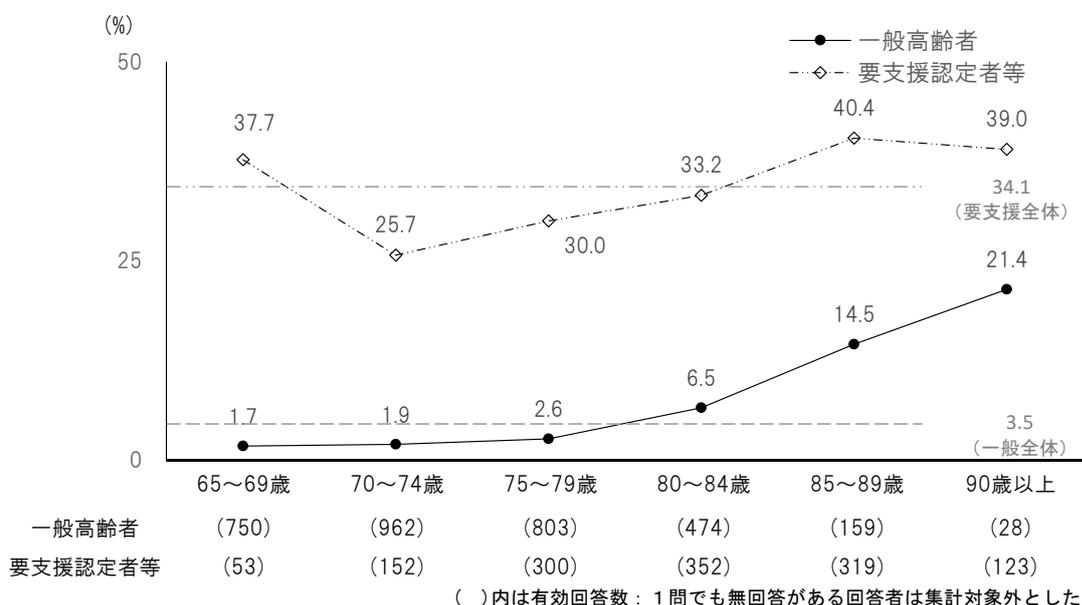
【運動器リスク該当者】

厚生労働省の基本チェックリスト（運動機能）の手引きをもとに、各調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定した。

＜判定設問＞

問番号		設問	該当する選択肢
一般	要支援		
問5	問4	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問6	問5	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問7	問6	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問8	問7	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問9	問8	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

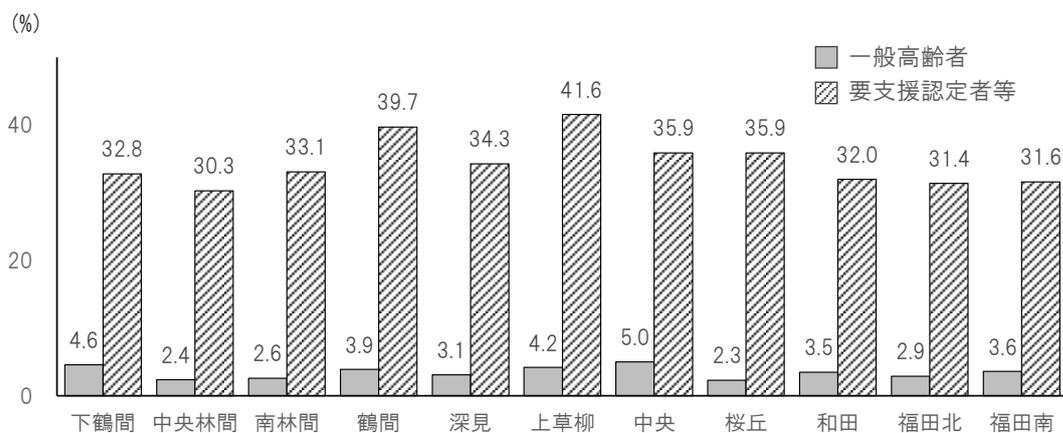
【クロス集計：：一般高齢者・要支援認定者等：年齢別】



国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、運動器の機能低下のリスク該当者は、一般高齢者全体では3.5%、要支援認定者等全体では34.1%となっている。

年齢別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で割合が非常に高く、《70~74歳》を除く全ての年齢層において3割以上で、特に《85~89歳》では40.4%で4割を上回っている。また、一般高齢者では、79歳までは3%未満であるが、80歳以上においては大きく増加している。

【クロス集計：：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別】

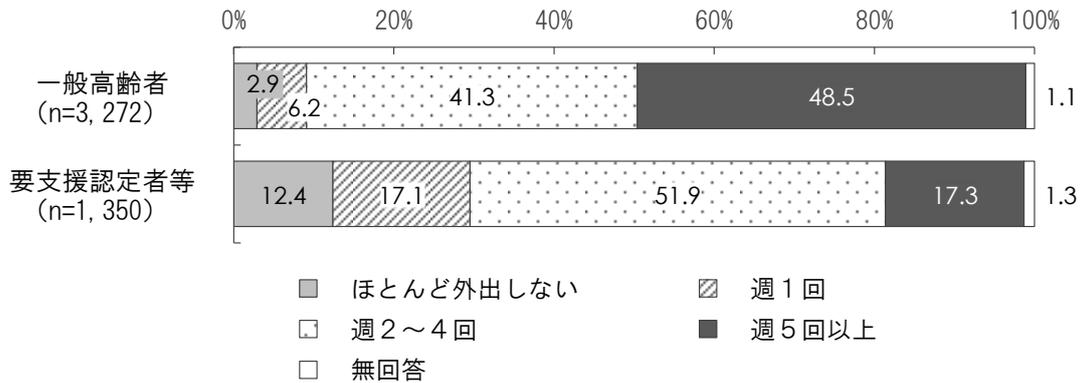


日常生活圏域別にみると、一般高齢者ではさほど大きな差はみられないが、要支援認定者等においては、《上草柳地区》と《鶴間地区》で4割前後と、比較的多くなっている。

《一般高齢者：問 10・要支援認定者等：問 9》

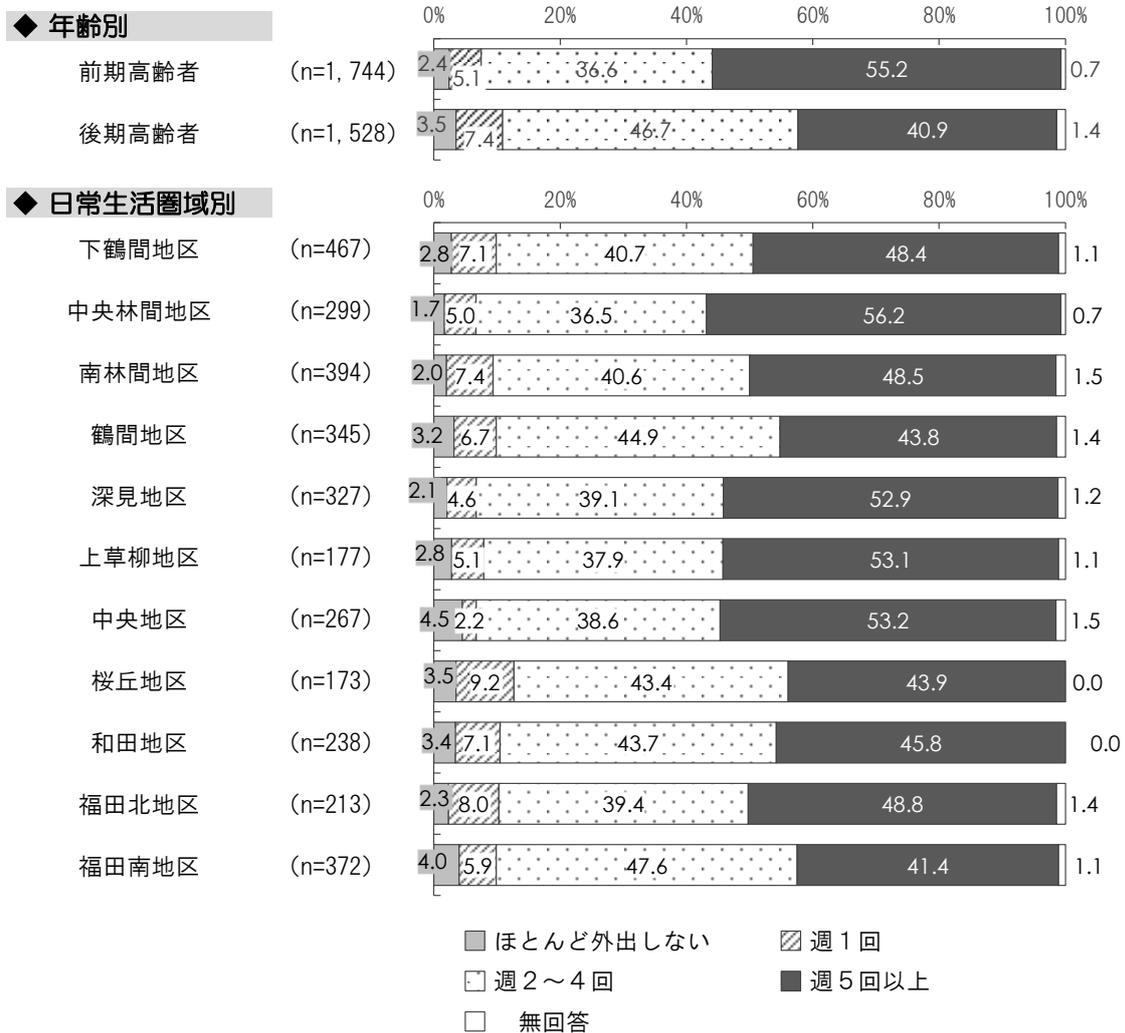
外出の頻度をお教えてください。（単数回答）

【単純集計】



外出の頻度は、一般高齢者において「週2～4回」、「週5回以上」がそれぞれ4割を超えて多くなっている一方で、要支援認定者等においては「週2～4回」が51.9%と最も多く、「週5回以上」は17.3%に留まっている。

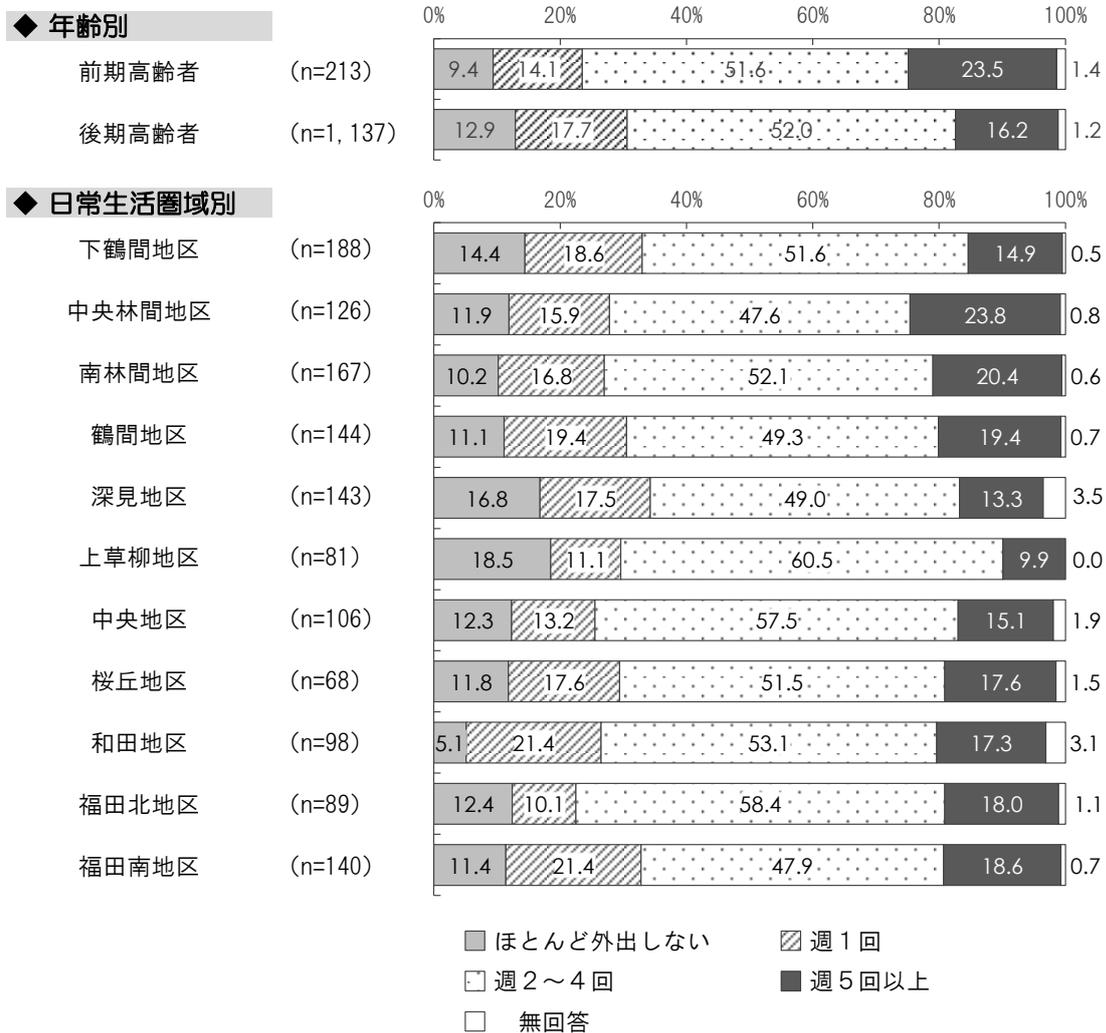
【クロス集計：一般高齢者：年齢別・日常生活圏域別】



一般高齢者の結果を年齢別にみると、「前期高齢者」では「週5日以上」が55.2%で半数以上を占めているのに対し、「後期高齢者」では40.9%と、14.3ポイント少なく、「週2～4回」が46.7%で、最も多くなっている。

日常生活圏域別にみると、「週5日以上」が半数以上を占めている地区は「中央林間地区」、「中央地区」、「上草柳地区」、「深見地区」の4地区で、市域の南部に位置する「桜丘地区」、「和田地区」、「福田北地区」、「福田南地区」の4地区では4割台と、外出頻度が少ない傾向がみられる。

【クロス集計：要支援認定者等：年齢別・日常生活圏域別】



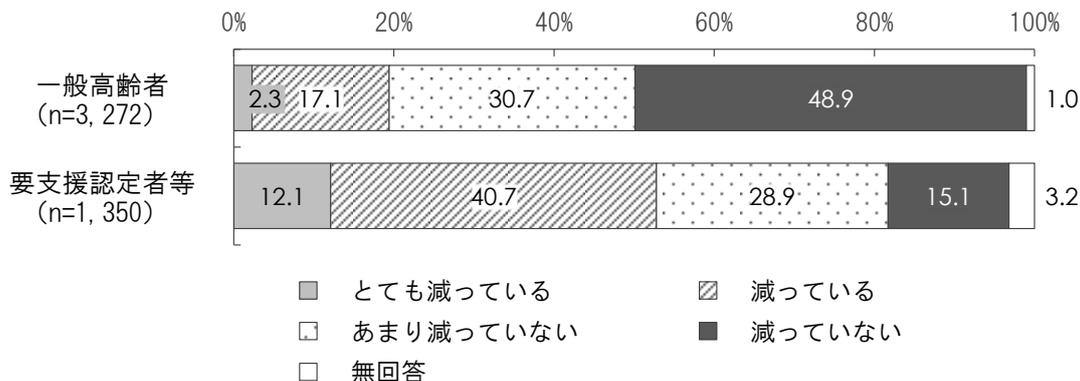
要支援認定者等の結果を年齢別にみると、一般高齢者に比べて差は小さく、《前期高齢者》、《後期高齢者》ともに「週2~4回」が過半数を占めて最も多くなっている。また、「ほとんど外出しない」は、《前期高齢者》では9.4%と1割未満であるが、《後期高齢者》では12.9%と1割を上回っている。

日常生活圏域別にみると、一般高齢者と同様、「週5日以上」が最も多い地区は《中央林間地区》で23.8%と、最も少ない《上草柳地区》の9.9%よりも13.9ポイント多くなっている。一方、「ほとんど外出しない」は、《上草柳地区》では18.5%、《深見地区》では16.8%と、1割台後半を占めており、比較的多くなっている。

《一般高齢者：問 11・要支援認定者等：問 10》

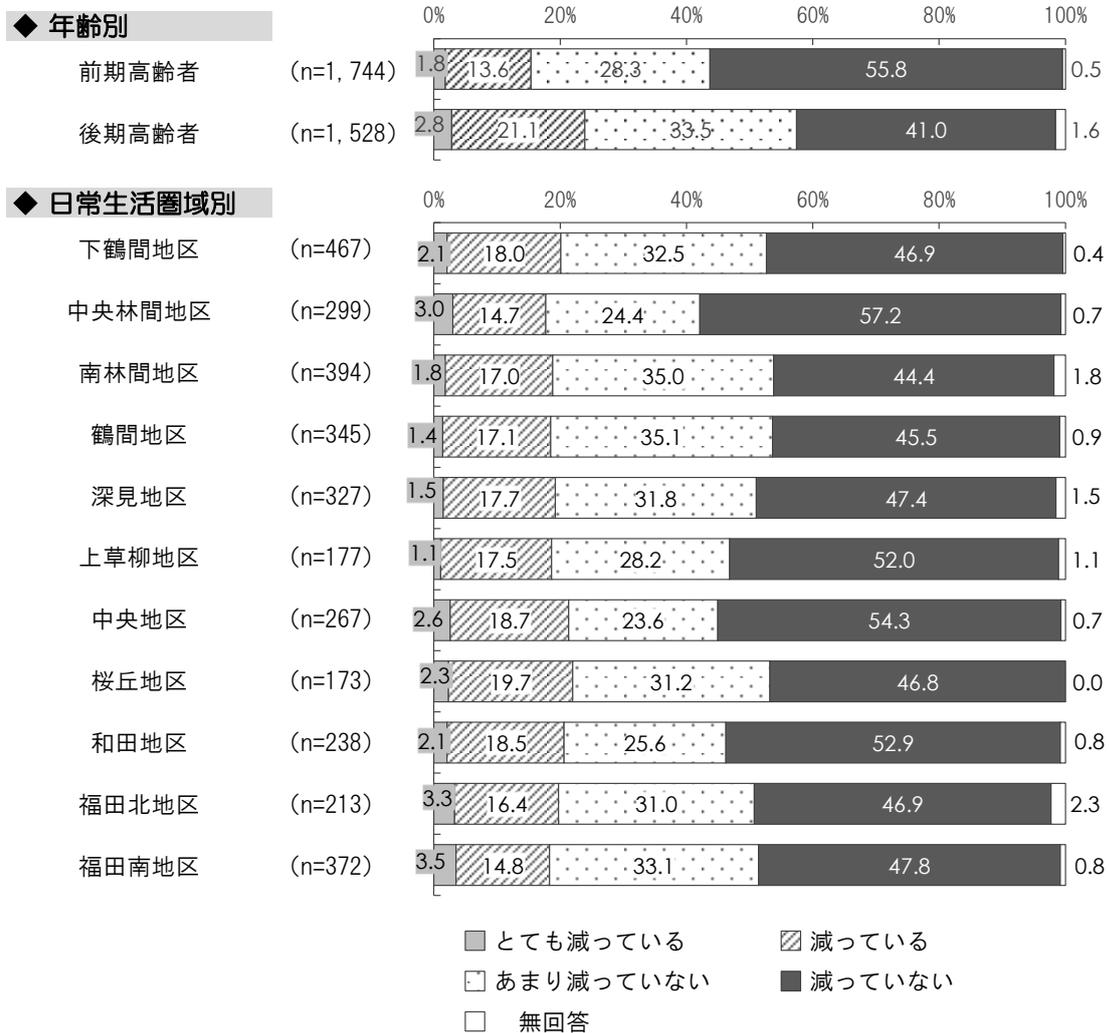
昨年と比べて、外出の回数が減っていますか。(単数回答)

【単純集計】



昨年と比べて、外出の回数が減っているかは、一般高齢者において「減っていない」が48.9%と、ほぼ半数近くを占めている一方で、要支援認定者等においては「減っている」が40.7%と最も多くなっている。また、『減っている（とても減っている+減っている）』は、一般高齢者が19.4%であるのに対し、要支援認定者等では52.8%と、要支援認定者等の方が33.4ポイント多くなっている。

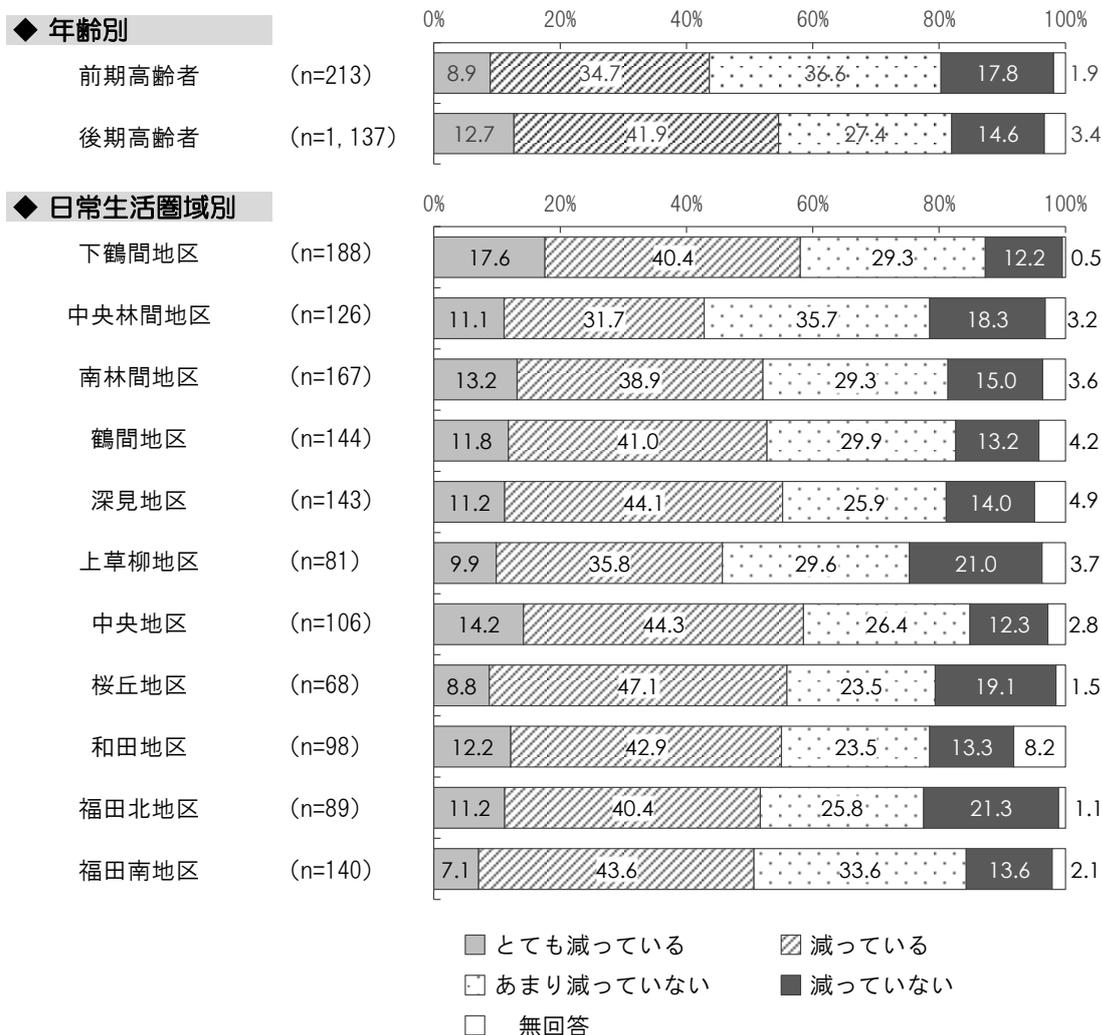
【クロス集計：一般高齢者：年齢別・日常生活圏域別】



一般高齢者の結果を年齢別にみると、外出頻度（24 ページ参照）の回答傾向と同様、《前期高齢者》では「減っていない」が 55.8% で半数以上を占めているのに対し、《後期高齢者》では 41.0% と、14.8 ポイント少なくなっている。

日常生活圏域別にみると、「減っていない」が半数以上を占めている地区は《中央林間地区》、《中央地区》、《和田地区》、《上草柳地区》の 4 地区で、《和田地区》以外は外出頻度（24 ページ参照）で「週 5 回以上」が半数以上を占めている地区で、外出頻度が多い地区では外出の回数は減っていないことがうかがえる。

【クロス集計：要支援認定者等：年齢別・日常生活圏域別】



要支援認定者等の結果を年齢別にみると、《前期高齢者》では『減っていない（あまり減っていない+減っていない）』が 54.4%で半数以上となっているのに対し、《後期高齢者》では『減っている（とても減っている+減っている）』が 54.6%で半数以上を占めて、逆転している。

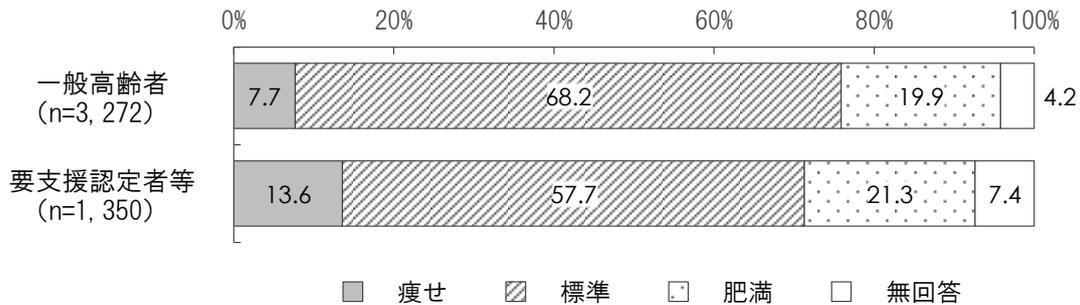
日常生活圏域別にみると、《上草柳地区》と《福田北地区》の2地区において、「減っていない」が2割台で多くなっているが、《上草柳地区》は外出頻度（25 ページ参照）で「週5回以上」が唯一1割を下回っており、もともと外出頻度が少ないことの影響もあると推測される。

3 食べることについて

《一般高齢者：問 12・要支援認定者等：問 11》

肥満度（記入された身長と体重からBMI*1を算出）

【単純集計】



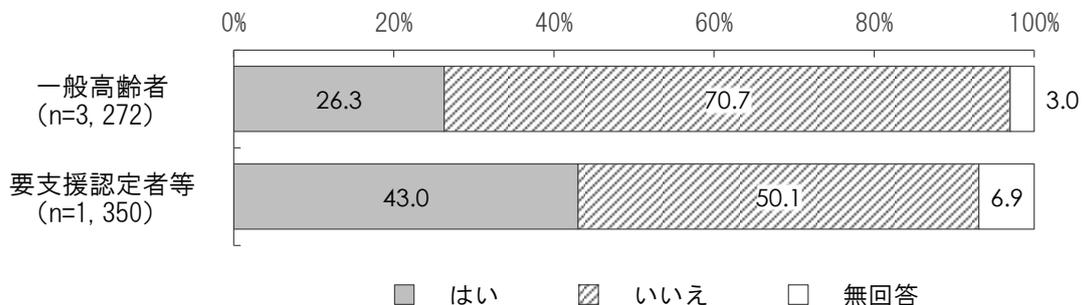
*1 BMI (Body Mass Index) … 体重 kg ÷ (身長 m)² で算出される肥満度を表す体格指数
 18.5未満=痩せ（低体重） / 18.5~25未満=標準 / 25以上=肥満

肥満度は、一般高齢者・要支援認定者等ともに「標準」が最も多くなっている一方で、一般高齢者 68.2%、要支援認定者等 57.7%と、10.5ポイントの差がみられる。また、要支援認定者等において「痩せ」が13.6%と、1割以上となっている。

《一般高齢者：問 13・要支援認定者等：問 12》

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（単数回答）

【単純集計】

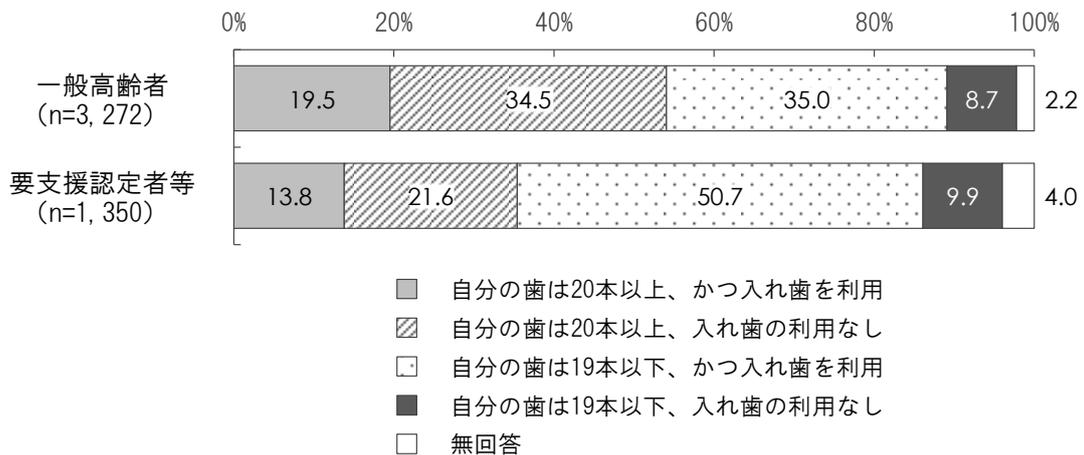


半年前に比べて固いものが食べにくくなったかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに「いいえ」が多くなっている一方で、一般高齢者 70.7%、要支援認定者等 50.1%と、20.6ポイントの差がみられる。

《一般高齢者：問 14・要支援認定者等：問 13》

歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。)(単数回答)

【単純集計】

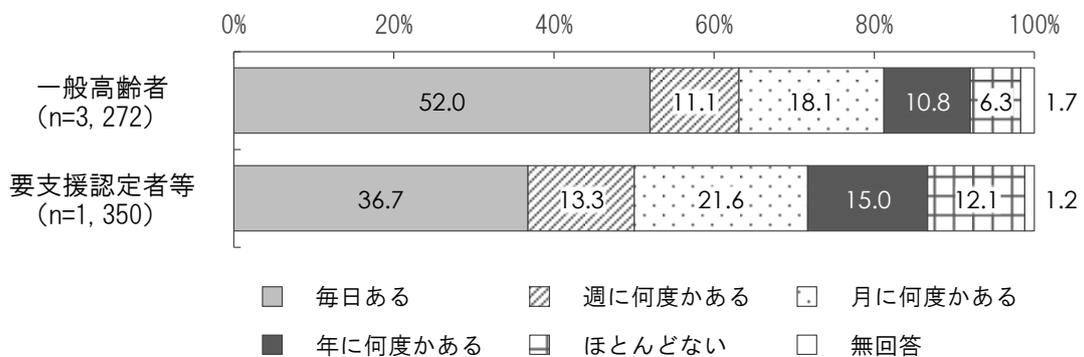


歯の数と入れ歯の利用状況は、一般高齢者において「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」がそれぞれ 3 割を超えて多くなっている一方で、要支援認定者等においては「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 50.7%と、半数を占めて多くなっている。

《一般高齢者：問 15・要支援認定者等：問 14》

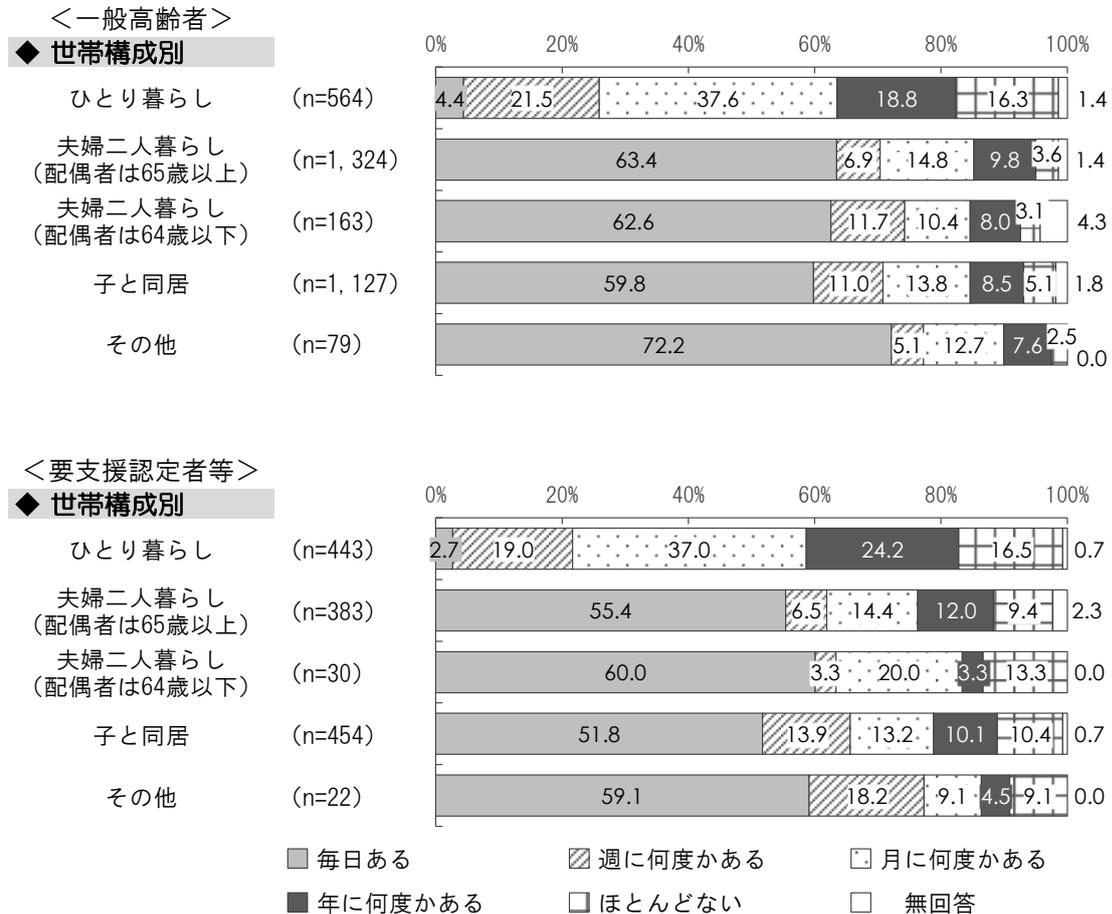
どなたかと食事をする機会がありますか。(単数回答)

【単純集計】



どなたかと食事をする機会の有無は、一般高齢者・要支援認定者等ともに「毎日ある」が最も多くなっている一方で、一般高齢者 52.0%、要支援認定者等 36.7%と、15.3 ポイントの差がみられる。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：世帯構成別】



世帯構成別にみると、一般高齢者・要支援認定者等ともに、「ひとり暮らし」においては、同居家族がないため、「毎日ある」がやはり5%未満と、非常に少なくなっている。また、一般高齢者・要支援認定者等ともに、「毎日ある」は、配偶者が高齢者かどうかに関わらず「夫婦二人暮らし」の方が「子と同居」よりもやや多くなっている。

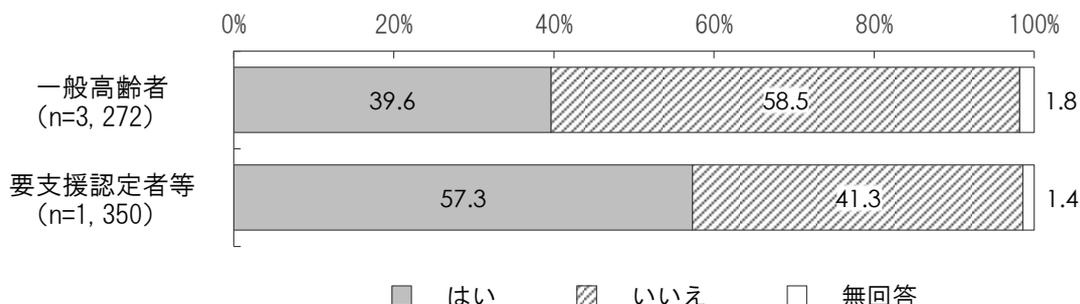
一方、<一般高齢者>と<要支援認定者等>で比較すると、いずれの世帯構成においても、「毎日ある」は<一般高齢者>の方が多く、「ほとんどない」は<要支援認定者等>の方が多い傾向がみられる。

4 毎日の生活について

《一般高齢者：問 16・要支援認定者等：問 15》

物忘れが多いと感じますか。(単数回答)

【単純集計】

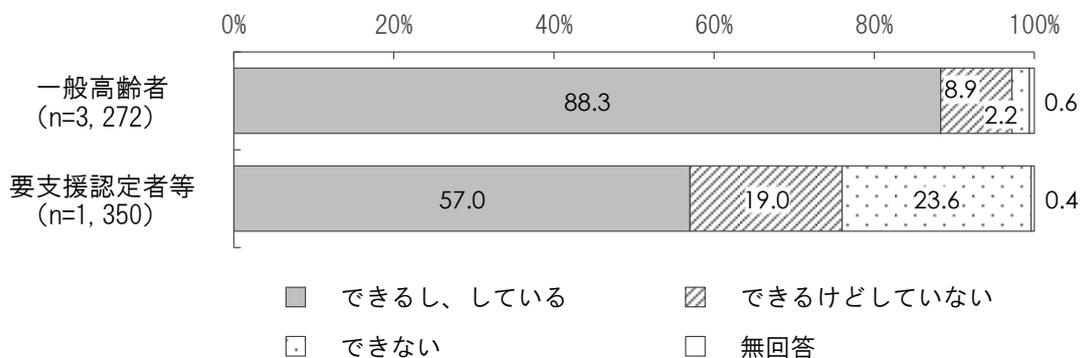


物忘れが多いと感じるかは、一般高齢者において「いいえ」が 58.5%と多くなっている一方で、要支援認定者等においては「はい」が 57.3%と、一般高齢者と要支援認定者等の「はい」と「いいえ」の割合が逆転している。

《一般高齢者：問 17・要支援認定者等：問 16》

バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(単数回答)

【単純集計】

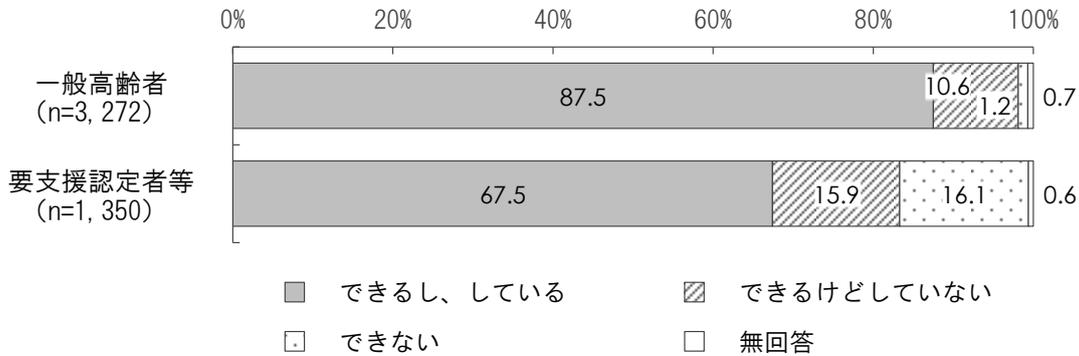


バスや電車を使って1人で外出しているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに「できるし、している」が多くを占めているが、要支援認定者等においては「できない」が 23.6%と、2割以上となっている。

《一般高齢者：問 18・要支援認定者等：問 17》

自分で食品・日用品の買物をしていますか。（単数回答）

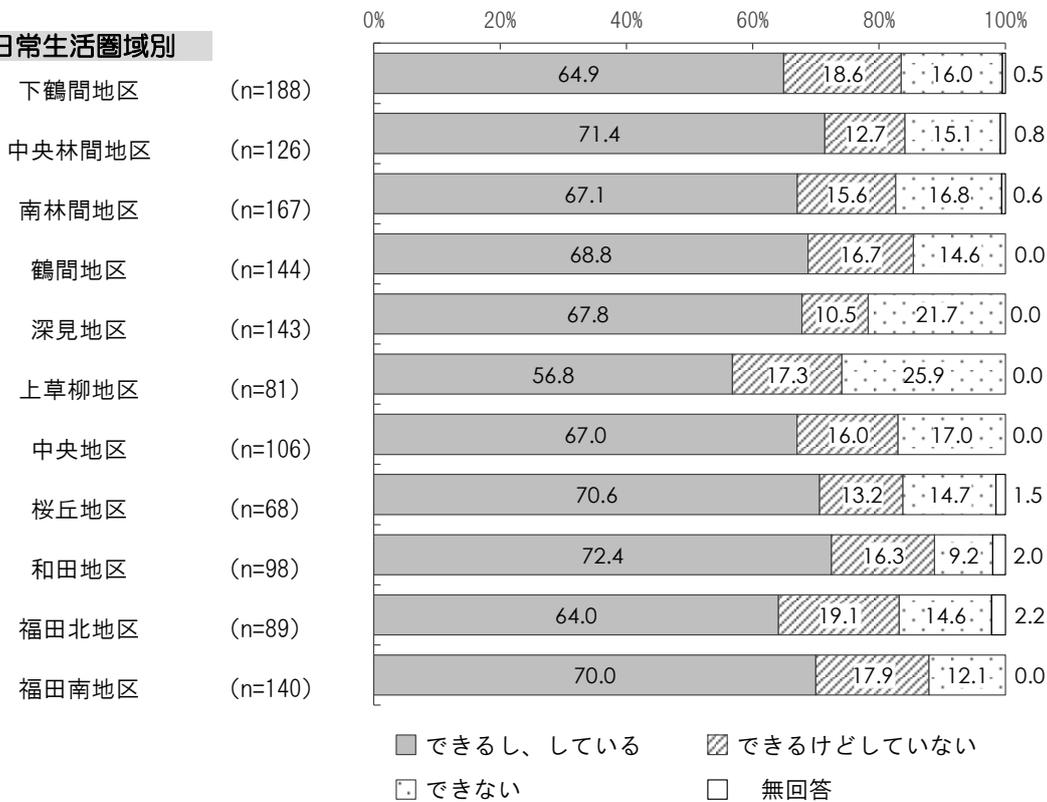
【単純集計】



自分で食品・日用品の買物をしているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに「できるし、している」が多くを占めているが、要支援認定者等においては「できない」が16.1%と、1割以上となっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別】

◆ 日常生活圏域別

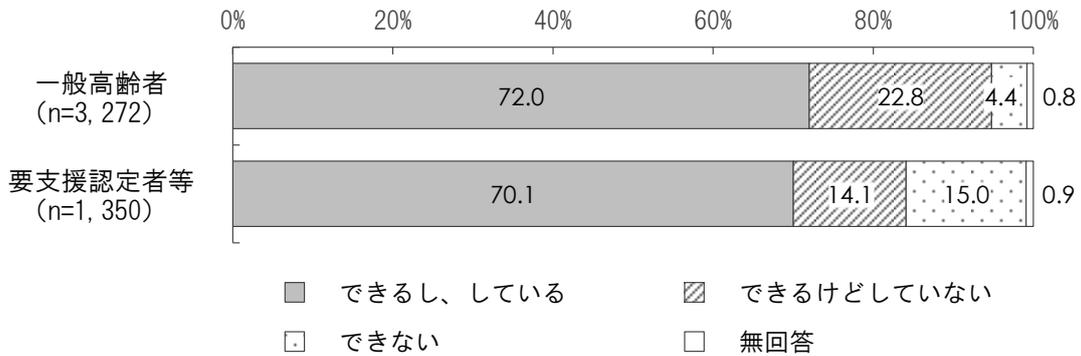


日常生活圏域別にみると、《上草柳地区》と《深見地区》の2地区において「できない」が2割を超えて、比較的多くなっている。なお、一般高齢者は「できない」が全体で1.2%と少ないため、日常生活圏域でのクロス集計は記載しない。

《一般高齢者：問 19・要支援認定者等：問 18》

自分で食事の用意をしていますか。(単数回答)

【単純集計】

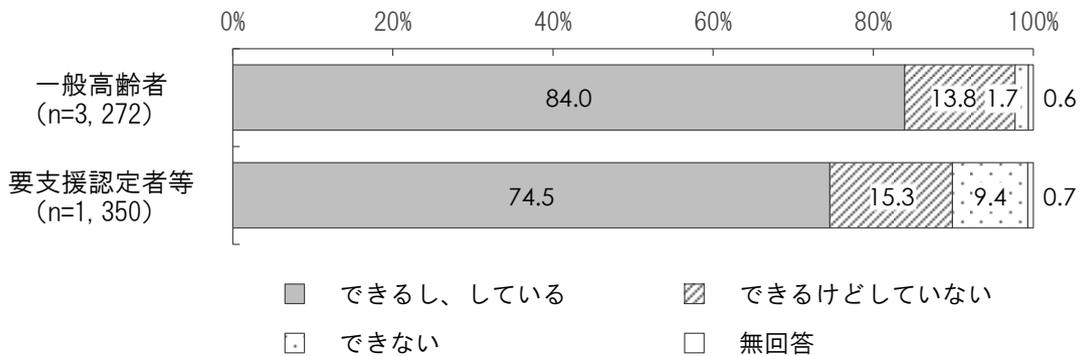


自分で食事の用意をしているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに「できるし、している」が約7割で、大半を占めているが、要支援認定者等においては「できない」が15.0%と、1割以上となっている。

《一般高齢者：問 20・要支援認定者等：問 19》

自分で請求書の支払いをしていますか。(単数回答)

【単純集計】

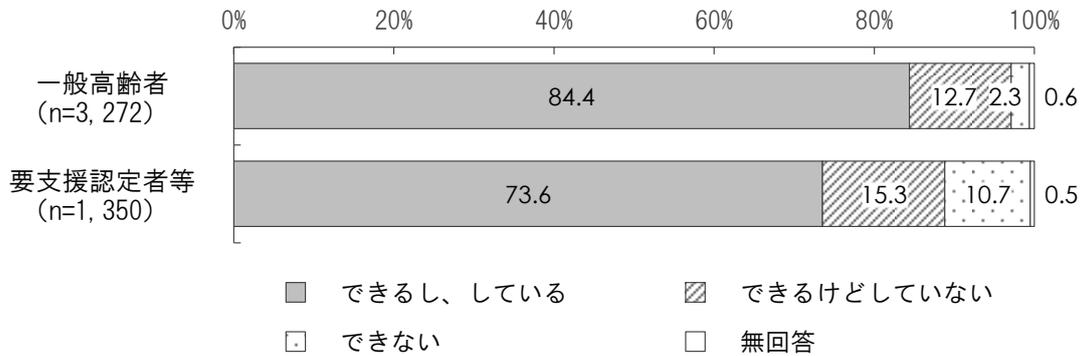


自分で請求書の支払いをしているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに「できるし、している」が7割以上で、大半を占めているが、要支援認定者等においては「できない」が9.4%と、約1割となっている。

《一般高齢者：問 21・要支援認定者等：問 20》

自分で預貯金の出し入れをしていますか。（単数回答）

【単純集計】



自分で預貯金の出し入れをしているかは、一般高齢者・要支援認定者等ともに「できるし、している」が7割以上で、大半を占めているが、要支援認定者等においては「できない」が10.7%と、1割以上となっている。

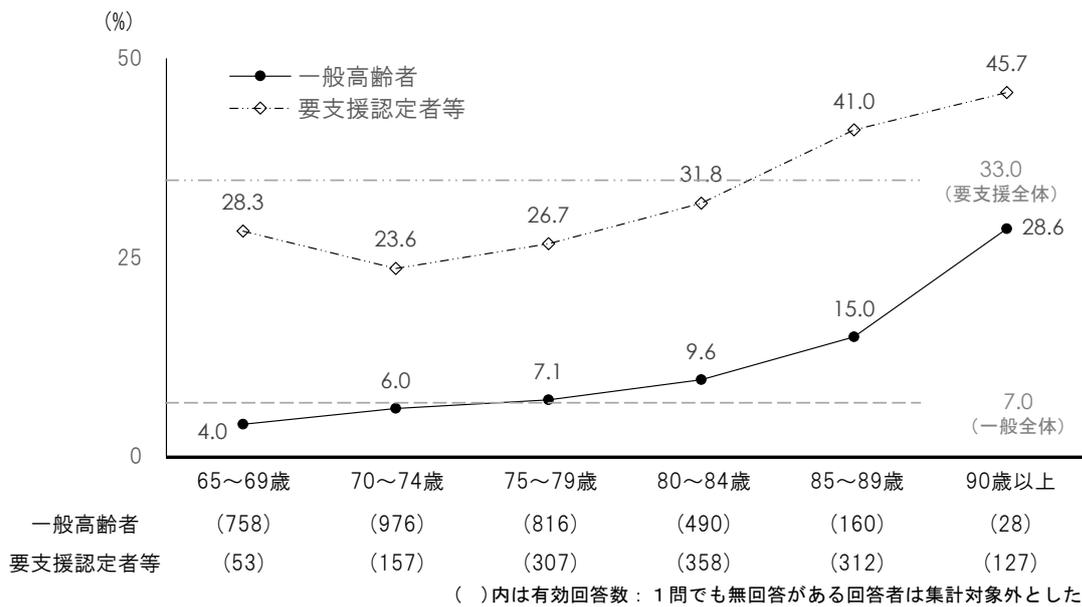
【手段的自立度(IADL)】

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度（IADL）に関する設問が5問（一般高齢者：問 17～問 21・要支援認定者等：問 16～問 20）あり、「手段的自立度（IADL）」として尺度化されている。評価は、各設問に「できるし、している」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しており、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示している。

＜判定設問＞

問番号		設 問	該当する選択肢
一般	要支援		
問 17	問 16	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：0点 3. できない：0点
問 18	問 17	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	
問 19	問 18	自分で食事の用意をしていますか。	
問 20	問 19	自分で請求書の支払いをしていますか。	
問 21	問 20	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	

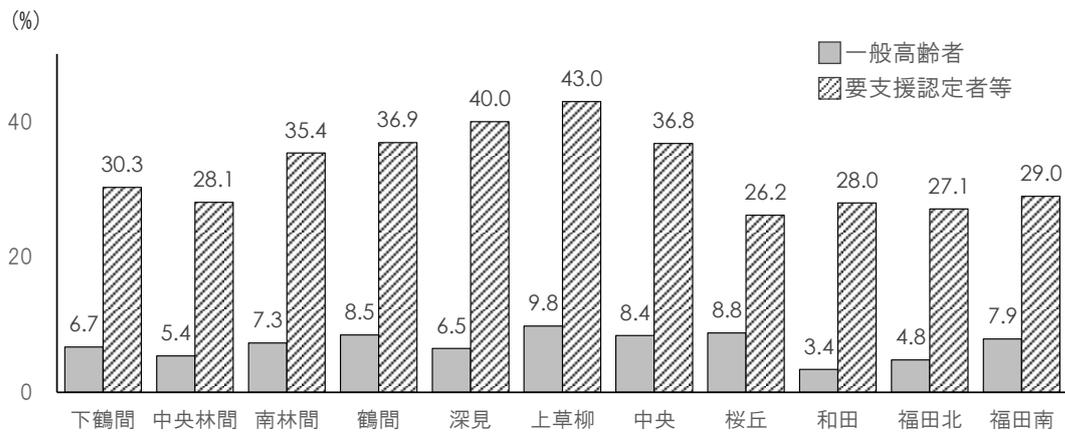
【クロス集計：：一般高齢者・要支援認定者等：年齢別】



老研式活動能力指標の評価結果にもとづく手段的自立度（IADL）の低下該当者は、一般高齢者全体では7.0%、要支援認定者等全体では33.0%となっている。

年齢別にみると、一般高齢者においては、年齢層が上がるほど、増加する傾向が顕著にみられ、《65～69歳》では4.0%であるが、《90歳以上》では28.6%と、7倍以上の差となっている。一方、要支援認定者等では、《70～74歳》で一旦低くなるものの、75歳以上では増加傾向で、《90歳以上》では45.7%と、半数近くとなっている。

【クロス集計：：一般高齢者・要支援認定者等：生活圏域別】

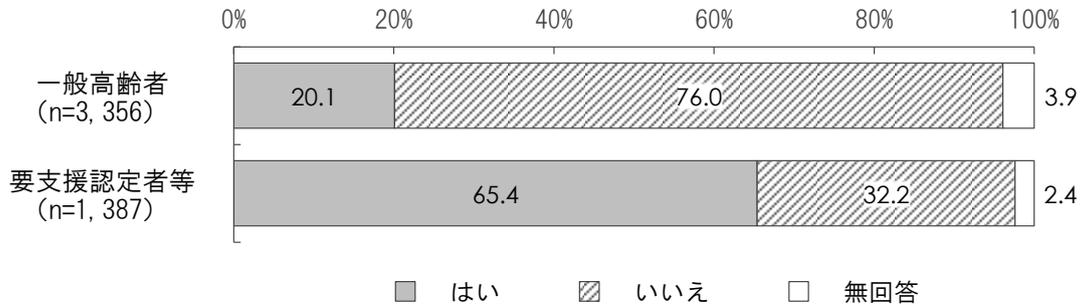


日常生活圏域別にみると、一般高齢者、要支援認定者等で類似した傾向がみられ、《上草柳地区》において、一般高齢者では9.8%、要支援認定者等では43.0%と、ともに最も多くなっている。

《一般高齢者：問 22・要支援認定者等：問 21》

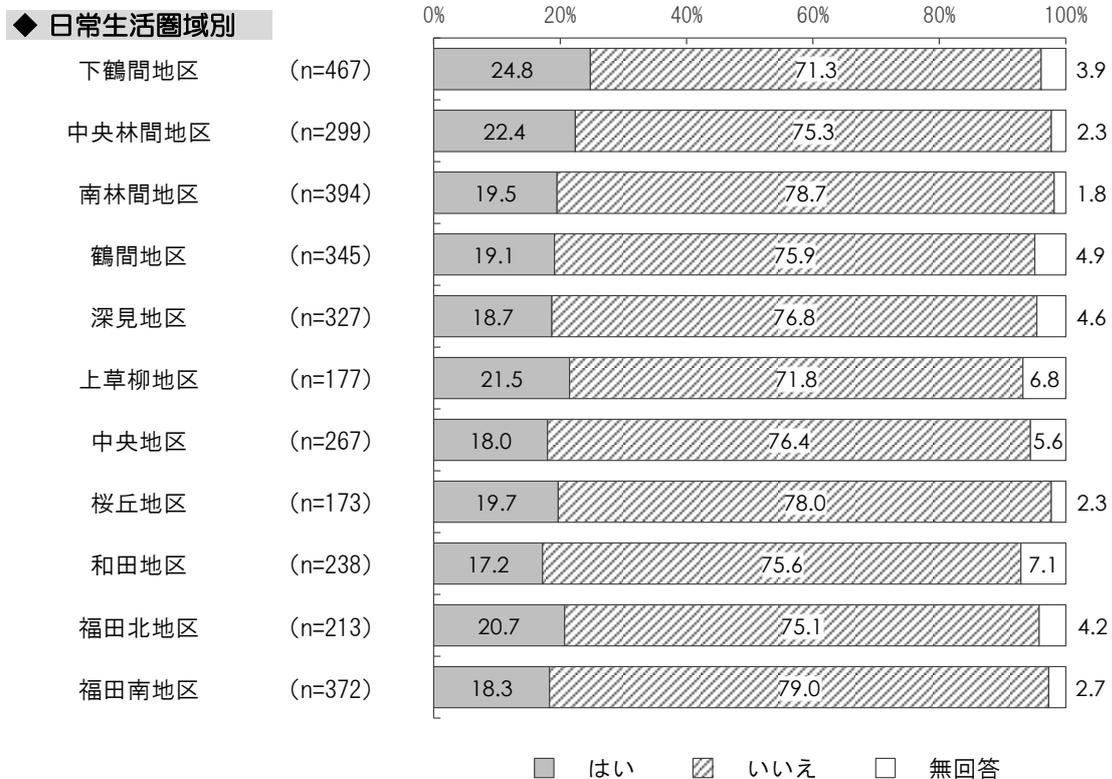
日常生活で困っていることや不安に感じていることはありますか。
 (単数回答)

【単純集計】



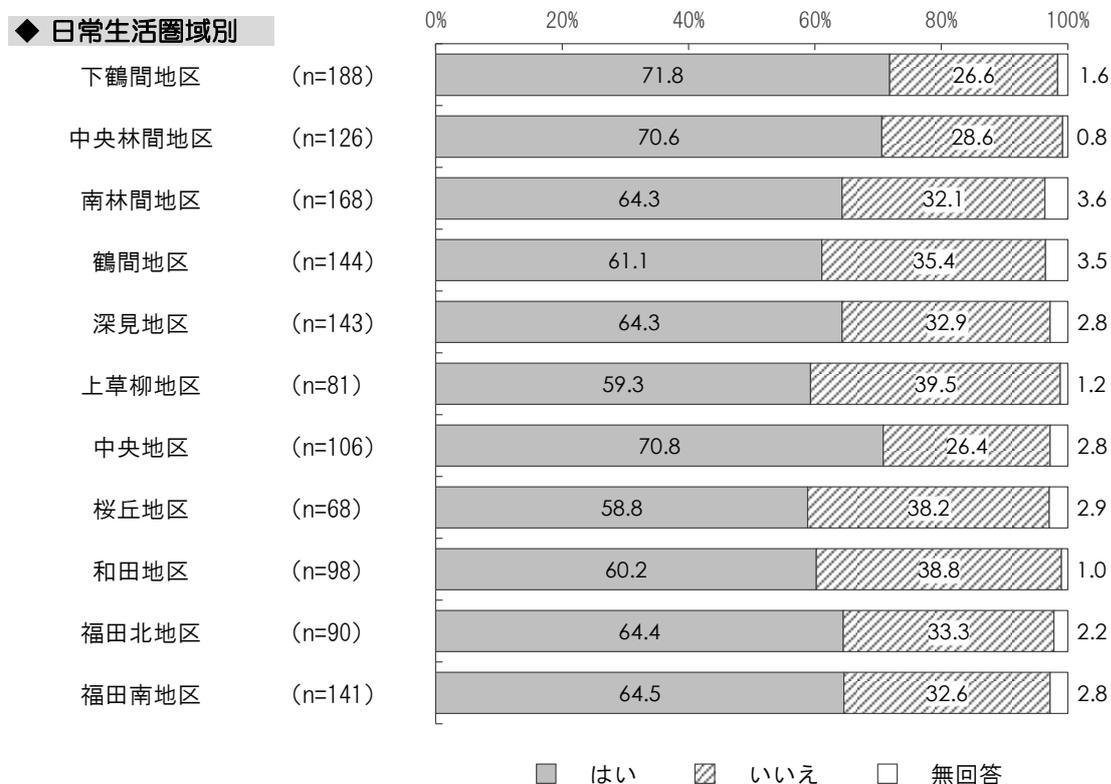
日常生活で困っていることや不安に感じていることの有無は、一般高齢者において「はい」が20.1%と、約2割に留まっているが、要支援認定者等では3倍以上の65.4%と、6割以上を占めて多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】



一般高齢者の結果を日常生活圏域別にみると、《下鶴間地区》、《中央林間地区》、《上草柳地区》、《福田北地区》の4地区で「はい」が2割を超えているものの、いずれの地区も2割前後となっており、大きな差異は見られない。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別】



要支援認定者等の結果を日常生活圏域別にみると、一般高齢者とは逆で、すべての日常生活圏域において「はい」が「いいえ」より多くなっている。特に、《下鶴間地区》・《中央地区》・《中央林間地区》において「はい」が7割を超えて多く、最も少ない《桜丘地区》よりも10ポイント以上の差がみられる。

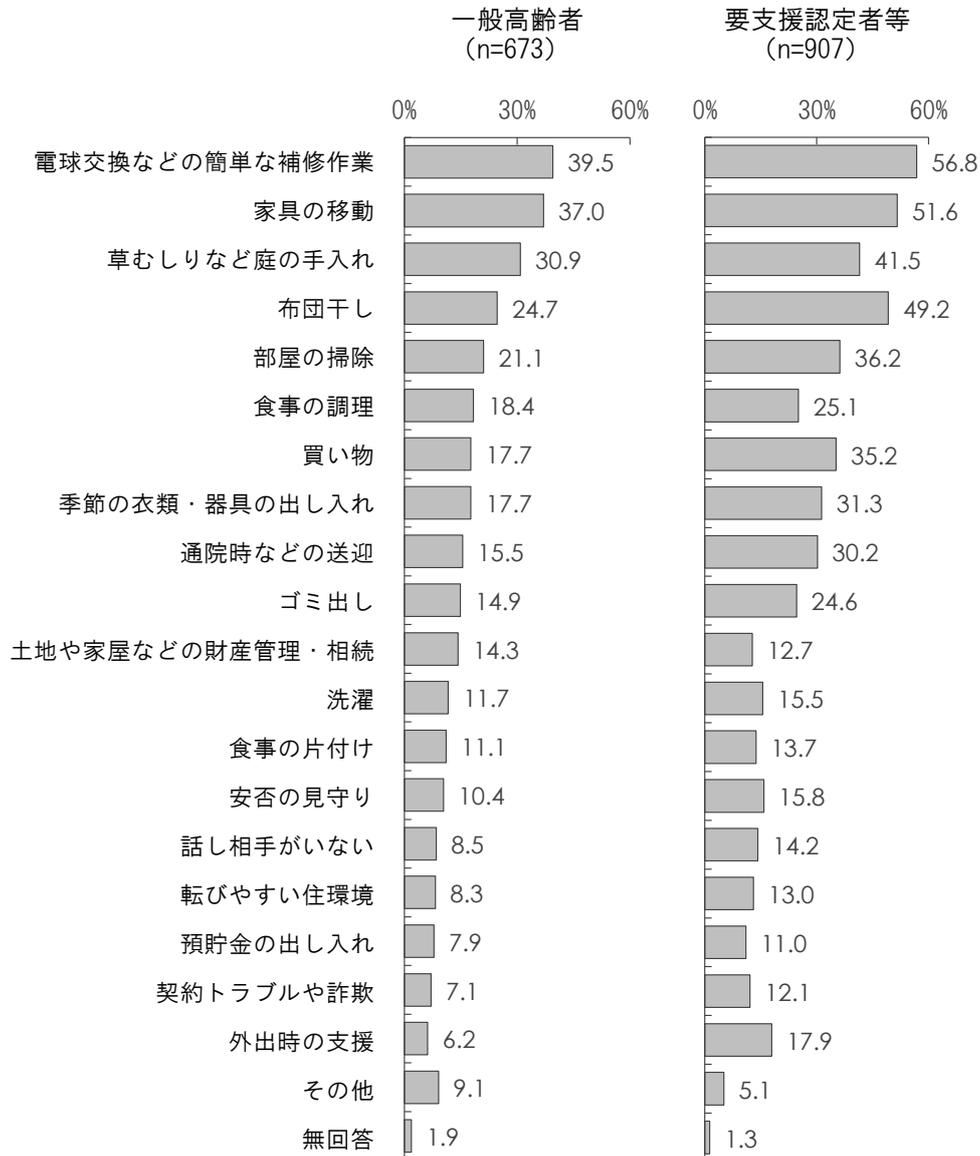
また、《下鶴間地区》、《中央林間地区》は、一般高齢者・要支援認定者等とも、「はい」が多い地区の上位2地区となっている。

一般高齢者：問 22・要支援認定者等：問 21 で「はい」と回答した方のみ

《一般高齢者：問 22-1・要支援認定者等：問 21-1》

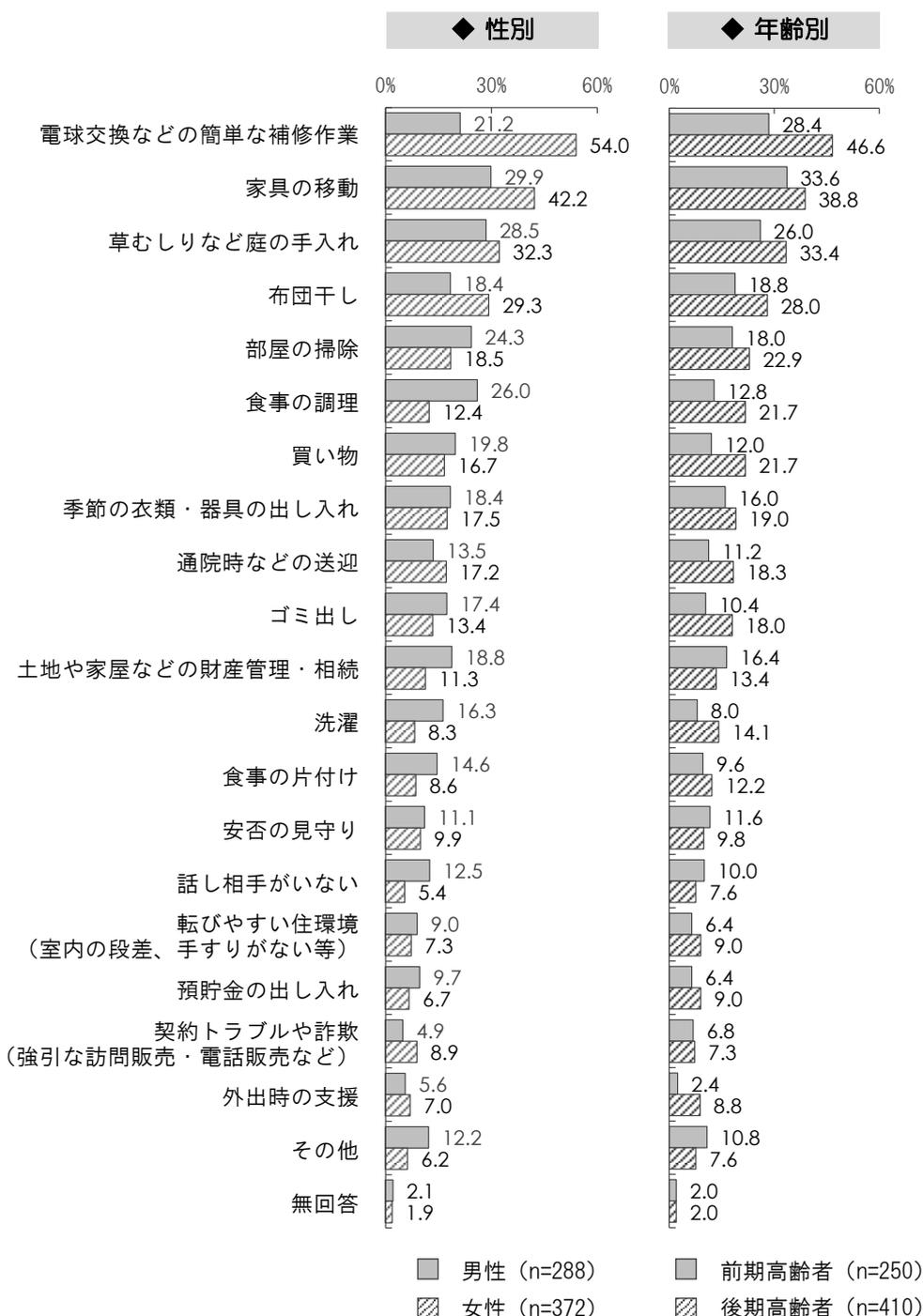
それは、具体的にどのようなことですか。（複数回答可）

【単純集計】



日常生活で困っていることや不安に感じていることは、一般高齢者・要支援認定者等ともに「電球交換などの簡単な補修作業」が最も多く、「家具の移動」が続く。第3位以降は順位が異なり、一般高齢者は「草むしりなど庭の手入れ」、「布団干し」の順で続き、要支援認定者等は「布団干し」、「草むしりなど庭の手入れ」の順で続く。「土地や家屋などの財産管理・相続」を除く全ての項目で要支援認定者等の方が高く、特に、「布団干し」、「買い物」、「通院時などの送迎」、「外出時の支援」は2倍程度の割合となっている。

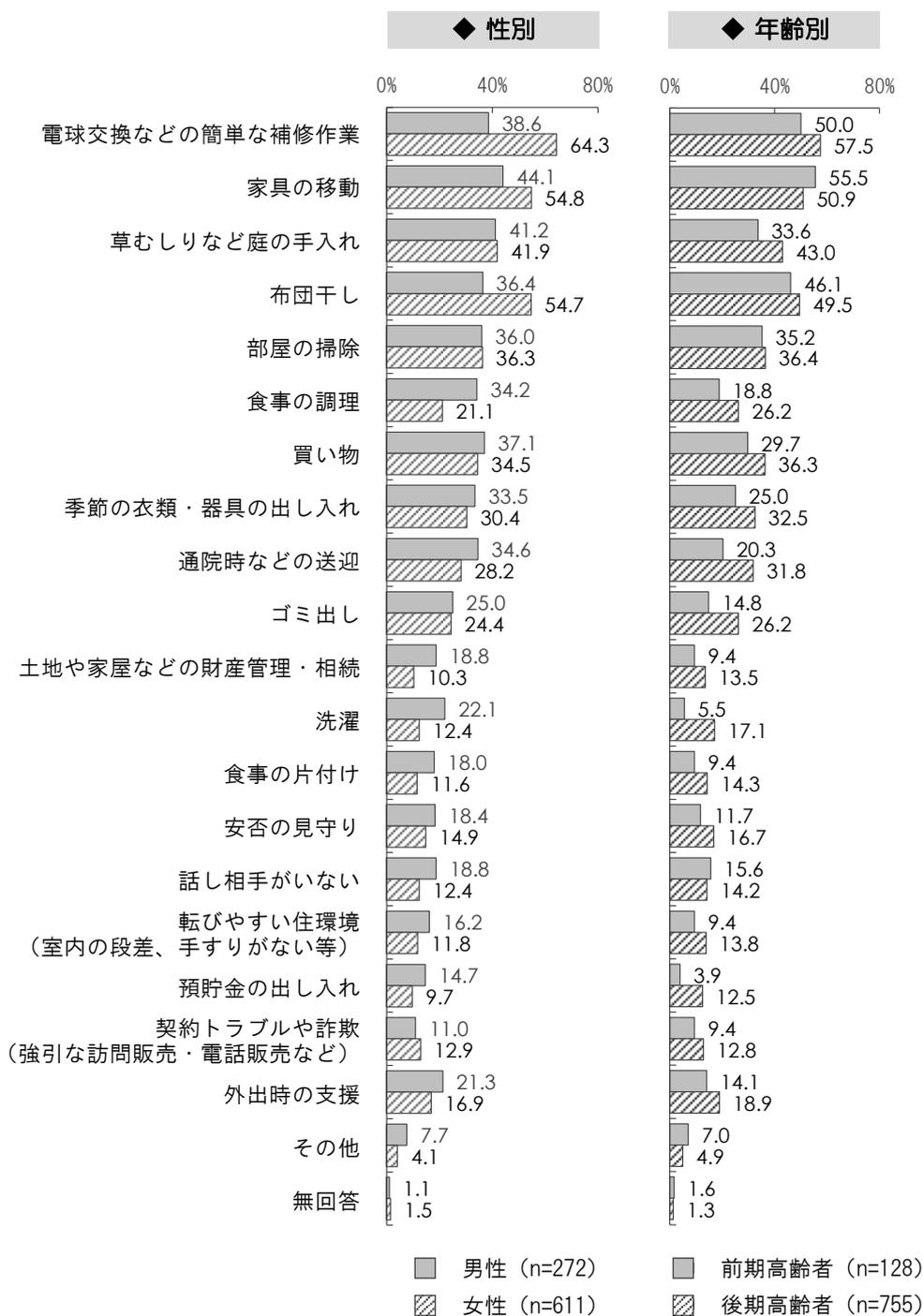
【クロス集計：一般高齢者：性別・年齢別】



一般高齢者の結果を性別にみると、《男性》において「部屋の掃除」、「食事の調理」、「洗濯」、「食事の片付け」、「話し相手がない」などの日常生活に欠かせない活動が多く、《女性》において「電球交換などの簡単な補修作業」、「家具の移動」、「布団干し」といった高所での作業や力仕事が多くなっている。

一般高齢者の結果を年齢別にみると、全体的に前期高齢者よりも《後期高齢者》において困っていることが多く、「電球交換などの簡単な補修作業」、「家具の移動」、「草むしりなど庭の手入れ」などが多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別】



要支援認定者等の結果を性別にみると、一般高齢者と同様に、《男性》において「食事の調理」、「通院時などの送迎」、「洗濯」、「食事の片付け」、「話し相手がない」、「預貯金のおし入れ」などの日常生活に欠かせない活動が多く、《女性》において「電球交換などの簡単な補修作業」、「家具の移動」、「布団干し」といった高所での作業や力仕事が多くなっている。

要支援認定者等の結果を年齢別にみると、一般高齢者と同様に、全体的に前期高齢者よりも《後期高齢者》において困っていることが多く、「電球交換などの簡単な補修作業」、「草むしりなど庭の手入れ」、「食事の調理」などが多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】

日常生活圏域別	日常生活で困っていることや不安に感じていること (%)	
	調査数 (人)	
一般高齢者		
全体	673	1.9
下鶴間地区	116	0.9
中央林間地区	67	1.5
南林間地区	77	2.6
鶴間地区	66	0.0
深見地区	61	0.0
上草柳地区	38	2.6
中央地区	48	2.1
桜丘地区	34	5.9
和田地区	41	2.4
福田北地区	44	4.5
福田南地区	68	2.9
電球交換などの簡単な補修作業	39.5	48.5
家具の移動	37.0	44.8
卓むしりなど庭の手入れ	30.9	36.4
布団干し	24.7	34.8
部屋の掃除	21.1	19.7
食事の調理	18.4	21.2
買い物	17.7	19.7
季節の衣類・器具の出し入れ	17.7	24.2
通院時などの送迎	15.5	9.1
ゴミ出し	14.9	10.6
土地や家屋などの財産管理・相続	14.3	9.1
洗濯	11.7	10.6
食事の片付け	11.1	12.1
安否の見守り	10.4	10.6
話し相手がない	8.5	7.6
転びやすい住環境	8.3	9.1
預貯金のおし入れ	7.9	6.1
契約トラブルや詐欺	7.1	12.1
外出時の支援	6.2	1.5
その他	9.1	6.1
無回答		1.9

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

一般高齢者の結果を日常生活圏域別にみると、《鶴間地区》の「電球交換などの簡単な補修作業」が48.5%、《中央林間地区》の「家具の移動」が44.8%と、比較的多くなっている。また、《桜丘地区》と《福田南地区》は、全体よりも5ポイント以上高い項目が6つと、支援ニーズが多岐にわたっている地区となっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別】

日常生活圏域別	日常生活で困っていることや不安に感じていること (%)	
	調査数 (人)	
要支援認定者等		
全体	907	無回答 1.3
下鶴間地区	135	その他 5.1
中央林間地区	89	土地や家屋などの財産管理・相続 17.9
南林間地区	108	契約トラブルや詐欺 12.1
鶴間地区	88	外出時の支援 11.0
深見地区	92	転びやすい住環境 13.0
上草柳地区	48	安否の見守り 14.2
中央地区	75	洗濯 15.8
桜丘地区	40	話し相手がない 13.7
和田地区	59	食事の片付け 15.5
稲田北地区	58	預貯金の出し入れ 12.7
稲田南地区	91	ゴミ出し 24.6
		季節の衣類・器具の出し入れ 30.2
		買い物 31.3
		食事の調理 35.2
		通院時などの送迎 25.1
		部屋の掃除 36.2
		草むしりなど庭の手入れ 49.2
		布団干し 41.5
		家具の移動 51.6
		電球交換などの簡単な補修作業 56.8

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

要支援認定者等の結果を日常生活圏域別にみると、「電球交換などの簡単な補修作業」においては《中央地区》、《深見地区》、《南林間地区》の3地区で6割を超えており、《南林間地区》では「家具の移動」も61.1%、唯一6割以上の地区となっている。また、《上草柳地区》と《中央地区》は、全体よりも5ポイント以上高い項目が9つと、支援ニーズが多岐にわたっている地区となっている。また、日常生活圏域別の買い物状況(33ページ)と照合してみると、「できない」が比較的多い《上草柳地区》と《深見地区》においては、全体平均よりもやはり多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：世帯構成別】

世帯構成別	日常生活で困っていることや不安に感じていること (%)																			
	電球交換などの簡単な補修作業	家具の移動	草むしりなど庭の手入れ	布団干し	部屋の掃除	食事の調理	買い物	季節の衣類・器具の出し入れ	通院時などの送迎	ゴミ出し	土地や家屋などの財産管理・相続	洗濯	食事の片付け	安否の見守り	話し相手がない	転びやすい住環境	預貯金の出し入れ	契約トラブルや詐欺	外出時の支援	その他
一般高齢者																				
全体	39.5	37.0	30.9	24.7	21.1	18.4	17.7	15.5	14.9	14.3	11.7	11.1	10.4	8.5	8.3	7.9	7.1	6.2	9.1	1.9
ひとり暮らし	46.3	33.9	29.4	18.1	23.2	13.6	13.6	9.0	11.9	10.2	8.5	9.6	20.3	17.5	6.8	4.0	6.2	4.5	6.2	0.0
夫婦二人暮らし (配偶者は65歳以上)	39.7	40.5	29.6	22.7	19.0	21.1	17.4	20.6	16.6	13.4	17.4	10.9	12.6	7.3	7.7	8.9	7.7	6.1	8.1	2.0
夫婦二人暮らし (配偶者は64歳以下)	24.0	48.0	28.0	20.0	20.0	4.0	8.0	20.0	12.0	24.0	12.0	8.0	12.0	12.0	16.0	4.0	12.0	0.0	16.0	4.0
子と同居	35.3	34.8	33.8	33.3	21.7	21.3	22.2	21.3	19.8	13.0	15.0	11.1	5.3	7.7	9.2	10.6	6.8	8.2	12.1	3.4
その他	23.1	30.8	30.8	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	7.7	15.4	7.7	0.0	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0

世帯構成別	日常生活で困っていることや不安に感じていること (%)																				
	電球交換などの簡単な補修作業	家具の移動	草むしりなど庭の手入れ	布団干し	部屋の掃除	食事の調理	買い物	季節の衣類・器具の出し入れ	通院時などの送迎	ゴミ出し	土地や家屋などの財産管理・相続	洗濯	食事の片付け	安否の見守り	話し相手がない	転びやすい住環境	預貯金の出し入れ	契約トラブルや詐欺	外出時の支援	その他	無回答
要支援認定者等																					
全体	56.8	51.6	41.5	49.2	36.2	25.1	35.2	31.3	30.2	24.6	12.7	15.5	13.7	15.8	14.2	13.0	11.0	12.1	17.9	5.1	1.3
ひとり暮らし	65.6	50.7	37.2	48.7	36.3	19.7	29.6	29.6	22.0	22.0	5.1	13.2	11.8	22.3	23.1	10.7	6.5	11.5	12.7	3.9	1.4
夫婦二人暮らし (配偶者は65歳以上)	52.3	53.6	45.6	52.7	36.4	32.2	41.0	35.1	36.8	26.8	15.9	19.7	15.9	10.5	6.7	15.5	15.1	10.5	21.3	4.2	0.8
夫婦二人暮らし (配偶者は64歳以下)	35.0	50.0	40.0	35.0	25.0	40.0	30.0	30.0	60.0	40.0	25.0	30.0	25.0	10.0	15.0	15.0	15.0	25.0	20.0	5.0	0.0
子と同居	50.2	51.7	43.1	47.6	36.1	25.3	37.9	30.1	32.7	24.9	18.2	14.1	13.4	11.9	9.3	14.1	13.4	13.0	20.4	7.1	1.9
その他	50.0	42.9	35.7	42.9	35.7	21.4	35.7	28.6	42.9	21.4	7.1	7.1	14.3	7.1	7.1	0.0	14.3	7.1	28.6	14.3	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

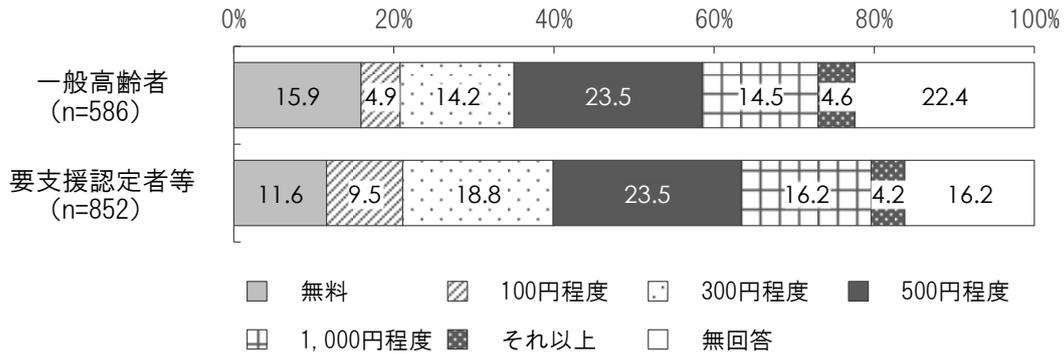
世帯構成別にみると、一般高齢者、要支援認定者等ともに、《ひとり暮らし》では「電球交換などの簡単な補修作業」、「安否の見守り」、「話し相手がない」の3項目において、全体よりも5ポイント以上高くなっている。一方、老老介護の《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》においては、一般高齢者では全体の傾向と大きな差異は見られないが、要支援認定者等においては、「食事の調理」、「買い物」、「通院時などの送迎」の3項目で、全体よりも5ポイント以上高くなっている。

一般高齢者：問 22-1・要支援認定者等：問 21-1 で『買い物、ゴミ出し等の日常生活での活動について困っている』と回答した方のみ

《一般高齢者：問 22-1-1・要支援認定者等：問 21-1-1》

これらの支援を受ける場合、1回の依頼につき、どの程度の料金負担が適切と考えますか。（単数回答）

【単純集計】



これらの支援を受ける場合、1回の依頼につき、適切と考える料金負担は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「500円程度」が2割を超えて最も多くなっている。第2位以降の順位は異なる一方で、割合に大きな差はみられない。

また、“無料”か“有料”で見た場合、一般高齢者に比べ、要支援認定者等の方が“有料”でも良いと回答した割合が約1割多くなっている。

5 地域での活動について

《一般高齢者：問 23・要支援認定者等：問 22》

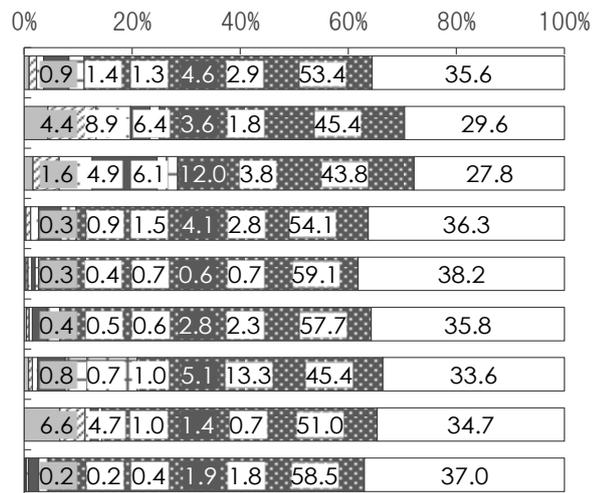
以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(それぞれ単数回答)

【単純集計】

一般高齢者

(①～⑧ n=3, 272、⑨ n=3, 356)

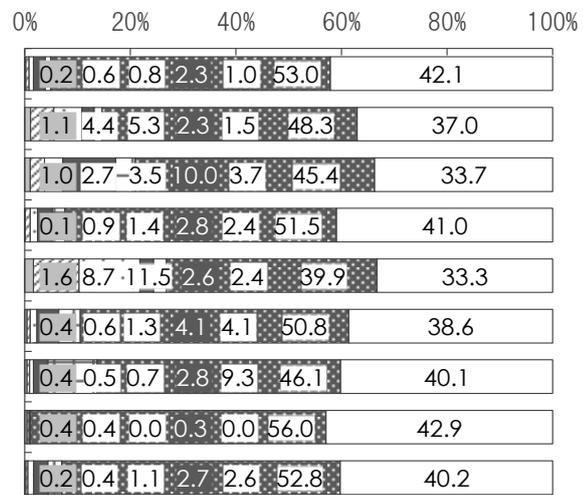
- ① ボランティアのグループ
- ② スポーツ関係のグループやクラブ
- ③ 趣味関係のグループ
- ④ 学習・教養サークル
- ⑤ 介護予防のための通いの場
- ⑥ 老人クラブ
- ⑦ 自治会
- ⑧ 収入のある仕事（シルバー人材センターなど）
- ⑨ 地区社会福祉協議会（ミニサロン）



要支援認定者等

(①～⑧ n=1, 350、⑨ n=1, 387)

- ① ボランティアのグループ
- ② スポーツ関係のグループやクラブ
- ③ 趣味関係のグループ
- ④ 学習・教養サークル
- ⑤ 介護予防のための通いの場
- ⑥ 老人クラブ
- ⑦ 自治会
- ⑧ 収入のある仕事（シルバー人材センターなど）
- ⑨ 地区社会福祉協議会（ミニサロン）



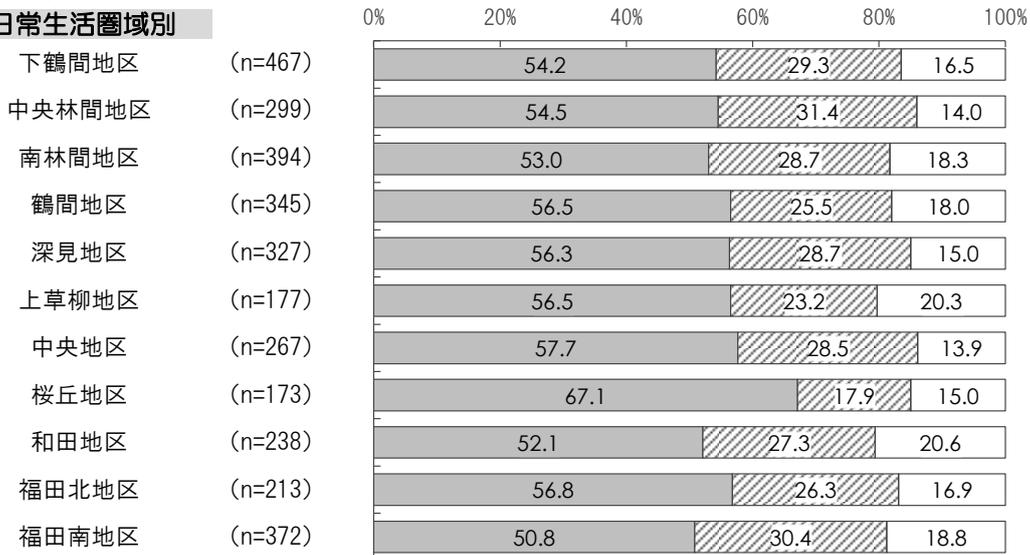
- 週4回以上
- ▨ 週2～3回
- 週1回
- 月に3回
- ▨ 年に数回
- 参加していない
- 無回答

会やグループ等への参加頻度は、一般高齢者・要支援認定者等ともに「参加していない」が4～5割を占めている。『週1回以上（週1回+週2～3回+週4回以上）』の参加割合が最も高いのは、一般高齢者では、②スポーツ関係のグループやクラブで19.7%、要支援認定者等では、⑤介護予防のための通いの場で21.8%となっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別】

<一般高齢者>

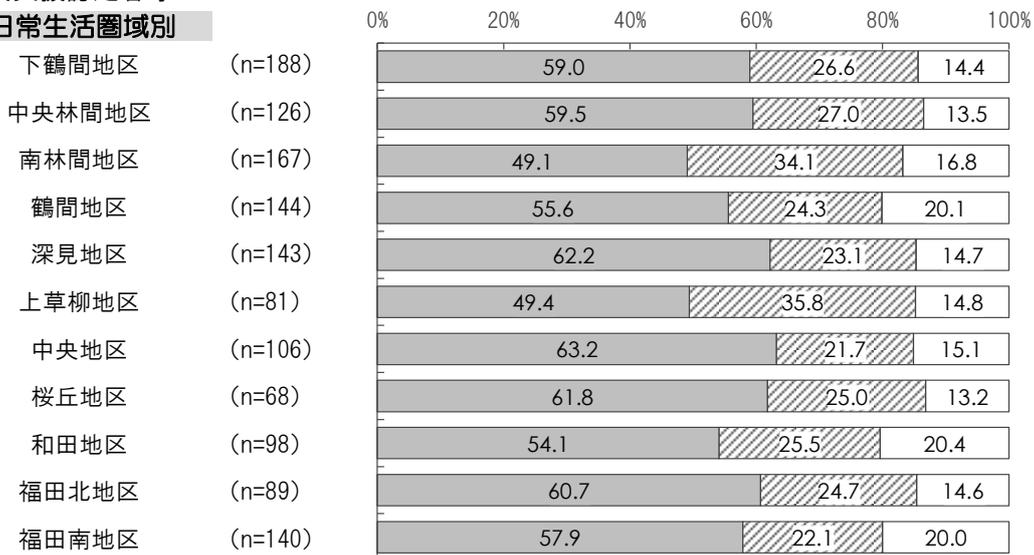
◆ 日常生活圏域別



■ 1つ以上の会・グループに参加している
 ▨ いずれの会・グループにも参加していない
 □ 全て無回答

<要支援認定者等>

◆ 日常生活圏域別



■ 1つ以上の会・グループに参加している
 ▨ いずれの会・グループにも参加していない
 □ 全て無回答

①～⑨の活動等に関して、1つでも参加している会・グループがあるかを日常生活圏域別にみると、「いずれの会・グループにも参加していない」人は、一般高齢者においては《中央林間地区》と《福田南地区》で3割以上と多い一方、《桜丘地区》では17.9%と、唯一2割を下回っている。また、要支援認定者等においては《南林間地区》と《上草柳地区》で35%前後と多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】

① ボランティアのグループ

一般高齢者	調査数 (人)	参加頻度 (%)							
		週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
全 体	3,272	0.9	1.4	1.3	4.6	2.9	53.4	35.6	
日常生活圏域別	下鶴間地区	467	0.9	0.9	0.9	4.9	1.9	56.7	33.8
	中央林間地区	299	0.7	2.3	1.0	3.7	1.7	61.5	29.1
	南林間地区	394	0.0	1.8	1.3	4.3	3.0	51.5	38.1
	鶴間地区	345	1.2	2.3	1.4	3.8	2.0	47.5	41.7
	深見地区	327	0.9	1.5	0.9	4.9	4.0	54.4	33.3
	上草柳地区	177	1.7	2.3	0.6	3.4	2.8	54.8	34.5
	中央地区	267	0.0	1.5	1.1	3.7	4.1	53.6	36.0
	桜丘地区	173	1.7	0.6	1.2	9.8	4.0	43.9	38.7
	和田地区	238	1.3	0.4	2.9	2.1	3.8	53.4	36.1
	福田北地区	213	0.9	0.0	2.3	5.6	2.8	54.0	34.3
	福田南地区	372	1.6	1.3	0.8	5.4	3.0	52.2	35.8

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

② スポーツ関係のグループやクラブ

一般高齢者	調査数 (人)	参加頻度 (%)							
		週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
全 体	3,272	4.4	8.9	6.4	3.6	1.8	45.4	29.6	
日常生活圏域別	下鶴間地区	467	5.6	9.4	5.4	3.6	1.1	48.2	26.8
	中央林間地区	299	5.7	8.4	4.7	2.7	2.3	49.8	26.4
	南林間地区	394	5.3	9.9	4.8	3.6	2.0	43.9	30.5
	鶴間地区	345	4.3	9.3	7.2	3.5	0.6	40.3	34.8
	深見地区	327	4.3	10.1	6.1	1.8	3.4	46.2	28.1
	上草柳地区	177	3.4	8.5	6.8	4.5	0.6	46.9	29.4
	中央地区	267	4.5	8.2	7.5	5.2	2.6	43.1	28.8
	桜丘地区	173	4.0	12.1	8.1	6.9	2.3	37.0	29.5
	和田地区	238	2.1	5.9	5.5	4.2	2.1	47.1	33.2
	福田北地区	213	3.3	7.0	10.8	1.4	1.4	47.4	28.6
	福田南地区	372	3.8	8.6	6.5	3.5	1.3	46.2	30.1

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

③ 趣味関係のグループ

一般高齢者	調査数（人）	参加頻度（％）							
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,272	1.6	4.9	6.1	12.0	3.8	43.8	27.8	
日常生活圏域別	下鶴間地区	467	2.1	6.2	5.1	13.1	2.8	46.0	24.6
	中央林間地区	299	2.0	6.4	3.7	13.0	3.7	49.5	21.7
	南林間地区	394	1.3	5.6	6.1	14.2	4.3	40.1	28.4
	鶴間地区	345	1.4	4.3	6.1	13.3	3.5	39.1	32.2
	深見地区	327	0.9	2.8	7.6	13.1	5.5	44.3	25.7
	上草柳地区	177	2.3	3.4	4.5	10.2	2.3	47.5	29.9
	中央地区	267	1.1	3.4	7.9	9.7	2.2	45.7	30.0
	桜丘地区	173	2.3	3.5	11.0	9.2	4.6	39.9	29.5
	和田地区	238	0.8	4.6	5.5	8.0	5.0	43.3	32.8
	福田北地区	213	0.9	6.1	6.6	12.2	4.7	44.6	24.9
福田南地区	372	1.9	5.4	5.6	11.8	3.5	43.0	28.8	

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

④ 学習・教養サークル

一般高齢者	調査数（人）	参加頻度（％）							
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,272	0.3	0.9	1.5	4.1	2.8	54.1	36.3	
日常生活圏域別	下鶴間地区	467	0.0	1.1	2.8	4.3	2.4	55.2	34.3
	中央林間地区	299	0.0	1.0	1.7	5.7	2.0	60.2	29.4
	南林間地区	394	0.0	1.3	2.3	4.8	1.8	51.5	38.3
	鶴間地区	345	0.6	0.9	0.3	2.6	2.9	49.0	43.8
	深見地区	327	0.3	0.9	0.9	7.0	2.8	56.3	31.8
	上草柳地区	177	0.0	0.6	0.6	4.5	4.0	53.7	36.7
	中央地区	267	0.4	1.5	3.0	1.5	2.2	55.4	36.0
	桜丘地区	173	0.6	0.6	1.7	2.9	5.8	49.1	39.3
	和田地区	238	0.4	0.4	0.0	1.7	4.2	52.1	41.2
	福田北地区	213	0.9	0.5	0.9	4.7	1.4	56.8	34.7
福田南地区	372	0.3	1.1	0.8	4.3	3.2	54.6	35.8	

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

⑤介護予防のための通いの場

一般高齢者	調査数(人)	参加頻度(%)							
		週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,272	0.3	0.4	0.7	0.6	0.7	59.1	38.2	
日常生活圏域別	下鶴間地区	467	0.0	0.0	0.9	0.4	0.6	62.3	35.8
	中央林間地区	299	0.7	0.3	0.0	0.3	0.0	66.2	32.4
	南林間地区	394	0.3	1.3	0.8	0.3	0.0	57.6	39.8
	鶴間地区	345	0.3	0.3	1.4	0.9	0.9	52.8	43.5
	深見地区	327	0.9	0.3	0.3	0.9	1.5	60.6	35.5
	上草柳地区	177	0.0	0.0	0.6	1.1	0.0	60.5	37.9
	中央地区	267	0.4	0.4	0.7	0.4	0.4	58.8	39.0
	桜丘地区	173	1.2	0.0	1.2	0.6	1.2	53.8	42.2
	和田地区	238	0.0	0.4	0.4	0.8	0.0	57.1	41.2
	福田北地区	213	0.0	0.5	0.9	1.4	2.3	59.2	35.7
福田南地区	372	0.3	0.3	0.3	0.3	1.3	58.9	38.7	

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

⑥老人クラブ

一般高齢者	調査数(人)	参加頻度(%)							
		週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,272	0.4	0.5	0.6	2.8	2.3	57.7	35.8	
日常生活圏域別	下鶴間地区	467	0.2	0.2	0.0	3.4	3.0	60.6	32.5
	中央林間地区	299	0.3	0.3	0.0	1.3	1.7	65.6	30.8
	南林間地区	394	0.3	0.5	0.3	2.3	1.3	56.6	38.8
	鶴間地区	345	0.6	1.2	0.9	1.7	2.0	50.7	42.9
	深見地区	327	0.3	0.0	1.8	4.9	4.0	59.0	30.0
	上草柳地区	177	0.6	0.0	1.1	2.3	3.4	57.1	35.6
	中央地区	267	0.4	0.7	1.1	1.9	1.9	58.4	35.6
	桜丘地区	173	1.2	0.6	1.2	6.9	3.5	47.4	39.3
	和田地区	238	0.4	1.3	0.0	1.3	0.8	56.7	39.5
	福田北地区	213	0.0	0.5	0.9	3.3	2.3	59.2	33.8
福田南地区	372	0.3	0.0	0.3	2.2	1.6	58.9	36.8	

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

⑦自治会

一般高齢者	調査数（人）	参加頻度（％）							
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,272	0.8	0.7	1.0	5.1	13.3	45.4	33.6	
日常生活圏域別	下鶴間地区	467	1.1	0.4	0.2	4.5	11.8	49.5	32.5
	中央林間地区	299	1.0	1.0	0.0	4.3	9.4	54.2	30.1
	南林間地区	394	0.3	0.8	1.3	4.6	10.9	47.0	35.3
	鶴間地区	345	1.4	0.9	2.3	3.8	12.8	41.4	37.4
	深見地区	327	0.6	1.5	0.6	5.2	17.4	45.6	29.1
	上草柳地区	177	0.6	0.6	1.1	2.3	18.6	42.4	34.5
	中央地区	267	0.0	0.0	0.7	9.4	13.1	44.6	32.2
	桜丘地区	173	2.3	1.2	1.7	12.1	17.3	31.2	34.1
	和田地区	238	1.3	0.0	1.3	5.0	12.2	42.4	37.8
	福田北地区	213	0.9	0.9	1.4	6.6	17.4	40.8	31.9
福田南地区	372	0.0	0.3	1.1	2.7	12.1	48.4	35.5	

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

⑧収入のある仕事（シルバー人材センターなど）

一般高齢者	調査数（人）	参加頻度（％）							
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,272	6.6	4.7	1.0	1.4	0.7	51.0	34.7	
日常生活圏域別	下鶴間地区	467	4.7	4.5	0.6	1.1	0.4	55.7	33.0
	中央林間地区	299	7.7	5.7	1.0	2.7	1.3	53.8	27.8
	南林間地区	394	7.4	2.8	0.3	1.5	0.3	50.3	37.6
	鶴間地区	345	6.1	7.5	1.7	0.9	0.0	43.5	40.3
	深見地区	327	6.4	4.3	0.9	2.4	1.2	52.3	32.4
	上草柳地区	177	8.5	5.6	2.3	1.7	0.6	47.5	33.9
	中央地区	267	8.2	5.6	0.4	0.4	0.7	49.8	34.8
	桜丘地区	173	2.3	2.3	1.7	0.6	1.7	52.0	39.3
	和田地区	238	8.4	5.5	1.3	1.7	0.4	47.1	35.7
	福田北地区	213	9.4	4.2	0.5	1.4	0.5	51.2	32.9
福田南地区	372	5.4	3.5	1.1	0.8	0.8	53.8	34.7	

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

⑨地区社会福祉協議会（ミニサロン）

一般高齢者	調査数（人）	参加頻度（％）							
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体	3,356	0.2	0.2	0.4	1.9	1.8	58.5	37.0	
日常生活圏域別	下鶴間地区	467	0.4	0.2	0.2	3.2	1.1	61.7	33.2
	中央林間地区	299	0.7	0.3	0.3	0.3	2.0	64.5	31.8
	南林間地区	394	0.0	0.3	0.0	1.5	1.3	57.4	39.6
	鶴間地区	345	0.0	0.0	1.2	0.6	0.9	53.6	43.8
	深見地区	327	0.0	0.0	0.6	2.4	1.8	61.2	33.9
	上草柳地区	177	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7	61.6	35.0
	中央地区	267	0.4	0.0	0.7	3.7	1.9	56.6	36.7
	桜丘地区	173	0.6	0.6	0.0	2.9	6.4	50.3	39.3
	和田地区	238	0.0	0.0	0.4	2.1	0.0	57.1	40.3
	福田北地区	213	0.9	0.9	1.4	1.9	3.8	56.8	34.3
福田南地区	372	0.0	0.0	0.0	0.8	1.1	59.9	38.2	

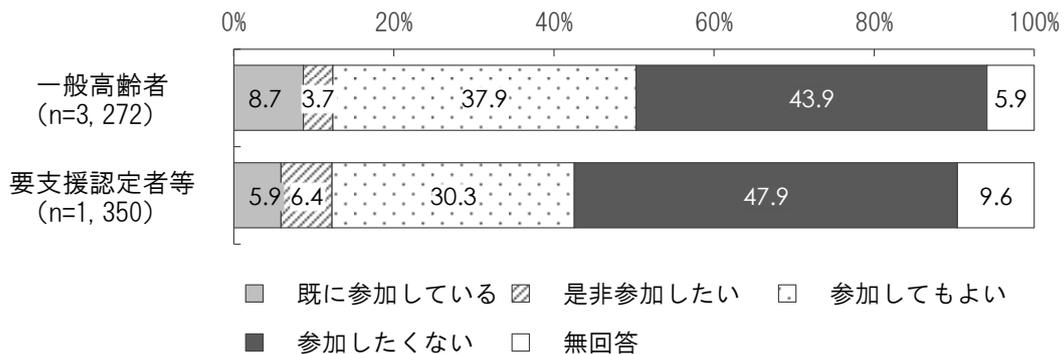
※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

一般高齢者の結果を日常生活圏域別にみると、すべての日常生活圏域においてすべての項目で「参加していない」が多くなっている。特に《中央林間地区》においては、9項目中8項目で「参加していない」が日常生活圏域別で一番多くなっている。

《一般高齢者：問 24・要支援認定者等：問 23》

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

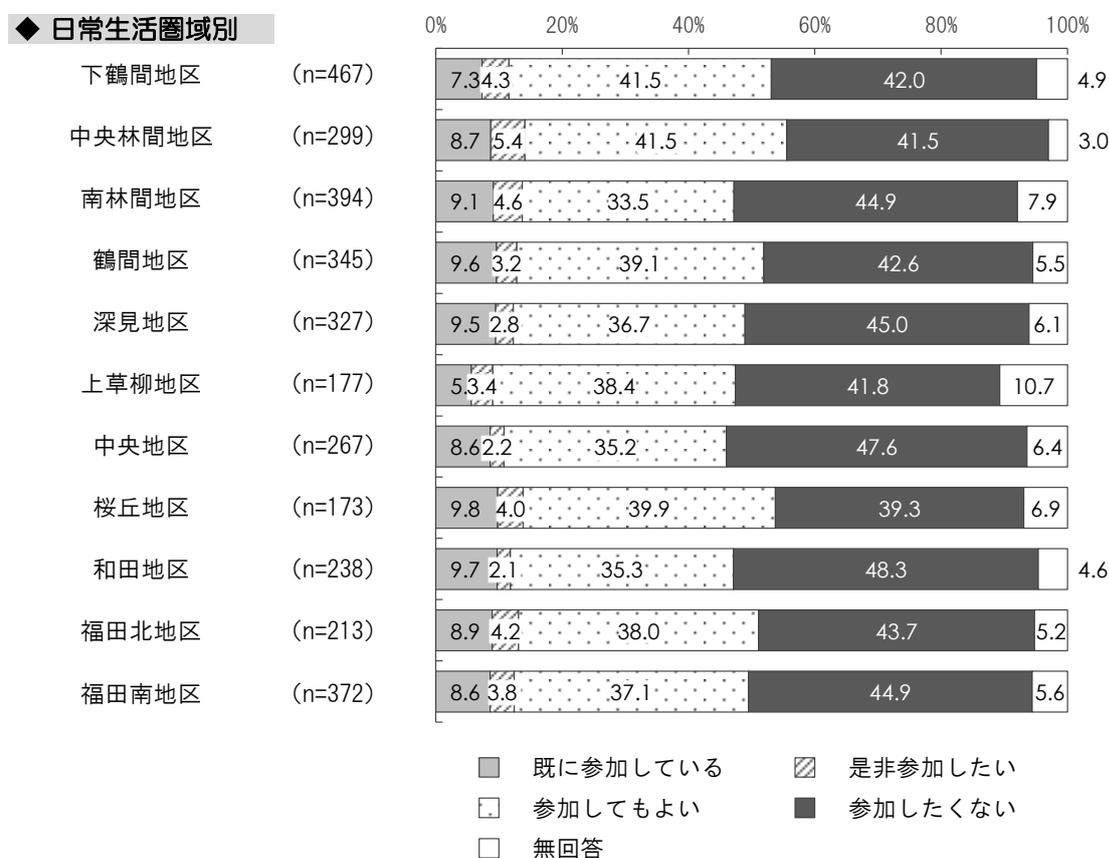
【単純集計】



いきいきした地域づくりのための活動への参加者としての参加意向は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「参加したくない」が4割を超えて最も多く、「参加してもよい」が続く。

『参加（既に参加している＋是非参加したい＋参加してもよい）』と「参加したくない」で見ると、一般高齢者は『参加（既に参加している＋是非参加したい＋参加してもよい）』が50.3%で過半数を占めるが、要支援認定者等では42.6%で、「参加したくない」の方がやや多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】



一般高齢者の結果を日常生活圏域別にみると、参加に肯定的な「既に参加している」、「是非参加したい」、「参加してもよい」の合計が、《下鶴間地区》・《中央林間地区》・《鶴間地区》・《桜丘地区》・《福田北地区》において半数を超えて多くなっている。

一方、《和田地区》と《中央地区》においては「参加したくない」が40%台の後半と、ほぼ半数近くを占めている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別 参加意向者×問 23（参加していない）】

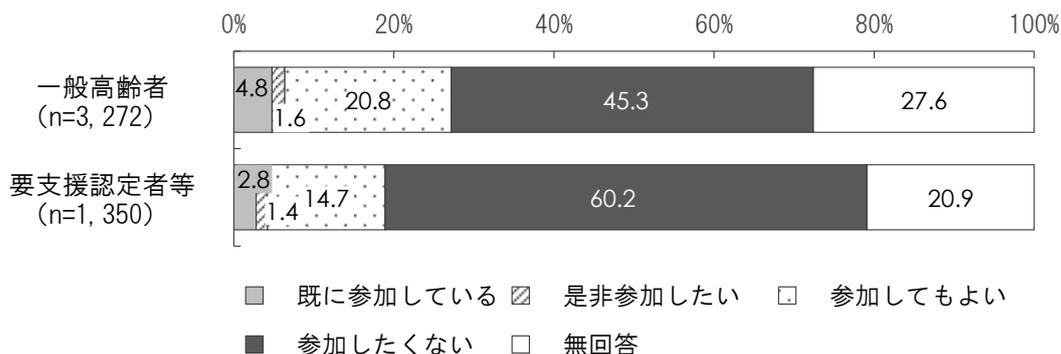
	調査数（人）	活動内容（会やグループ）									
		① ボランティアのグループ	② グスポートツや関係のグループ	③ 趣味関係のグループ	④ 学習・教養サークル	⑤ 介護予防のための通いの場	⑥ 老人クラブ	⑦ 自治会	⑧ 収入のある仕事（シルバー人材センターなど）	⑨ 地区社会福祉協議会（ミニサロン）	
一般高齢者											
全体	1,360	50.8	39.9	38.8	51.0	58.8	56.8	40.9	48.0	58.1	
日常生活圏域別	下鶴間地区	214	57.5	46.7	43.5	53.7	62.6	61.7	45.3	53.7	61.7
	中央林間地区	140	60.0	40.7	45.7	58.6	66.4	65.0	53.6	51.4	63.6
	南林間地区	150	49.3	40.7	34.7	48.0	57.3	56.7	39.3	49.3	56.7
	鶴間地区	146	41.8	36.3	32.9	44.5	51.4	47.3	38.4	41.1	52.1
	深見地区	129	51.9	40.3	41.1	52.7	59.7	58.1	42.6	49.6	62.0
	上草柳地区	74	59.5	41.9	43.2	54.1	67.6	60.8	41.9	50.0	68.9
	中央地区	100	44.0	29.0	34.0	46.0	52.0	49.0	36.0	36.0	50.0
	桜丘地区	76	35.5	27.6	28.9	40.8	47.4	40.8	25.0	46.1	43.4
	和田地区	89	48.3	40.4	38.2	44.9	53.9	52.8	34.8	41.6	53.9
	福田北地区	90	51.1	42.2	38.9	53.3	58.9	58.9	31.1	46.7	53.3
	福田南地区	152	51.3	42.1	39.5	56.6	62.5	62.5	45.4	53.3	64.5

一般高齢者で『参加したい（是非参加したい+参加してもよい）』と回答した人のみを母数に集計を行い、それぞれの活動内容（46 ページ参照）で「参加していない」と回答した割合を、日常生活圏域別にみると、《中央林間地区》において、9つの活動内容中、7項目で全体平均よりも5ポイント以上多く、参加意向はあるが、実際には参加していない人が多い地区であると推測される。一方、《鶴間地区》、《中央地区》、《桜丘地区》は全体平均よりも5ポイント以上少ない項目が多い地区となっている。

《一般高齢者：問 25・要支援認定者等：問 24》

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営側（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

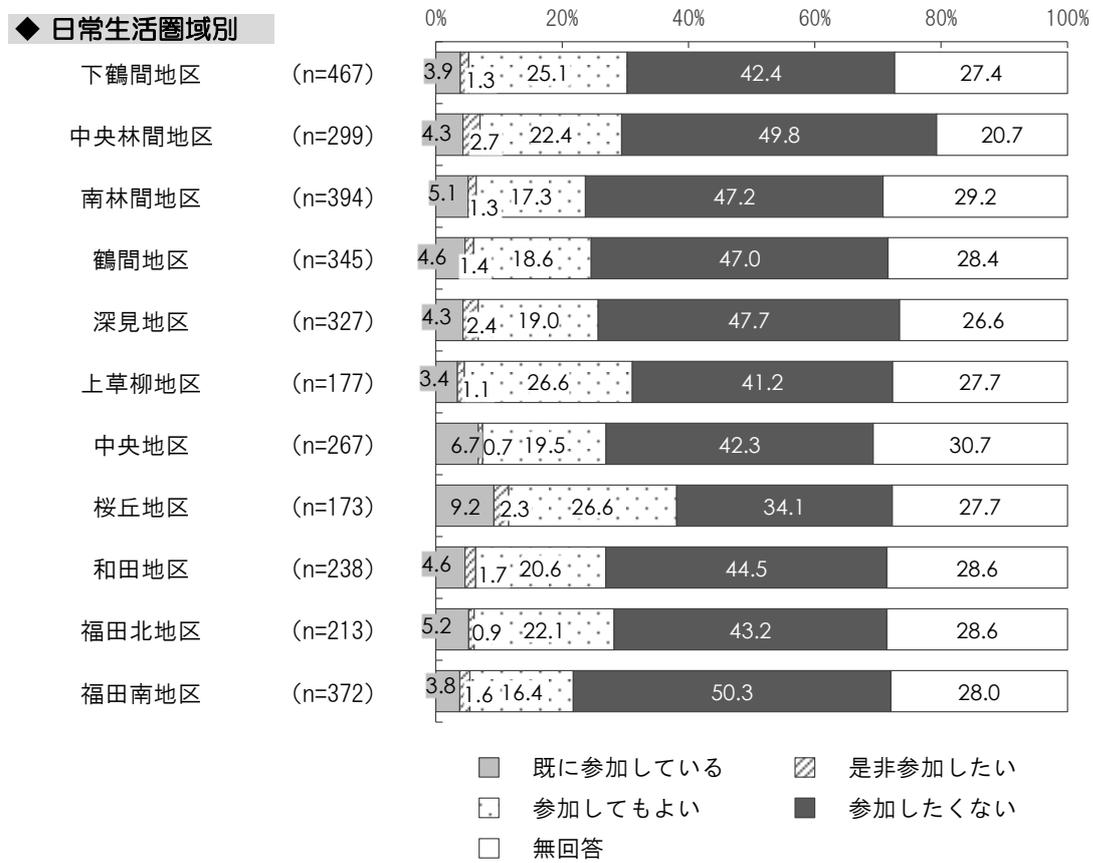
【単純集計】



いきいきした地域づくりのための活動への企画・運営側（お世話役）としての参加意向は、「参加したくない」が、一般高齢者では45.3%、要支援認定者等では60.2%と、突出して多くなっている。

『参加（既に参加している＋是非参加したい＋参加してもよい）』でも、一般高齢者は『参加（既に参加している＋是非参加したい＋参加してもよい）』が27.2%で、要支援認定者等では18.9%で、「参加したくない」の方が多くなっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】



一般高齢者の結果を日常生活圏域別にみると、参加に肯定的な「既に参加している」、「是非参加したい」、「参加してもよい」の合計が、《下鶴間地区》・《上草柳地区》・《桜丘地区》において3割を超えて多くなっている。

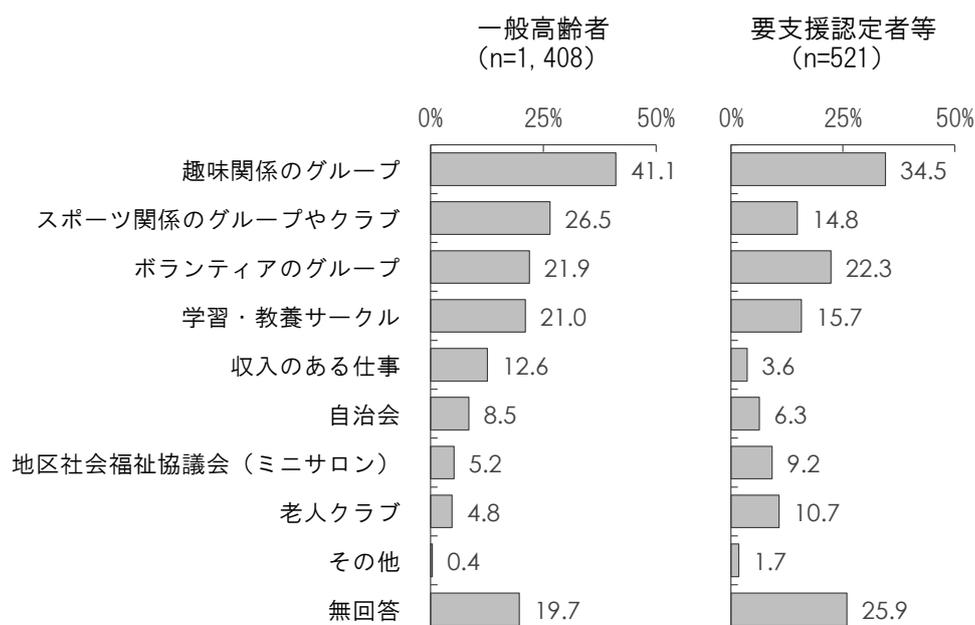
一方、《福田南地区》においては「参加したくない」が50.3%と、唯一、半数を超えている。

一般高齢者：問 24 または問 25・要支援認定者等：問 23 または問 24 で「是非参加したい」または「参加してもよい」と回答した方のみ

《一般高齢者：問 25-1・要支援認定者等：問 24-1》

どのような活動に参加したい（参加してもよい）ですか。（複数回答可）

【単純集計】



参加したい（参加してもよい）活動は、一般高齢者・要支援認定者等ともに「趣味関係のグループ」が最も多くなっている。第2位以降は順位が異なり、一般高齢者は「スポーツ関係のグループやクラブ」、「ボランティアのグループ」の順で続き、要支援認定者等は「ボランティアのグループ」、「学習・教養サークル」の順で続く。

また、多くの項目で、一般高齢者の方が要支援者等よりも高い割合のなか、「ボランティアのグループ」、「地区社協福祉協議会（ミニサロン）」、「老人クラブ」の3項目においては、要支援者の方が多くなっている。特に、「老人クラブ」においては、一般高齢者の2倍以上の割合となっている。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】

一般高齢者	調査数（人）	参加したい（してもよい）活動（％）										
		趣味関係のグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	ボランティアのグループ	学習・教養サークル	収入のある仕事	自治会	地区社会福祉協議会（ミニサロン）	老人クラブ	その他	無回答	
全体	1,408	41.1	26.5	21.9	21.0	12.6	8.5	5.2	4.8	0.4	19.7	
日常生活圏域別	下鶴間地区	221	40.3	27.6	24.9	28.1	14.0	5.4	4.1	3.6	0.0	18.6
	中央林間地区	141	43.3	27.0	22.0	22.7	16.3	7.1	6.4	3.5	0.7	16.3
	南林間地区	158	41.1	27.2	22.8	20.9	4.4	11.4	4.4	6.3	0.0	24.1
	鶴間地区	149	38.9	23.5	24.2	17.4	11.4	8.1	2.7	4.0	0.0	18.8
	深見地区	134	45.5	25.4	17.2	21.6	12.7	10.4	4.5	6.0	0.0	20.1
	上草柳地区	80	46.3	25.0	18.8	18.8	16.3	7.5	1.3	2.5	1.3	18.8
	中央地区	103	40.8	29.1	21.4	21.4	10.7	14.6	7.8	7.8	1.0	19.4
	桜丘地区	80	41.3	30.0	25.0	23.8	8.8	10.0	7.5	8.8	0.0	18.8
	和田地区	94	35.1	21.3	24.5	19.1	16.0	5.3	4.3	4.3	1.1	20.2
	福田北地区	94	38.3	27.7	17.0	19.1	11.7	12.8	8.5	5.3	0.0	20.2
福田南地区	154	41.6	27.3	20.1	13.6	16.2	5.2	7.1	3.2	0.6	20.8	

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

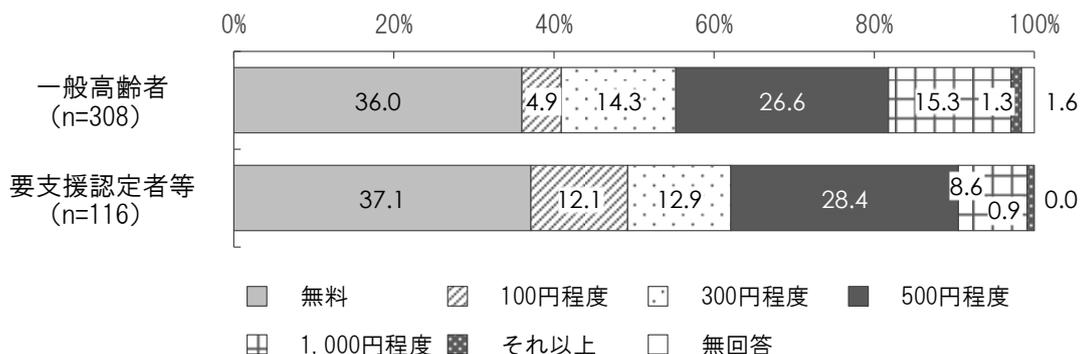
一般高齢者の結果を日常生活圏域別にみると、《下鶴間地区》において「学習・教養サークル」が28.1%と多く、《深見地区》・《上草柳地区》において「趣味関係のグループ」が45%を超えて多くなっている。また、《南林間地区》・《桜丘地区》において「収入のある仕事」が1割を下回って少なくなっている。

一般高齢者：問 25・要支援認定者等：問 24 で「ボランティアのグループ」と回答した方のみ

《一般高齢者：問 25-1-1・要支援認定者等：問 24-1-1》

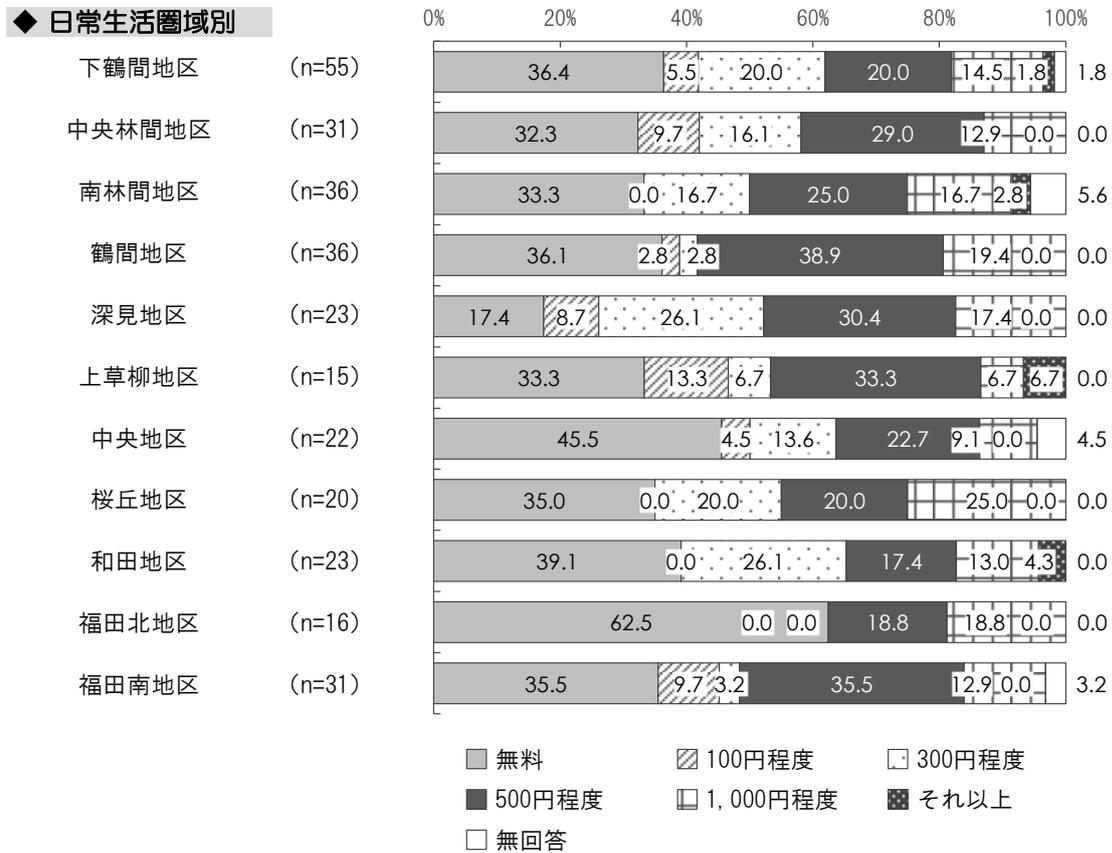
家事支援（30分程度）のボランティアを行う場合、1回の依頼につき、どの程度の対価が適当と考えますか。（単数回答）

【単純集計】



家事支援（30分程度）のボランティアを行う場合、1回の依頼につき、適当と考える対価は、一般高齢者・要支援認定者等ともに類似した傾向がみられ、「無料」が3割を超えて最も多く、「500円程度」が続く。また、ボランティアを受ける場合の結果（45ページ）と比べると、一般高齢者、要支援認定者等とも「無料」の割合が2割以上多く、ボランティアを受ける時は料金を負担しても良いが、自らボランティアを行う際は、無料でも構わないと考えている人が比較的多いことがうかがえる。

【クロス集計：一般高齢者：日常生活圏域別】



一般高齢者の結果を日常生活圏域別にみると、「300円程度」が2割を超えて多く、「鶴間地区」・「深見地区」・「桜丘地区」・「和田地区」において「500円程度」が3割を超えて多くなっている。

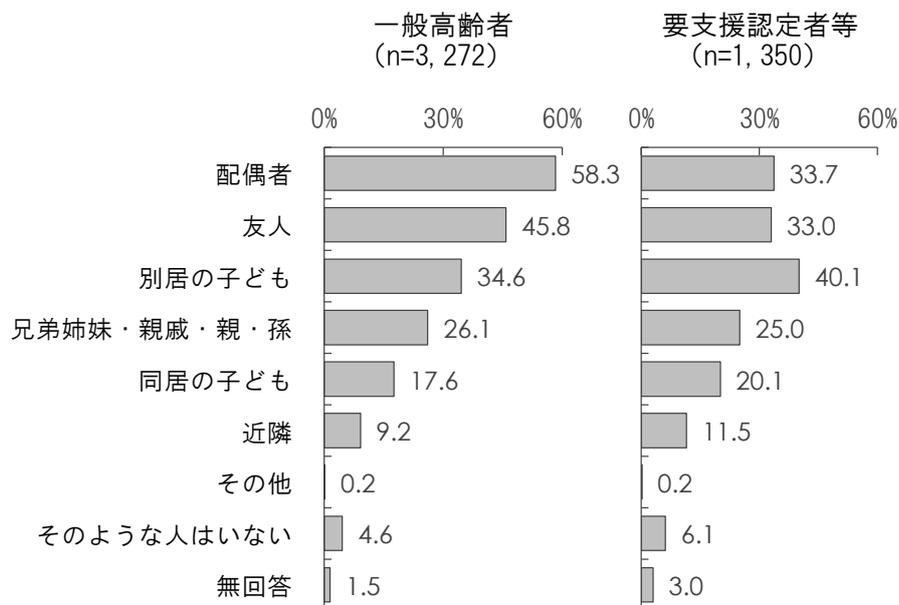
また、「福田北地区」において「無料」が62.5%と多く、「桜丘地区」において「1,000円程度」が25.0%と多くなっている。

6 たすけあいについて

《一般高齢者：問 26・要支援認定者等：問 25》

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人は誰ですか。(複数回答可)

【単純集計】



心配事や愚痴を聞いてくれる人は、一般高齢者において「配偶者」が58.3%と最も多く、「友人」、「別居の子ども」が続く。一方、要支援認定者等においては、「配偶者」が33.7%と、一般高齢者よりも24.6ポイント少なく、最も多い項目は「別居の子ども」の40.1%で、唯一4割を上回っている。次いで「配偶者」、「友人」の順となっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：性別＋前期後期別】

一般高齢者		調査数（人）	心配事や愚痴を聞いてくれる人（％）								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3,272	58.3	17.6	34.6	26.1	9.2	45.8	0.2	4.6	1.5
性別・前期後期別	男性・前期高齢者	833	72.3	11.3	24.0	20.6	2.0	33.6	0.2	7.6	0.8
	男性・後期高齢者	766	72.1	13.8	31.3	16.2	6.9	26.9	0.3	6.3	2.9
	女性・前期高齢者	911	53.2	21.4	41.5	36.2	13.3	66.6	0.1	2.0	0.7
	女性・後期高齢者	762	35.4	23.8	41.3	30.1	14.4	53.1	0.3	3.0	1.8

要支援認定者等		調査数（人）	心配事や愚痴を聞いてくれる人（％）								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,350	33.7	20.1	40.1	25.0	11.5	33.0	0.2	6.1	3.0
性別・前期後期別	男性・前期高齢者	73	43.8	9.6	30.1	19.2	4.1	17.8	0.0	17.8	5.5
	男性・後期高齢者	381	54.9	15.2	36.0	16.5	6.6	14.4	0.0	8.4	2.9
	女性・前期高齢者	140	35.0	20.7	34.3	30.0	12.9	59.3	0.7	5.0	0.0
	女性・後期高齢者	756	21.8	23.4	44.2	29.0	14.4	39.0	0.3	4.1	3.3

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

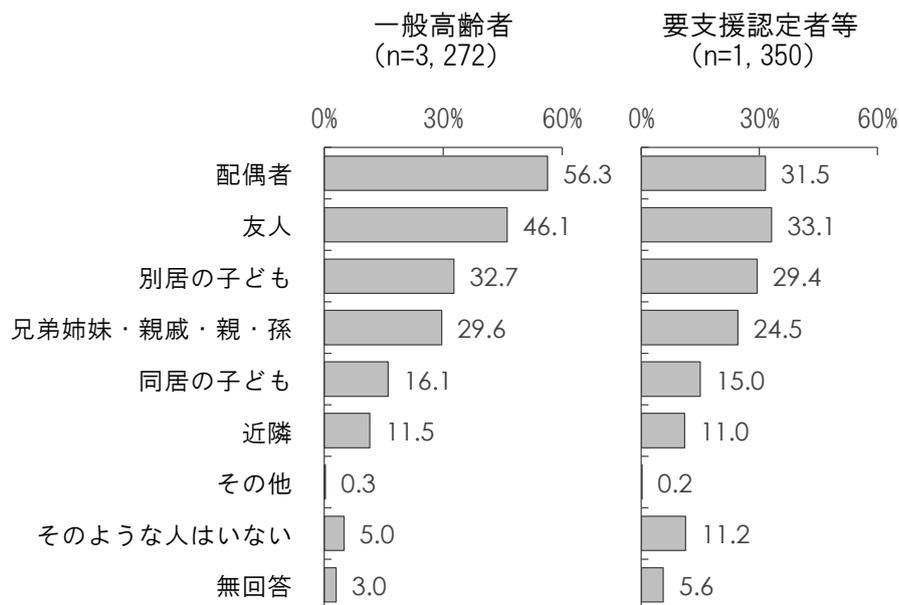
性別・前期後期別にみると、一般高齢者・要支援認定者等ともに、《男性》においては《前期高齢者》及び《後期高齢者》とも「配偶者」にかなり回答が集中している。一方、《女性》においては、「配偶者」以外の項目で《男性》の割合を大きく上回っており、多岐にわたって心配事や愚痴を聞いてくれる人がいることがわかる。特に、《女性・前期高齢者》の「友人」は66.6%と、「配偶者」よりも多く、《男性・前期高齢者》の「友人」の約2倍となっている。

また、「そのような人はいない」は、要支援認定者等の《男性・前期高齢者》において17.8%と、比較的多く、一般高齢者においては、男女とも1割を下回っているものの、《男性》の方が《女性》の2倍以上の割合となっている。

《一般高齢者：問 27・要支援認定者等：問 26》

あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人は誰ですか。(複数回答可)

【単純集計】



心配事や愚痴を聞いてあげる人は、一般高齢者において「配偶者」が56.3%と最も多く、「友人」、「別居の子ども」が続く。一方、要支援認定者等においては、“心配事や愚痴を聞いてくれる人(62ページ参照)”と同様、「配偶者」が31.5%と、一般高齢者よりも24.8ポイント少なく、最も多い項目は「友人」で33.1%となっている。次いで、僅差で「配偶者」、「別居の子ども」の順となっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：性別＋前期後期別】

一般高齢者		調査数（人）	心配事や愚痴を聞いてあげる人（％）								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3,272	56.3	16.1	32.7	29.6	11.5	46.1	0.3	5.0	3.0
性別・前期後期別	男性・前期高齢者	833	72.6	12.8	25.9	23.3	4.8	33.3	0.2	7.3	1.7
	男性・後期高齢者	766	70.0	14.0	30.5	20.4	8.6	27.7	0.1	6.3	4.8
	女性・前期高齢者	911	48.3	18.4	38.3	40.0	16.5	68.1	0.5	2.9	1.2
	女性・後期高齢者	762	34.4	19.0	35.4	33.6	15.7	52.6	0.4	3.5	4.6

要支援認定者等		調査数（人）	心配事や愚痴を聞いてあげる人（％）								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,350	31.5	15.0	29.4	24.5	11.0	33.1	0.2	11.2	5.6
性別・前期後期別	男性・前期高齢者	73	38.4	9.6	21.9	20.5	2.7	17.8	0.0	23.3	6.8
	男性・後期高齢者	381	54.6	11.5	29.1	16.5	7.1	15.0	0.0	12.3	5.2
	女性・前期高齢者	140	28.6	19.3	31.4	32.9	13.6	57.9	0.0	5.7	1.4
	女性・後期高齢者	756	19.7	16.5	29.9	27.4	13.2	39.2	0.4	10.4	6.3

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

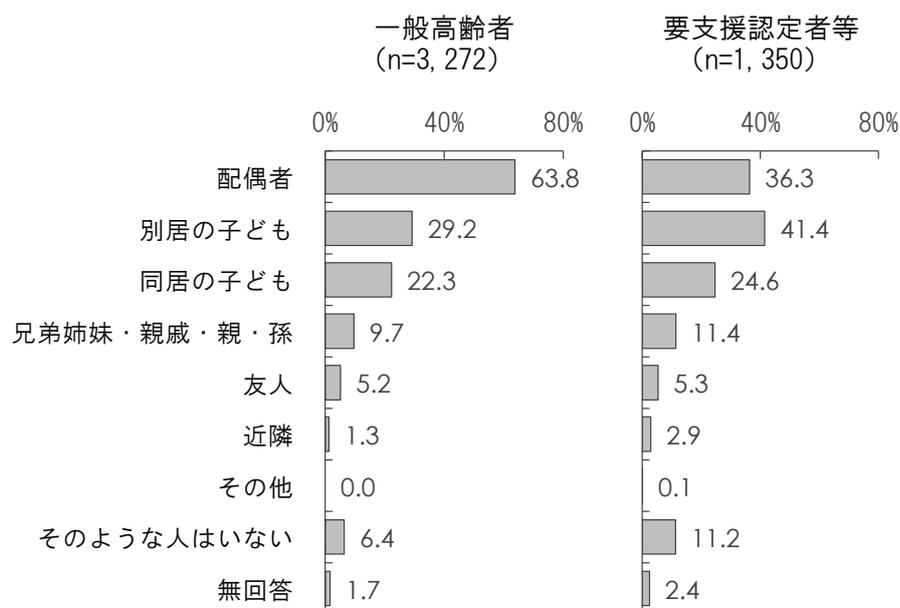
性別・前期後期別にみると、一般高齢者・要支援認定者等ともに、「男性」においては「前期高齢者」及び「後期高齢者」とも「配偶者」にかなり回答が集中している。一方、「女性」においては、「配偶者」以外の項目で「男性」の割合を大きく上回っており、多岐にわたって心配事や愚痴を聞いてあげる人もいることがわかる。

また、「そのような人はいない」は、要支援認定者等の「男性・前期高齢者」において23.3%と、唯一2割を超えて多くなっている。

《一般高齢者：問 28・要支援認定者等：問 27》

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。
(複数回答可)

【単純集計】



看病や世話をしてくれる人は、一般高齢者において「配偶者」が 63.8%と最も多く、「別居の子ども」、「同居の子ども」が続く。一方、要支援認定者等においては、「配偶者」が 36.3%と、一般高齢者よりも 27.5 ポイント少なく、最も多い項目は「別居の子ども」の 41.4%で、唯一 4 割を上回っている。次いで「配偶者」、「同居の子ども」の順となっている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：性別＋前期後期別】

一般高齢者		調査数（人）	看病や世話をしてくれる人（％）								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3,272	63.8	22.3	29.2	9.7	1.3	5.2	0.0	6.4	1.7
性別・前期後期別	男性・前期高齢者	833	78.9	14.5	14.3	6.8	0.0	2.2	0.0	8.8	1.0
	男性・後期高齢者	766	76.0	18.0	28.6	7.2	0.4	3.3	0.0	5.2	1.7
	女性・前期高齢者	911	59.4	25.5	32.7	12.4	2.0	7.5	0.0	6.9	1.6
	女性・後期高齢者	762	40.2	31.2	41.7	12.1	2.6	7.9	0.1	4.3	2.8

要支援認定者等		調査数（人）	看病や世話をしてくれる人（％）								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,350	36.3	24.6	41.4	11.4	2.9	5.3	0.1	11.2	2.4
性別・前期後期別	男性・前期高齢者	73	46.6	8.2	20.5	16.4	0.0	5.5	1.4	19.2	4.1
	男性・後期高齢者	381	56.7	20.5	33.6	8.4	1.0	2.6	0.0	9.2	2.4
	女性・前期高齢者	140	43.6	22.9	38.6	10.0	3.6	6.4	0.0	15.7	0.0
	女性・後期高齢者	756	23.7	28.6	47.9	12.7	4.0	6.5	0.0	10.6	2.8

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

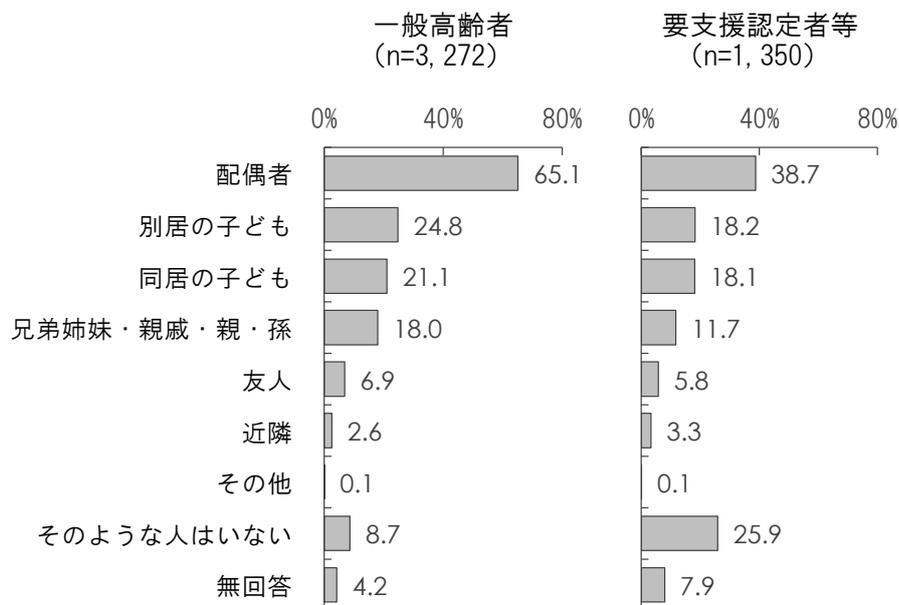
性別・前期後期別にみると、一般高齢者・要支援認定者等ともに、「男性」においては「前期高齢者」及び「後期高齢者」とも「配偶者」にかなり回答が集中している。一方、「女性」においては、「配偶者」以外の多くの項目で「男性」の割合を上回っており、多岐にわたって看病や世話をしてくれる人がいることがわかる。

また、「そのような人はいない」は、要支援認定者等の「男性・前期高齢者」において19.2%と、比較的多くなっている。

《一般高齢者：問 29・要支援認定者等：問 28》

反対に、看病や世話をしてあげる人は誰ですか。(複数回答可)

【単純集計】



看病や世話をしてあげる人は、一般高齢者において「配偶者」が 65.1%と最も多く、「別居の子ども」、「同居の子ども」が続く。一方、要支援認定者等においても、「配偶者」が 38.7%と最も多く、「そのような人はいない」、「別居の子ども」が続く。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：性別＋前期後期別】

一般高齢者		調査数（人）	看病や世話をしあける人（％）								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3,272	65.1	21.1	24.8	18.0	2.6	6.9	0.1	8.7	4.2
性別・前期後期別	男性・前期高齢者	833	75.9	17.2	15.2	14.0	0.7	3.7	0.1	11.0	2.6
	男性・後期高齢者	766	75.2	16.1	19.1	11.1	1.2	4.6	0.0	7.0	6.1
	女性・前期高齢者	911	63.9	25.8	33.8	27.9	4.2	10.2	0.0	6.9	1.3
	女性・後期高齢者	762	44.8	24.7	30.1	17.6	4.2	8.7	0.3	10.1	7.6

要支援認定者等		調査数（人）	看病や世話をしあける人（％）								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,350	38.7	18.1	18.2	11.7	3.3	5.8	0.1	25.9	7.9
性別・前期後期別	男性・前期高齢者	73	39.7	12.3	12.3	13.7	1.4	4.1	0.0	37.0	4.1
	男性・後期高齢者	381	57.2	14.2	16.8	9.4	1.6	3.9	0.3	22.6	4.7
	女性・前期高齢者	140	47.9	22.1	23.6	19.3	4.3	6.4	0.0	18.6	3.6
	女性・後期高齢者	756	27.5	19.8	18.5	11.2	4.1	6.7	0.1	27.8	10.7

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

性別・前期後期別にみると、一般高齢者・要支援認定者等ともに、「男性」においては「前期高齢者」及び「後期高齢者」とも「配偶者」にかなり回答が集中している。一方、「女性」においては、「配偶者」以外の多くの項目で「男性」の割合を上回っており、多岐にわたって看病や世話をしあける人があることがわかる。

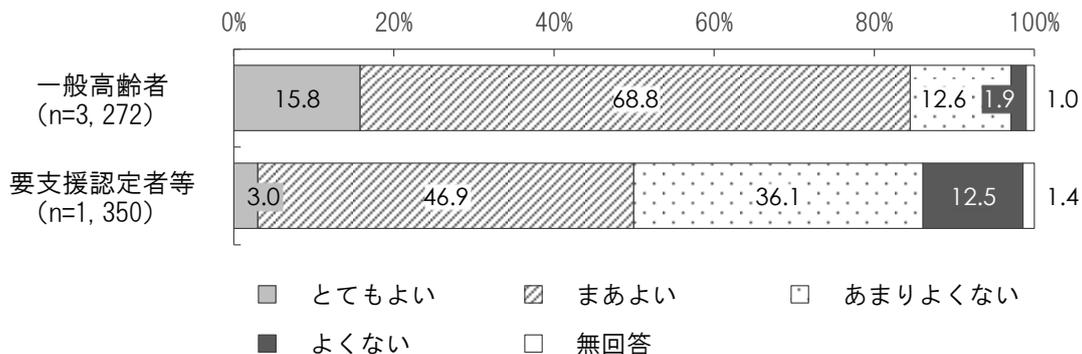
また、「そのような人はいない」は、要支援認定者等の「男性・前期高齢者」において37.0%と、「女性・前期高齢者」の約2倍の割合と高くなっている。

7 健康について

《一般高齢者：問 30・要支援認定者等：問 29》

現在のあなたの健康状態はいかがですか。(単数回答)

【単純集計】

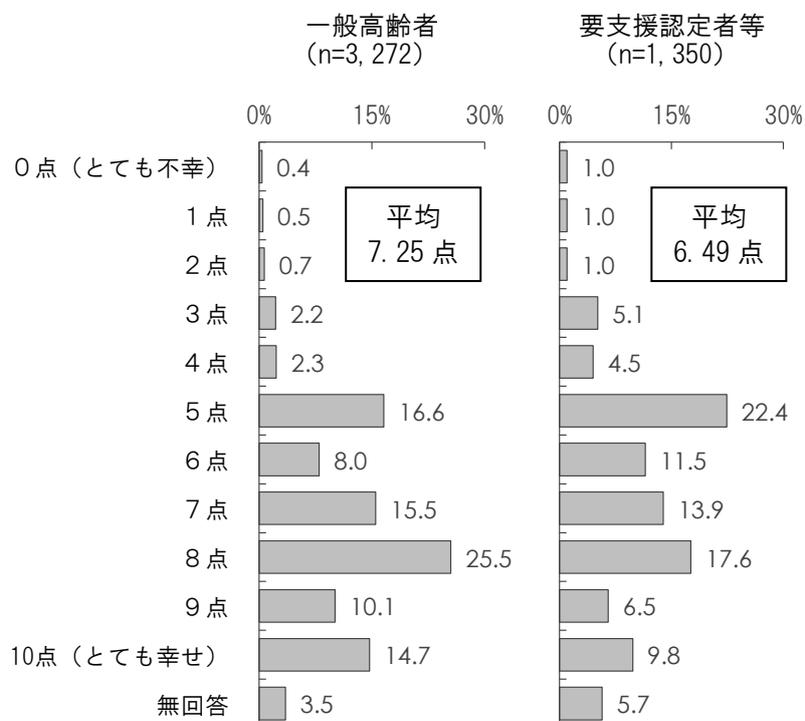


現在の健康状態は、一般高齢者・要支援認定者等ともに「まあよい」が最も多くなっている一方で、一般高齢者では68.8%、要支援認定者等においては46.9%と、21.9ポイントの差がみられる。また、『よい(とてもよい+まあよい)』は、一般高齢者では84.6%と、大半を占めているのに対し、要支援認定者等については49.9%と、約半数となっている。

《一般高齢者：問 31・要支援認定者等：問 30》

現在どの程度幸せですか。（単数回答）

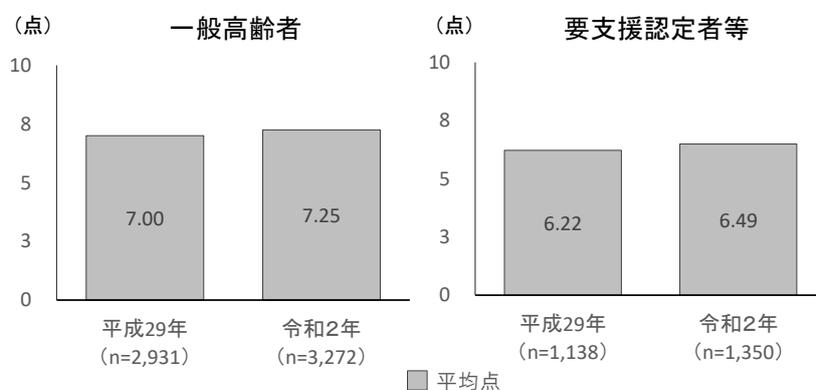
【単純集計】



幸福度は、一般高齢者において「8点」が25.5%と最も多くなっている一方で、要支援認定者等においては「5点」が22.4%と最も多くなっている。

平均点は、一般高齢者では7.25点、要支援認定者等においては6.49点と、0.76点の差が見られる。

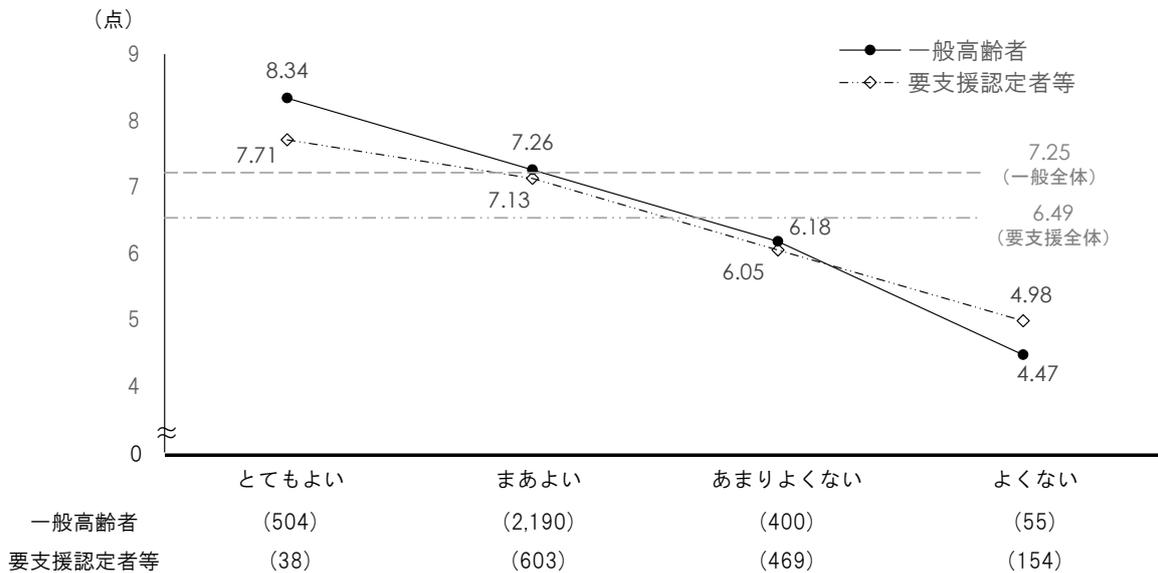
【経年比較】



* 平成26年調査では、当該設問はない

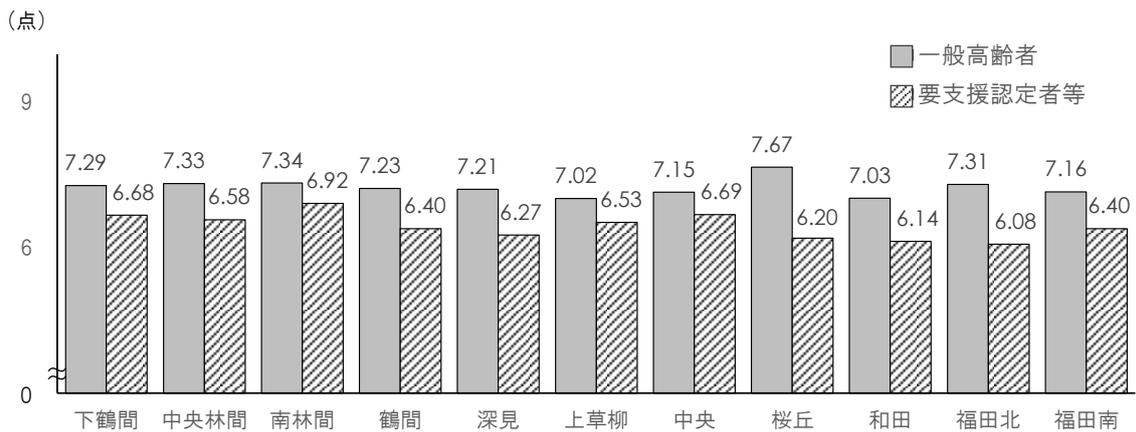
前回と比較してみると、一般高齢者では0.25点、要支援認定者等では0.27点、それぞれ平均点が増加しており、幸福度は微増している。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：健康状態別】



健康状態別にみると、一般高齢者・要支援認定者等ともに、健康状態がよくない状態ほど幸福度の平均点は下がっており、健康状態と幸福度の相関関係が顕著にみられる。特に、一般高齢者の方が平均点の減少幅は大きく、「とてもよい」の8.34点に対し、「よくない」は4.47点と、半分近くまで減っている。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等：日常生活圏域別】

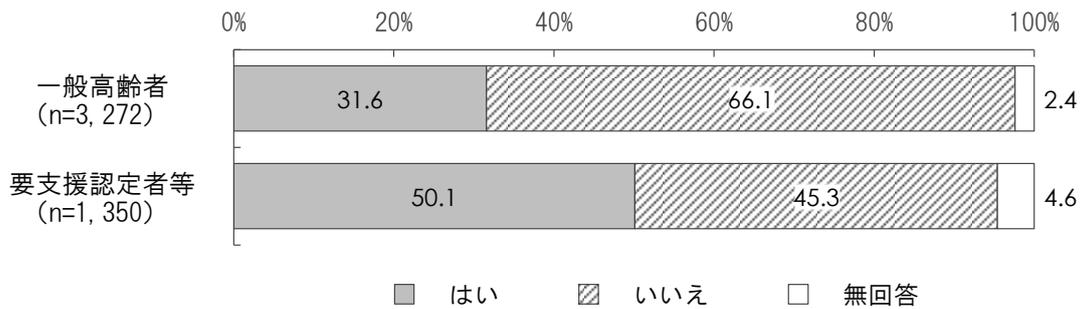


日常生活圏域別にみると、いずれの地区においても一般高齢者は7点台、要支援認定者等は6点台となっており、大きな差異はみられない。

《一般高齢者：問 32・要支援認定者等：問 31》

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（単数回答）

【単純集計】

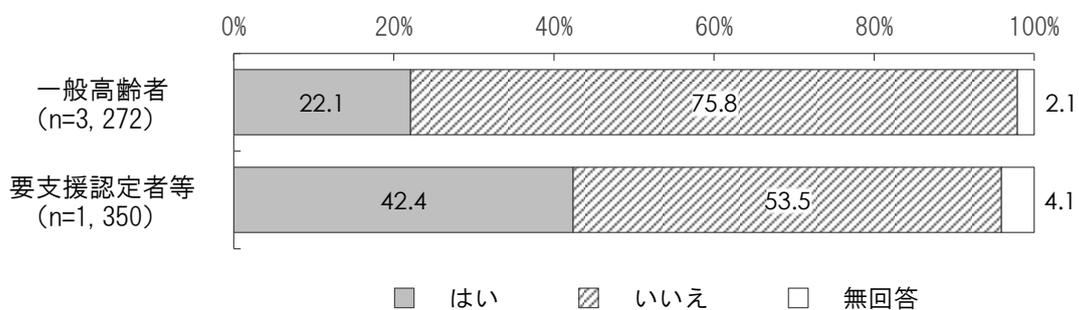


この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかは、一般高齢者においては「はい」が31.6%で約3割に留まっているのに対し、要支援認定者等においては50.1%と、過半数を占めて多くなっている。

《一般高齢者：問 33・要支援認定者等：問 32》

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがありましたか。（単数回答）

【単純集計】

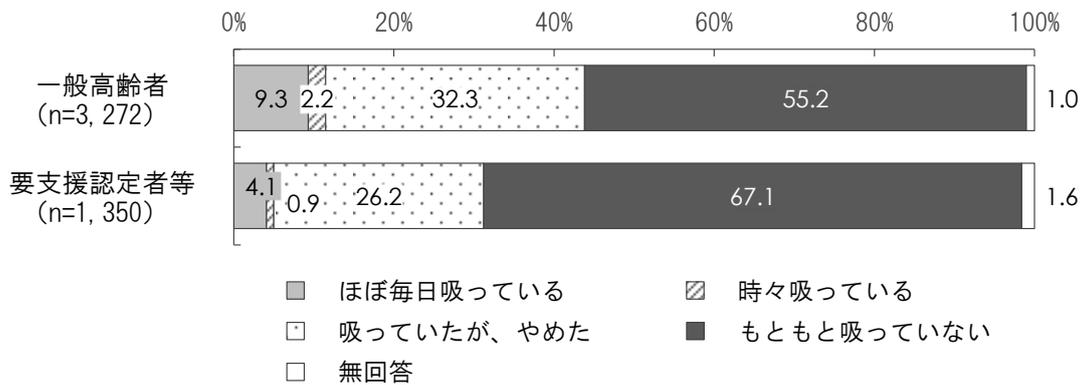


この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったかは、一般高齢者においては「はい」が22.1%であるのに対し、要支援認定者等においては概ね2倍の42.4%と、20.3ポイントの差が見られる。

《一般高齢者：問 34・要支援認定者等：問 33》

タバコは吸っていますか。(単数回答)

【単純集計】

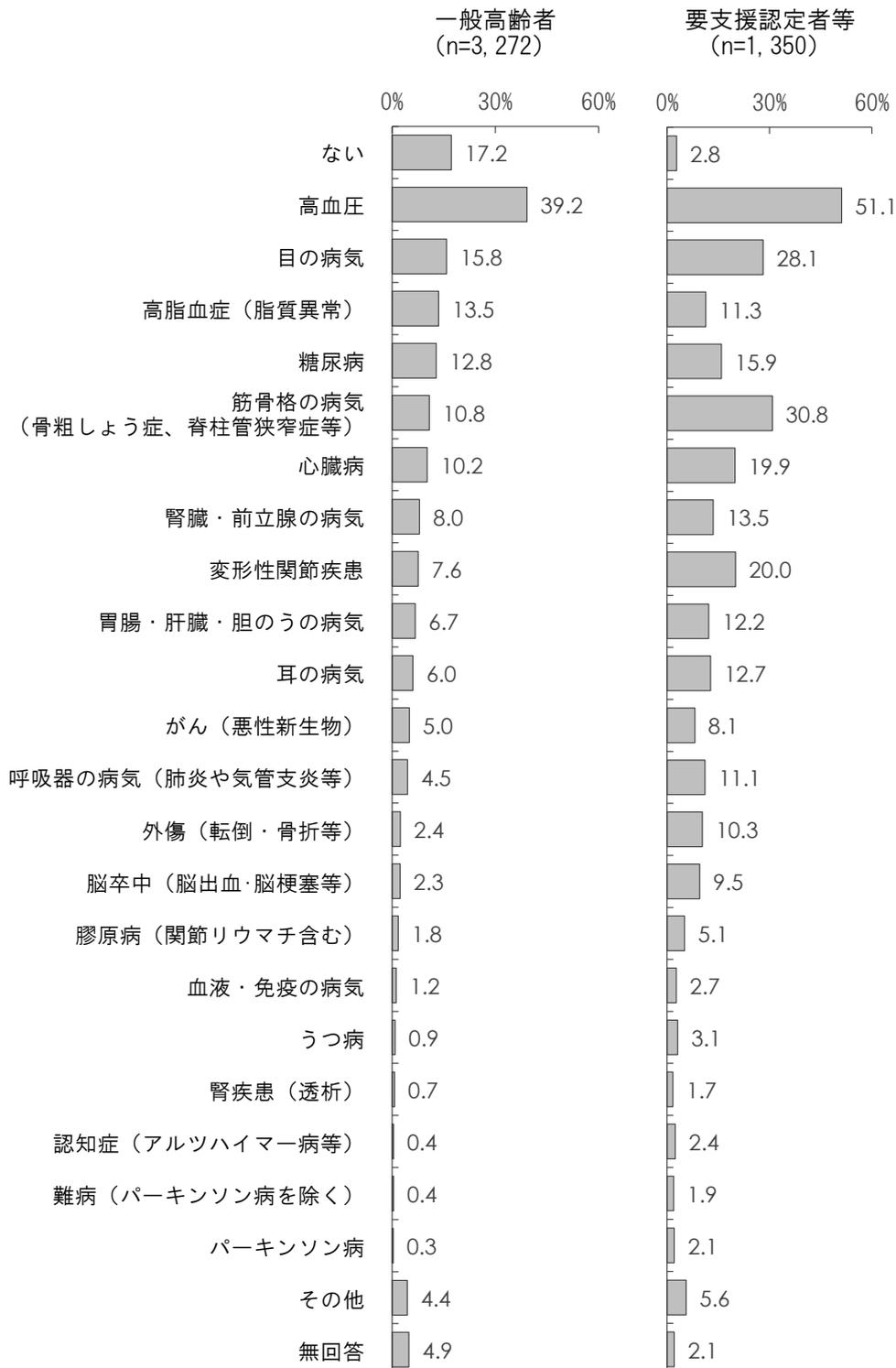


喫煙状況は、一般高齢者・要支援認定者等ともに「もともと吸っていない」が最も多くなっている一方で、一般高齢者 55.2%、要支援認定者等 67.1%と、11.9ポイントの差がみられる。また、『吸っている（ほぼ毎日吸っている＋時々吸っている）』は、一般高齢者では 11.5%、要支援認定者等においては 5.0%と、一般高齢者において多くなっている。

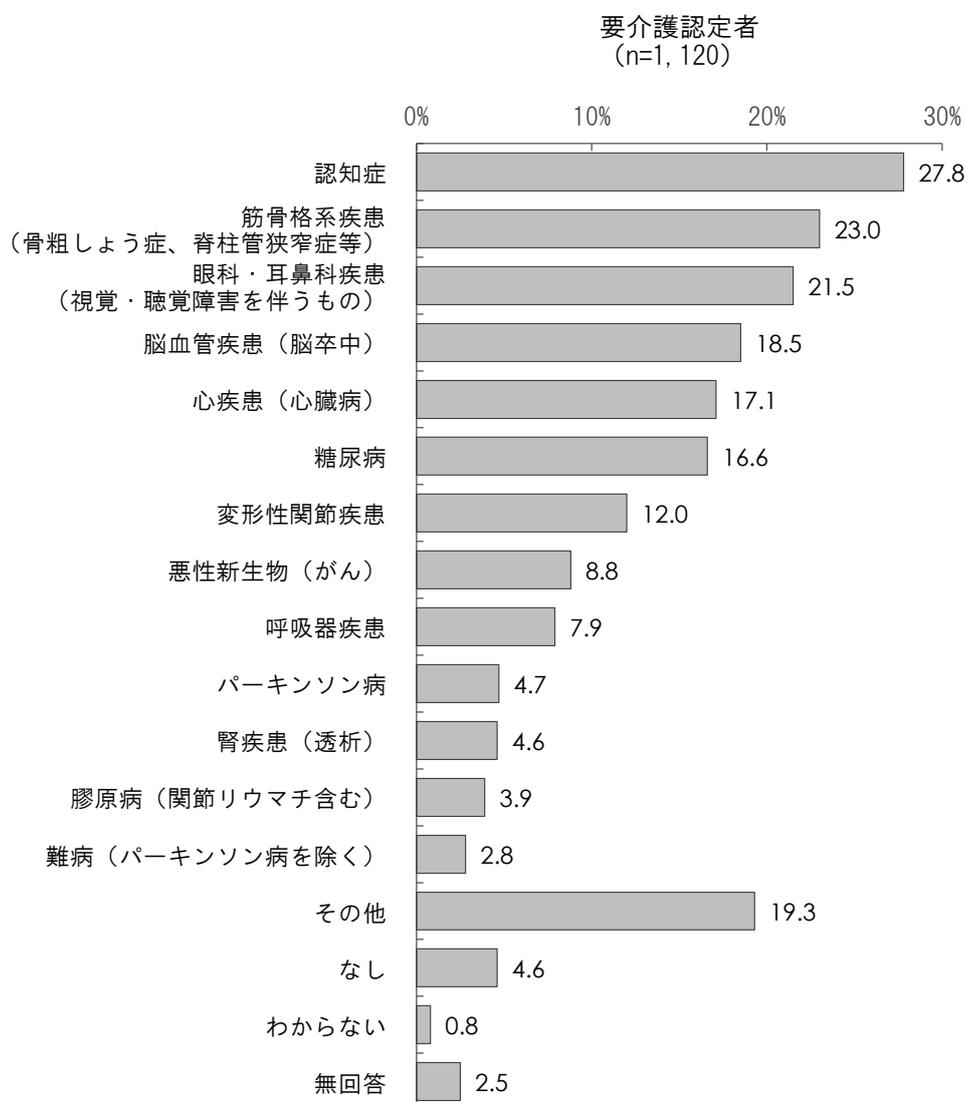
《一般高齢者：問 35・要支援認定者等：問 34・要介護認定者：問 3》

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（複数回答可）

【単純集計：現在治療中、または後遺症のある病気（一般高齢者・要支援認定者等）】

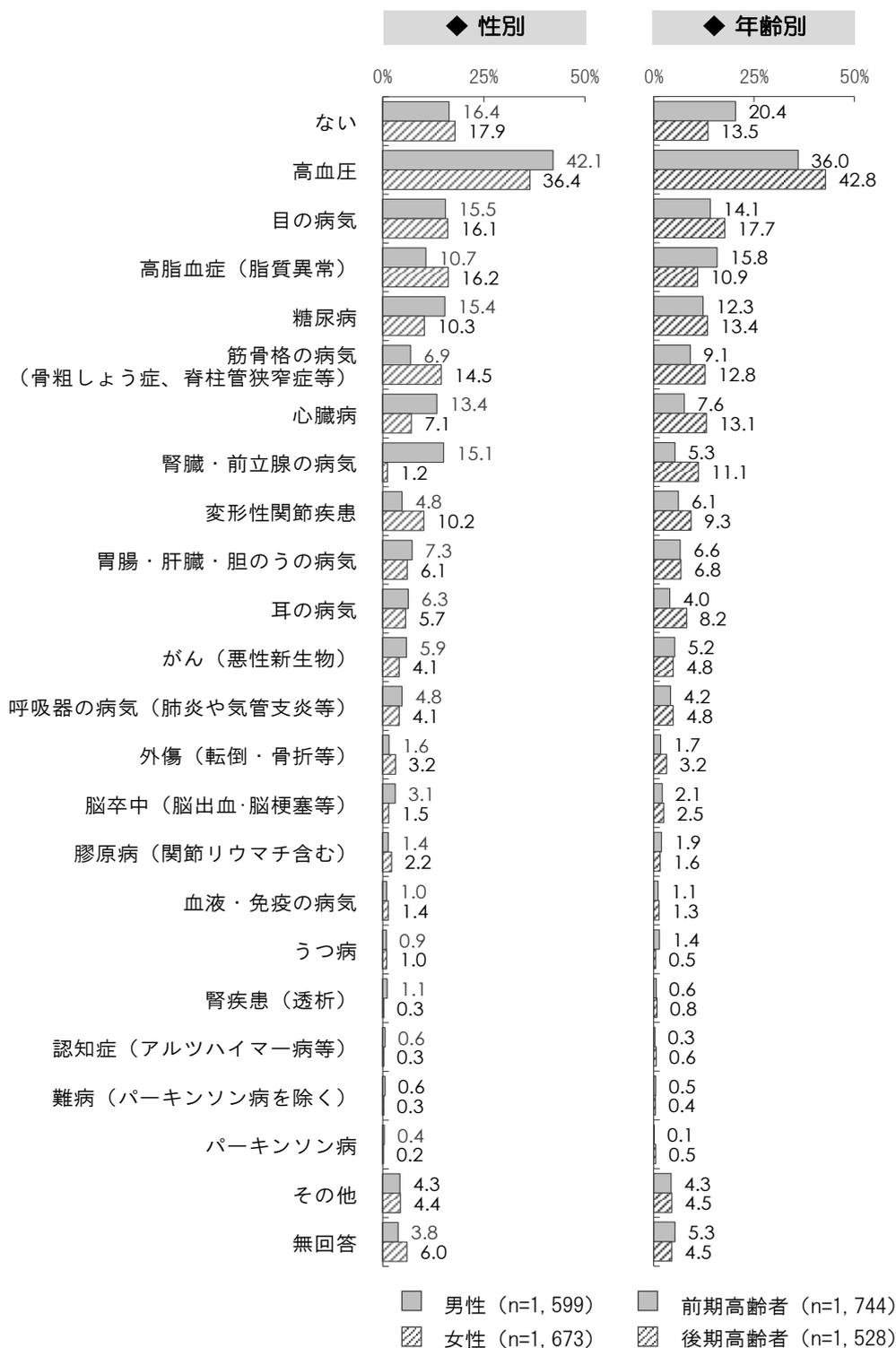


【単純集計：現在治療中、または後遺症のある病気（要介護認定者）】



現在治療中、または後遺症のある病気は、一般高齢者・要支援認定者等において「高血圧」が最も多く、一般高齢者では39.2%、要支援認定者等では51.1%と、過半数を占めている。第2位以降は順位が異なり、一般高齢者において「ない」、「目の病気」の順で続き、要支援認定者等においては「筋骨格の病気(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」、「目の病気」の順で続く。要介護認定者においては「認知症」が27.8%と最も多く、「筋骨格系の疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」が続く。

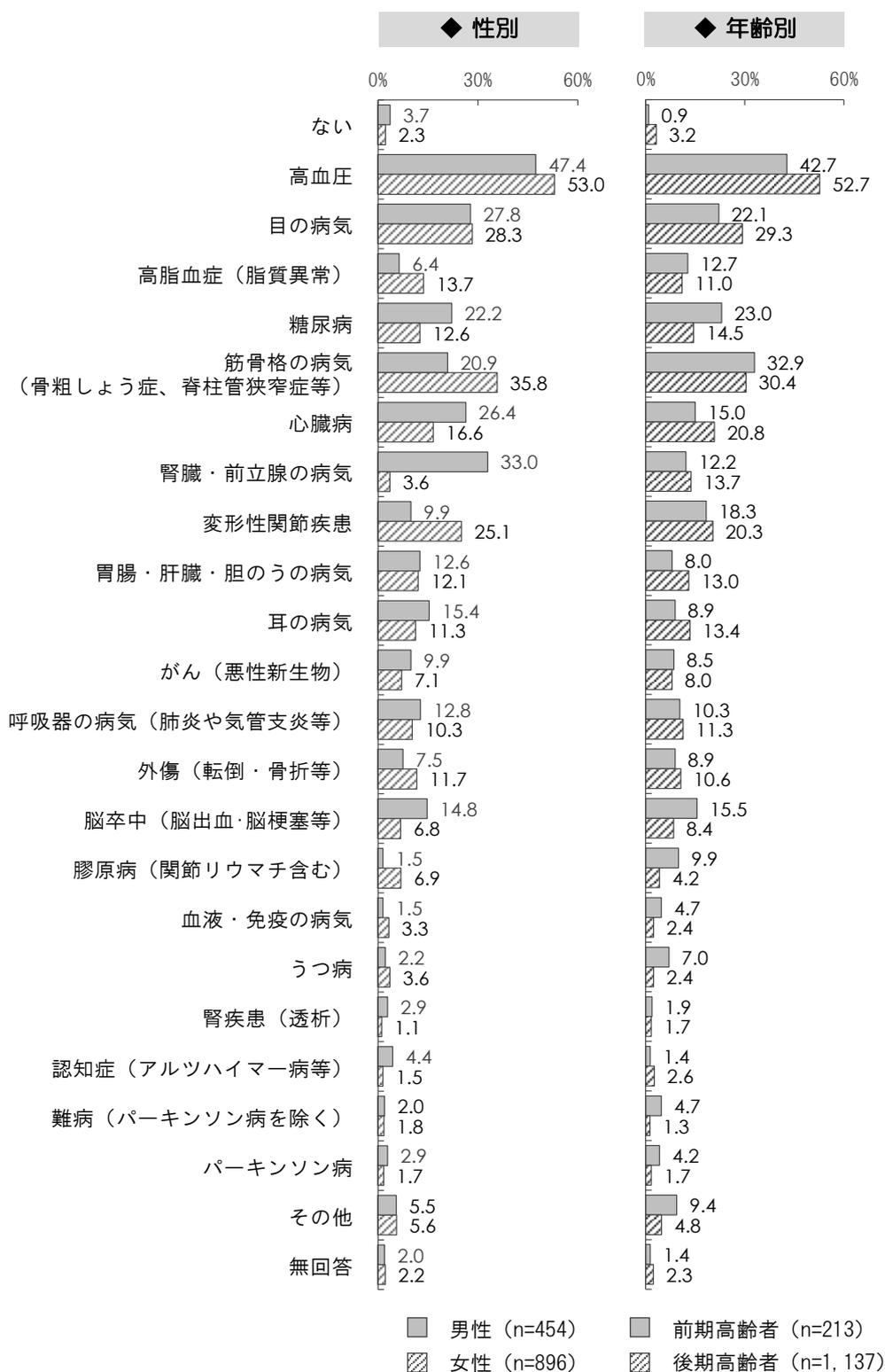
【クロス集計：一般高齢者：性別・年齢別】



一般高齢者の結果を性別にみると、男女とも「高血圧」が突出して多くなっている点は類似しているものの、《男性》においては「腎臓・前立腺の病気」、「心臓病」、「高血圧」、「糖尿病」が女性よりも5ポイント以上多く、一方、《女性》においては「筋骨格の病気（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、「高脂血症（脂質異常）」、「変形性関節疾患」が男性よりも5ポイント以上多くなっている。

一般高齢者の結果を年齢別にみると、大半の項目において《後期高齢者》の方が多くなっている中、「高脂血症（脂質異常）」では《前期高齢者》の方が4.9ポイント多くなっている。

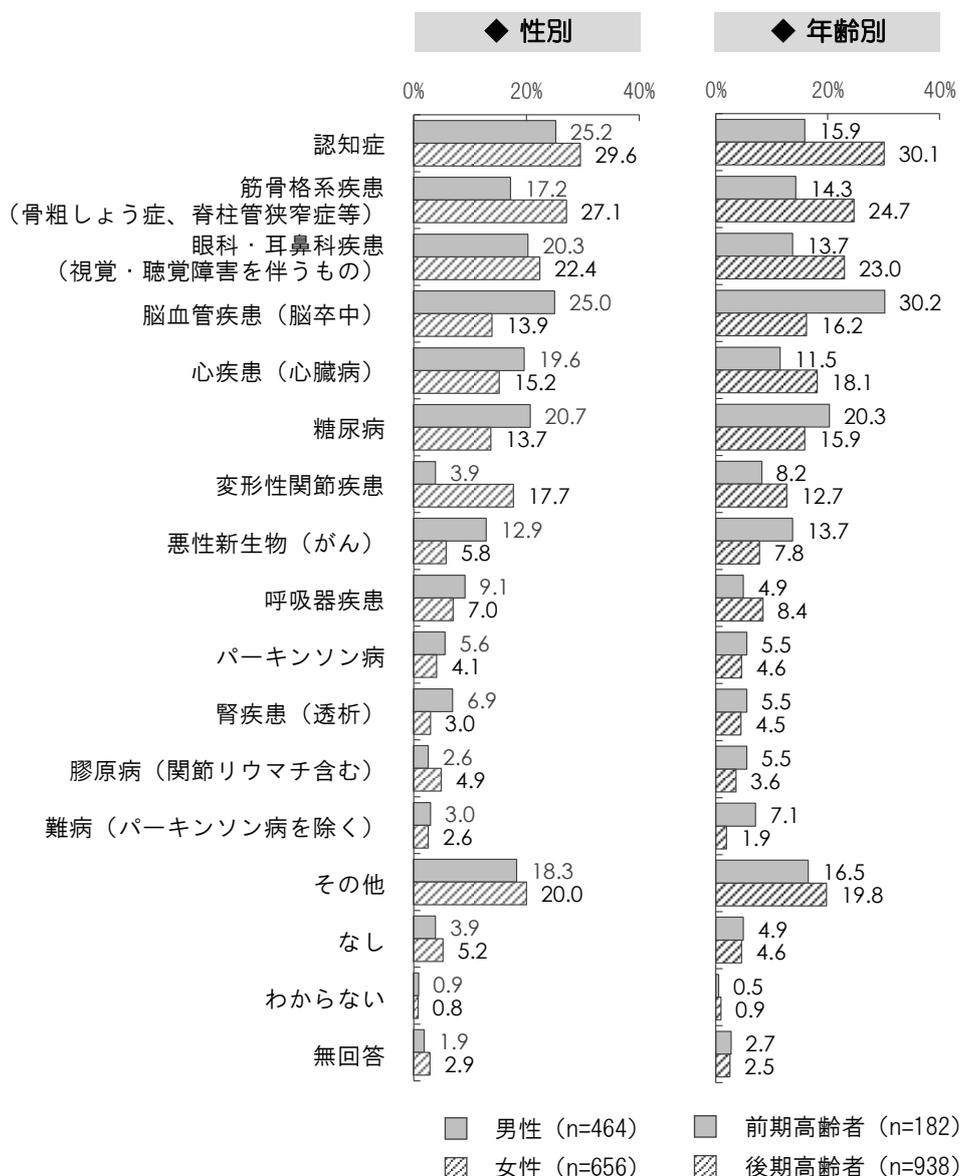
【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別】



要支援認定者等の結果を性別にみると、一般高齢者と同様、男女とも「高血圧」が突出して多くなっている点は類似しているものの、《男性》においては「腎臓・前立腺の病気」、「心臓病」、「糖尿病」、「脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)」が女性よりも5ポイント以上多く、一方、《女性》においては「高血圧」、「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」、「変形性関節疾患」、「高脂血症 (脂質異常)」が男性よりも5ポイント以上多くなっている。

一般高齢者の結果を年齢別にみると、大半の項目において《後期高齢者》の方が多くなっている中、「糖尿病」では《前期高齢者》の方が8.5ポイント多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別】



要介護認定者の結果を性別にみると、《男性》において「脳血管疾患 (脳卒中)」、「糖尿病」、「悪性新生物 (がん)」が多く、《女性》において「筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」、「変形性関節疾患」が多くなっている。

要介護認定者の結果を年齢別にみると、《前期高齢者》において「脳血管疾患 (脳卒中)」、「悪性新生物 (がん)」、「難病 (パーキンソン病を除く)」が多く、《後期高齢者》において「認知症」、「筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」、「眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)」、「心疾患 (心臓病)」が多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別】

要介護認定者	調査数(人)	現在治療中、または後遺症のある病気(%)											その他	なし	わからない	無回答		
		認知症	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	脳血管疾患(脳卒中)	心疾患(心臓病)	糖尿病	変形性関節疾患	悪性新生物(がん)	呼吸器疾患	パーキンソン病	腎疾患(透析)					膠原病(関節リウマチ含む)	難病(パーキンソン病を除く)
全体	1,120	27.8	23.0	21.5	18.5	17.1	16.6	12.0	8.8	7.9	4.7	4.6	3.9	2.8	19.3	4.6	0.8	2.5
下鶴間地区	163	24.5	16.6	19.0	17.8	17.8	14.7	12.3	9.2	8.0	6.7	4.9	1.2	1.8	18.4	6.7	0.6	1.2
中央林間地区	108	35.2	21.3	25.0	20.4	11.1	14.8	10.2	9.3	8.3	7.4	3.7	2.8	1.9	17.6	3.7	0.0	3.7
南林間地区	141	38.3	28.4	24.8	9.2	19.1	8.5	15.6	7.8	7.1	3.5	7.1	5.0	6.4	17.0	2.1	0.7	3.5
鶴間地区	124	24.2	27.4	19.4	14.5	18.5	21.8	11.3	11.3	5.6	4.0	5.6	5.6	2.4	19.4	4.0	1.6	2.4
深見地区	104	24.0	25.0	21.2	16.3	17.3	12.5	10.6	6.7	7.7	4.8	2.9	6.7	1.9	25.0	7.7	0.0	1.9
上草柳地区	56	33.9	16.1	19.6	17.9	17.9	14.3	5.4	10.7	10.7	3.6	1.8	5.4	3.6	23.2	5.4	0.0	3.6
中央地区	87	24.1	27.6	20.7	24.1	18.4	18.4	18.4	5.7	5.7	4.6	2.3	2.3	3.4	8.0	6.9	0.0	3.4
桜丘地区	65	36.9	26.2	21.5	16.9	12.3	20.0	10.8	9.2	6.2	1.5	6.2	4.6	0.0	26.2	3.1	0.0	1.5
和田地区	75	16.0	25.3	25.3	20.0	14.7	20.0	13.3	8.0	9.3	6.7	4.0	4.0	2.7	21.3	4.0	1.3	2.7
福田北地区	76	26.3	18.4	19.7	26.3	18.4	17.1	14.5	7.9	10.5	1.3	5.3	5.3	0.0	25.0	3.9	1.3	2.6
福田南地区	121	23.1	20.7	20.7	25.6	19.0	24.0	7.4	9.9	9.1	5.0	5.0	2.5	4.1	17.4	3.3	2.5	1.7

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

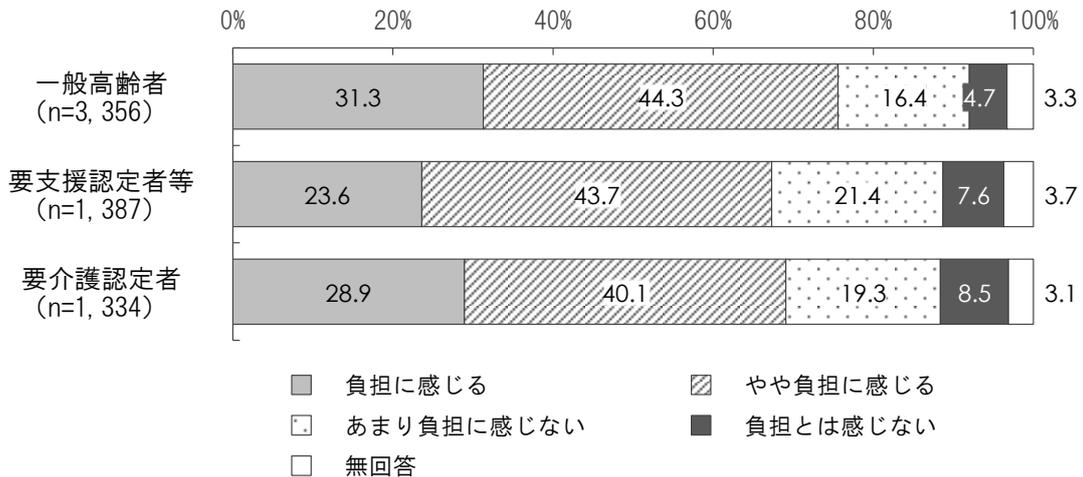
要介護認定者の結果を日常生活圏域別にみると、地域によって割合が大きく異なる病気が散見される。特に「認知症」では、《南林間地区》、《桜丘地区》、《中央林間地区》、《上草柳地区》の4地区で、「脳血管疾患(脳卒中)」では、《福田北地区》、《福田南地区》、《中央地区》の3地区で、それぞれ全体平均よりも5ポイント以上多くなっている。

8 介護保険制度等について

《一般高齢者：問 36・要支援認定者等：問 35・要介護認定者：問 4》

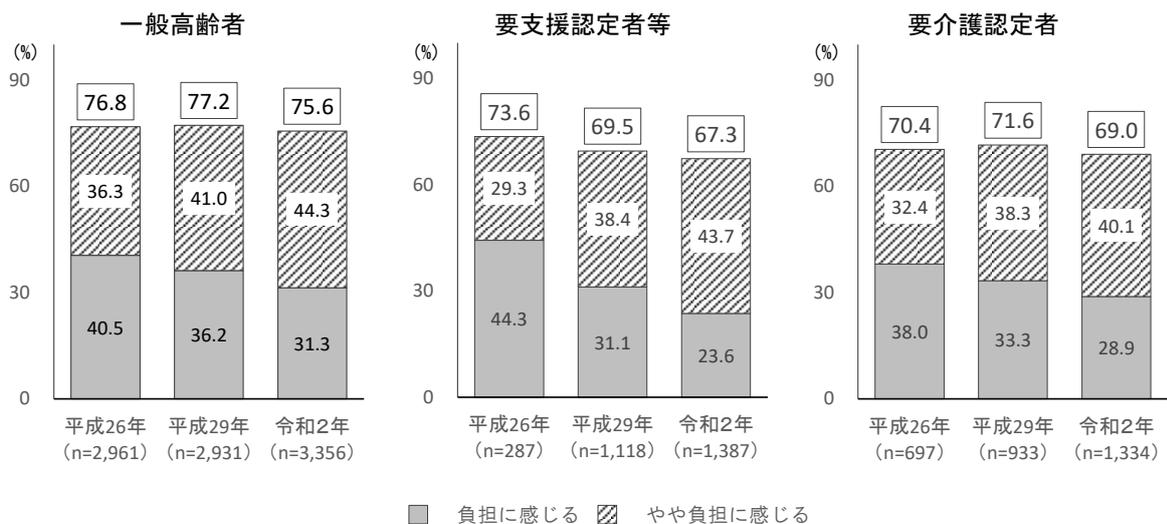
介護保険料の負担について、どのように感じていますか。(単数回答)

【単純集計】



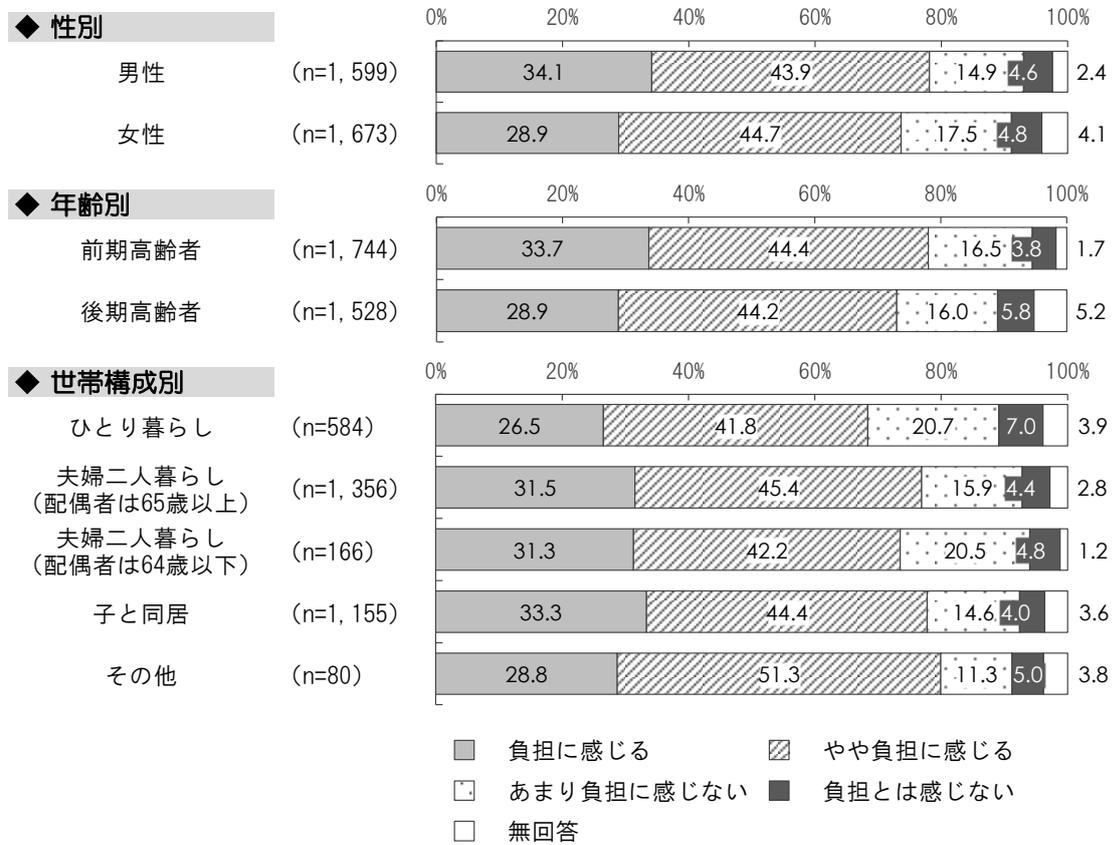
介護保険料の負担は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、「やや負担を感じる」が4割を超えて最も多くなっている。また、『負担を感じる(負担を感じる+やや負担を感じる)』は、一般高齢者では75.6%、要支援認定者等では67.3%、要介護認定者では69.0%と、サービスを利用していない一般高齢者が最も多くなっている。

【経年比較】



前回、前々回と比較してみると、「負担を感じる」は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者ともに、毎回、減少しており、今回が最も負担感が少なくなっている。

【クロス集計：一般高齢者：性別・年齢別・世帯構成別】

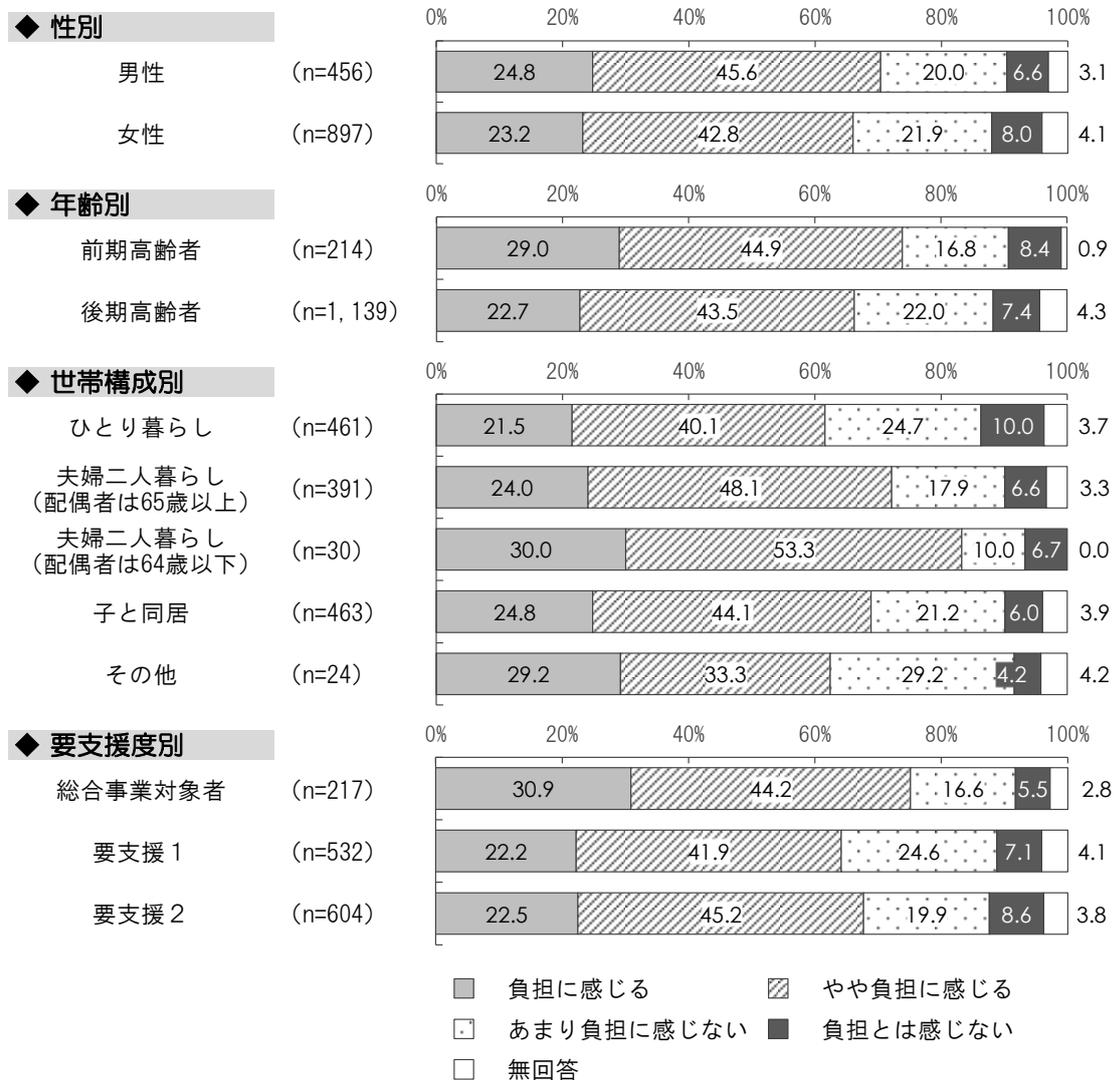


一般高齢者の結果を性別にみると、『負担を感じる（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が《男性》では78.0%、《女性》では73.6%と、大きな差異はみられない。

一般高齢者の結果を年齢別にみると、『負担を感じる（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が《前期高齢者》では78.1%、《後期高齢者》では73.1%と、《前期高齢者》の方が5.0ポイント多くなっている。

一般高齢者の結果を世帯構成別にみると、『負担を感じる（負担を感じる＋やや負担を感じる）』は、《ひとり暮らし》において68.3%と、他の世帯構成と比較して最も少なくなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別・世帯構成別・要支援度別】



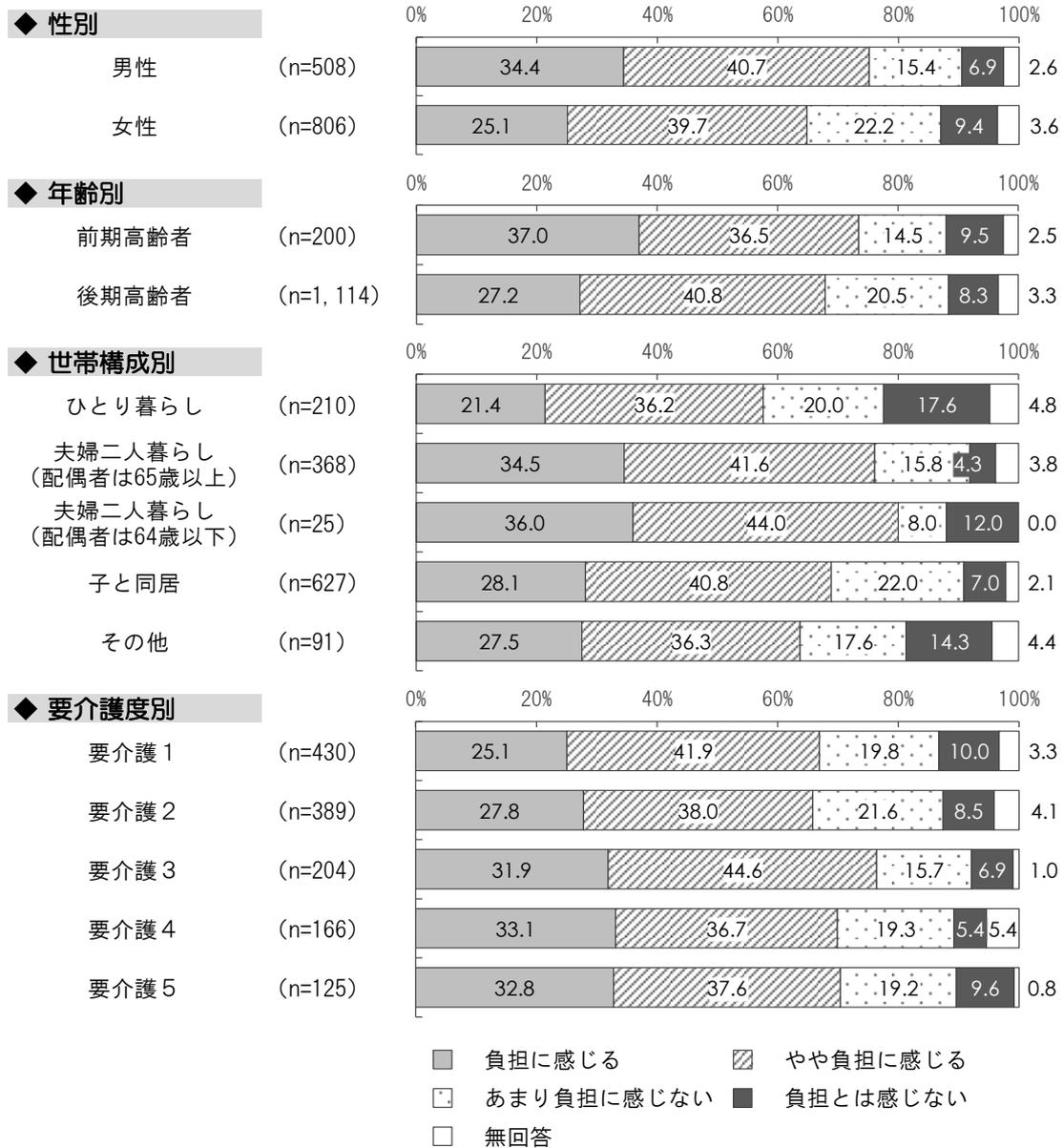
要支援認定者等の結果を性別にみると、『負担を感じる（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が《男性》では70.4%、《女性》では66.0%と、大きな差異はみられない。

要支援認定者等の結果を年齢別にみると、一般高齢者と同様、『負担を感じる（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が《前期高齢者》では73.9%、《後期高齢者》では66.2%と、《前期高齢者》の方が7.7ポイント多くなっている。

要支援認定者等の結果を世帯構成別にみると、『負担を感じる（負担を感じる＋やや負担を感じる）』は、《ひとり暮らし》において61.6%と、一般高齢者と同様、他の世帯構成と比較して最も少なくなっている。

要支援認定者等の結果を要支援度別にみると、『負担を感じる（負担を感じる＋やや負担を感じる）』は、《総合事業対象者》において75.1%と、《要支援1》や《要支援2》よりもやや多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・世帯構成別・要介護度別】



要介護認定者の結果を性別にみると、『負担を感じる（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が《男性》では75.1%、《女性》では64.8%と、《男性》の方が10.3ポイント多く、性別による大きな差異が見られなかった一般高齢者や要支援認定者等と異なる傾向となっている。

要介護認定者の結果を年齢別にみると、一般高齢者・要支援認定者等と同様、『負担を感じる（負担を感じる＋やや負担を感じる）』が《前期高齢者》では73.5%、《後期高齢者》では68.0%と、《前期高齢者》の方が5.5ポイント多くなっている。

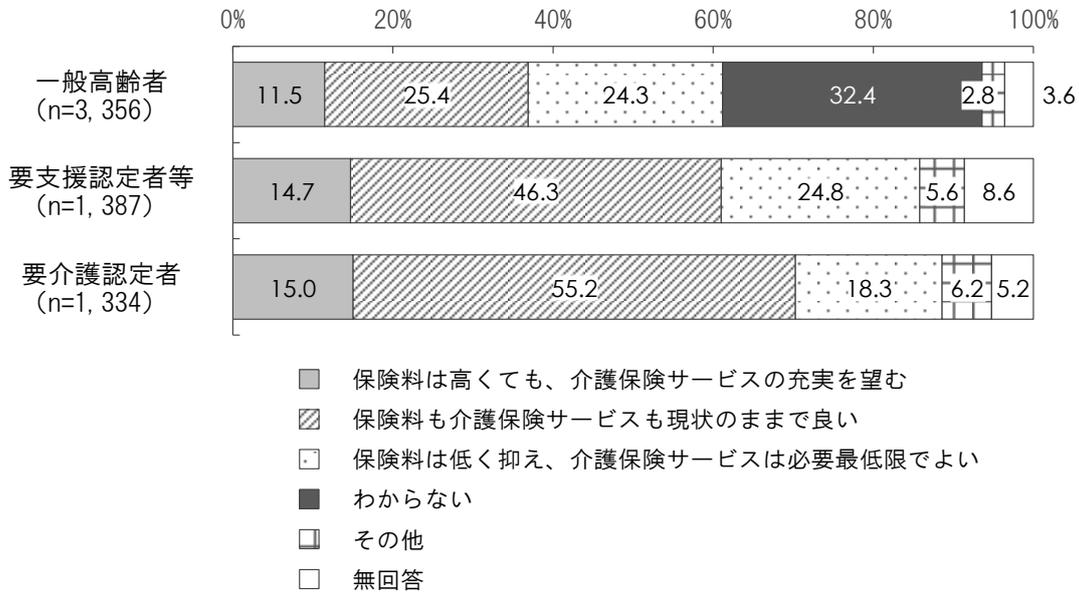
要介護認定者の結果を世帯構成別にみると、『負担を感じる（負担を感じる＋やや負担を感じる）』は、《ひとり暮らし》において57.6%と、一般高齢者や要支援認定者等と同様、他の世帯構成と比較して最も少なくなっている。

要介護認定者の結果を要介護度別にみると、『負担を感じる（負担を感じる＋やや負担を感じる）』は、介護度が重くなるほど、概ね多くなる傾向が見られ、《要介護1》では67.0%であるのに対し、《要介護5》では70.4%と、3.4ポイント多くなっている。特に、真に「負担を感じる」と回答した割合に特化して比較すると、より顕著な傾向がみられる。

《一般高齢者：問 37・要支援認定者等：問 36・要介護認定者：問 5》

介護保険料の額は、市民の利用が見込まれる介護保険サービスの量によって決まります。今後の保険料とサービスのあり方について、あなたはどのようにお考えですか。(単数回答)

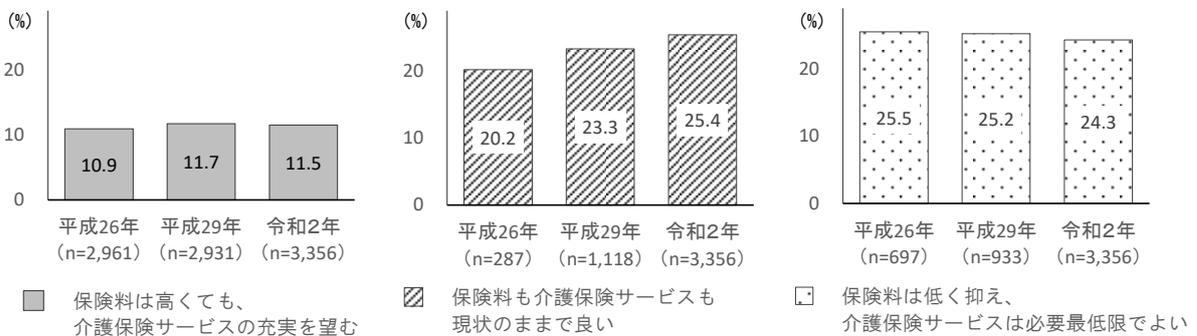
【単純集計】



※要支援認定者等・要介護認定者の調査では「わからない」という選択肢はなし。

今後の保険料とサービスのあり方についての考えは、一般高齢者において「わからない」が最も多くなっている一方で、要支援認定者等・要介護認定者においては「保険料も介護保険サービスも現状のままで良い」が最も多くなっている。
また、要支援認定者等と要介護認定者で比較すると、介護の必要度が高い要介護認定者は介護サービスと費用の在り方について、現状維持、充実を望む結果となっている。

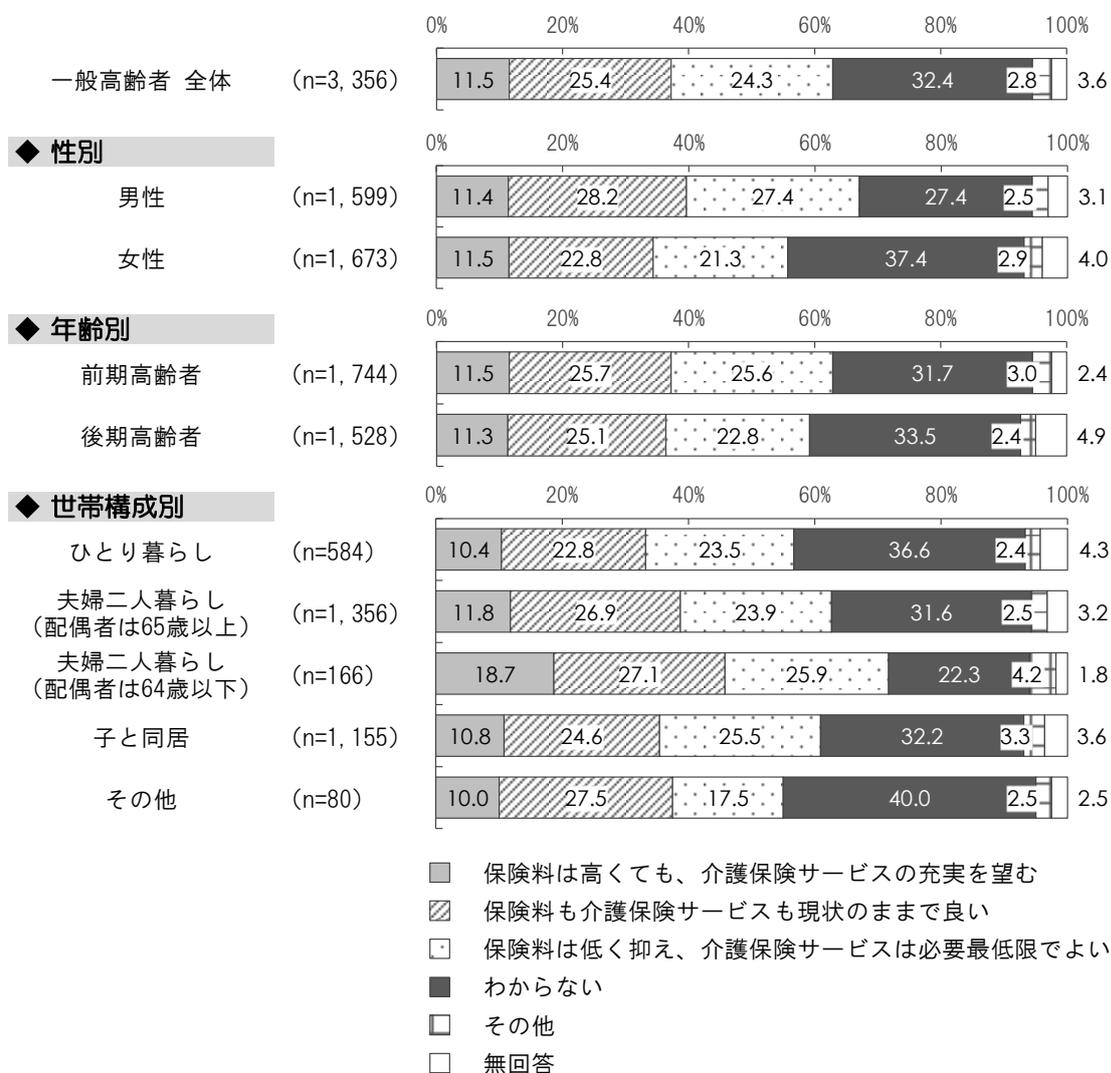
【経年比較：一般高齢者】



※要支援認定者等・要介護認定者の調査においては、前回まで「わからない」という選択肢があり、その割合が2～3割占めていたため、今回の結果と一概には比較できないので、一般高齢者のみ記載した。

経年比較でみると、「保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む」と「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」は概ね横ばい、「保険料も介護保険サービスも現状のままで良い」は増加傾向がみられ、現状維持の意向がうかがえる。

【クロス集計：一般高齢者：性別・年齢別・世帯構成別】

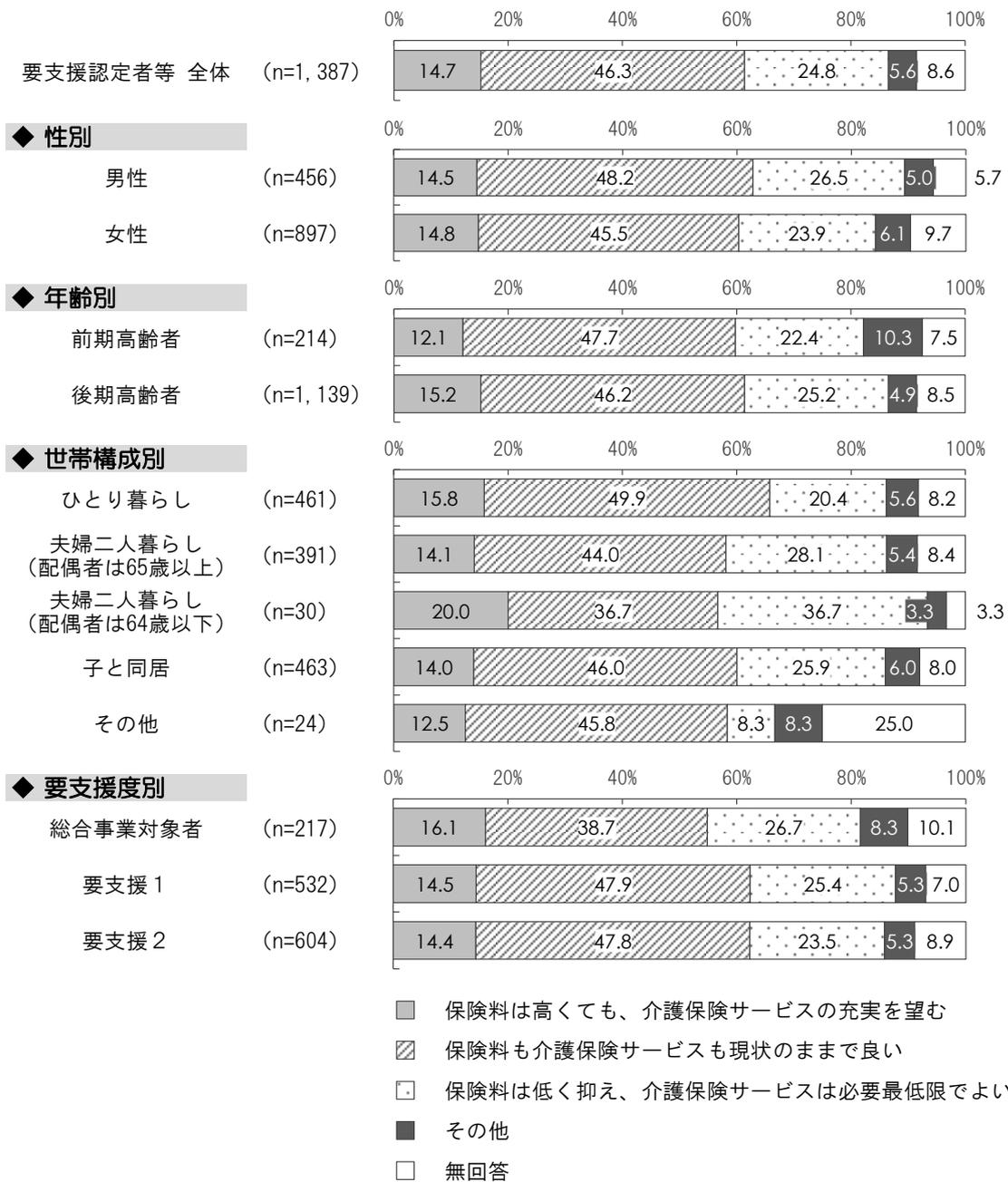


一般高齢者の結果を性別にみると、「わからない」は《女性》よりも《男性》の方が約1割少なく、男性の方がはっきりした意見を持っている割合が多いものの、「保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む」はともに11%台で、大きな差異は見られない。

一般高齢者の結果を年齢別にみると、いずれの項目において大きな差異はみられない。

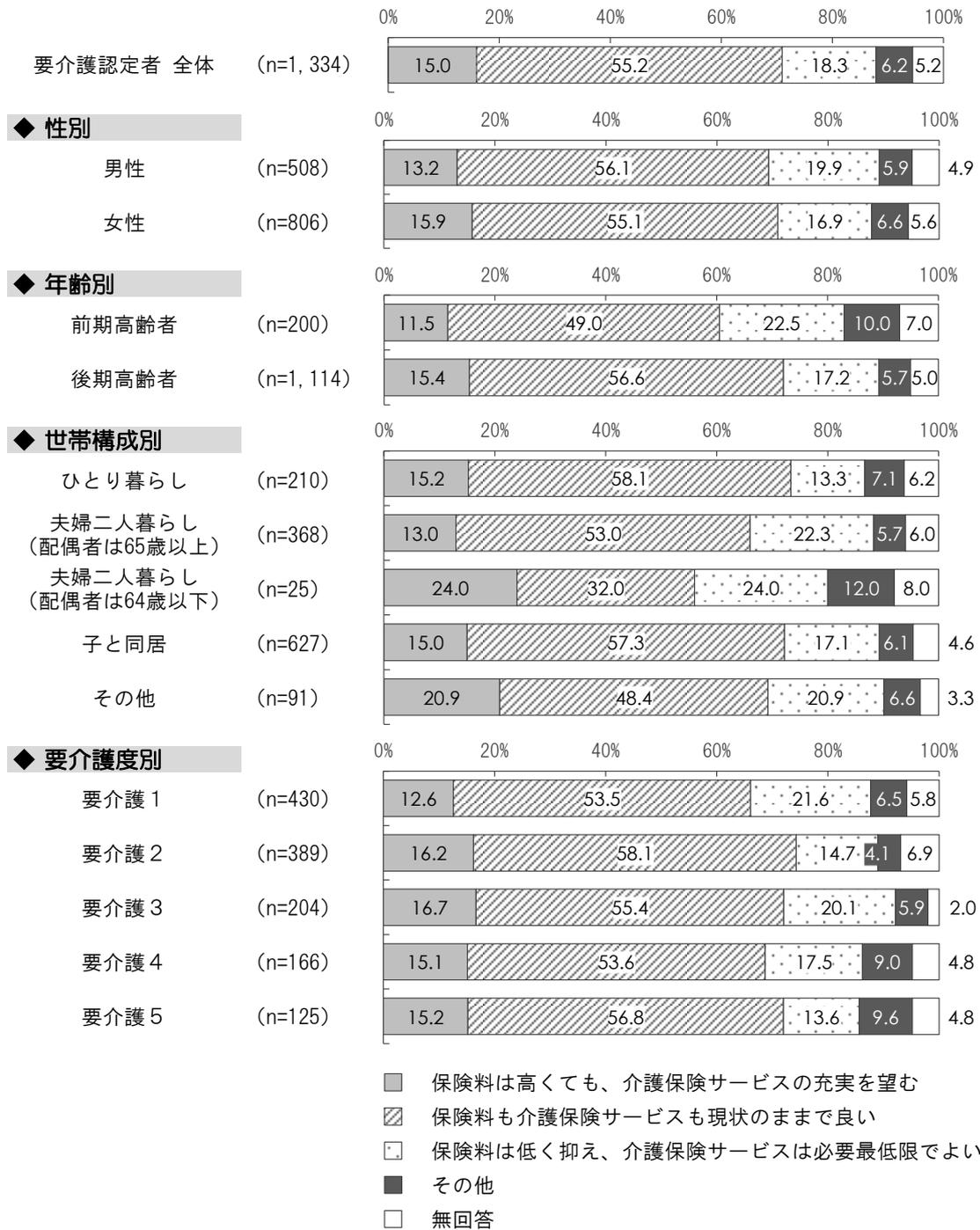
一般高齢者の結果を世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》において「保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む」が18.7%と、他の世帯構成に比べてやや高くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別・世帯構成別・要支援度別】



要支援認定者等の結果を性別にみると、いずれの項目において、大きな差異はみられない。
 要支援認定者等の結果を年齢別にみると、《前期高齢者》において「その他」がやや多くなっているものの、保険料とサービスの在り方の考えについて大きな差異はみられない。
 要支援認定者等の結果を世帯構成別にみると、一般高齢者と同様、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》において「保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む」が20.0%と、他の世帯構成と比較して多くなっている。また、一般高齢者の結果では、「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」も36.7%と、こちらも他の世帯構成と比較して多くなっている。
 要支援認定者等の結果を要支援度別にみると、《総合事業対象者》において「保険料も介護保険サービスも現状のままで良い」が38.7%と、要支援者よりも約1割近く少なくなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・世帯構成別・要介護度別】



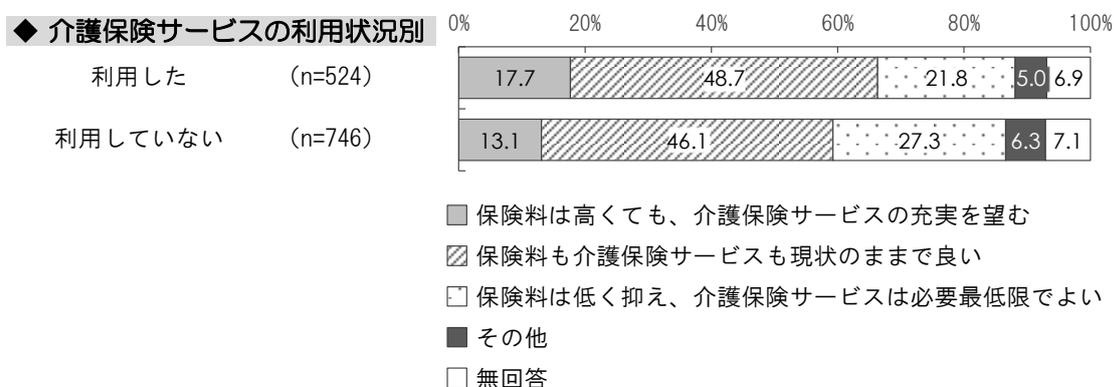
要介護認定者の結果を性別にみると、いずれの項目において、大きな差異はみられない。

要介護認定者の結果を年齢別にみると、《前期高齢者》において「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」が22.5%と多く、《後期高齢者》において「保険料も介護保険サービスも現状のままで良い」が56.6%と多くなっている。

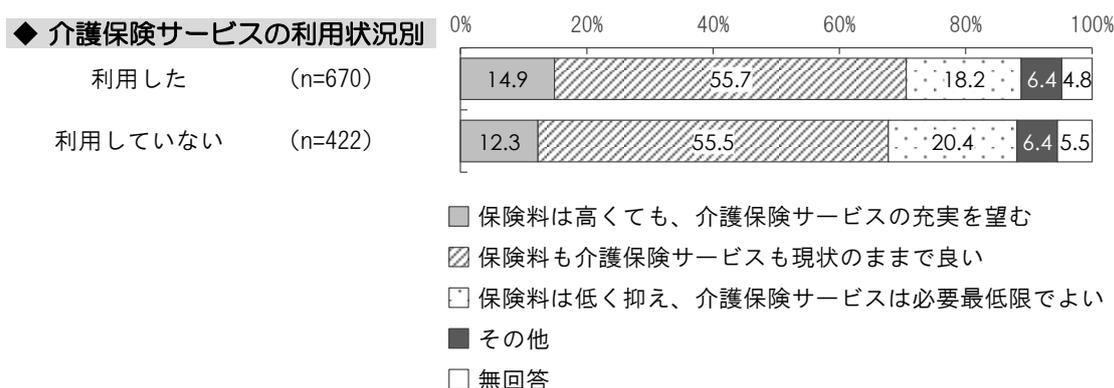
要介護認定者の結果を世帯構成別にみると、要支援認定者等と同様に、《夫婦二人暮らし (配偶者は64歳以下)》において「保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む」が24.0%と多くなっている。

要介護認定者の結果を要介護度別にみると、《要介護1》・《要介護3》において「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」が2割を超えて多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等：介護保険サービスの利用状況別】



【クロス集計：要介護認定者：介護保険サービスの利用状況別】



介護保険サービスの利用状況別にみると、要支援認定者等・要介護者ともに、「保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む」は、《利用した》人の方が《利用していない》人よりも2～4ポイント台多くなっている。

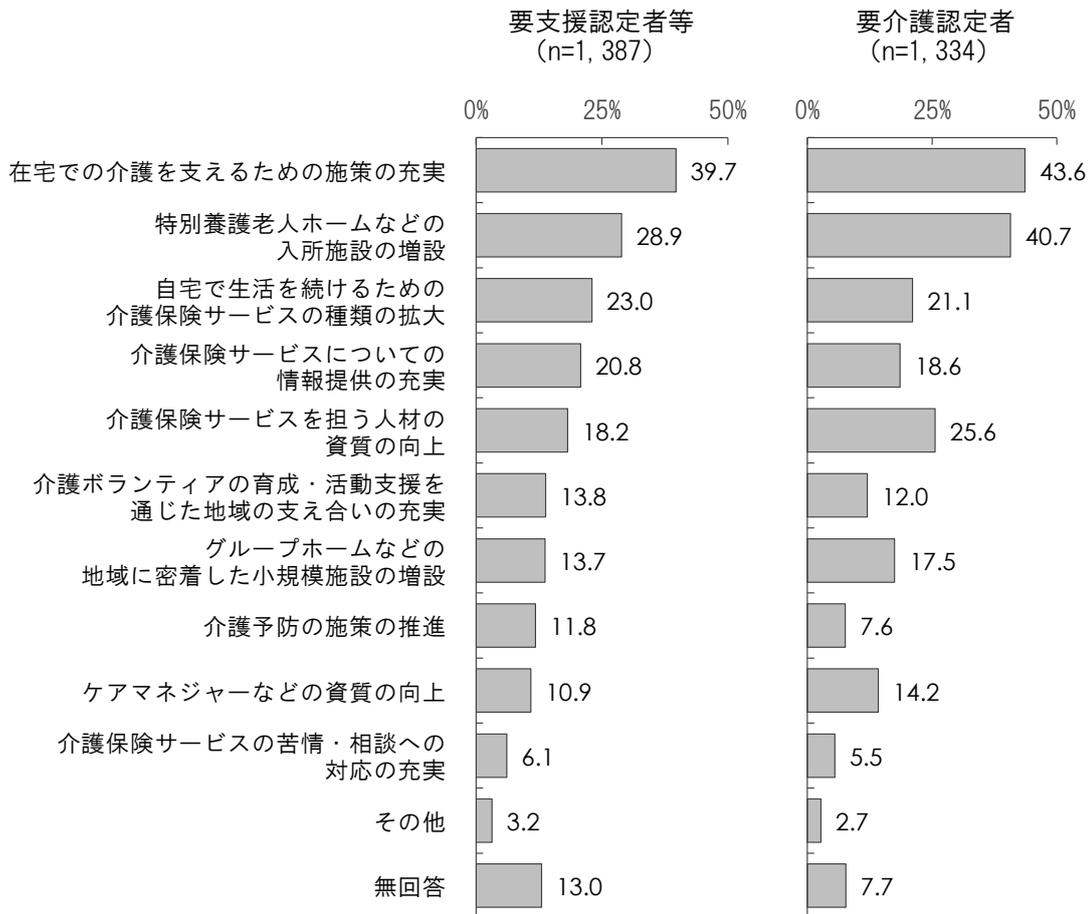
また、「保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい」は、要支援者認定者等・要介護認定者ともに、《利用した》人の方が《利用していない》人よりも少ないが、要支援認定者等の5.5ポイントの差に対し、要介護認定者では2.2ポイントの差となっている。

一方、利用の有無別に上記のグラフを比較すると、介護保険サービス利用の有無に関わらず、「保険料も介護保険サービスも現状のままで良い」は、要介護認定者の方が要支援認定者等よりも7～9ポイント程度多く、現状維持の意向がうかがえる。

《要支援認定者等：問 37・要介護認定者：問 6》

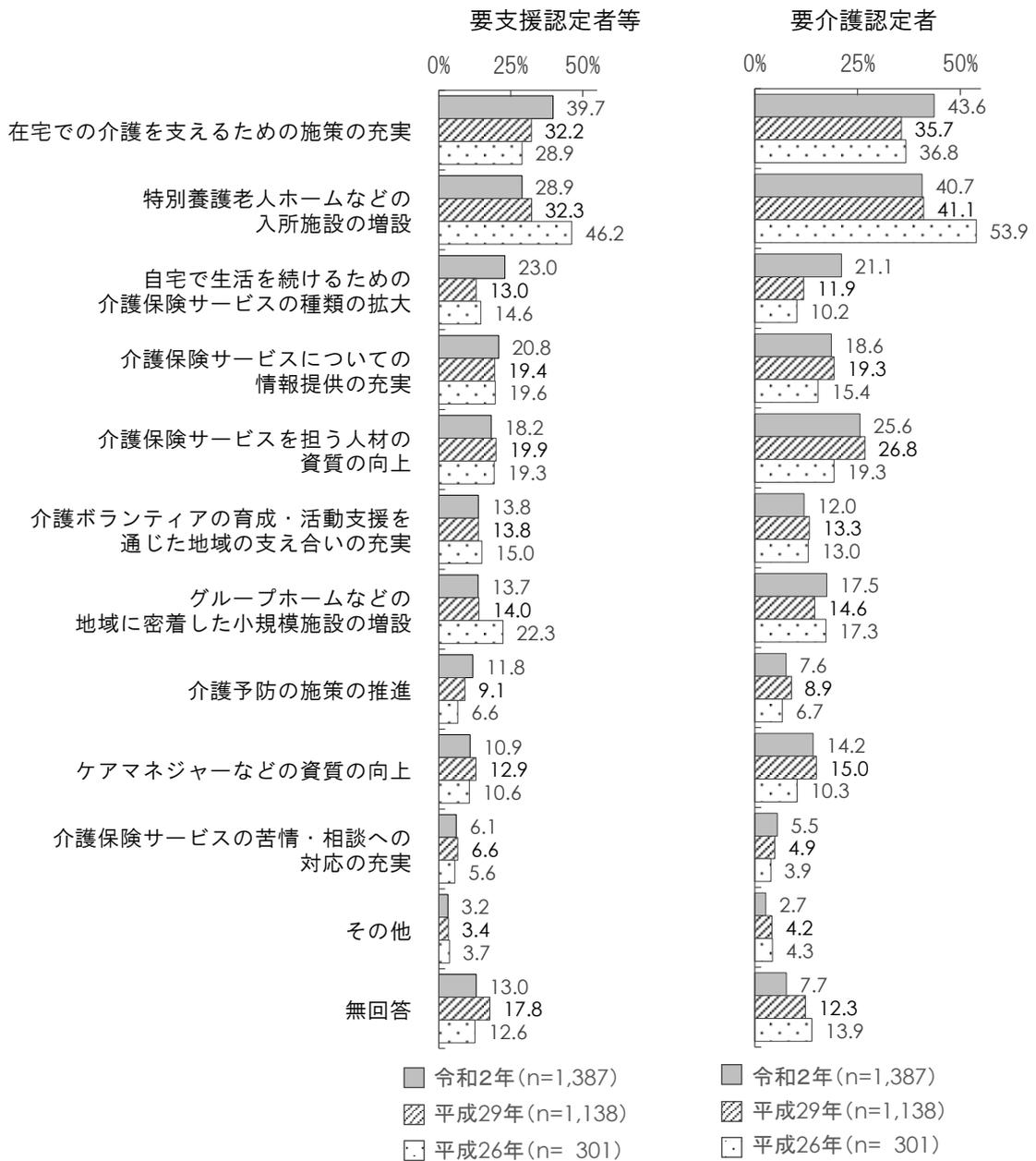
介護保険制度をよりよいものにするためには、どのような対策が必要ですか。
（複数回答可：3つまで）

【単純集計】



介護保険制度をよりよいものにするためには必要な対策は、要支援認定者等・要介護認定者ともに「在宅での介護を支えるための施策の充実」が最も多く、「特別養護老人ホームなどの入所施設の増設」が続く。第3位以降は順位が異なり、要支援認定者等は「自宅で生活するための介護保険サービスの種類の拡大」、「介護保険サービスについての情報提供の充実」の順で続き、要介護認定者は「介護保険サービスを担う人材の資質の向上」、「自宅で生活するための介護保険サービスの種類の拡大」の順で続く。

【経年比較】



経年比較でみると、要支援認定者等・要介護認定者ともに、「在宅での介護を支えるための施策の充実」や「自宅で生活続けるための介護保険サービスの種類の拡大」は概ね増加している傾向で、一方、「特別養護老人ホームなどの入所施設の増加」は減少していることにより、在宅志向が強くなっていることをうかがえる。

【クロス集計：要介護認定者：調査票の記入者別】

	調査数（人）	介護保険制度をよりよいものにするために必要な対策（％）												
		在宅での介護を支えるための施策の充実	特別養護老人ホームなどの入所施設の増設	自宅で生活を続けるための種類の拡大	介護保険サービスの充実	介護保険サービスの向上	介護ボランティアの育成・活動支援を通じた地域の支え合いの充実	グループホームなどの地域に密着した小規模施設の増設	介護予防の施策の推進	ケアマネジャーなどの資質の向上	介護保険サービスの苦情・相談への対応の充実	その他	無回答	
要介護認定者	全体	1,120	46.6	36.9	23.0	18.5	23.8	12.7	16.3	6.9	13.9	5.0	2.8	8.6
記入者別	調査対象者 ご本人	367	46.6	28.9	26.4	19.6	22.3	15.0	12.3	7.1	12.8	6.8	2.5	10.6
	主な介護者である家族・親族	611	49.9	43.7	20.5	19.5	25.4	11.8	19.6	6.4	13.6	3.6	3.1	5.7
	主な介護者以外の家族・親族	42	33.3	47.6	28.6	14.3	33.3	11.9	23.8	9.5	26.2	4.8	0.0	2.4
	その他	9	22.2	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2	22.2

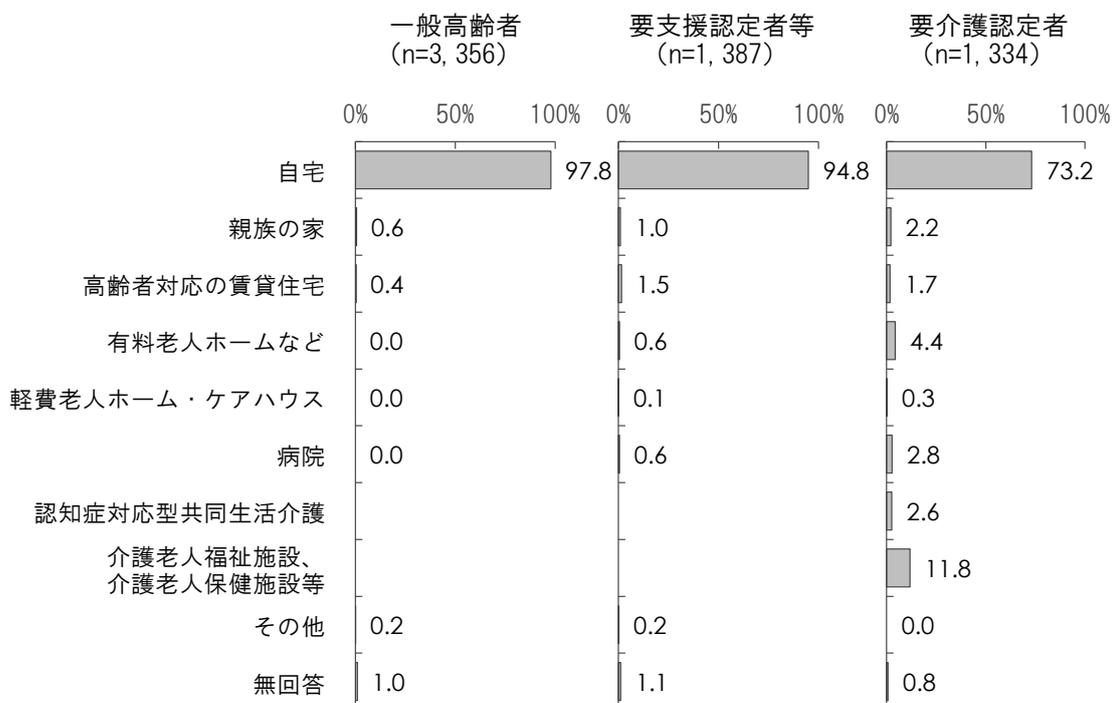
※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）
サンプル数が1桁の項目については識別していない。

要介護認定者の結果を調査票の記入者別にみると、「特別養護老人ホームなどの入所施設の増設」においては、《主な介護者である家族・親族》と《主な介護者以外の家族・親族》で、「グループホームなどの地域に密着した小規模施設の増設」においては、《主な介護者以外の家族・親族》で、それぞれ全体平均よりも5ポイント以上多いことにより、介護者においては施設の充実も望んでいることがうかがえる。

《一般高齢者：問 38・要支援認定者等：問 38・要介護認定者：問 7》

現在、どこで暮らしていますか。(単数回答)

【単純集計】



※一般高齢者及び要支援認定者等の調査では、

「認知症対応型共同生活介護」、「介護老人福祉施設、介護老人保健施設等」という選択肢はありません。

現在暮らしている場所は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者ともに「自宅」が最も多く、特に一般高齢者と要支援認定者等においては9割以上と、大半を占めている。また、要介護認定者においては「介護老人福祉施設、介護老人保健施設等」も11.8%と多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：要支援度別・要介護度別】

		調査数（人）	現在暮らしている場所（％）							無回答
			自宅	親族の家	高齢者対応の賃貸住宅	有料老人ホームなど	軽費老人ホーム・ケアハウス	病院	その他	
要支援認定者等										
全体		1,387	94.8	1.0	1.5	0.6	0.1	0.6	0.2	1.1
要支援度別	総合事業対象者	217	96.8	2.3	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5
	要支援1	532	95.9	0.6	1.3	0.8	0.0	0.8	0.0	0.8
	要支援2	604	92.9	1.0	2.3	0.7	0.3	0.7	0.5	1.7

		調査数（人）	現在暮らしている場所（％）									
			自宅	親族の家	高齢者対応の賃貸住宅	有料老人ホーム	軽費老人ホーム・ケアハウス	認知症対応型共同生活介護	病院	介護老人福祉施設等 介護老人福祉施設、 介護老人 保健施設等	その他	無回答
要介護認定者												
全体		1,334	73.2	2.2	1.7	4.4	0.3	2.6	2.8	11.8	0.0	0.8
要介護度別	要介護1	430	90.0	2.3	1.4	2.8	0.0	0.9	0.5	1.2	0.0	0.9
	要介護2	389	82.3	3.1	2.6	3.9	0.3	2.6	1.0	3.6	0.0	0.8
	要介護3	204	65.2	0.5	1.0	7.4	1.0	6.9	2.0	16.2	0.0	0.0
	要介護4	166	44.0	3.0	2.4	7.2	0.6	3.6	6.6	30.7	0.0	1.8
	要介護5	125	37.6	0.0	0.8	4.0	0.0	0.8	12.8	43.2	0.0	0.8

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

要支援認定者等の結果を要支援度別にみると、大きな差異はみられない。

要介護認定者の結果を要介護度別にみると、要介護度が高くなるほど「自宅」が少なく、「病院」、「介護老人福祉施設、介護老人保健施設等」が多くなる傾向がみられ、平成27年度から介護老人福祉施設への新規入所者は要介護3以上と制限されたことも背景となっている。また、《要介護5》のみ「病院」においても1割以上となっており、療養型の医療施設への入所者が含まれていると推測される。

【クロス集計：要介護認定者（自宅 居住者のみ）：日常生活圏域別】

要介護認定者 (自宅 居住者のみ)	調査数(人)	家族構成						治療中、または後遺症のある病気(抜粋)						介護度				
		ひとり暮らし	夫婦二人暮らし (配偶者は65歳以上)	夫婦二人暮らし (配偶者は64歳以下)	子と同居	その他	認知症	筋骨格系疾患	眼科・耳鼻科疾患	脳血管疾患(脳卒中)	心疾患(心臓病)	糖尿病	変形性関節疾患	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	976	13.5	31.9	2.0	51.5	0.6	25.6	24.0	22.7	18.6	18.1	16.9	12.2	39.7	32.8	13.6	7.5	4.8
下鶴間地区	139	7.9	38.1	1.4	52.5	0.0	22.3	16.5	20.1	18.7	18.0	15.8	12.2	39.6	33.8	12.9	9.4	4.3
中央林間地区	91	8.8	35.2	2.2	52.7	1.1	31.9	23.1	28.6	23.1	12.1	14.3	11.0	29.7	37.4	17.6	9.9	5.5
南林間地区	116	18.1	32.8	1.7	45.7	0.9	39.7	28.4	26.7	7.8	20.7	7.8	16.4	42.2	33.6	12.1	6.0	6.0
鶴間地区	107	19.6	24.3	0.9	53.3	0.9	20.6	27.1	20.6	15.0	20.6	21.5	11.2	45.8	33.6	15.9	2.8	1.9
深見地区	86	19.8	27.9	3.5	47.7	1.2	18.6	26.7	19.8	11.6	20.9	14.0	11.6	41.9	30.2	14.0	7.0	7.0
上草柳地区	50	8.0	46.0	0.0	44.0	2.0	32.0	18.0	18.0	20.0	16.0	10.0	6.0	38.0	36.0	18.0	6.0	2.0
中央地区	75	16.0	30.7	2.7	50.7	0.0	25.3	30.7	22.7	24.0	17.3	18.7	18.7	37.3	33.3	16.0	8.0	5.3
桜丘地区	60	13.3	20.0	0.0	65.0	1.7	33.3	28.3	23.3	16.7	13.3	18.3	11.7	48.3	36.7	8.3	1.7	5.0
和田地区	66	13.6	34.8	4.5	45.5	0.0	18.2	25.8	27.3	21.2	13.6	22.7	12.1	47.0	25.8	9.1	13.6	4.5
福田北地区	64	15.6	29.7	0.0	54.7	0.0	21.9	15.6	18.8	26.6	21.9	15.6	14.1	42.2	34.4	9.4	10.9	3.1
福田南地区	106	7.5	31.1	4.7	55.7	0.0	19.8	23.6	22.6	26.4	20.8	26.4	7.5	34.9	32.1	17.0	8.5	7.5

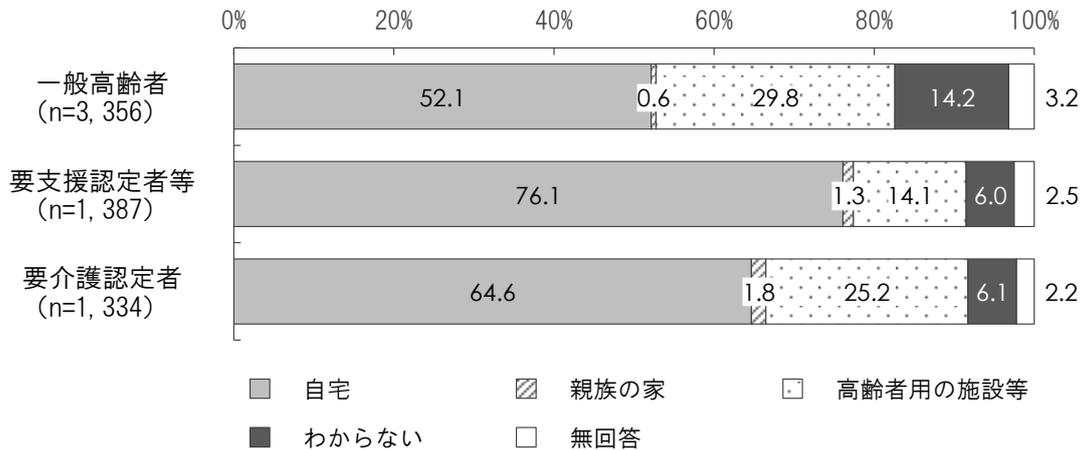
※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

要介護認定者の自宅居住者を日常生活圏域別にみると、《鶴間地区》と《深見地区》においては「ひとり暮らし」が約2割、《南林間地区》においては「認知症」が約4割と、比較的多くなっている。また、重い介護度の「介護度4」「介護度5」は多くの地域で1桁台となっているが、《和田地区》のみ「介護度4」が13.6%と多くなっている。

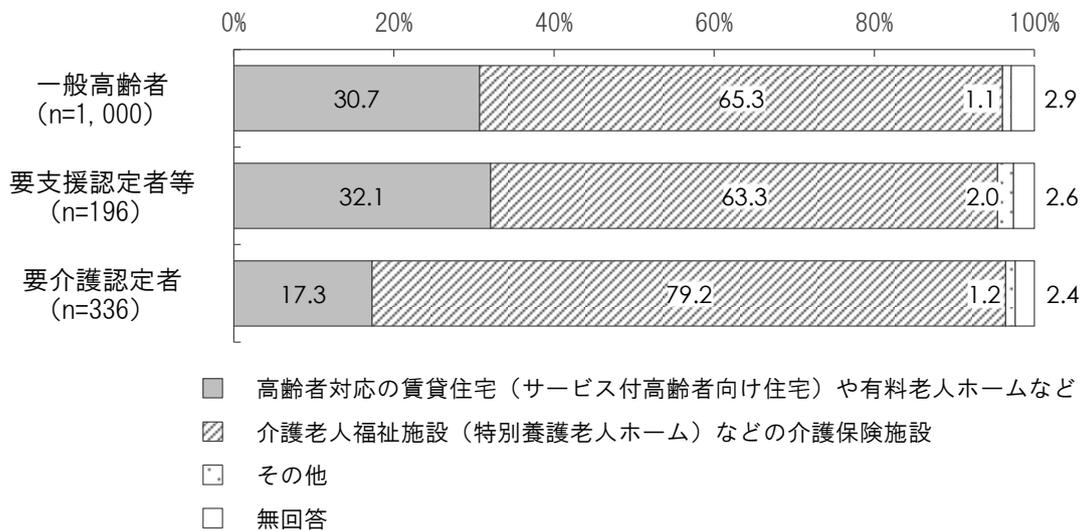
《一般高齢者：問 39・要支援認定者等：問 39・要介護認定者：問 8》

今後、どこで暮らしていきたいですか。（それぞれ単数回答）

【単純集計：今後暮らしたい場所】 ※一般高齢者は「介護が必要になったら」という前提での設問



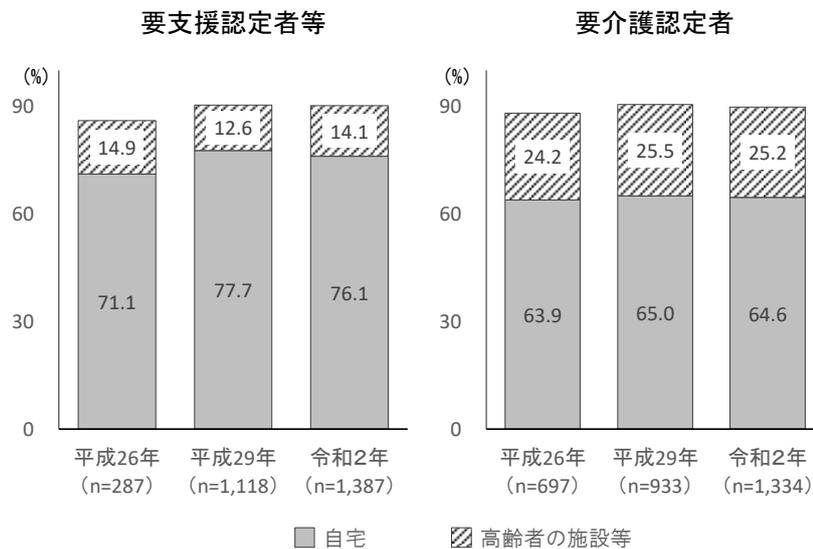
【単純集計：希望する施設の種類（「高齢者用の施設等」のみ）】



今後暮らしたい場所は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者ともに「自宅」が半数以上で、突出して多くなっている。特に、要支援認定者等は76.1%と、4人に3人以上の割合となっている。一方、一般高齢者・要介護認定者においては「高齢者用の施設等」も2割を超えて、比較的多くなっている。

「高齢者用の施設等」と回答した方が希望する施設の種類は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者ともに「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの介護保険施設」が6～7割台で、圧倒的に多くなっている。

【経年比較：要支援認定者等・要介護認定者】



※一般高齢者については、令和2年のみ「介護が必要になったら」という前提を付記したことにより、経年比較できないため、記載していない。

経年比較でみると、要支援認定者等・要介護認定者ともに、前回、前々回と大きな差異はみられず、要支援認定者等においては、「自宅」が7割台、「高齢者の施設等」が12～14%台で、要介護認定者においては、「自宅」が65%程度、「高齢者の施設等」が25%程度で推移している。

【クロス集計：一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者：日常生活圏域別・世帯構成別・現住まい別・暮らしの状況別】

要介護認定者	調査数（人）	今後住みたい場所			
		自宅	親族の家	高齢者用の施設等	わからない
全体	1,334	64.6	1.8	25.2	6.1
日常生活圏域別					
下鶴間地区	186	68.8	0.5	23.7	3.8
中央林間地区	121	59.5	3.3	25.6	9.9
南林間地区	163	63.2	3.1	26.4	5.5
鶴間地区	137	66.4	2.2	21.2	8.8
深見地区	133	59.4	0.0	30.3	9.0
上草柳地区	68	64.7	0.0	29.4	4.4
中央地区	105	65.7	1.0	22.9	7.6
桜丘地区	71	76.1	2.8	18.3	2.8
和田地区	92	64.1	2.2	25.0	4.3
福田北地区	88	65.9	1.1	22.7	8.0
福田南地区	150	62.0	2.0	28.7	3.3
世帯構成別					
ひとり暮らし	210	51.4	0.0	35.7	10.5
夫婦二人暮らし（65歳以上）	368	75.5	1.4	17.7	2.7
夫婦二人暮らし（64歳以下）	25	80.0	0.0	12.0	4.0
子と同居	627	68.1	2.7	22.3	5.3
その他	91	26.4	1.1	53.8	16.5
現住まい					
自宅	976	80.9	0.3	12.9	4.5
親戚の家	30	6.7	70.0	10.0	6.7

要支援認定者等	調査数（人）	今後住みたい場所			
日常生活圏域別	世帯構成別	現住まい	暮らしの状況別		
全体	1,387	76.1	1.3	14.1	6.0
下鶴間地区	188	76.6	1.6	11.7	6.4
中央林間地区	126	77.0	2.4	12.7	6.3
南林間地区	168	76.2	1.8	16.1	4.8
鶴間地区	144	71.5	1.4	14.6	7.6
深見地区	143	71.3	0.0	19.6	7.0
上草柳地区	81	84.0	0.0	9.9	4.9
中央地区	106	83.0	0.0	13.2	2.8
桜丘地区	68	76.5	2.9	11.8	7.4
和田地区	98	63.3	3.1	20.4	7.1
福田北地区	90	80.0	0.0	14.4	5.6
福田南地区	141	81.6	1.4	9.2	5.7
ひとり暮らし	461	64.0	1.7	22.8	9.3
夫婦二人暮らし（65歳以上）	391	83.9	0.0	9.0	4.9
夫婦二人暮らし（64歳以下）	30	76.7	3.3	13.3	0.0
子と同居	463	83.2	1.5	8.9	4.1
その他	24	50.0	4.2	37.5	8.3
自宅	1,315	78.9	0.6	12.5	5.8
親戚の家	14	0.0	71.4	14.3	14.3
暮らしの状況別					
大変苦しい	99	69.7	2.0	15.2	12.1
やや苦しい	342	66.7	2.0	20.5	7.6
ふつう	783	80.5	1.1	11.2	5.2
ややゆとりがある	90	86.7	0.0	10.0	1.1
大変ゆとりがある	12	66.7	0.0	16.7	8.3

一般高齢者「介護が必要になったら」という前提条件	調査数（人）	今後住みたい場所			
日常生活圏域別	世帯構成別	現住まい	暮らしの状況別		
全体	3,356	52.1	0.6	29.8	14.2
下鶴間地区	467	52.2	0.6	28.7	14.1
中央林間地区	299	45.2	0.3	36.1	16.1
南林間地区	394	50.0	0.8	32.2	13.2
鶴間地区	345	54.5	0.3	28.7	13.9
深見地区	327	53.2	0.9	27.8	15.6
上草柳地区	177	56.5	1.1	24.9	15.3
中央地区	267	52.1	0.4	30.3	12.7
桜丘地区	173	56.6	0.6	28.9	11.6
和田地区	238	45.8	0.4	34.5	14.7
福田北地区	213	50.2	0.0	27.2	16.4
福田南地区	372	58.1	1.3	26.9	12.1
ひとり暮らし	584	37.2	1.5	34.6	22.1
夫婦二人暮らし（65歳以上）	1,356	54.8	0.1	30.1	12.7
夫婦二人暮らし（64歳以下）	166	54.8	0.6	30.7	11.4
子と同居	1,155	56.3	0.8	26.7	12.5
その他	80	51.3	1.3	30.0	16.3
自宅	3,282	52.7	0.4	29.7	14.2
親戚の家	21	4.8	38.1	23.8	33.3
暮らしの状況別					
大変苦しい	194	51.5	1.5	22.2	19.6
やや苦しい	709	49.5	0.7	31.9	14.5
ふつう	2,009	53.3	0.5	28.9	13.9
ややゆとりがある	286	50.3	0.7	35.0	11.9
大変ゆとりがある	36	61.1	0.0	33.3	5.6

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

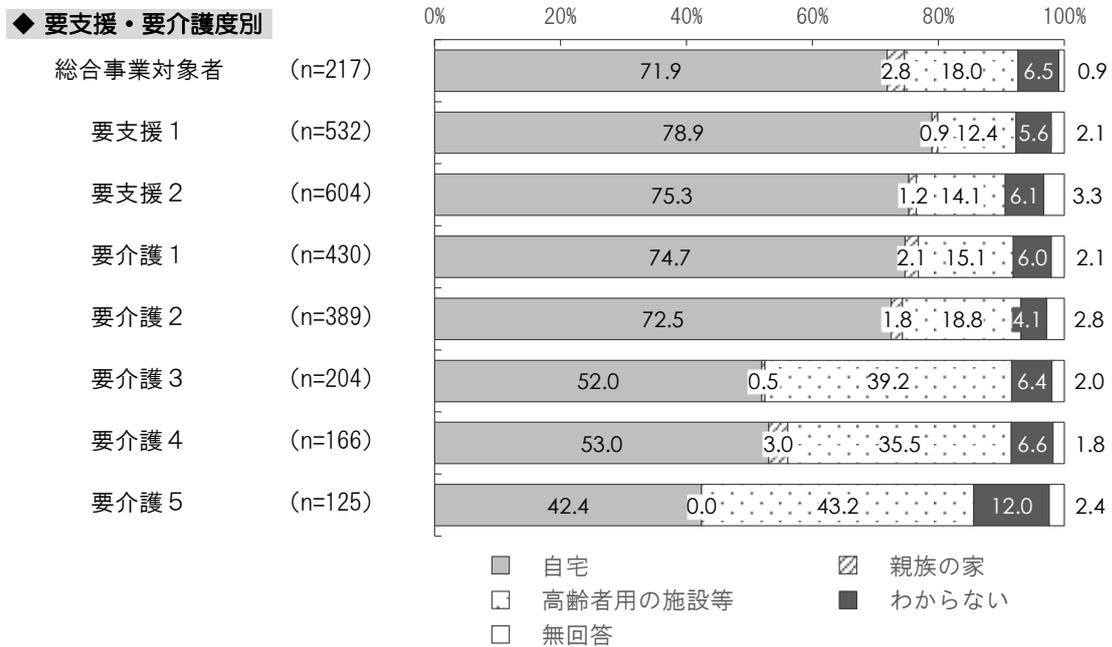
日常生活圏域別でみると、《深見地区》において要支援認定者等・要介護認定者ともに「高齢者用の施設等」が全体平均よりも唯一5ポイント多くなっている。

世帯構成別では、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者ともに「ひとり暮らし」が全体平均よりも5ポイント以上多くなっている。

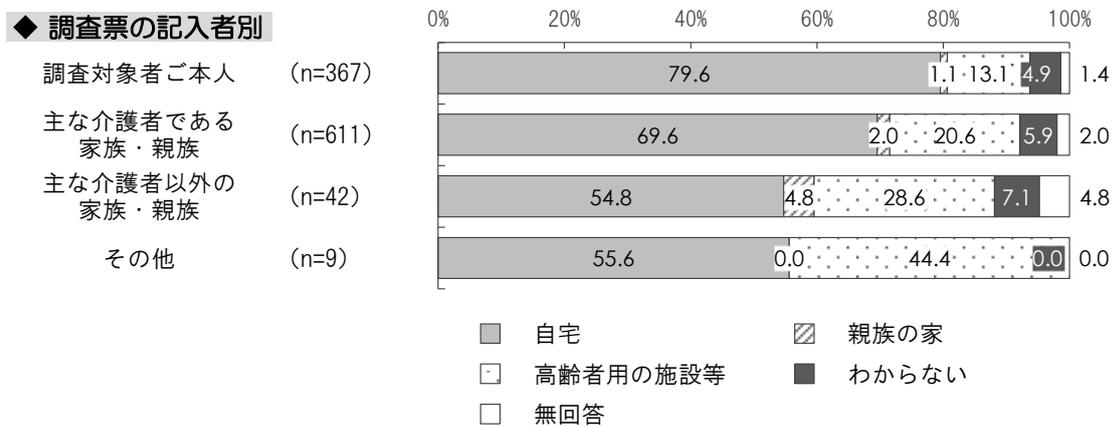
現住まい別でみると、一般高齢者の《自宅》において、「高齢者用の施設等」が29.7%と、約3割の回答者が、現住まいからの変更意向がみられ、比較的多くなっている。

暮らしの状況別でみると、一般高齢者と要支援認定者では傾向が異なっている。

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：要支援・要介護度別】



【クロス集計：要介護認定者：調査票の記入者別】



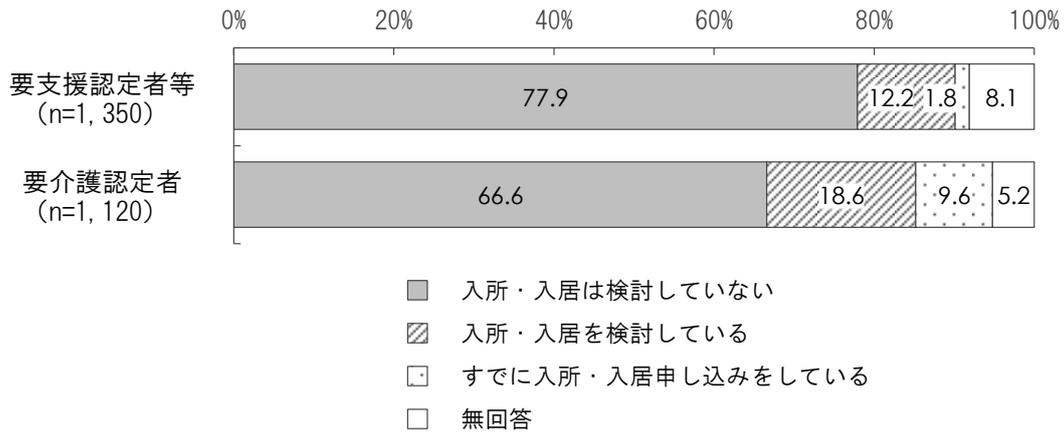
要介護度別にみると、要支援認定者等に関しては、大きな差異は見られないが、要介護認定者では、要介護度が高くなるほど「自宅」が少なく、「高齢者用の施設等」が多くなる傾向がみられる。特に要介護3以上において「高齢者用の施設等」が3～4割で多くなっている。

要介護認定者の結果を調査票の記入者別にみると、「高齢者用の施設等」は《調査対象者ご本人》では13.1%と1割の前半であるが、《主な介護者である家族・親族》では20.6%、《主な介護者以外の家族・親族》では28.6%と、回答者本人より家族等になることで、自宅以外の割合が増え、認定者本人と介護者では異なる傾向がみられる。

《要支援認定者等：問 40・要介護認定者：問 9》

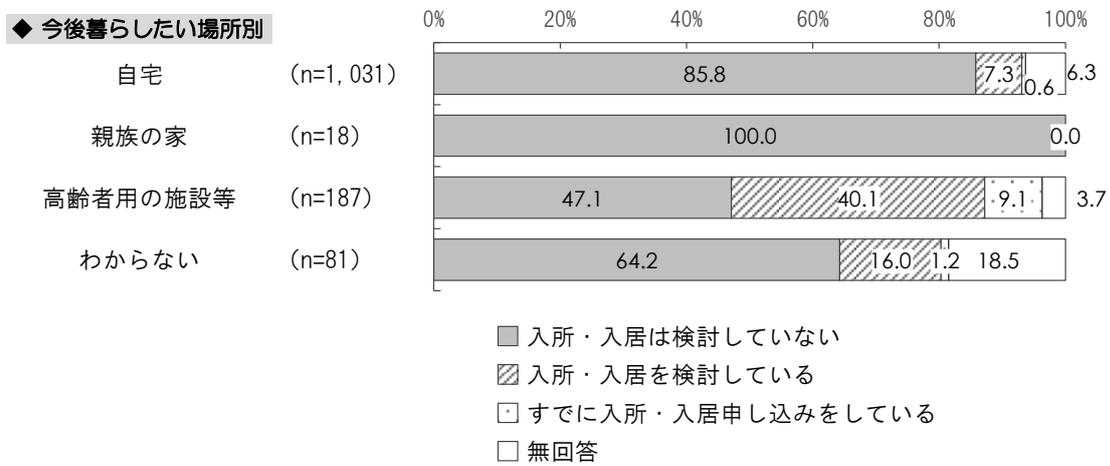
現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
 (単数回答)

【単純集計】

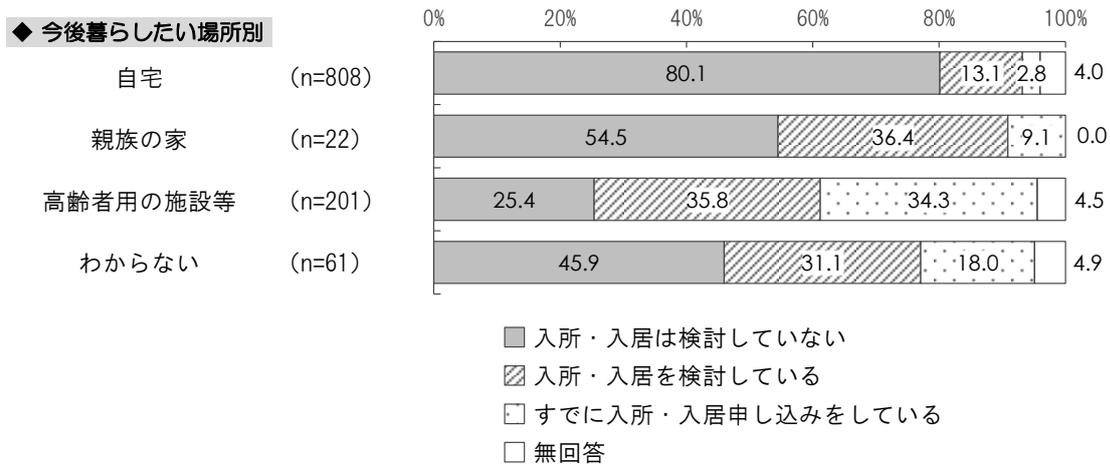


施設等への入所・入居の検討状況は、要支援入所者等・要介護認定者ともに「入所・入居を検討している」が1割台となっており、要支援認定者等では12.2%であるのに対し、要介護認定者では18.6%と、6.4ポイントの差がみられる。

【クロス集計：要支援認定者等：今後の暮らしたい場所別】



【クロス集計：要介護認定者：今後の暮らしたい場所別】

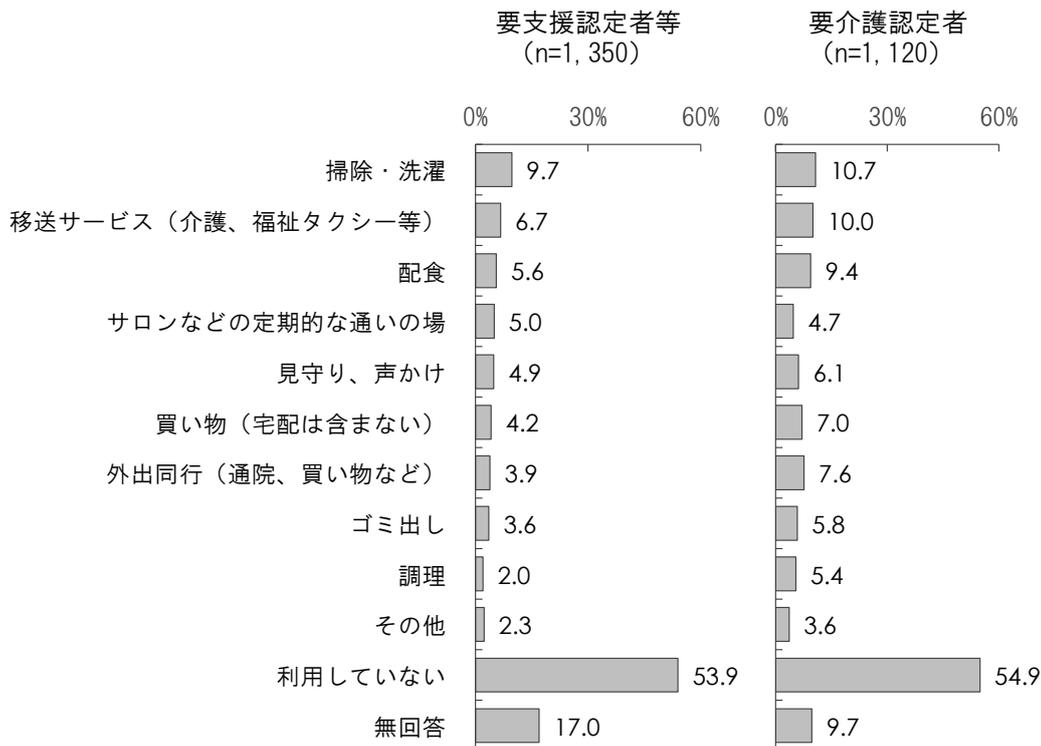


今後暮らしたい場所別にみると、要支援認定者等・要介護認定者ともに、今後暮らしたい場所を《高齢者用の施設》と回答していても、現時点では「入所・入居を検討していない」と回答した割合が一定数いて、要支援認定者等では47.1%、要介護認定者では25.4%と、半数近くを占めている。反対に、今後暮らしたい場所を《自宅》と回答していても、「入所・入居を検討している」と回答した割合が、それぞれ1割程度となっている。

《要支援認定者等：問 41・要介護認定者：問 10》

現在、利用している介護保険サービス以外の生活支援サービスを教えてください。（複数回答可）

【単純集計】



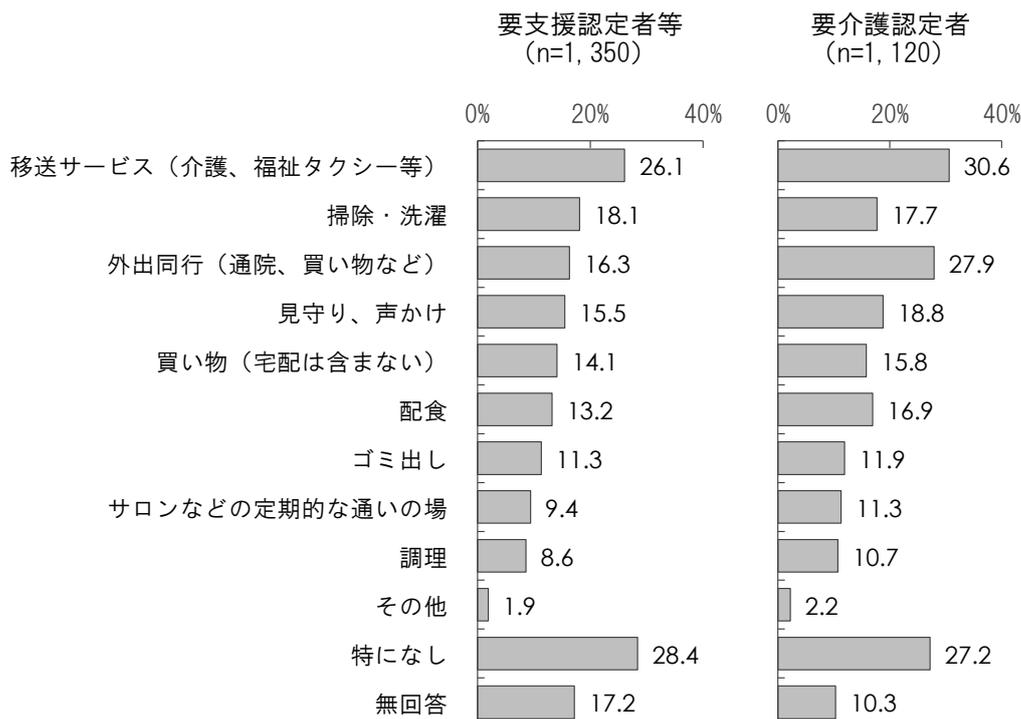
現在、利用している介護保険サービス以外の生活支援サービスは、要支援者等・要介護認定者ともに「利用していない」が多くなっているものの、サービスを利用している割合（全体－「利用していない」－「無回答」）は、要支援者等では 29.1%、要介護認定者では 35.4%となっている。

実際に利用されているサービスについては、要支援認定者等・要介護認定者ともに上位 3 項目は同じで、「掃除、洗濯」、「移送サービス（介護、福祉タクシー等）」、「配食」の順となっており、大半の項目では要介護認定者の方が多くなか、「サロンなどの定期的な通いの場」のみ、要支援認定者等の方が、0.3 ポイントと僅かではあるが、上回っている。

《要支援認定者等：問 42・要介護認定者：問 11》

今後の在宅生活の継続に必要と感じる生活支援サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。
 ※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。
 （複数回答可）

【単純集計】



今後の在宅生活の継続に必要と感じる生活支援サービスは、要支援認定者等・要介護認定者ともに「特になし」が3割弱いるものの、何かしらのサービスを使いたい割合（全体－「特になし」－「無回答」）は、要支援者等では54.4%、要介護認定者では62.5%と、利用状況（103ページ参照）よりも、それぞれ25ポイント程度多くなっている。

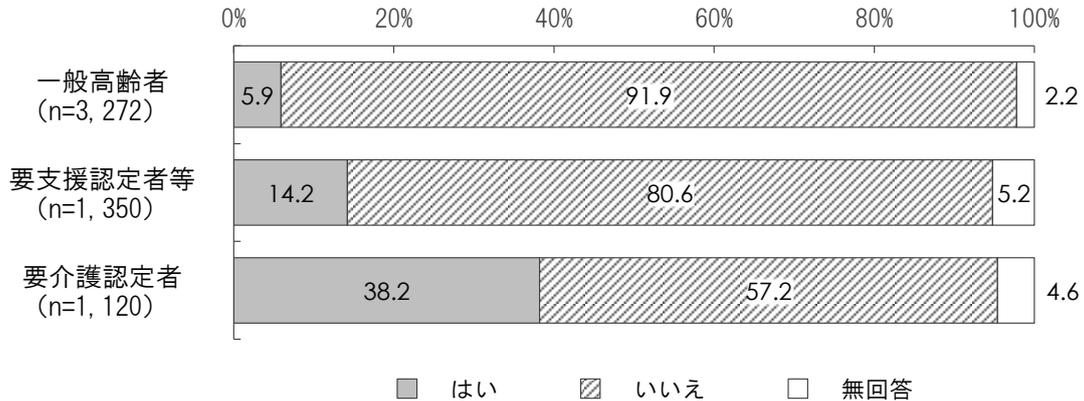
具体的なサービス内容は、要支援認定者等・要介護認定者ともに「移送サービス（介護、福祉タクシー等）」が3割前後で最も多く、その後の順位は若干異なるものの、「外出同行（通院、買い物など）」は要支援認定者等では16.3%で3位、要介護認定者では27.9%と、外出を伴うサービスが上位となっている。

9 認知症施策等について

《一般高齢者：問 40・要支援認定者等：問 43・要介護認定者：問 12》

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。
(単数回答)

【単純集計】

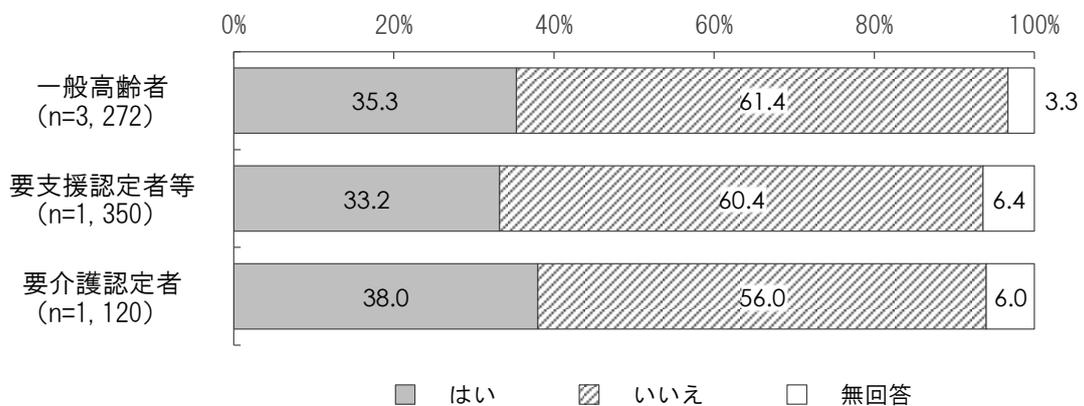


認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の有無は、介護の必要性がある調査対象者ほど、「はい（＝いる）」の割合は増加しており、一般高齢者の 5.9%に対し、要支援認定者等では 14.2%、要介護認定者では 38.2%と、要介護認定者と一般高齢者では 32.3 ポイントの差がみられる。

《一般高齢者：問 41・要支援認定者等：問 44・要介護認定者：問 13》

認知症に関する相談窓口を知っていますか。(単数回答)

【単純集計】

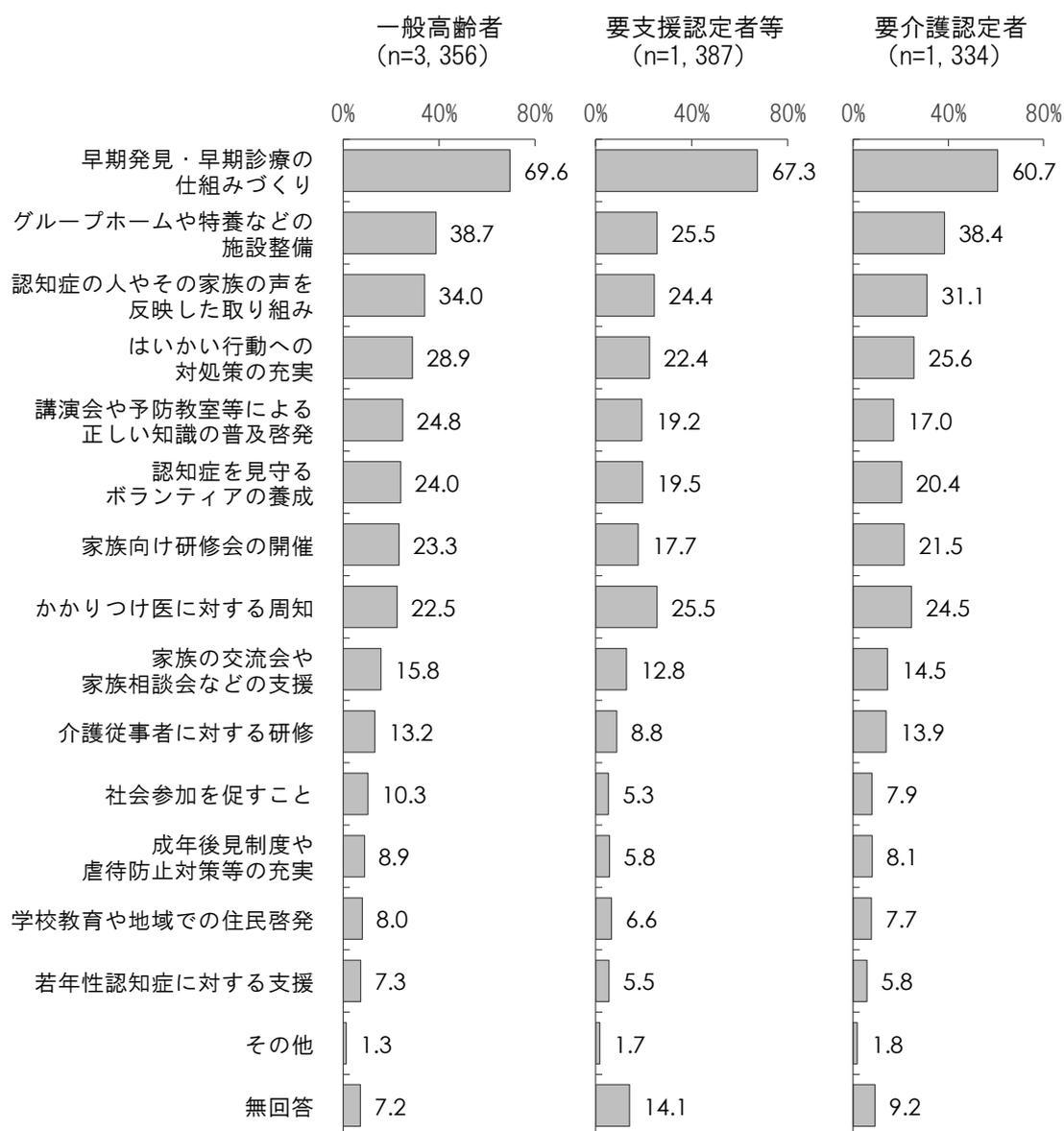


認知症に関する相談窓口の認知状況は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、「はい」が3割台、「いいえ」が6割前後となっており、上記の設問結果との関連で、身近に認知症の人がいる割合が比較的少ない一般高齢者や要支援認定者等においても、要介護認定者と同等に認識されていることがうかがえる。

《一般高齢者：問 42・要支援認定者等：問 45・要介護認定者：問 14》

大和市が認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。(複数回答可：5つまで)

【単純集計】



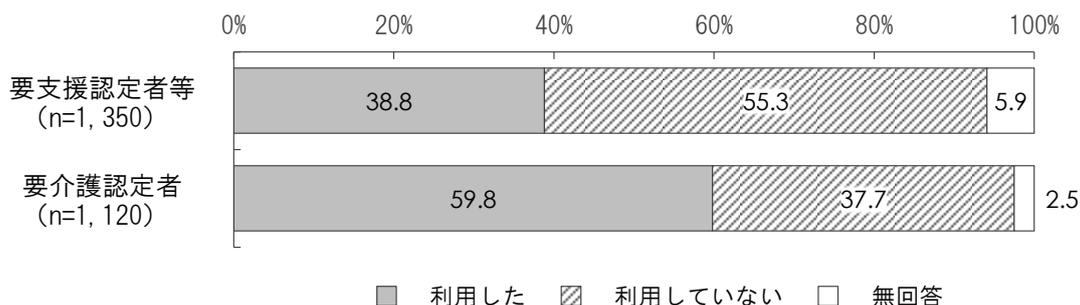
大和市が認知症対策を進めていくうえで、重点を置くべきと考えることは、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した傾向がみられ、いずれにおいても「早期発見・早期診療の仕組みづくり」が6割台で突出して多く、「グループホームや特養などの施設整備」、「認知症の人やその家族の声を反映した取り組み」、「はいかい行動への対処策の充実」が続く。また、「かかりつけ医に対する周知」は要支援認定者等においては同率で第2位、要介護認定者においても24.5%で5位と比較的上位となっているものの、一般高齢者では8位で、重要度の差異がみられる。

10 介護保険サービス等について

《要支援認定者等：問 46・要介護認定者：問 15》

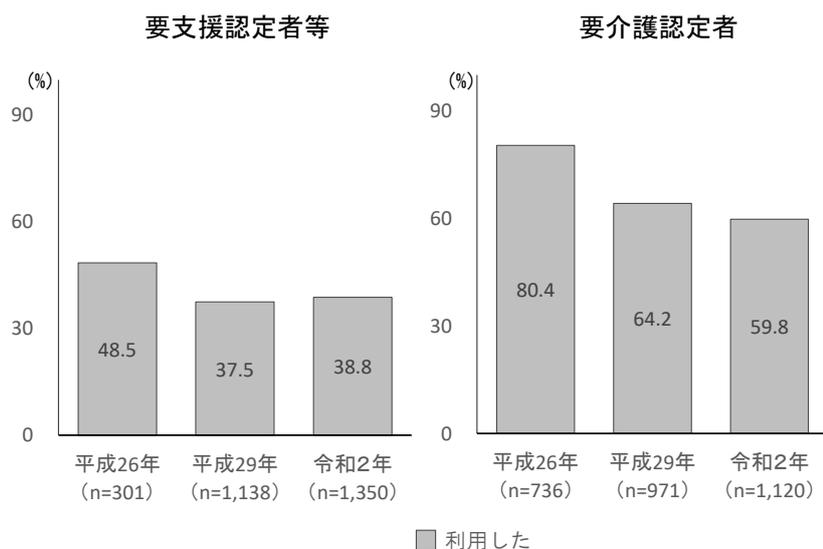
令和元年12月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しましたか。※要支援認定者等は、介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防訪問型サービス、訪問型サービスA、介護予防通所型サービスを含みます。（単数回答）

【単純集計】



令和元年12月における住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況は、要支援認定者等において「利用していない」が55.3%と、過半数を占めている。一方、要介護認定者においては「利用した」が59.8%と、約6割となっているが、「利用していない」も37.7%と、4割弱となっており、要介護認定は受けたが、在宅介護サービスを利用していない人も一定数みられる。

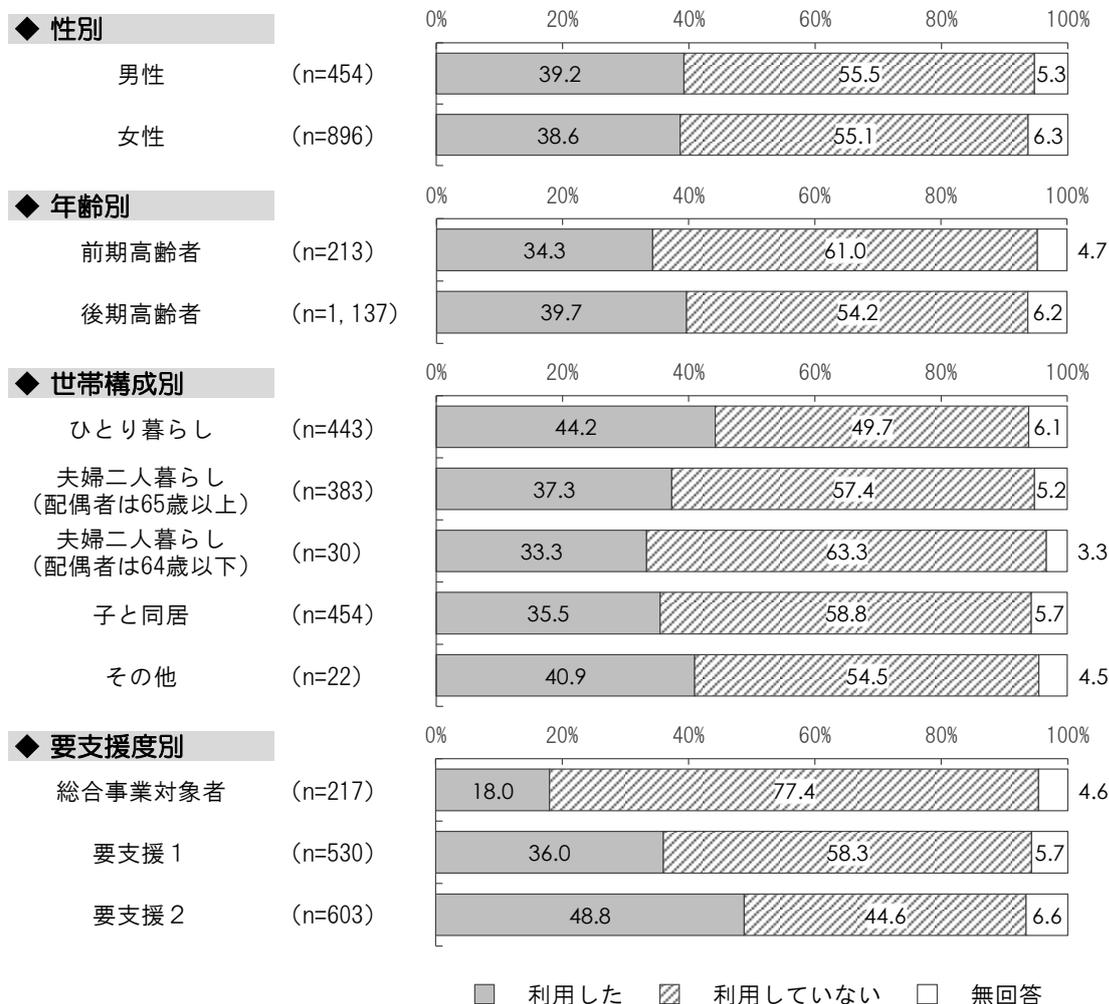
【経年比較：「利用した」】



* 平成26年調査では、“住宅改修、福祉用具貸与・購入”も含まれる

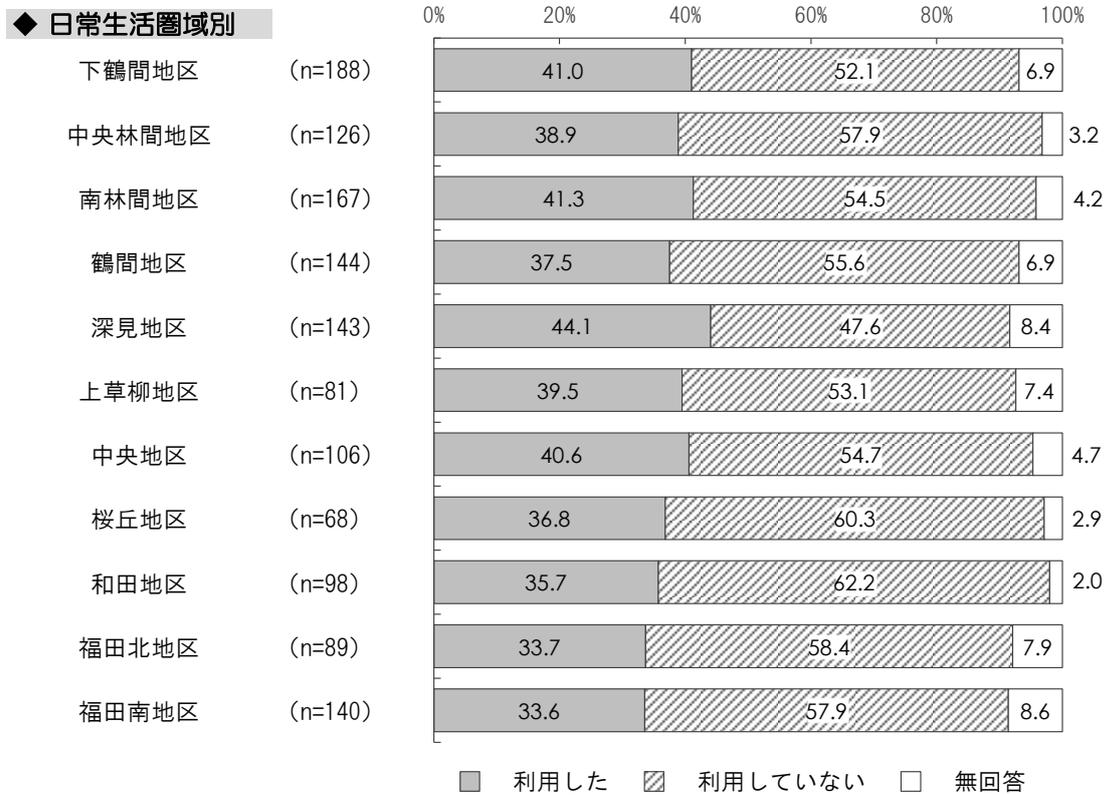
平成26年調査では、住宅改修、福祉用具貸与・購入も含まれているため、一概には比較できないため、前回のみで比較すると、「利用した」は要支援認定者等では1.3ポイントの微増、要介護認定者では4.4ポイントの減少となっている。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別・世帯構成別・要支援度別】



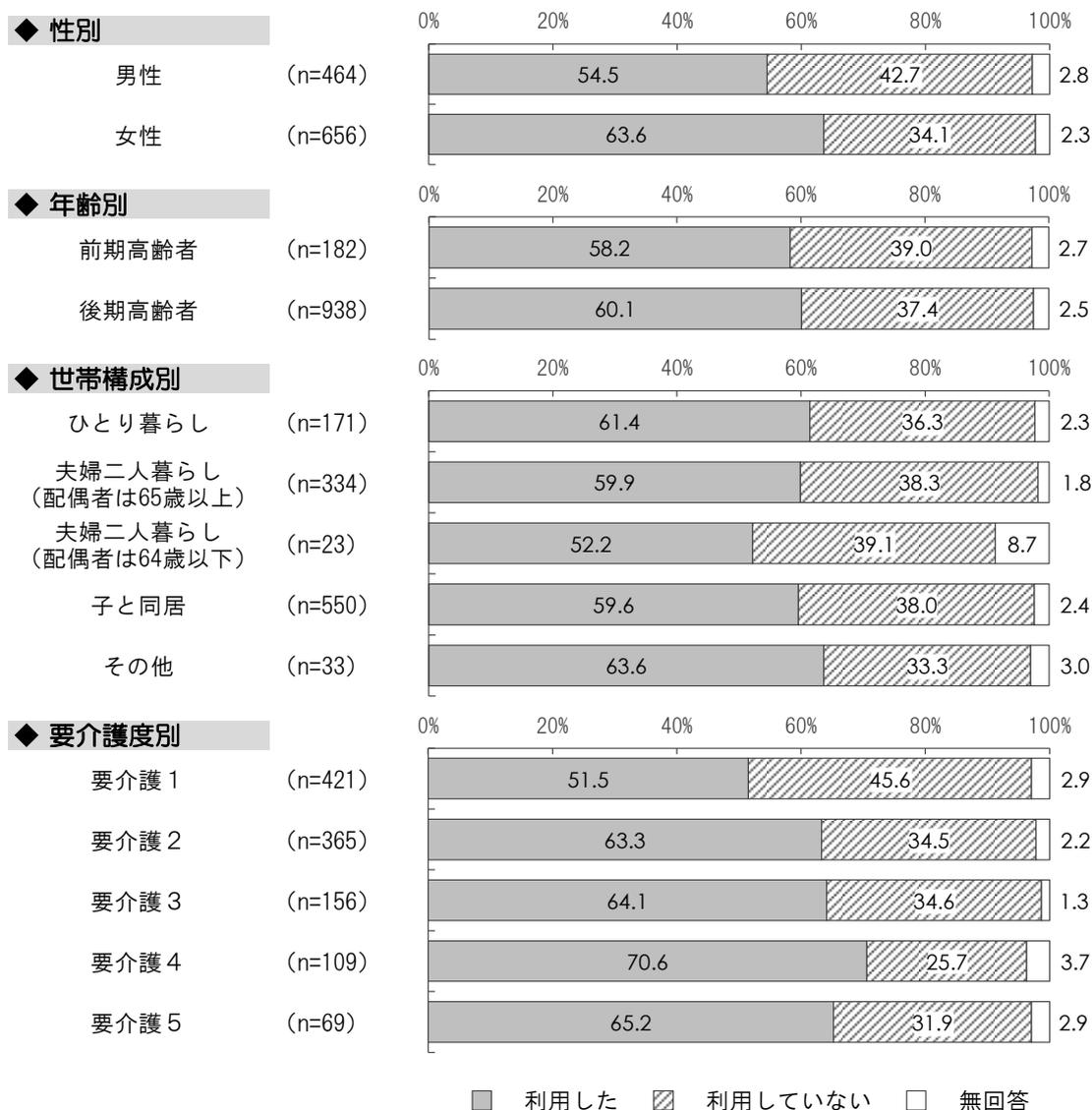
要支援認定者等の結果を性別にみると、大きな差異はみられない。
 要支援認定者等の結果を年齢別にみると、「利用した」は《前期高齢者》の 34.3%に対し、《後期高齢者》が 39.7%と、4割近くを占め、5.4ポイントの差がみられる。
 要支援認定者等の結果を世帯構成別にみると、《ひとり暮らし》において「利用した」が 44.2%と、4割を超えて多く、最も利用した割合が少ない《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》の 33.3%とは、10.9ポイントの差がみられる。
 要支援認定者等の結果を要支援度別にみると、要支援度が高くなるほど「利用した」が多くなる傾向が顕著にみられ、《総合事業対象者》の 18.0%に対し、《要支援2》は 48.8%と、3倍近い数値となっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別】



要支援認定者等の結果を日常生活圏域別にみると、「深見地区」、「南林間地区」、「下鶴間地区」、「中央地区」の4地区で「利用した」が4割を超えている。一方、「利用した」が最も少ないのは「福田南地区」の33.6%で、最も多い「深見地区」とは、10.5ポイントの差となっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・世帯構成別・要介護度別】



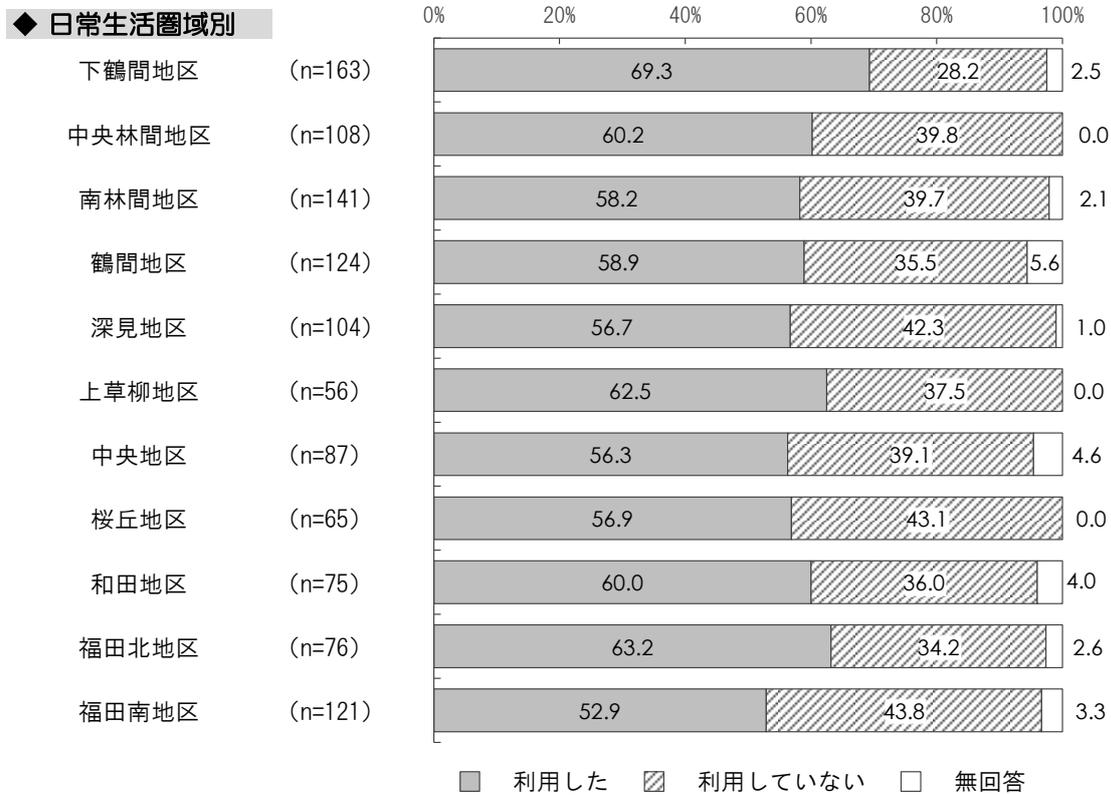
要介護認定者の結果を性別にみると、「利用した」は《男性》の 54.5%に対し、《女性》は 63.6%で6割以上となっており、9.41ポイントの差がみられる。

要介護認定者の結果を年齢別にみると、大きな差異はみられない。

要介護認定者の結果を世帯構成別にみると、要支援認定者等と同様、《ひとり暮らし》において「利用した」が61.4%と、6割を超えて多く、最も利用した割合が少ない《夫婦二人暮らし(配偶者は64歳以下)》の52.2%とは、9.2ポイントの差がみられる。

要介護認定者の結果を要介護度別にみると、《要介護1》から《要介護4》までは、介護度が高くなるほど、「利用した」が多くなっているが、《要介護5》は、《要介護4》よりも若干低くなっている。

【クロス計：要介護認定者：日常生活圏域別】



要介護認定者等の結果を日常生活圏域別にみると、「利用した」が最も多い地区は、《下鶴間地区》の 69.3%で、ほぼ7割となっている。一方、「利用した」が最も少ないのは《福田南地区》の 52.9%で、最も多い《下鶴間地区》とは、16.4ポイントの差となっている。

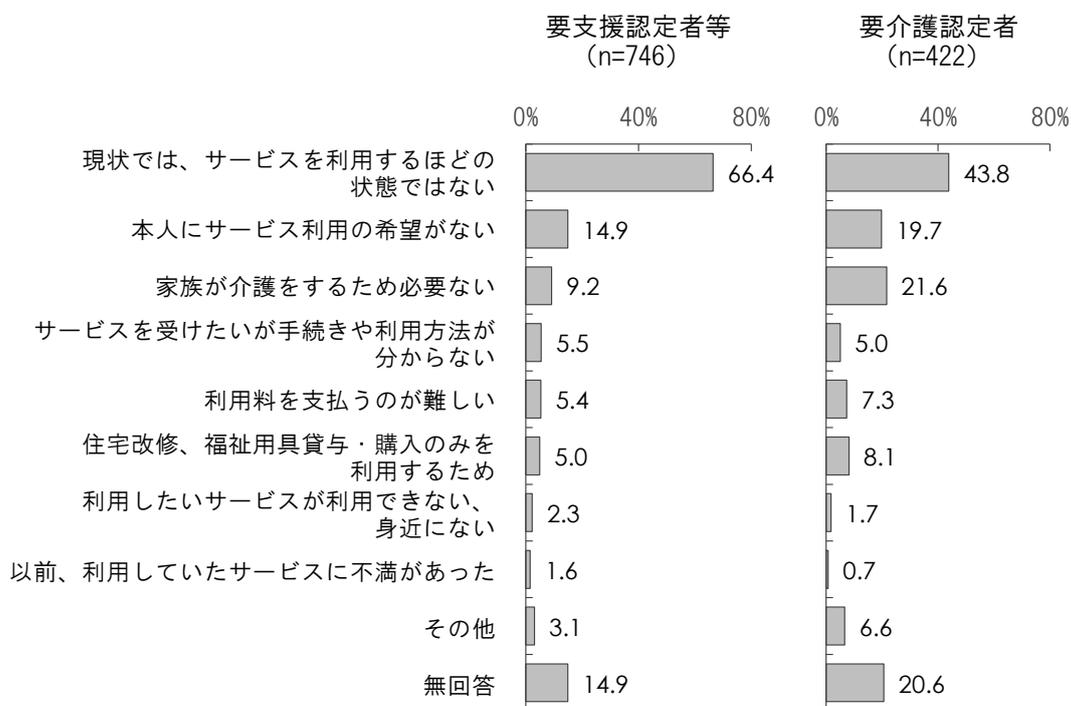
また、《福田南地区》は、要支援認定者等と要介護認定者の双方で、「利用した」割合が最も低い地域となっている。

要支援認定者等：問 46・要介護認定者：問 15 で「利用していない」と回答した方のみ

《要支援認定者等：問 46－ 1・要介護認定者：問 15－ 1》

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

【単純集計】



介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が要支援認定者等・要介護認定者ともに最も多くなっており、特に、要支援認定者等では66.4%と、圧倒的に多くなっている。第2位以降は順位が異なり、要支援認定者等は「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」の順で続き、要介護認定者は「家族が介護をするため必要ない」、「本人にサービス利用の希望がない」の順で続いており、特に、「家族が介護をするため必要ない」は、要支援認定者等とは12.4ポイントの差がみられ、比較的大きな差異となっている。

【クロス集計：要支援認定者等：日常生活圏域別 / 世帯構成別】

	調査数（人）	介護保険サービスを利用していない理由（％）										
		現状では、サービスを利用するほどではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	サービスを受けたいが手続きが分からない	利用料を支払うのが難しい	入宅改修、福祉用具貸与・購入	利用したいサービスが利用できない、身近にない	以前、利用していたサービスに不満があった	その他	無回答	
全体	422	43.8	19.7	21.6	0.7	7.3	1.7	8.1	5.0	6.6	20.6	
日常生活圏域別	下鶴間地区	46	41.3	30.4	15.2	2.2	10.9	2.2	8.7	6.5	8.7	17.4
	中央林間地区	43	37.2	18.6	23.3	0.0	9.3	0.0	9.3	2.3	2.3	20.9
	南林間地区	56	41.1	14.3	16.1	0.0	3.6	1.8	5.4	3.6	12.5	19.6
	鶴間地区	44	52.3	18.2	15.9	0.0	9.1	0.0	2.3	6.8	11.4	15.9
	深見地区	44	31.8	22.7	25.0	0.0	4.5	2.3	11.4	2.3	13.6	22.7
	上草柳地区	21	47.6	23.8	19.0	0.0	9.5	0.0	4.8	9.5	0.0	23.8
	中央地区	34	52.9	20.6	29.4	2.9	5.9	5.9	8.8	5.9	5.9	8.8
	桜丘地区	28	53.6	17.9	10.7	0.0	0.0	0.0	10.7	3.6	3.6	21.4
	和田地区	27	40.7	14.8	22.2	0.0	3.7	3.7	7.4	3.7	7.4	29.6
	福田北地区	26	57.7	30.8	30.8	0.0	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	23.1
	福田南地区	53	39.6	11.3	30.2	1.9	9.4	1.9	11.3	9.4	0.0	26.4
世帯構成別	ひとり暮らし	62	35.5	17.7	12.9	1.6	9.7	1.6	11.3	4.8	8.1	25.8
	夫婦二人暮らし（65歳以上）	128	45.3	20.3	21.9	0.8	6.3	2.3	5.5	6.3	5.5	21.1
	夫婦二人暮らし（64歳以下）	9	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	55.6
	子と同居	209	48.8	20.6	25.4	0.5	7.7	1.4	9.6	4.8	4.3	16.7
	その他	11	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	45.5	27.3

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）
サンプル数が1桁の項目については識別していない。

要支援認定者等の結果を日常生活圏域別にみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が《福田北地区》、《桜丘地区》、《中央地区》、《鶴間地区》の4地区で、半数を超えて多くなっている。また、《福田北地区》は全体平均よりも5ポイント多い項目が4つもあり、サービス未利用の理由が多岐にわたっている。

要支援認定者等の結果を世帯構成別にみると、《子と同居》において「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が48.8%と、比較的多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別 / 世帯構成別】

要介護認定者	調査数(人)	介護保険サービスを利用していない理由(%)										
		現状では、サービスを利用するほどではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	サービスを受けたいが手続きが分からない	利用料を支払うのが難しい	入宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	利用したいサービスが利用できない、身近にない	以前、利用していたサービスに不満があった	その他	無回答	
全体	746	66.4	14.9	9.2	1.6	5.4	2.3	5.0	5.5	3.1	14.9	
日常生活圏域別	下鶴間地区	98	66.3	12.2	12.2	3.1	3.1	0.0	6.1	3.1	1.0	21.4
	中央林間地区	73	71.2	12.3	4.1	0.0	4.1	4.1	11.0	4.1	2.7	11.0
	南林間地区	91	73.6	12.1	11.0	0.0	4.4	3.3	4.4	8.8	2.2	12.1
	鶴間地区	80	70.0	20.0	8.8	0.0	0.0	2.5	2.5	8.8	3.8	13.8
	深見地区	68	50.0	19.1	8.8	1.5	13.2	0.0	2.9	10.3	4.4	19.1
	上草柳地区	43	69.8	23.3	16.3	0.0	4.7	2.3	4.7	7.0	7.0	4.7
	中央地区	58	72.4	19.0	6.9	3.4	3.4	1.7	5.2	1.7	3.4	6.9
	桜丘地区	41	68.3	4.9	7.3	7.3	7.3	2.4	2.4	7.3	2.4	4.9
	和田地区	61	63.9	19.7	6.6	0.0	11.5	4.9	1.6	1.6	0.0	23.0
	福田北地区	52	59.6	3.8	11.5	0.0	0.0	0.0	1.9	3.8	3.8	19.2
福田南地区	81	63.0	16.0	8.6	3.7	8.6	3.7	8.6	3.7	4.9	18.5	
世帯構成別	ひとり暮らし	220	63.6	15.9	3.2	1.8	7.7	0.5	2.7	5.0	2.7	18.2
	夫婦二人暮らし(65歳以上)	220	68.6	13.2	11.8	1.8	3.2	2.7	7.3	6.8	4.1	15.5
	夫婦二人暮らし(64歳以下)	19	63.2	10.5	15.8	0.0	10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	21.1
	子と同居	267	67.0	16.9	11.6	1.5	4.9	3.7	5.2	4.5	2.6	10.9
	その他	12	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	16.7

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

要介護認定者の結果を日常生活圏域別にみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が《南林間地区》、《中央地区》の2地区で、全体平均よりも5ポイント以上多くなっている。

要介護認定者の結果を世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし(64歳以下)》において「家族が介護をするため必要ない」と「利用料を支払うのが難しい」が全体平均よりも5ポイント以上多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：要支援度別・要介護度別】

	調査数（人）	介護保険サービスを利用していない理由（％）									
		現状では、サービスを利用するほどではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	利用料を支払うのが難しい	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	利用したいサービスが利用できない、身近にない	以前、利用していたサービスに不満があった	その他	無回答
全体	746	66.4	14.9	9.2	5.5	5.4	5.0	2.3	1.6	3.1	14.9
要支援認定者等											
総合事業対象者	168	79.8	9.5	4.2	4.2	4.2	2.4	1.8	1.2	2.4	11.9
要支援1	309	68.3	16.2	11.0	5.5	4.9	4.9	2.3	1.3	2.3	13.6
要支援2	269	55.8	16.7	10.4	6.3	6.7	6.7	2.6	2.2	4.5	18.2

	調査数（人）	介護保険サービスを利用していない理由（％）									
		現状では、サービスを利用するほどではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	利用料を支払うのが難しい	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	利用したいサービスが利用できない、身近にない	以前、利用していたサービスに不満があった	その他	無回答
全体	422	43.8	19.7	21.6	5.0	7.3	8.1	1.7	0.7	6.6	20.6
要介護認定者											
要介護1	192	53.6	22.9	18.8	3.1	8.9	7.3	2.1	0.5	4.2	18.8
要介護2	126	39.7	19.8	21.4	5.6	6.3	8.7	0.0	0.0	4.8	21.4
要介護3	54	29.6	14.8	27.8	5.6	7.4	9.3	1.9	0.0	13.0	22.2
要介護4	28	39.3	10.7	28.6	14.3	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1	25.0
要介護5	22	22.7	13.6	22.7	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	22.7	22.7

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

要支援認定者等の結果を要支援度別にみると、要支援度が高くなるほど「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が少なく、「本人にサービス利用の希望がない」が多くなる傾向がみられる。

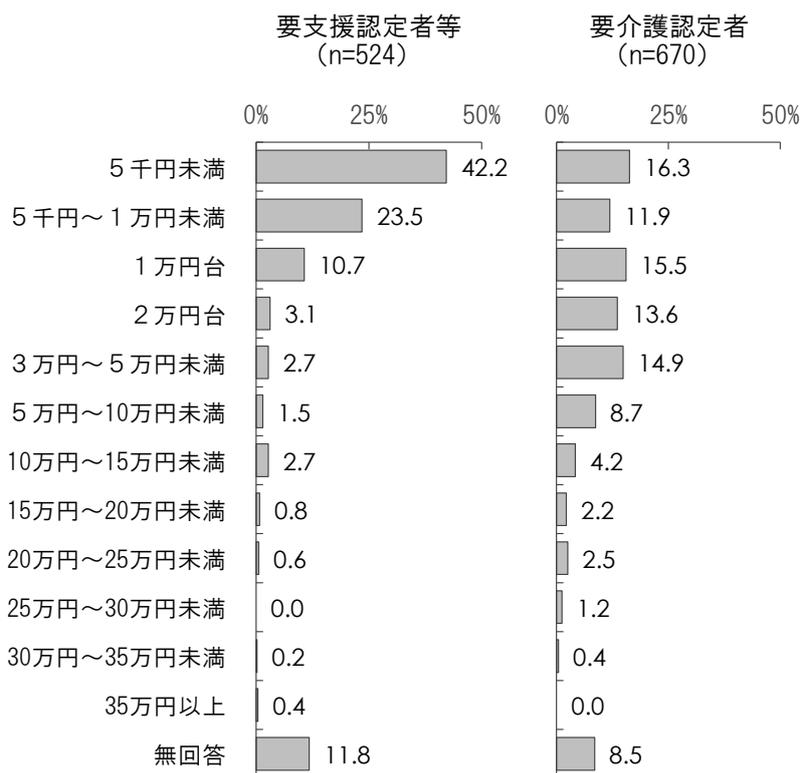
要介護認定者の結果を要介護度別にみると、《要介護1》において「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」が多く、《要介護4》において「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない」が比較的多くなっている。

要支援認定者等：問 46・要介護認定者：問 15 で「利用した」と回答した方のみ

《要支援認定者等：問 46-2・要介護認定者：問 15-2》

現在、利用している介護保険サービスに伴う利用者負担額と施設における居住費や光熱水費、通所介護（デイサービス）などにおける食費等を合わせた1か月あたりの支払総額の概算を教えてください。（単数回答）

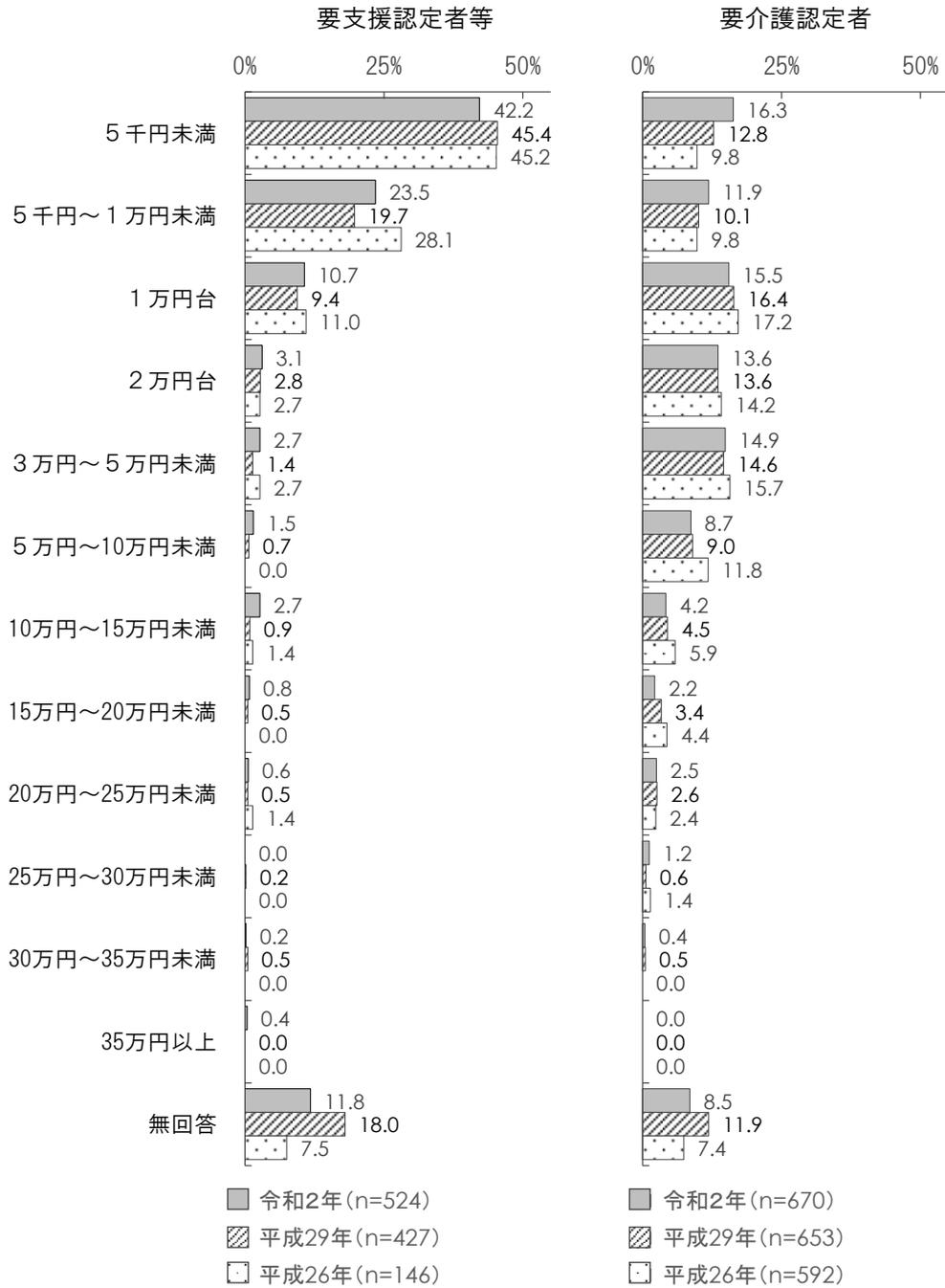
【単純集計】



介護保険サービスに伴う利用者負担額などの1か月あたりの支払総額は、要支援認定者等・要介護認定者ともに「5千円未満」が最も多くなっている一方で、要支援認定者等 42.2%、要介護認定者 16.3%と、25.9ポイントの差がみられる。

また、要支援認定者等においては、『1万円未満（5千円未満＋5千円～1万円未満）』が65.7%と、かなり回答が集中しているのに対し、要介護認定者では28.2%に留まり、『5万円未満（5千円未満＋5千円～1万円未満＋1万円台＋2万円台＋3万円～5万円未満）』の各項目で10%台となっており、負担額が分散している傾向にある。

【経年比較】



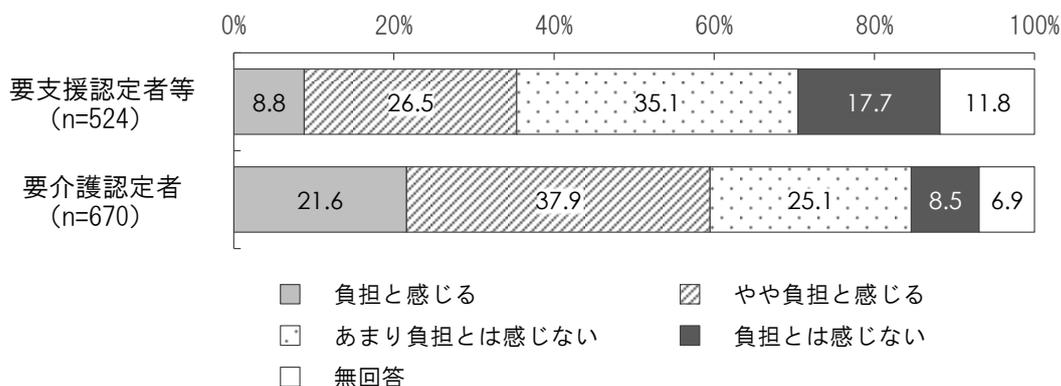
経年比較でみると、大きな変化はみられないものの、要支援認定者等では、「5千円未満」が減少し、「5千円～1万円未満」「1万円台」がやや増加している。一方、要介護認定者では、「5千円未満」が調査ごとに3ポイント程度ずつ多くなっており、「5千円～1万円未満」も微増傾向となっているため、負担額が少なくなっていることがうかがえる。

要支援認定者等：問 46・要介護認定者：問 15 で「利用した」と回答した方のみ

《要支援認定者等：問 46-3・要介護認定者：問 15-3》

利用者負担の支払額について、どのようにお感じですか。(単数回答)

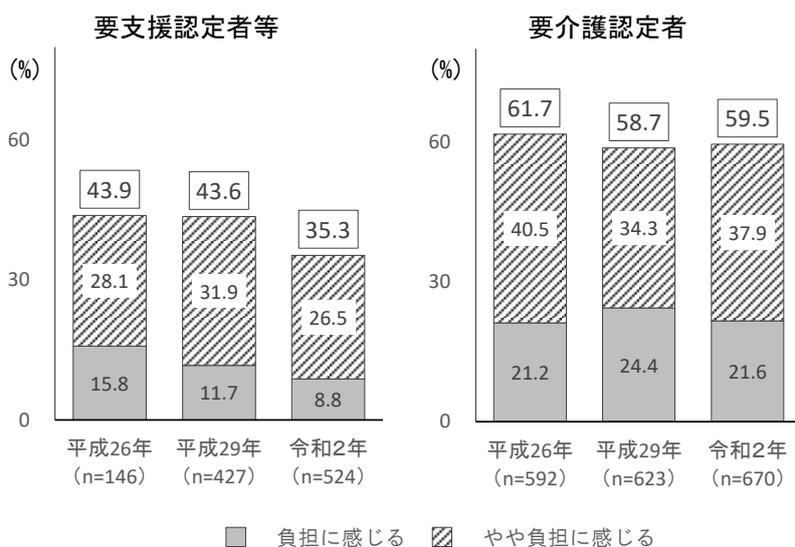
【単純集計】



利用者負担の支払額は、「負担と感じる」が要支援認定者等においては8.8%と、1割未満であるのに対し、要介護認定者では21.6%と、12.8ポイントの差がみられる。

また、『負担と感じる（負担と感じる+やや負担と感じる）』でみると、要介護認定者においては59.5%と、約6割を占めている。

【経年比較：『負担と感じる（負担と感じる+やや負担と感じる）』】



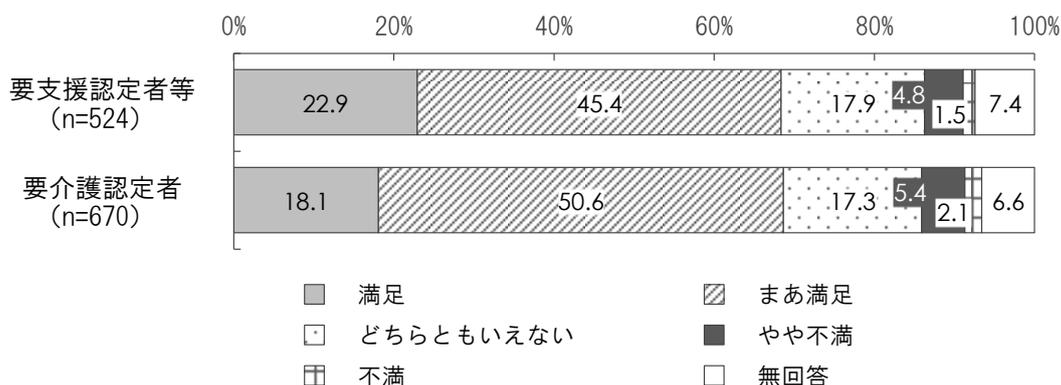
経年比較でみると、要支援認定者等では減少傾向にあり、特に「負担と感じる」は6年前の平成26年と比べると、約半分程度となっている。要介護認定者は、概ね横ばいで推移している。

要支援認定者等：問 46・要介護認定者：問 15 で「利用した」と回答した方のみ

《要支援認定者等：問 46-4・要介護認定者：問 15-4》

現在利用している介護保険サービス全体について、どの程度満足していますか。
(単数回答)

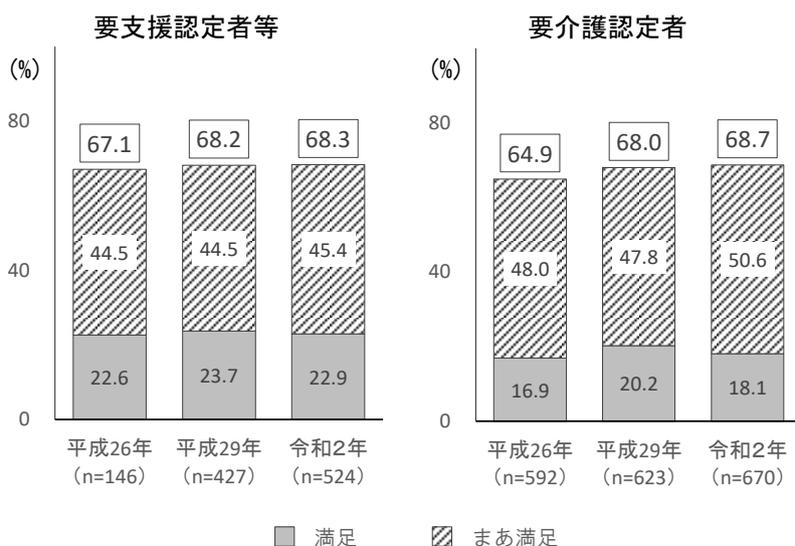
【単純集計】



現在利用している介護保険サービス全体の満足状況は、「満足」が要支援認定者等においては 22.9%であるのに対し、要介護認定者では 18.1%と、4.8 ポイントの差がみられる。

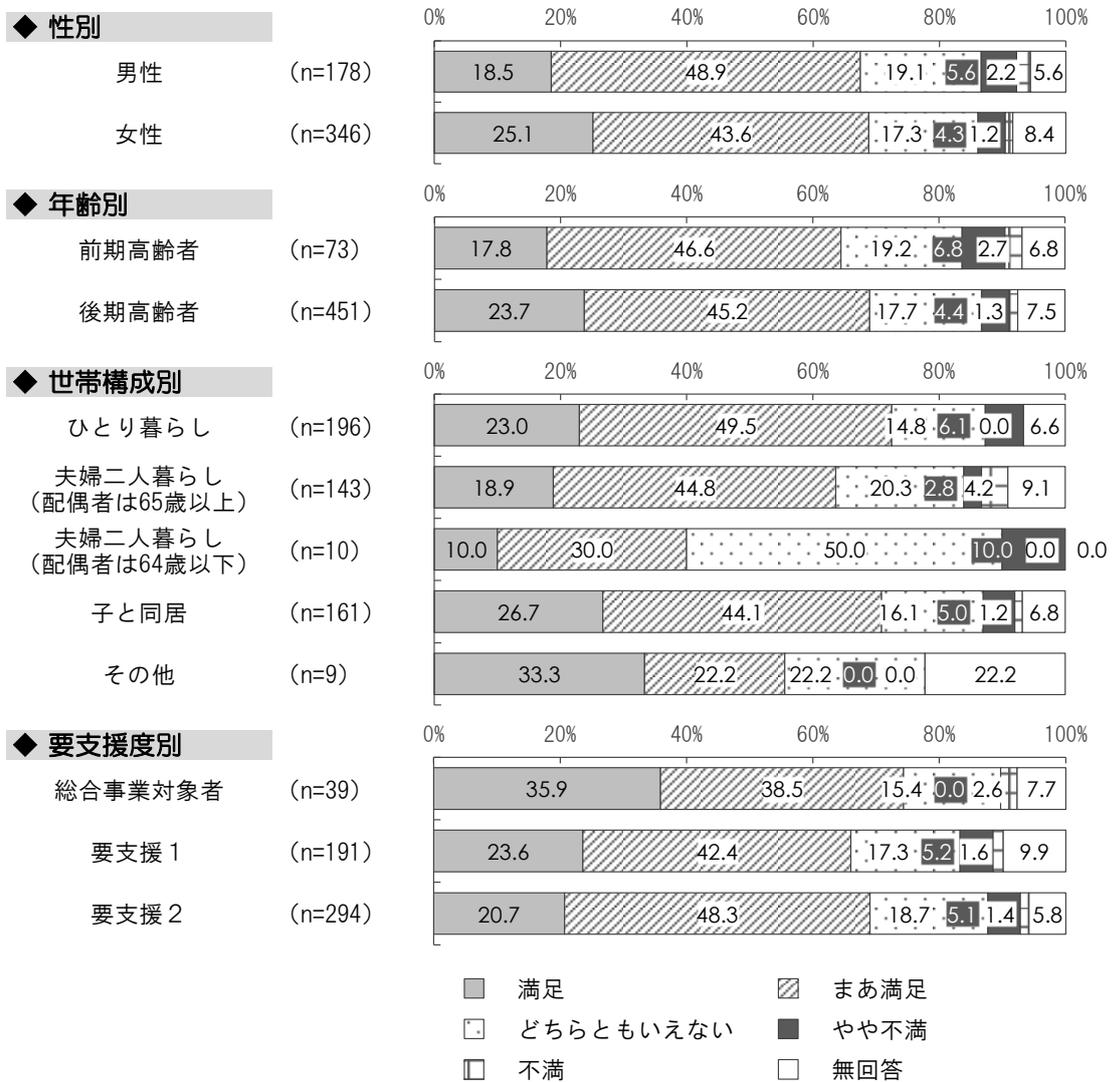
また、『満足（満足+まあ満足）』で見ると、要支援認定者等・要介護認定者ともに 68%台で大きな差異はみられない。

【経年比較：『満足（満足+まあ満足）』】



経年比較で見ると、要支援認定者等・要介護認定者ともに、『満足（満足+まあ満足）』に関しては微増傾向となっている。「満足」に特化して比較すると、要支援認定者等では 22~23%台で、要介護認定者では 16~20%台で、推移している。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別・世帯構成別・要支援度別】



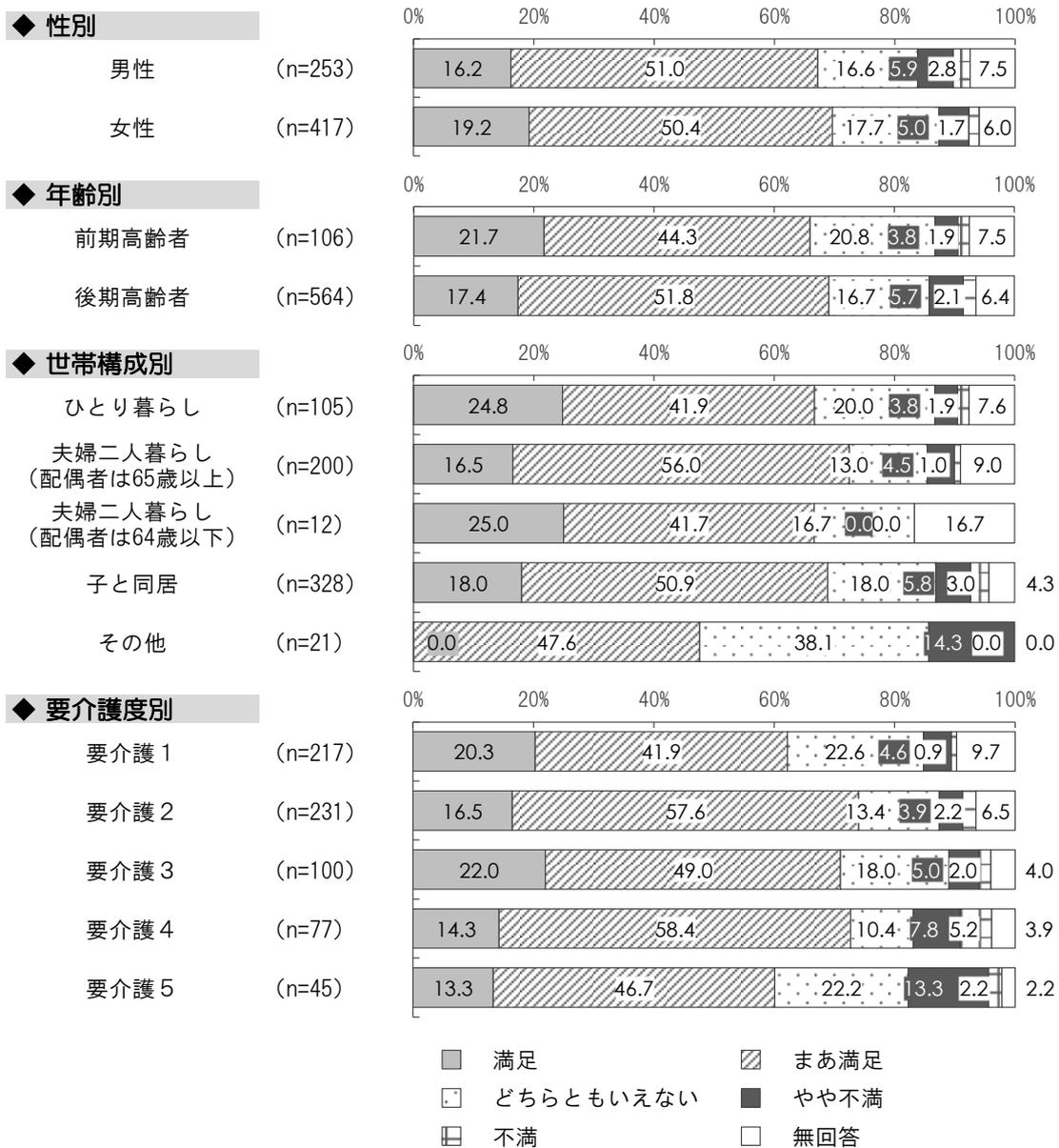
要支援認定者等の結果を性別にみると、『満足（満足+まあ満足）』が《男性》では67.4%、《女性》では68.7%と、大きな差異はみられない。

要支援認定者等の結果を年齢別にみると、『満足（満足+まあ満足）』が《前期高齢者》64.4%、《後期高齢者》68.9%と、大きな差異はみられない。

要支援認定者等の結果を世帯構成別にみると、『満足（満足+まあ満足）』が《ひとり暮らし》では72.5%、《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》では63.7%、《子と同居》では70.8%に対して、サンプル数は10件と少ないものの、《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳未満）》が40.0%と、非常に少なくなっている。

要支援認定者等の結果を要支援度別にみると、介護の必要性が高くなるほど、純粋な「満足」の割合は小さくなっており、《総合事業対象者》では35.9%であるのに対し、《要支援1》では23.6%、《要支援2》では20.7%となっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・世帯構成別・要介護度別】



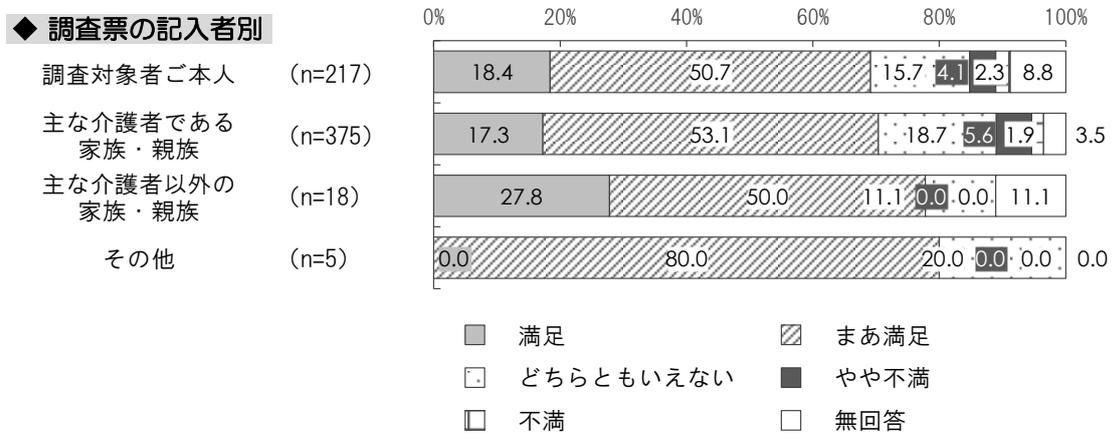
要介護認定者の結果を性別にみると、要支援認定者等と同様に、『満足（満足+まあ満足）』が《男性》では67.2%、《女性》では69.6%と、大きな差異はみられない。

要介護認定者の結果を年齢別にみると、要支援認定者等と同様に、『満足（満足+まあ満足）』が《前期高齢者》では66.0%、《後期高齢者》では69.2%と、大きな差異はみられない。

要介護認定者の結果を世帯構成別にみると、『満足（満足+まあ満足）』は《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》が72.5%で最も多く、次いで《子と同居》が68.9%、《ひとり暮らし》と《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以上）》がともに66.7%の順となっている。

要介護認定者の結果を要介護度別にみると、『満足（満足+まあ満足）』が《要介護1》では62.2%、《要介護2》では74.1%、《要介護3》では71.0%、《要介護4》では72.7%、《要介護5》では60.0%と、《要介護2～4》において多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：調査票の記入者別】



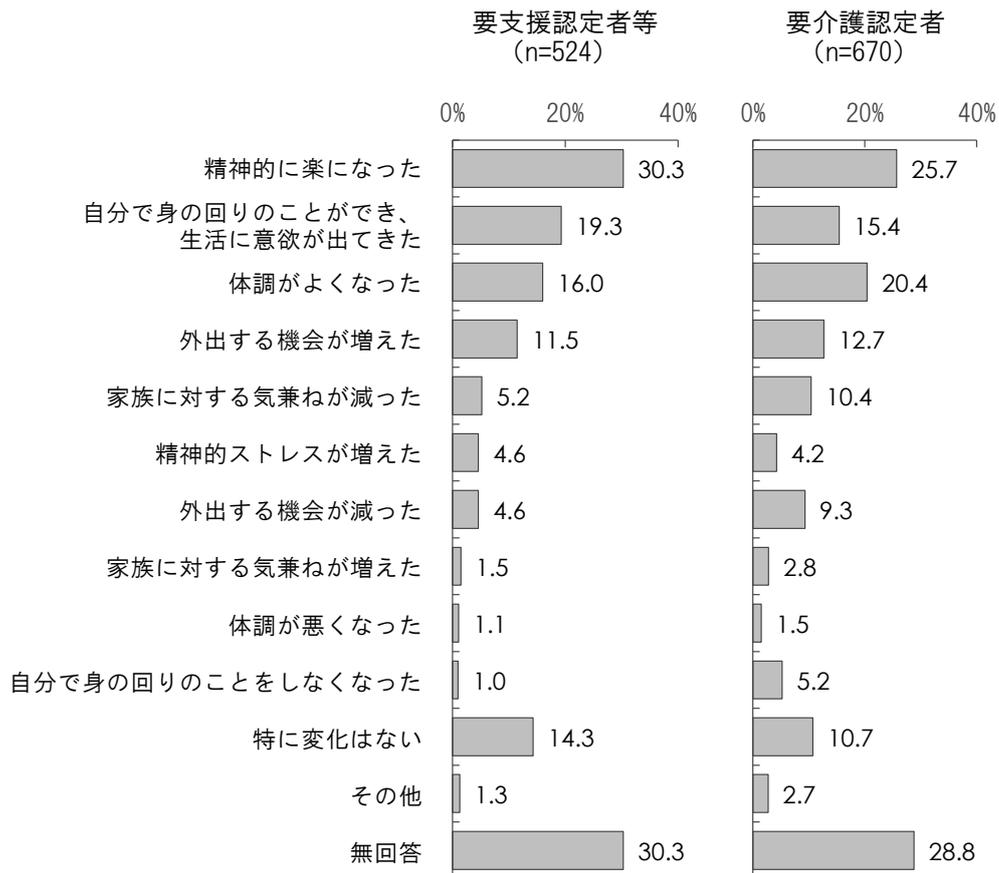
要介護認定者の結果を調査票の記入者別にみると、『満足（満足＋まあ満足）』が《調査対象者ご本人》では69.1%、《主な介護者である家族・親族》では70.4%と、大きな差異はみられない。

要支援認定者等：問 46・要介護認定者：問 15 で「利用した」と回答した方で、在宅サービスを利用している方のみ

《要支援認定者等：問 46-5・要介護認定者：問 15-5》

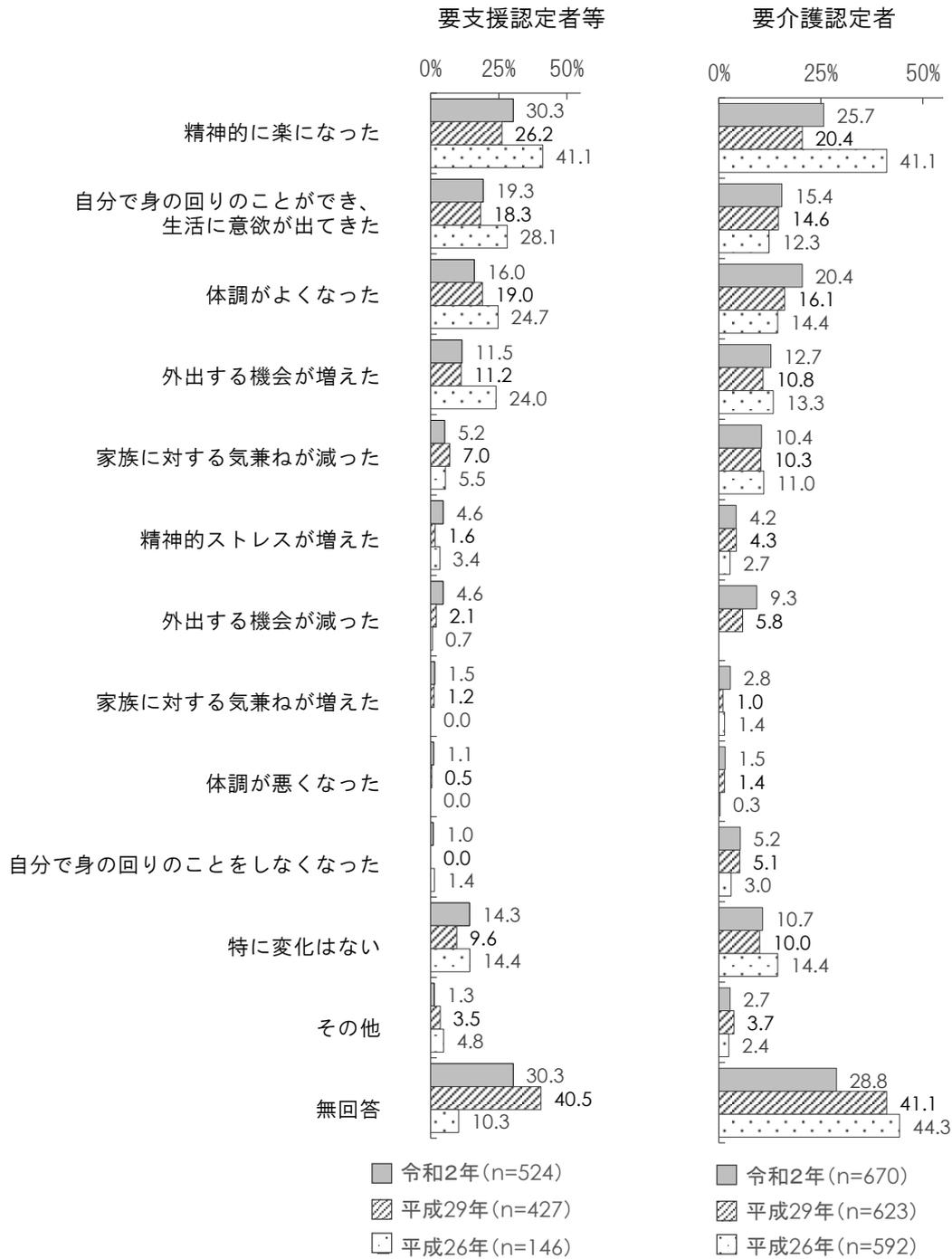
介護保険サービスを利用することで、あなたの生活にどのような変化がありましたか。（複数回答可：3つまで）

【単純集計】



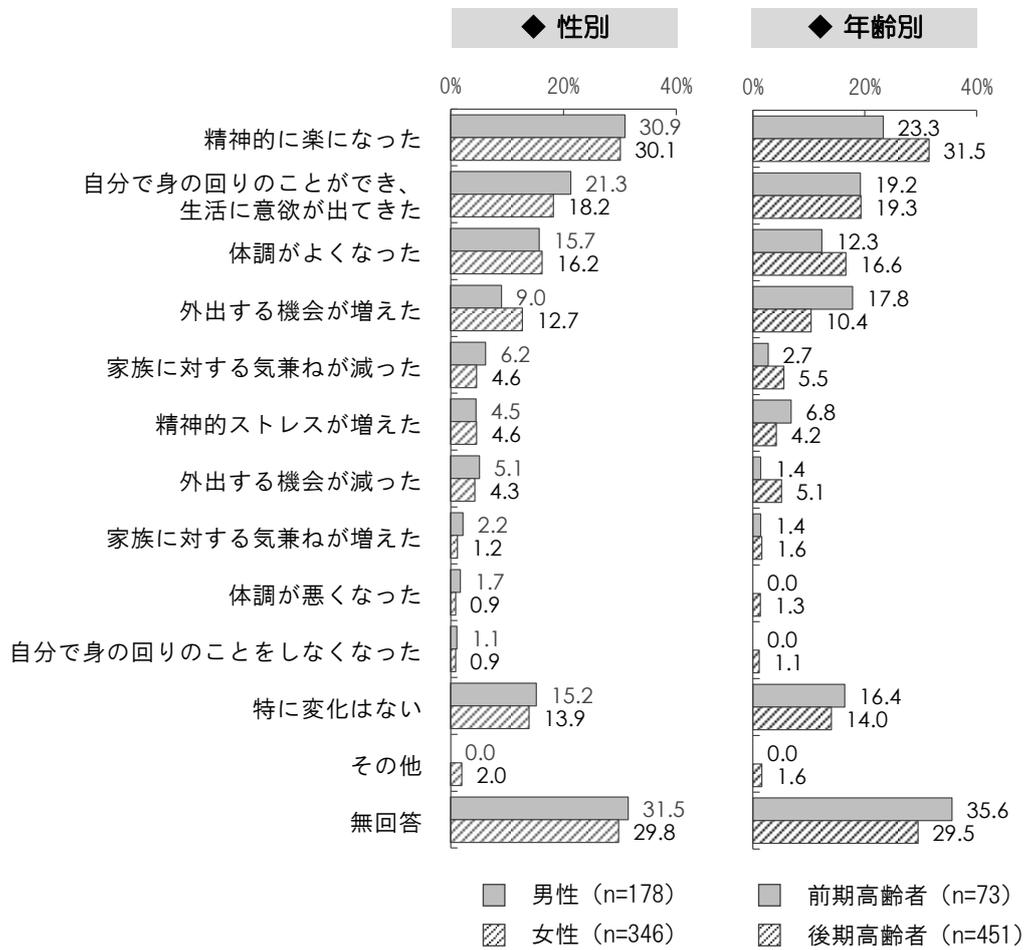
介護保険サービスを利用することで変化したことは、要支援認定者等・要介護認定者ともにプラス要素の項目が上位を占めており、その中でも「精神的に楽になった」が最も多くなっている。第2位以降は順位が異なり、要支援認定者等は「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」、「体調がよくなった」の順で続き、要介護認定者は「体調がよくなった」、「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」の順で続く。

【経年比較】



経年比較でみると、要支援認定者等・要介護認定者ともに「無回答」の割合が調査年によって大きく異なるので、各項目の割合は一概には比較できないが、各項目の順位は概ね同じとなっている。

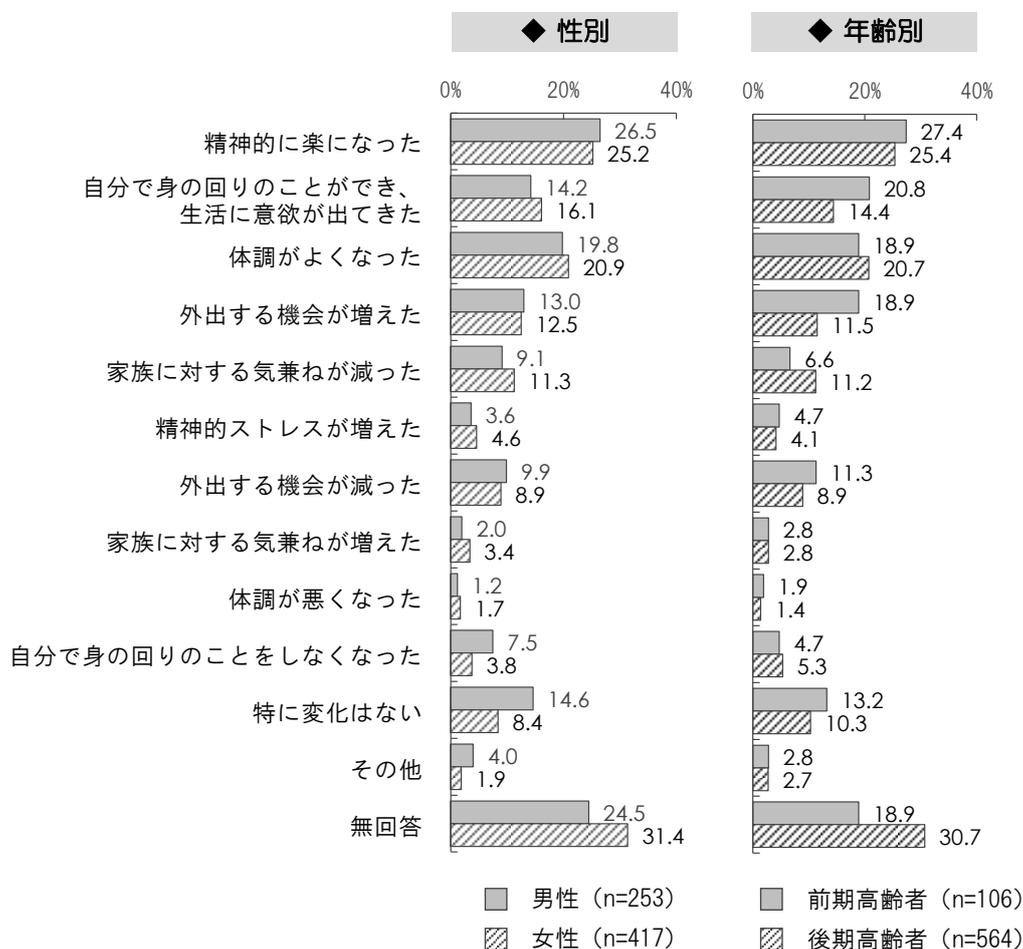
【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別】



要支援認定者等の結果を性別にみると、大きな差異はみられない。

要支援認定者等の結果を年齢別にみると、《前期高齢者》において「外出する機会が増えた」が17.8%と多く、《後期高齢者》において「精神的に楽になった」が31.5%と多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別】



要介護認定者の結果を性別にみると、変化の事項自体については大きな差異はみられないが、「特に変化はない」に関して《男性》の方が14.6%と、6.2ポイント多くなっている。

要介護認定者の結果を年齢別にみると、要支援認定者等と同様、《前期高齢者》において「外出する機会が増えた」で7.4ポイント多くなっているほか、「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」でも比較的多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：要支援度別・要介護度別】

	調査数（人）	介護保険サービスを利用することによる生活の変化（％）												
		精神的に楽になった	自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた	体調がよくなった	外出する機会が増えた	家族に対する気兼ねが減った	精神的ストレスが増えた	外出する機会が減った	家族に対する気兼ねが増えた	体調が悪くなった	自分で身の回りのことをしなくなった	特に変化はない	その他	無回答
全体	524	30.3	19.3	16.0	11.5	5.2	4.6	4.6	1.5	1.1	1.0	14.3	1.3	30.3
要支援認定者等														
総合事業対象者	39	10.3	20.5	12.8	20.5	2.6	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	48.7
要支援1	191	29.8	21.5	16.2	7.3	5.8	3.7	3.1	1.0	1.0	1.0	14.1	0.5	34.6
要支援2	294	33.3	17.7	16.3	12.9	5.1	5.1	6.1	2.0	1.4	1.0	15.3	2.0	25.2

	調査数（人）	介護保険サービスを利用することによる生活の変化（％）												
		精神的に楽になった	自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた	体調がよくなった	外出する機会が増えた	家族に対する気兼ねが減った	精神的ストレスが増えた	外出する機会が減った	家族に対する気兼ねが増えた	体調が悪くなった	自分で身の回りのことをしなくなった	特に変化はない	その他	無回答
全体	670	25.7	15.4	20.4	12.7	10.4	4.2	9.3	2.8	1.5	5.2	10.7	2.7	28.8
要介護認定者														
要介護1	217	24.4	17.1	21.2	11.5	8.8	4.6	8.8	4.1	2.3	5.5	10.1	1.8	30.0
要介護2	231	26.4	16.5	19.5	14.7	11.7	3.5	10.0	2.6	0.9	4.3	10.8	2.6	28.1
要介護3	100	32.0	16.0	20.0	13.0	7.0	4.0	10.0	2.0	2.0	7.0	6.0	1.0	32.0
要介護4	77	24.7	13.0	27.3	9.1	15.6	5.2	7.8	1.3	1.3	1.3	11.7	7.8	23.4
要介護5	45	15.6	4.4	11.1	13.3	11.1	4.4	8.9	2.2	0.0	11.1	22.2	2.2	28.9

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）

要支援度・要介護度別にみると、介護の必要性や要介護度が高くなるほど「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」が少なくなる傾向がみられる。また、要支援認定者のみでみると、「精神的に楽になった」と「特に変化はない」に関しては、介護の必要性が高くなるほど割合が多くなる傾向がみられる。

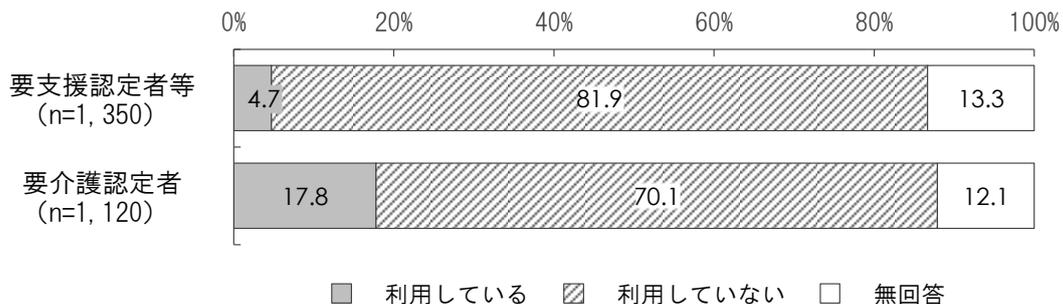
《総合事業対象者》においては、「外出する機会が増えた」が20.5%と、全体平均よりも9.0ポイント多くなっている。一方、《要介護5》においては「精神的に楽になった」、「自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた」、「体調がよくなった」といったプラス要素の項目では全体平均よりも5ポイント以上少なく、「自分で身の回りのことをしなくなった」や「特に変化はない」といったマイナス要素の項目で、全体平均よりも5ポイント以上多くなっている。

《要支援認定者等：問 47・要介護認定者：問 16》

現在、訪問診療を利用していますか。

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導は含みません。(単数回答)

【単純集計】



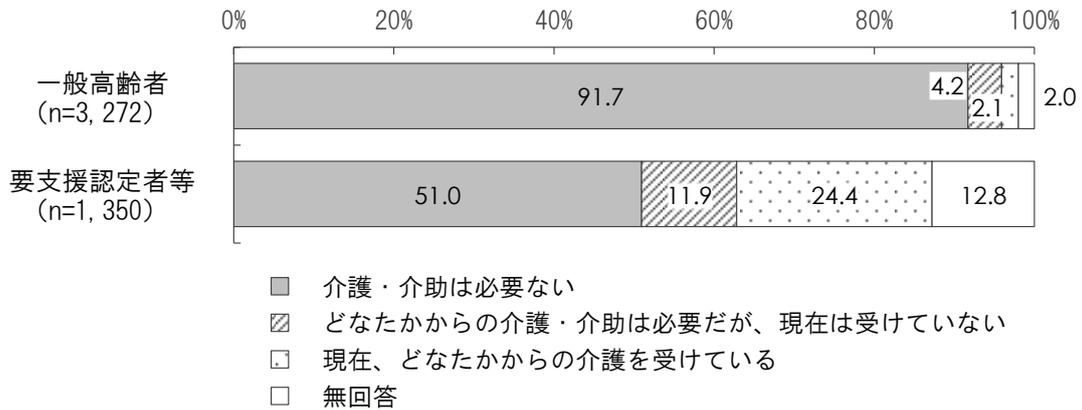
訪問診療の利用状況は、要支援認定者等では「はい」が 4.7%と、1 桁の前半であるのに対し、要介護認定者においては 17.8%と、13.1 ポイントの差がみられる。

11 介護の状況について

《一般高齢者：問2・要支援認定者等：問48》

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（単数回答）

【単純集計】



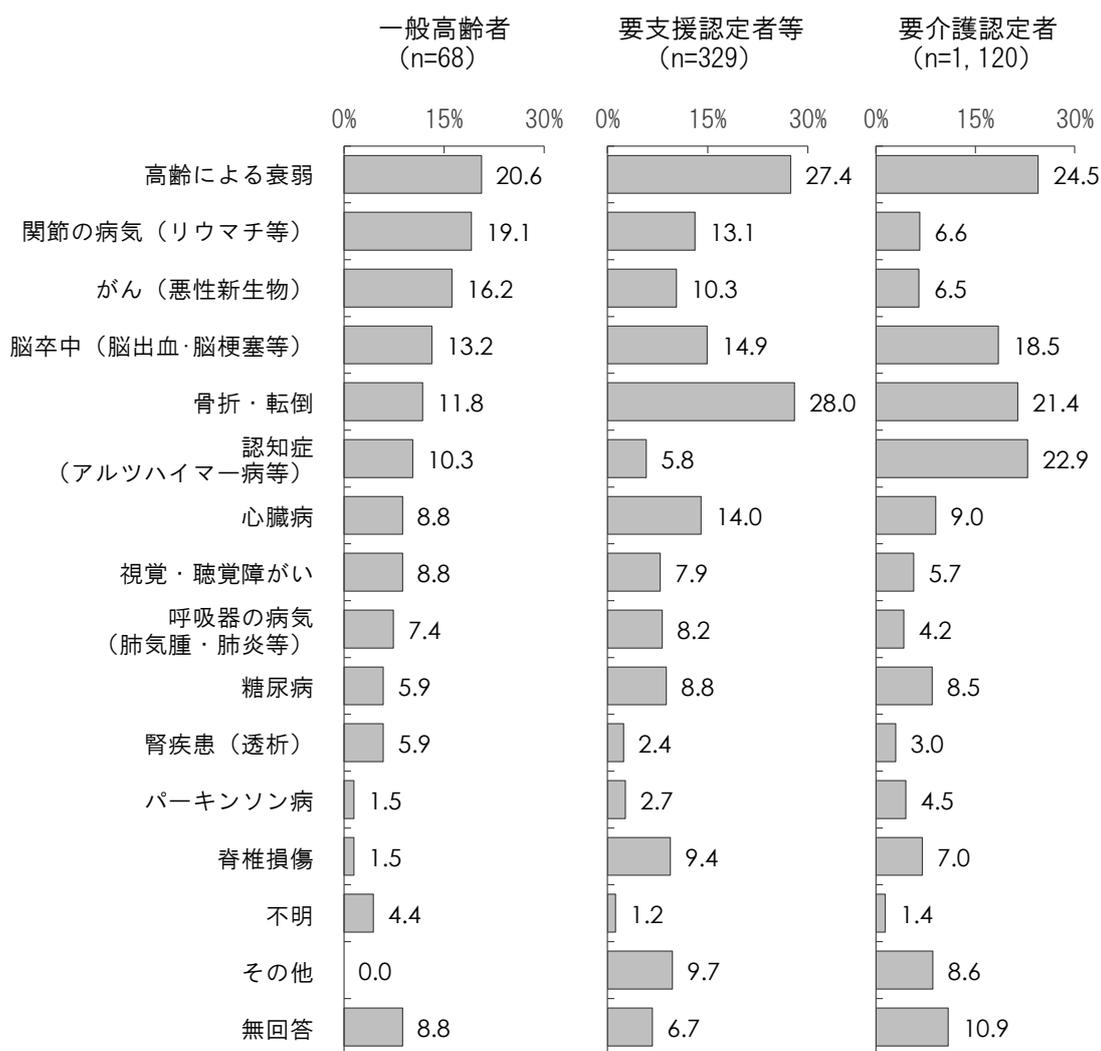
普段の生活における介護・介助の必要性の有無については、「介護・介助は必要ない」が一般高齢者では91.7%と、大半を占めているのに対し、要支援認定者等においては51.0%と、約半数近くまでとなっている。

一般高齢者：問2・要支援認定者等：問48で「現在、どなたかからの介護を受けている」と回答した方のみ（要介護認定者は全員が対象）

《一般高齢者：問2-1・要支援認定者等：問48-1・要介護認定者：問17》

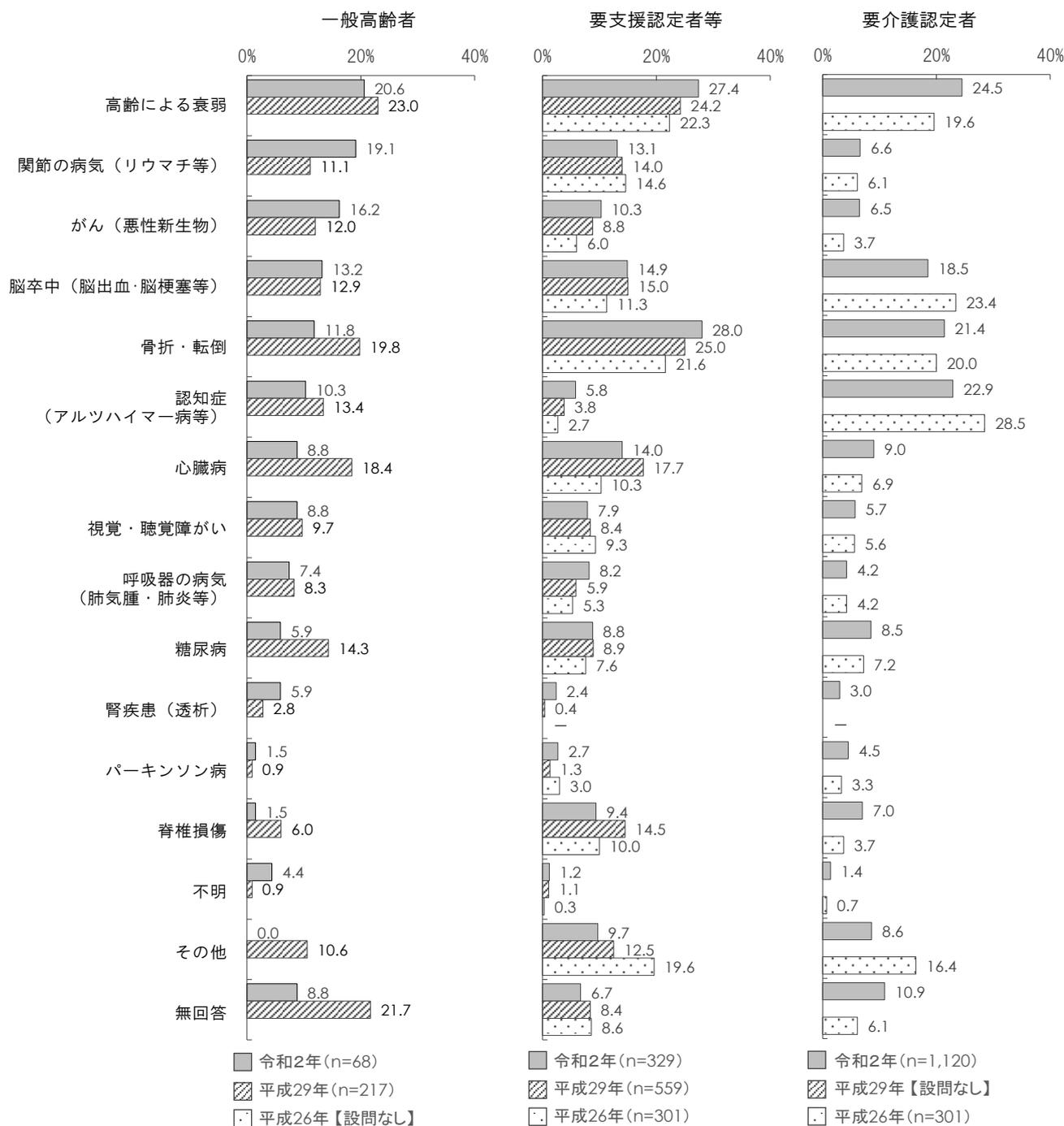
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（複数回答可）

【単純集計】



介護・介助が必要になった主な原因は、一般高齢者・要支援認定者等・要介護認定者でそれぞれ大きく傾向が異なっているものの、一般高齢者・要介護認定者においては「高齢による衰弱」が最も多く、要支援認定者等において「骨折・転倒」が最も多くなっている。第2位以降については、一般高齢者は「関節の病気（リウマチ等）」、「がん（悪性新生物）」、要支援認定者等は「高齢による衰弱」、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、要介護認定者は「認知症（アルツハイマー病等）」、「骨折・転倒」の順で続く。

【経年比較】



※平成26年調査では、一般高齢者において当該設問がない。また、選択肢に「腎疾患（透析）」は含まれない。
平成29年調査では、要介護認定者において当該設問がない。

経年比較でみると、一般高齢者においては、「無回答」の割合が1割以上異なるため、一概には比較できないが、多くの選択肢で前回よりも割合が低くなっている。

要支援認定者等においては、「高齢による衰弱」、「がん（悪性新生物）」、「骨折・転倒」、「認知症」、「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）」が調査ごとに高くなっており、主な要因が多岐にわたっていることがうかがえる。

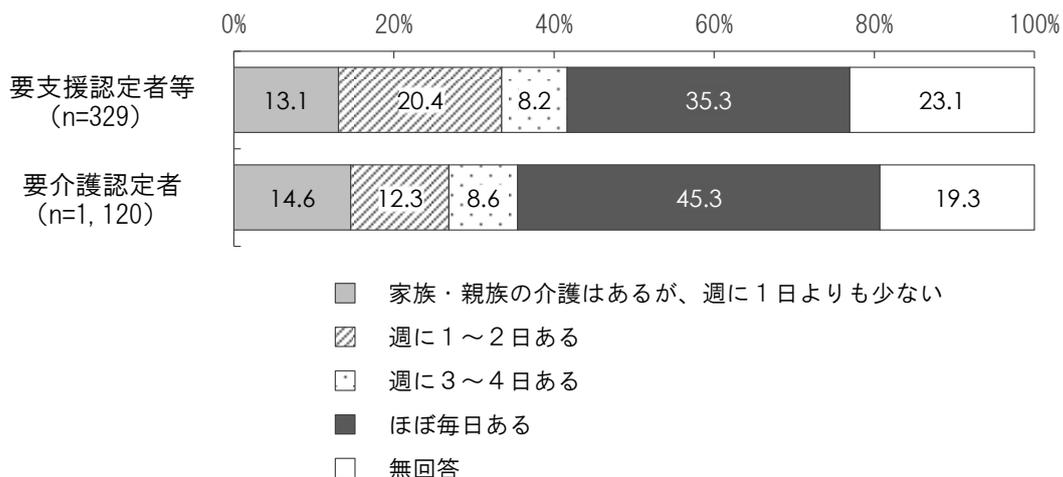
要介護認定者においても、割合が高くなっている選択肢が多いなか、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」と「認知症」は5ポイント程度少なくなっている。

要支援認定者等：問 48 で「現在、どなたかからの介護を受けている」と回答した方のみ（要介護認定者は全員が対象）

《要支援認定者等：問 48-2・要介護認定者：問 18》

ご家族やご親族の方が行っている介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや族等からの介護も含みます）。（単数回答）

【単純集計】



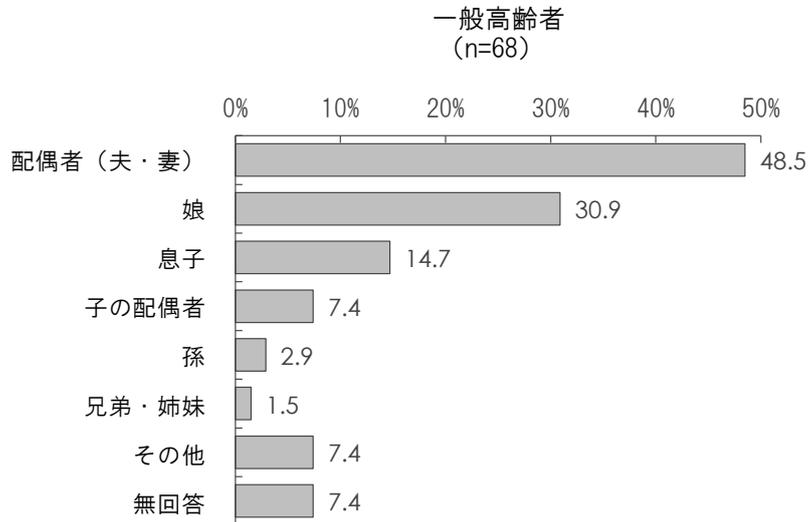
家族や親族が介護を行う頻度は、要支援認定者等・要介護認定者ともに「ほぼ毎日ある」が最も多くなっている一方で、要支援認定者等 35.3%、要介護認定者 45.3%と、10.0ポイントの差がみられる。

一般高齢者：問2で「現在、どなたかからの介護を受けている」と回答した方のみ

《一般高齢者：問2-2》

主にどなたの介護・介助を受けていますか（受けたいですか）。（複数回答可）

【単純集計】



主な介護者・介助者は、一般高齢者において「配偶者（夫・妻）」が48.5%と、半数近くを占めて最も多く、「娘」が30.9%、「息子」が14.7%の順となっており、15ポイント程度ずつ少なくなっている。

【クロス集計：一般高齢者：世帯構成別】

一般高齢者	調査数（人）	主な介護者・介助者（%）								
		配偶者（夫・妻）	娘	息子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答	
全体	68	48.5	30.9	14.7	7.4	2.9	1.5	7.4	7.4	
世帯構成別	ひとり暮らし	7	0.0	71.4	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0
	夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）	26	80.8	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7
	夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子と同居	29	31.0	41.4	27.6	10.3	3.4	0.0	6.9	10.3
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

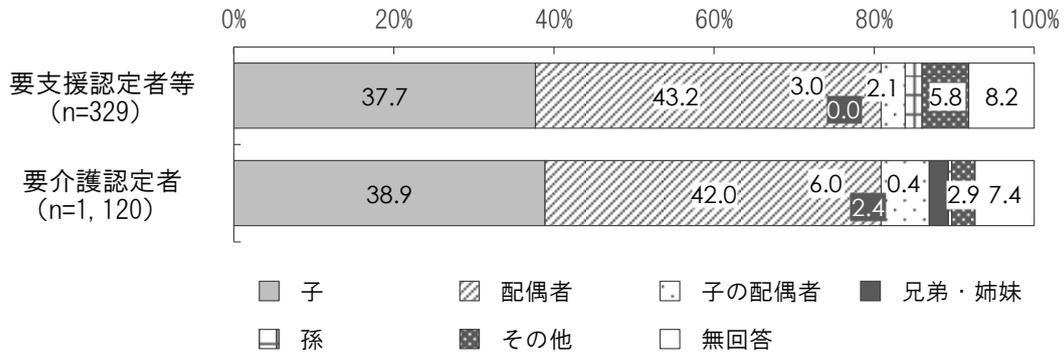
※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）
サンプル数が1桁の項目については識別していない。

一般高齢者の結果を世帯構成別にみると、《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》において「配偶者（夫・妻）」が80.8%で突出して多く、《子と同居》においては「娘」が41.4%で最も多く、次いで「配偶者」が31.0%となっている。

《要支援認定者等：問 49・要介護認定者：問 19》

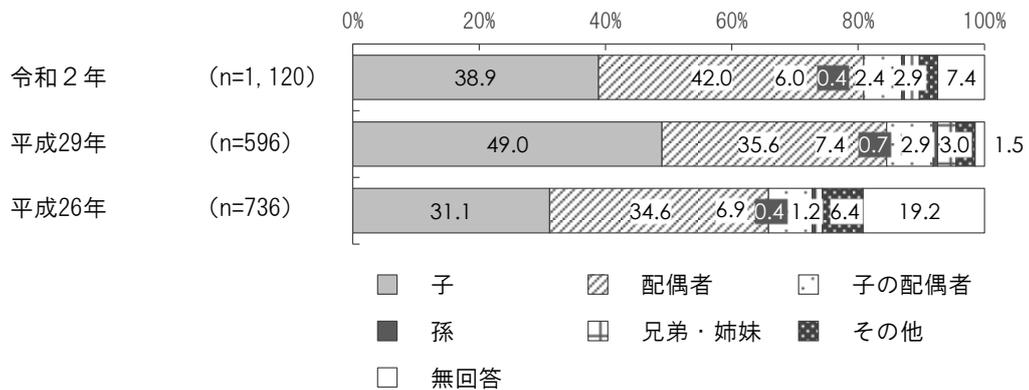
主な介護者の方はどなたですか。(単数回答)

【単純集計】



主な介護者・介助者は、要支援認定者・要介護認定者ともに同じ傾向で、「配偶者」が4割強、次いで「子」が4割弱となっており、この2項目で8割以上を占めている。

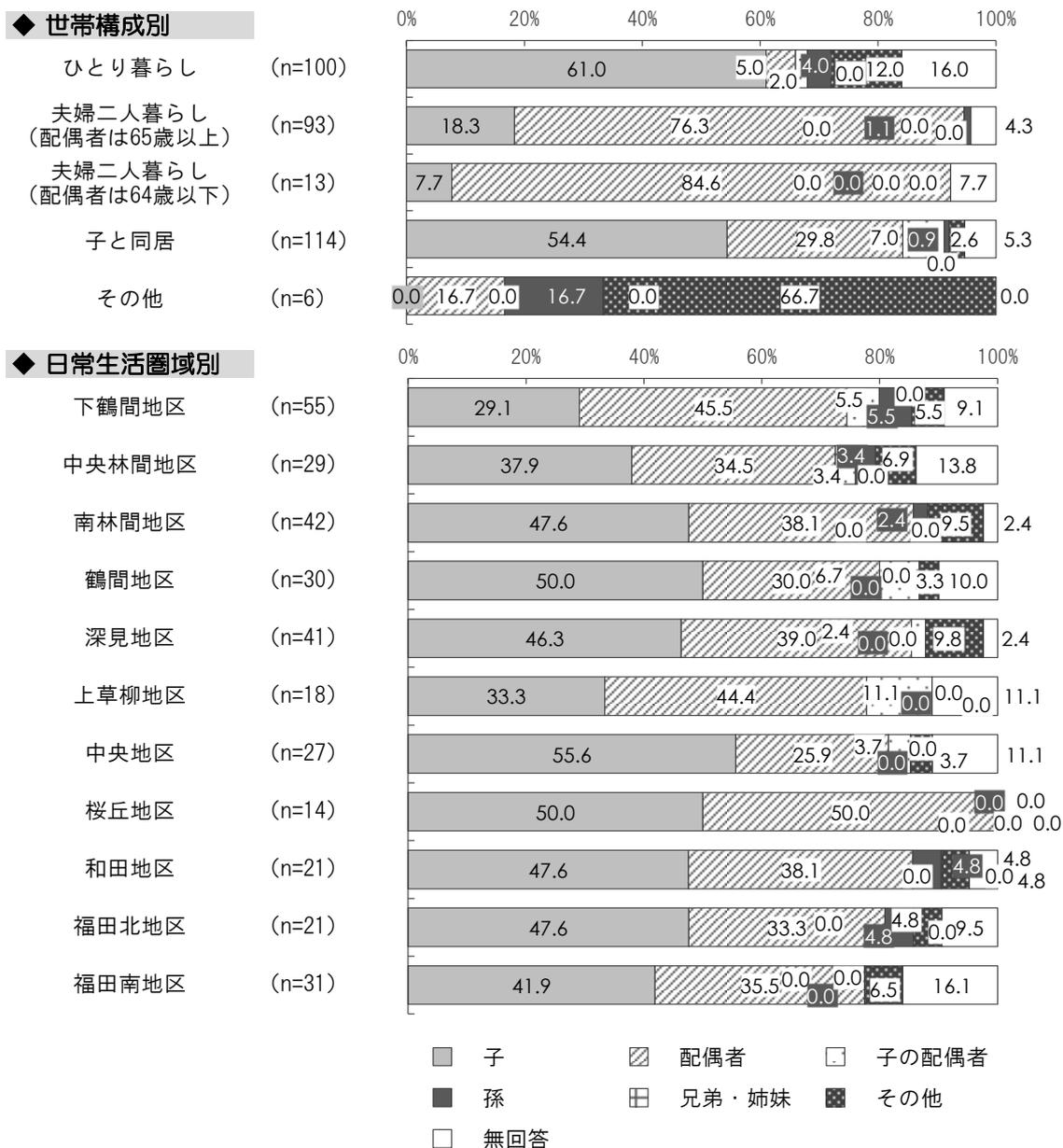
【経年比較：要介護認定者】



* 要支援認定者等は、前回は複数回答可であったため、要介護認定者のみ記載

要介護認定者の介護者を経年比較すると、前回の平成29年においては「子」が49.0%でほぼ半数を占めていたが、今回 令和2年では約10ポイント少なく、「配偶者」が増加しており、3回調査の中で最も多くなっている。

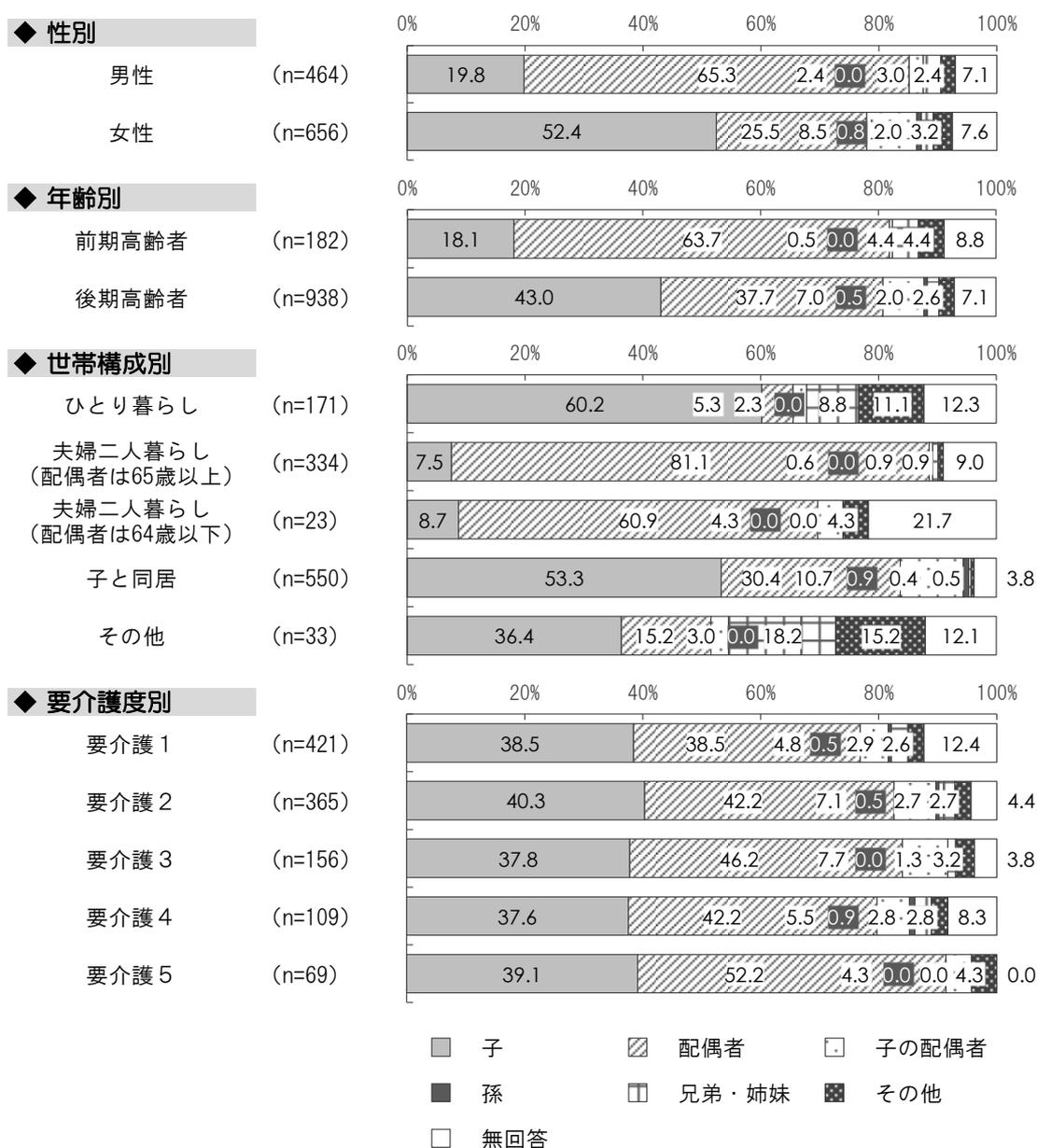
【クロス集計：要支援認定者等：世帯構成別・日常生活圏域別】



要支援認定者等の結果を世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」・「子と同居」においては「子」が5～6割台と多く、「夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）」・「夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）」においては、「配偶者」が7～8割台と多くなっている。

日常生活圏域別にみると、「子」が「配偶者」を上回っている地区が多い中、「下鶴間地区」と「上草柳地区」の2地区においては、「配偶者」が「子」を上回っており、特に「下鶴間地区」においては16.4ポイントの差となっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・世帯構成別・要介護度別】



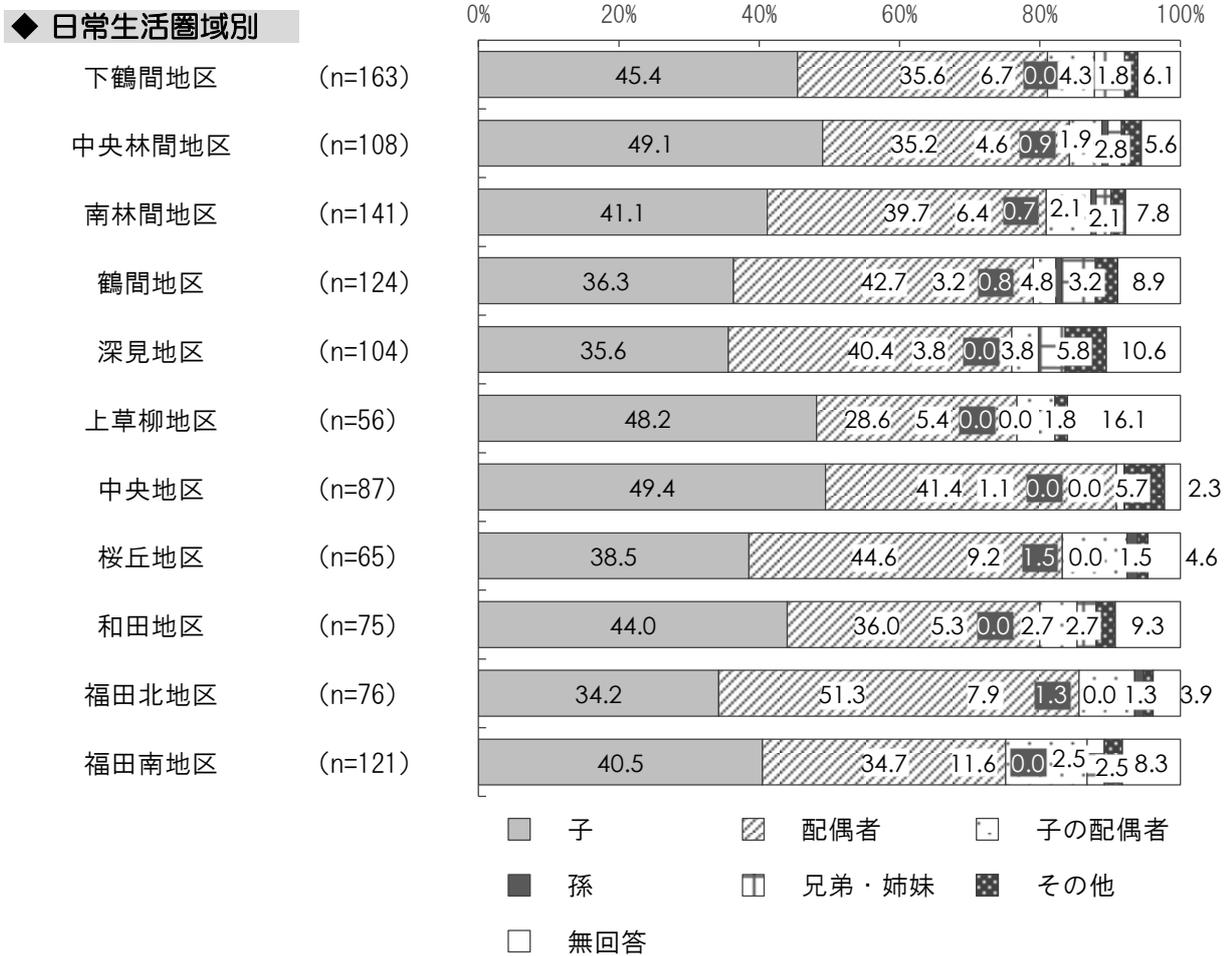
要介護認定者の結果を性別にみると、《男性》においては「配偶者」が65.3%と、6割以上を占めているのに対し、《女性》では「子」が52.4%と、過半数となっている。

要介護認定者の結果を年齢別にみると、性別の傾向と似ており、《前期高齢者》においては「配偶者」が63.7%と、6割以上を占めているのに対し、《後期高齢者》では「子」が43.0%で多くなっている。

要介護認定者の結果を世帯構成別にみると、要支援認定者等と同様の傾向で《ひとり暮らし》・《子と同居》においては「子」が5～6割台と多く、《夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）》・《夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下）》においては、「配偶者」が6～8割台と多くなっている。

要介護認定者の結果を要介護度別にみると、他の属性のような顕著な違いはみられないが、《要介護5》において「配偶者」が52.2%で過半数を占めている。

【クロス集計：要介護認定者：日常生活圏域別】

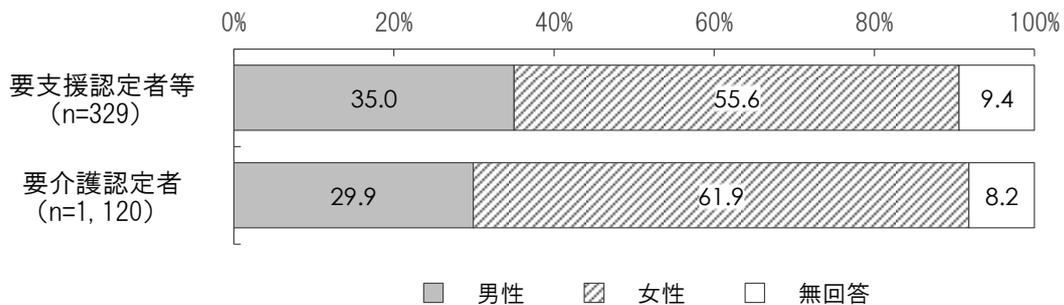


日常生活圏域別にみると、要支援認定者等と同様、「子」が「配偶者」を上回っている地区が多い中、《鶴間地区》、《深見地区》、《桜丘地区》、《福田北地区》の4地区においては、「配偶者」が「子」を上回っており、特に《福田北地区》においては「配偶者」が51.3%と、唯一過半数を超えている。

《要支援認定者等：問 50・要介護認定者：問 20》

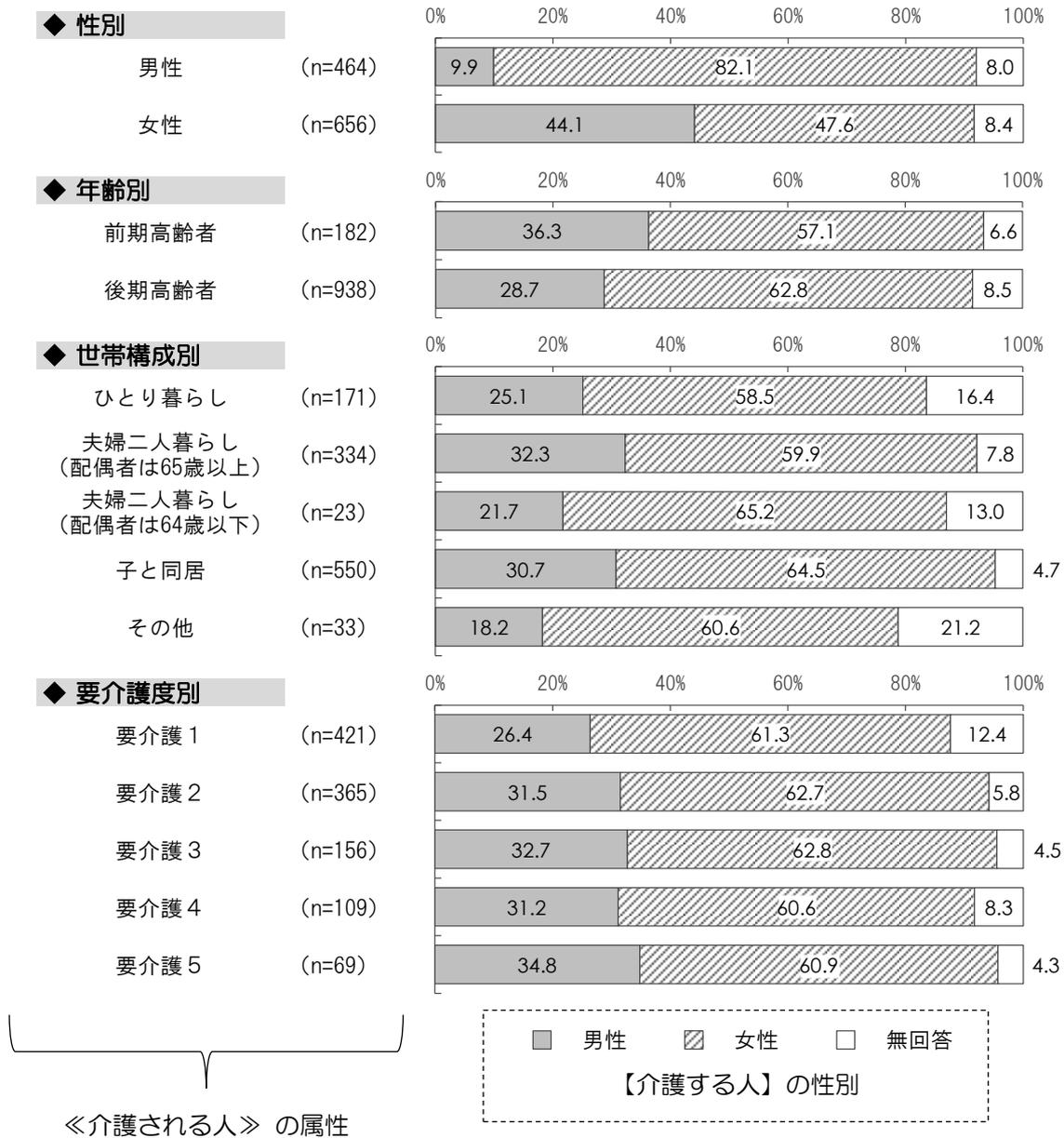
主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(単数回答)

【単純集計】



主な介護者の性別は、「女性」が要支援認定者等では 55.6%、要介護認定者では 61.9%と、ともに過半数を占め、多くなっている。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別・世帯構成別・要介護度別】



要介護認定者の結果を性別にみると、回答者の性別が「男性」の場合、「女性」が 82.1%と大半を占めているのに対し、回答者の性別が「女性」の場合、「男性」が 44.1%で、「女性」が 47.6%と、かなり拮抗している。

要介護認定者の結果を年齢別にみると、「前期高齢者」・「後期高齢者」とも「女性」が 6割前後で多くなっている。

要介護認定者の結果を世帯構成別にみると、「夫婦二人暮らし（配偶者は 65 歳以上）」・「子と同居」においては、「男性」が 3割を超えてやや多くなっている。

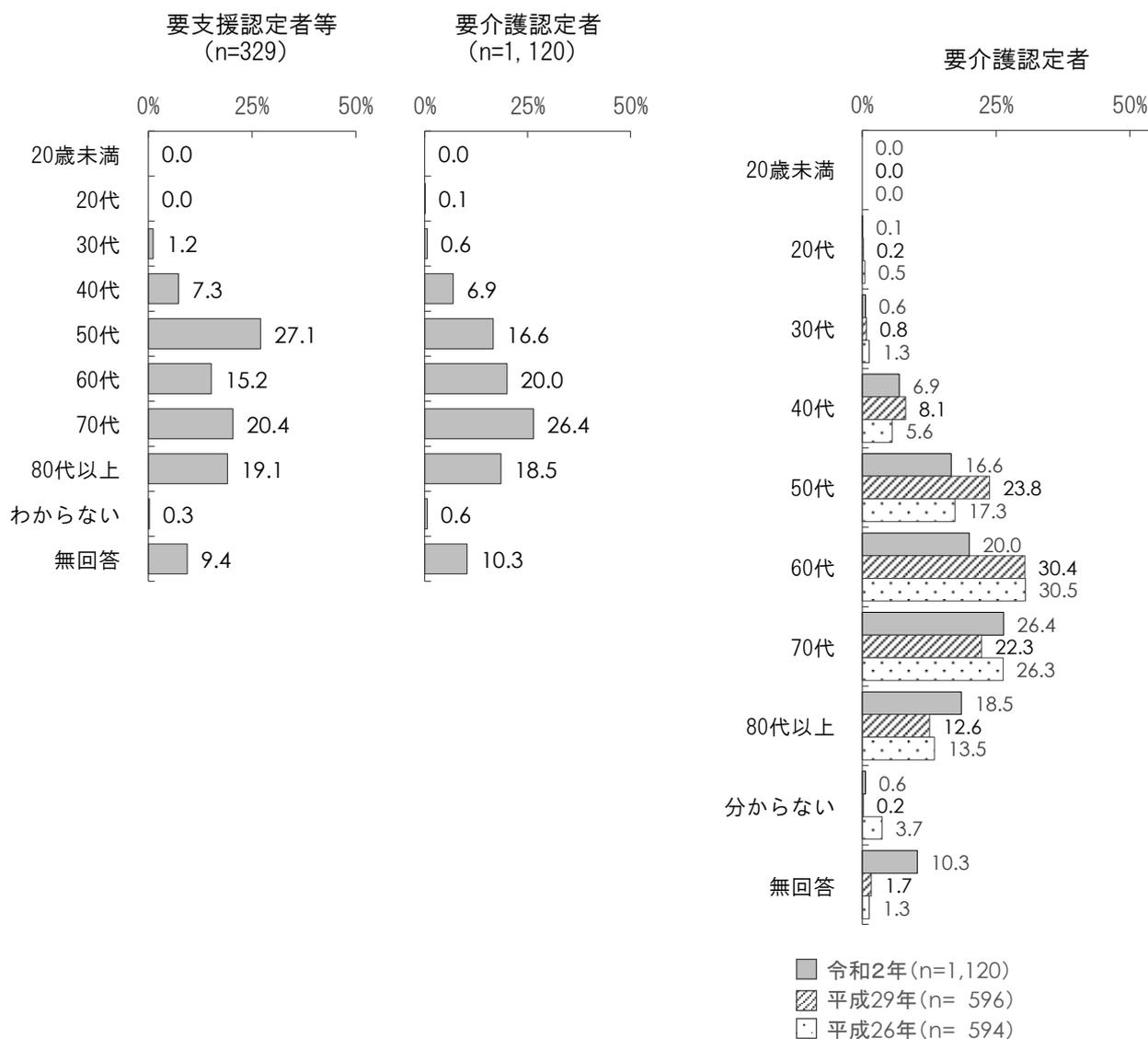
要介護認定者の結果を要介護度別にみると、介護度が重くなるほど、「男性」が概ね多くなる傾向がみられ、「要介護 1」では 26.4%であるのに対し、「要介護 5」では 34.8%と、8.4ポイントの差がみられる。

《要支援認定者等：問 51・要介護認定者：問 21》

令和2年1月1日現在、主な介護者の方の年齢はおいくつですか。
(単数回答)

【単純集計】

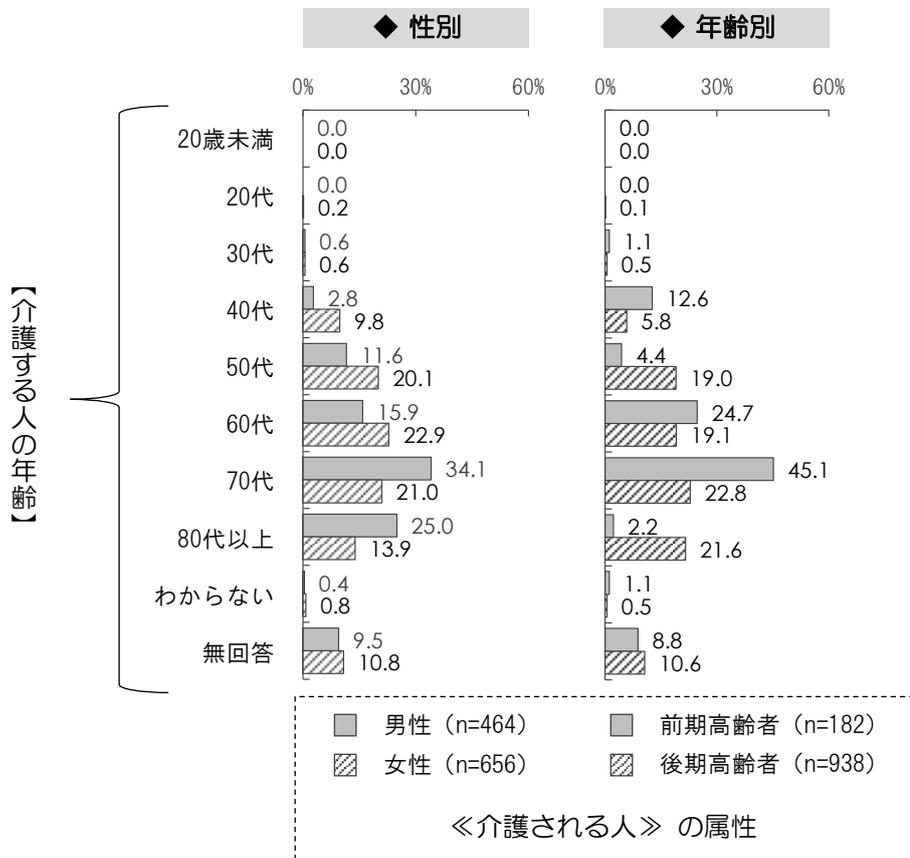
【経年比較（要介護認定者のみ）】



主な介護者の年齢は、要支援認定者等では「50代」が27.1%と最も多く、次いで「70代」、僅差で「80代以上」が続く。一方、要介護認定者では「70代」が26.4%と最も多く、次いで「60代」、「80代以上」が続く。

要介護認定者の結果を経年比較すると、今回の令和2年においては「50代」、「60代」が減少し、「70代」、「80代以上」が増加しており、団塊の世代が70代となって介護者の高年齢化が進んでいることがうかがえる。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別】



要介護認定者の結果を性別にみると、介護される人が《男性》の場合は、介護する人は「70代」や「80代以上」が比較的多く、介護される人が《女性》の場合は、介護する人が「40代」、「50代」、「60代」が比較的多くなっている。

要介護認定者の結果を年齢別にみると、介護される人が《前期高齢者》の場合、介護する人の年齢は「70代」が45.1%で突出して多く、介護される人が《後期高齢者》の場合、介護する人の年齢は「50代」から「80代以上」がそれぞれ2割程度ずつとなっており、分散傾向がうかがえる。

【クロス集計：要介護認定者：世帯構成別・要介護度別】

要介護認定者	調査数(人)	主な介護者の年齢(%)										
		20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	わからない	無回答	
全体	1,120	0.0	0.1	0.6	6.9	16.6	20.0	26.4	18.5	0.6	10.3	
世帯構成別	ひとり暮らし	171	0.0	0.0	1.8	10.5	24.6	22.2	12.9	8.2	1.8	18.1
	夫婦二人暮らし (配偶者は65歳以上)	334	0.0	0.0	0.0	2.4	4.2	9.9	39.8	34.7	0.6	8.4
	夫婦二人暮らし (配偶者は64歳以下)	23	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	21.7	17.4	30.4	0.0	8.7
	子と同居	550	0.0	0.2	0.7	8.5	22.0	25.3	23.8	11.3	0.2	8.0
	その他	33	0.0	0.0	0.0	12.1	12.1	24.2	18.2	9.1	3.0	21.2
要介護度別	要介護1	421	0.0	0.2	1.0	8.1	17.8	17.3	24.5	17.1	0.2	13.8
	要介護2	365	0.0	0.0	0.8	6.3	18.4	22.7	23.3	21.9	0.3	6.3
	要介護3	156	0.0	0.0	0.0	4.5	12.8	21.2	34.0	16.7	0.6	10.3
	要介護4	109	0.0	0.0	0.0	5.5	13.8	22.9	26.6	18.3	1.8	11.0
	要介護5	69	0.0	0.0	0.0	10.1	13.0	14.5	37.7	13.0	2.9	8.7

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く)

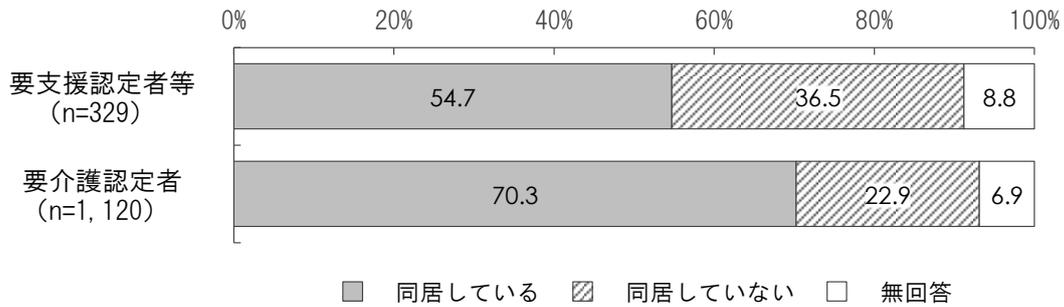
要介護認定者の結果を世帯構成別にみると、介護される人が「夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)」の場合、主な介護者の年齢は「70代」と「80代以上」で74.5%を占め、全体平均よりも13~16ポイント多く、介護する人の高年齢化が顕著となっている。一方、介護される人が「子と同居」の場合、子の年齢層と思われる「50代」と「60代」で47.3%と、半数近くを占めている。

要介護認定者の結果を要介護度別にみると、「要介護3」・「要介護5」において「70代」が3割を超えて、全体平均よりも5ポイント以上多くなっている。

《要支援認定者等：問 52・要介護認定者：問 22》

主な介護者の方は、ご本人（調査対象者）と同居されていますか。
 (単数回答)

【単純集計】



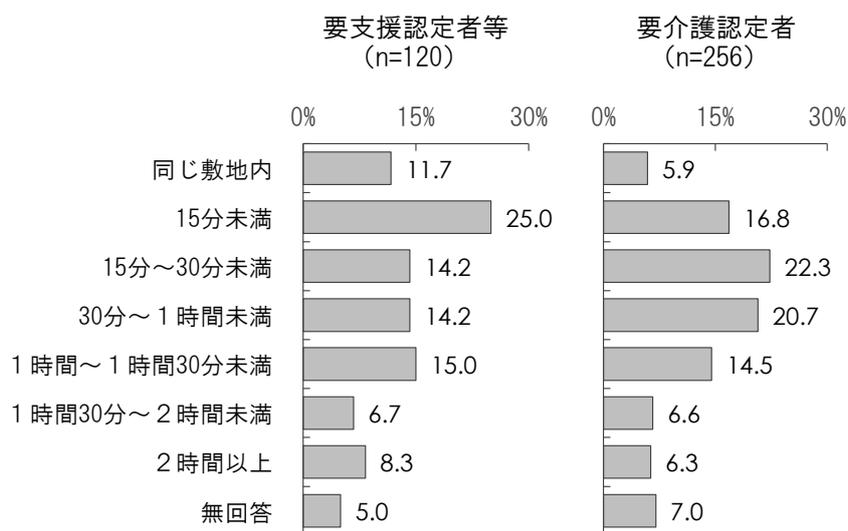
主な介護者と調査対象者の同居の状況は、「同居している」が要支援認定者等では 54.7%、要介護認定者では 70.3%と、要介護認定者の方が 15.6 ポイント、同居の割合が多くなっている。

要支援認定者等：問 52・要介護認定者：問 22 で「同居していない」と回答した方のみ

《要支援認定者等：問 52-1・要介護認定者：問 22-1》

駆けつけるのに、どれくらい時間がかかりますか。(移動手段は問いません)
(単数回答)

【単純集計】

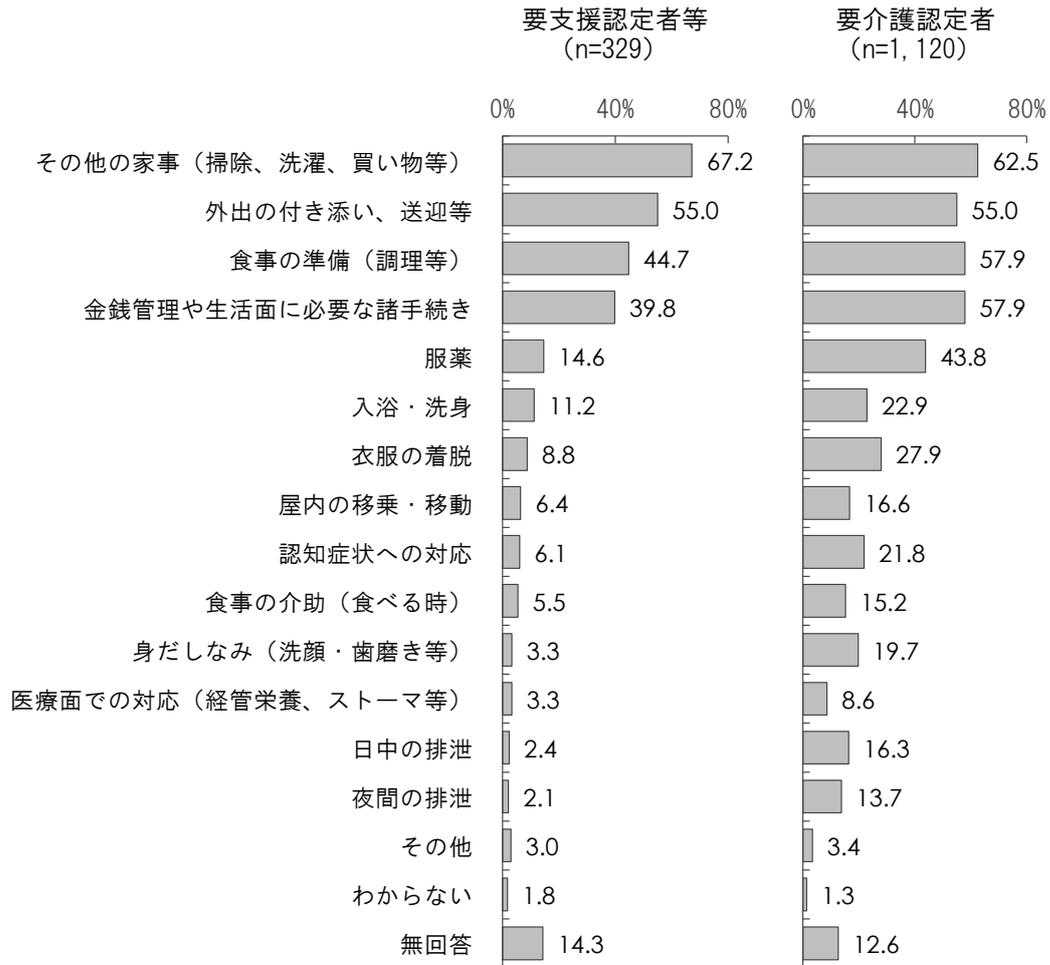


主な介護者が同居していない場合、駆けつけるのにかかる時間は、要支援認定者等においては「15分未満」が25.0%と、4人に1人は非常に近いところに住んでいる。一方、要介護認定者においては「15分～30分未満」が22.3%で最も多く、次いで「30分～1時間未満」が20.7%となっており、要支援認定者等と比べると、やや遠いところに住んでいる介護者の割合が多くなっている。

《要支援認定者等：問 53・要介護認定者：問 23》

現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
 （複数回答可）

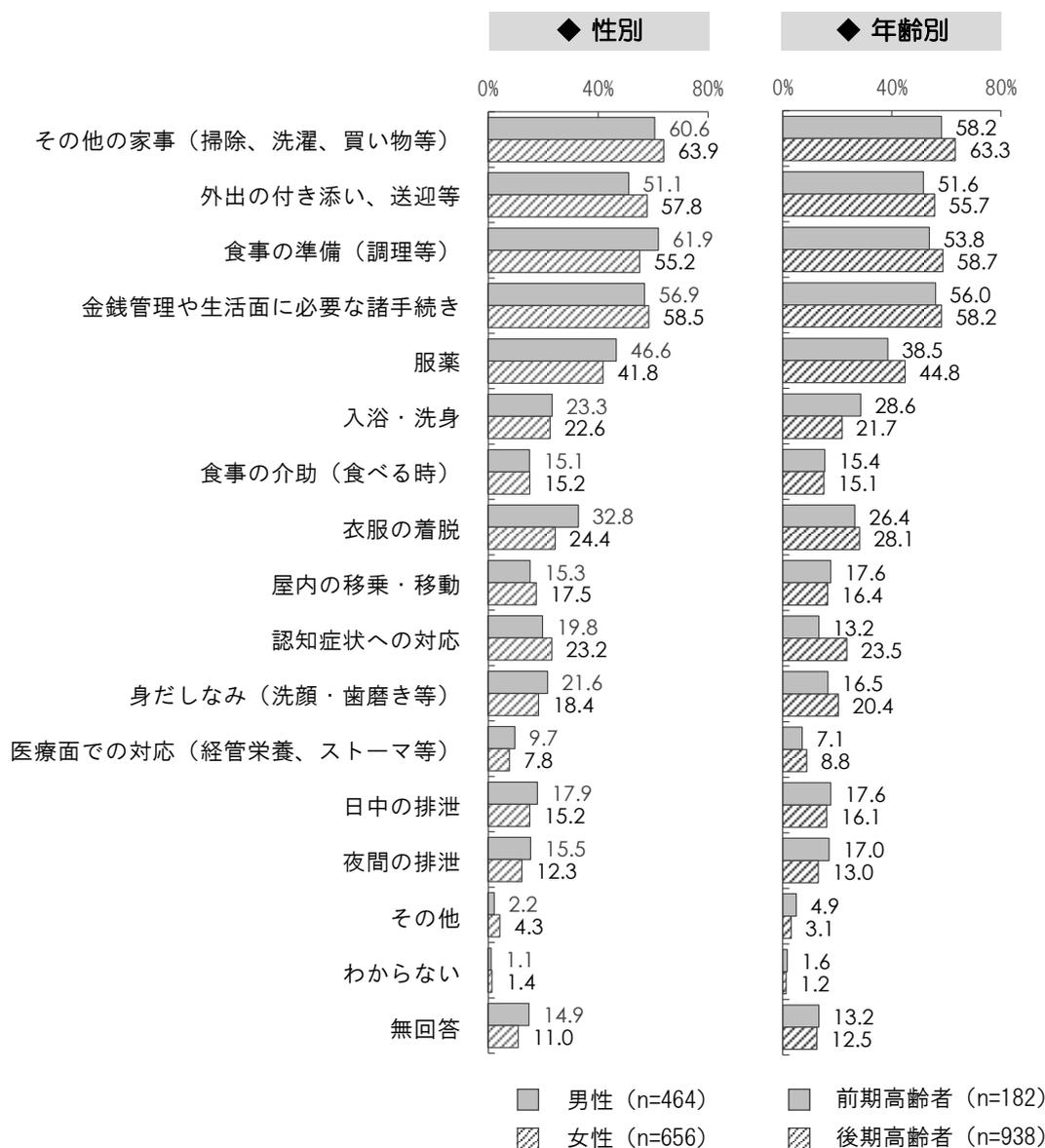
【単純集計】



現在、主な介護者が行っている介護等は、要支援認定者等・要介護認定者ともに「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が6割台で最も多くなっている。第2位以降の順位は若干異なるものの、「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がともに上位4項目となっている。

また、全般的に要介護認定者の方が回答割合の多い項目が多く、介護者が多岐にわたって介護しており、負担が大きいことがうかがえる。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別】



要介護認定者の結果を性別にみると、《男性》においては「食事の準備（調理等）」が61.9%で、《女性》よりも6.7ポイント多く、第1位となっている。一方、《女性》においては「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が63.9%で、唯一6割を超えている。

要介護認定者の結果を年齢別にみると、全般的に《前期高齢者》よりも《後期高齢者》の方が回答割合は多くなっている。特に、「認知症状への対応」においては、順位はさほど高くないものの、《前期高齢者》が13.2%であるのに対し、《後期高齢者》では23.5%と、10.3ポイントの差がみられる。

【クロス集計：要介護認定者：要介護度別】

要介護認定者	主な介護者が行っている介護等 (%)													調査数 (人)			
	無回答	わからない	その他	夜間の排泄	日中の排泄	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	認知症状への対応	屋内の移乗・移動	衣服の着脱	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	服薬		金銭管理や生活面に必要な諸手続き	食事の準備 (調理等)	外出の付き添い、送迎等
全体	12.6	1.3	3.4	13.7	16.3	8.6	19.7	21.8	16.6	27.9	15.2	22.9	43.8	57.9	55.0	62.5	1,120
要介護1	19.2	1.7	2.6	3.3	2.4	4.8	8.3	16.4	6.2	11.2	6.4	13.3	31.4	47.3	48.0	54.9	421
要介護2	8.8	1.1	3.3	8.8	11.2	8.8	17.3	24.1	13.7	27.1	10.4	26.0	41.1	60.0	62.2	67.1	365
要介護3	7.1	0.6	3.2	25.0	26.3	12.8	37.8	33.3	23.7	44.9	20.5	36.5	64.7	69.9	67.3	72.4	156
要介護4	12.8	0.0	4.6	33.0	45.0	11.9	27.5	16.5	38.5	52.3	30.3	28.4	56.0	67.9	51.4	63.3	109
要介護5	4.3	2.9	7.2	46.4	60.9	15.9	49.3	24.6	44.9	56.5	58.0	24.6	66.7	68.1	37.7	60.9	69
自宅	11.5	1.1	2.1	13.9	16.8	8.0	20.7	22.3	17.0	29.4	15.4	23.0	47.1	59.0	57.1	67.3	960
親族の家	7.1	0.0	0.0	14.3	7.1	14.3	28.6	42.9	17.9	32.1	25.0	39.3	57.1	75.0	67.9	67.9	28
高齢者対応の賃貸住宅	8.7	0.0	13.0	8.7	8.7	8.7	8.7	4.3	17.4	4.3	4.3	17.4	4.3	60.9	69.6	52.2	23
有料老人ホーム	23.7	1.7	8.5	11.9	16.9	11.9	13.6	22.0	15.3	13.6	8.5	20.3	20.3	44.1	35.6	15.3	59
軽費老人ホーム・ケアハウス	25.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	75.0	50.0	50.0	4
病院	11.4	5.7	28.6	8.6	11.4	8.6	2.9	5.7	2.9	14.3	14.3	11.4	14.3	42.9	22.9	25.7	35

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）
サンプル数が1桁の項目については識別していない。

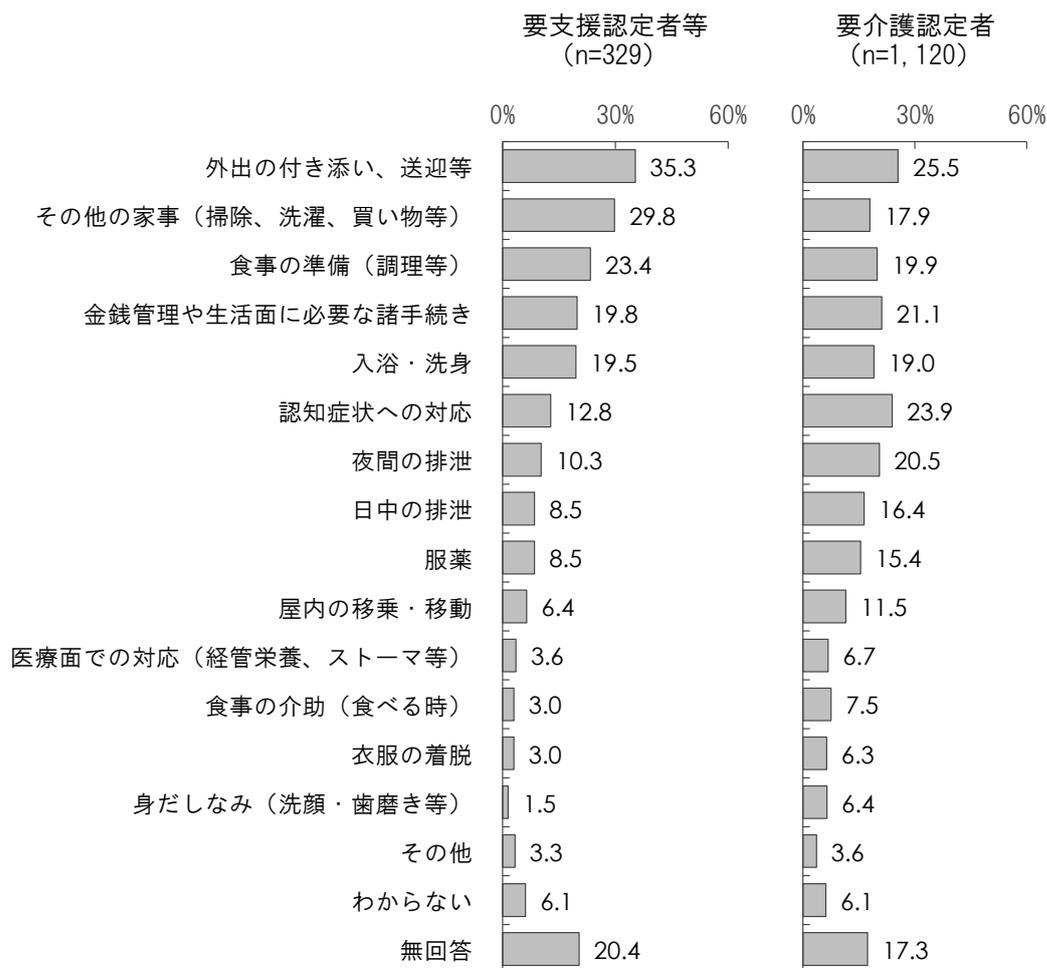
要介護認定者の結果を要介護度別にみると、「食事の介助（食べる時）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「日中の排泄」、「夜間の排泄」は要介護度が高くなるほど回答割合が多くなる傾向が顕著にみられる。また、《要介護3》以上では、全体平均より5ポイント以上多い項目が大半を占めており、《要介護2》以下と《要介護3》以上では、介護行為が大きく異なっていることがうかがえる。

要介護認定者の結果を現在暮らしている場所別にみると、《高齢者対応の賃貸住宅》、《有料老人ホーム》、《病院》においては、全体平均よりも5ポイント以上低い項目が多くなっている。

《要支援認定者等：問 54・要介護認定者：問 24》

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。
（複数回答可：3つまで）

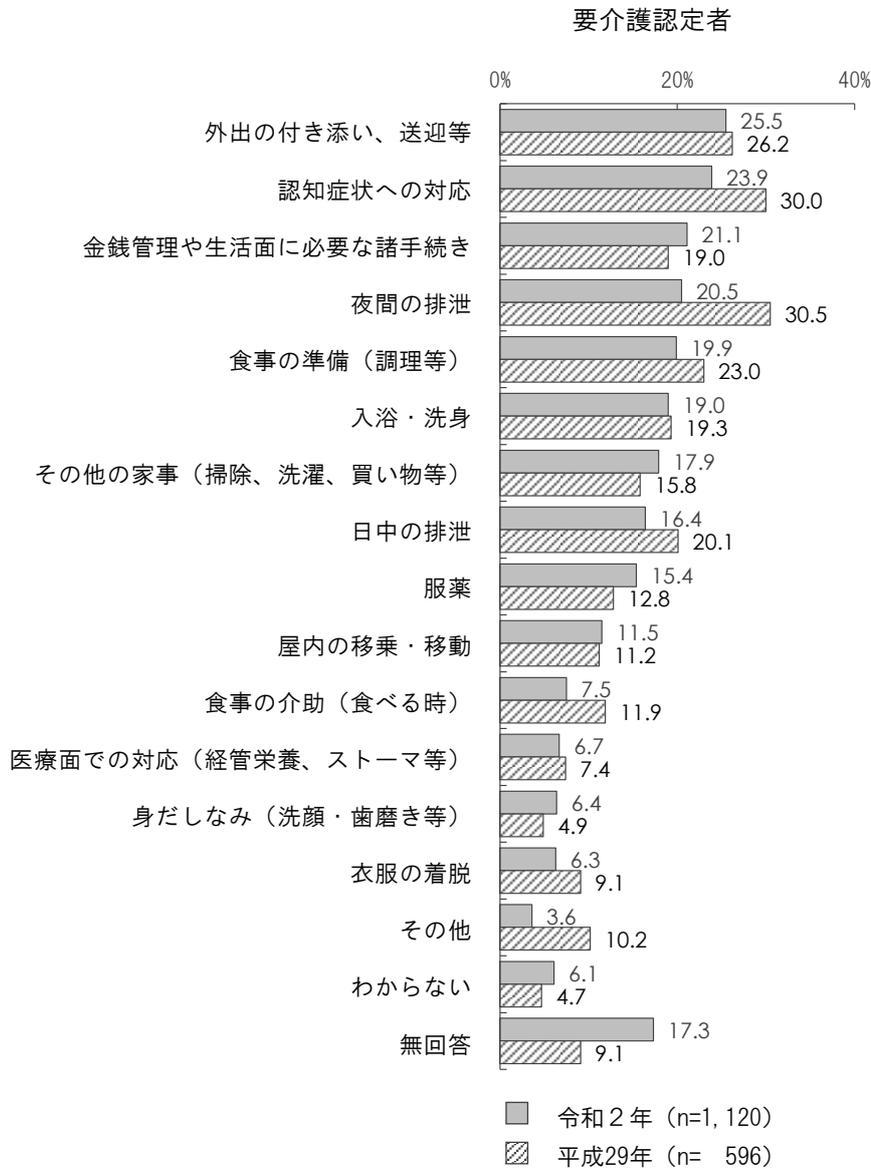
【単純集計】



現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等は、要支援認定者等・要介護認定者ともに「外出の付き添い、送迎等」が最も多くなっている。第2位以降は順位が異なり、要支援認定者等は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「食事の準備（調理等）」の順で続き、要介護認定者は「認知症状への対応」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の順で続く。

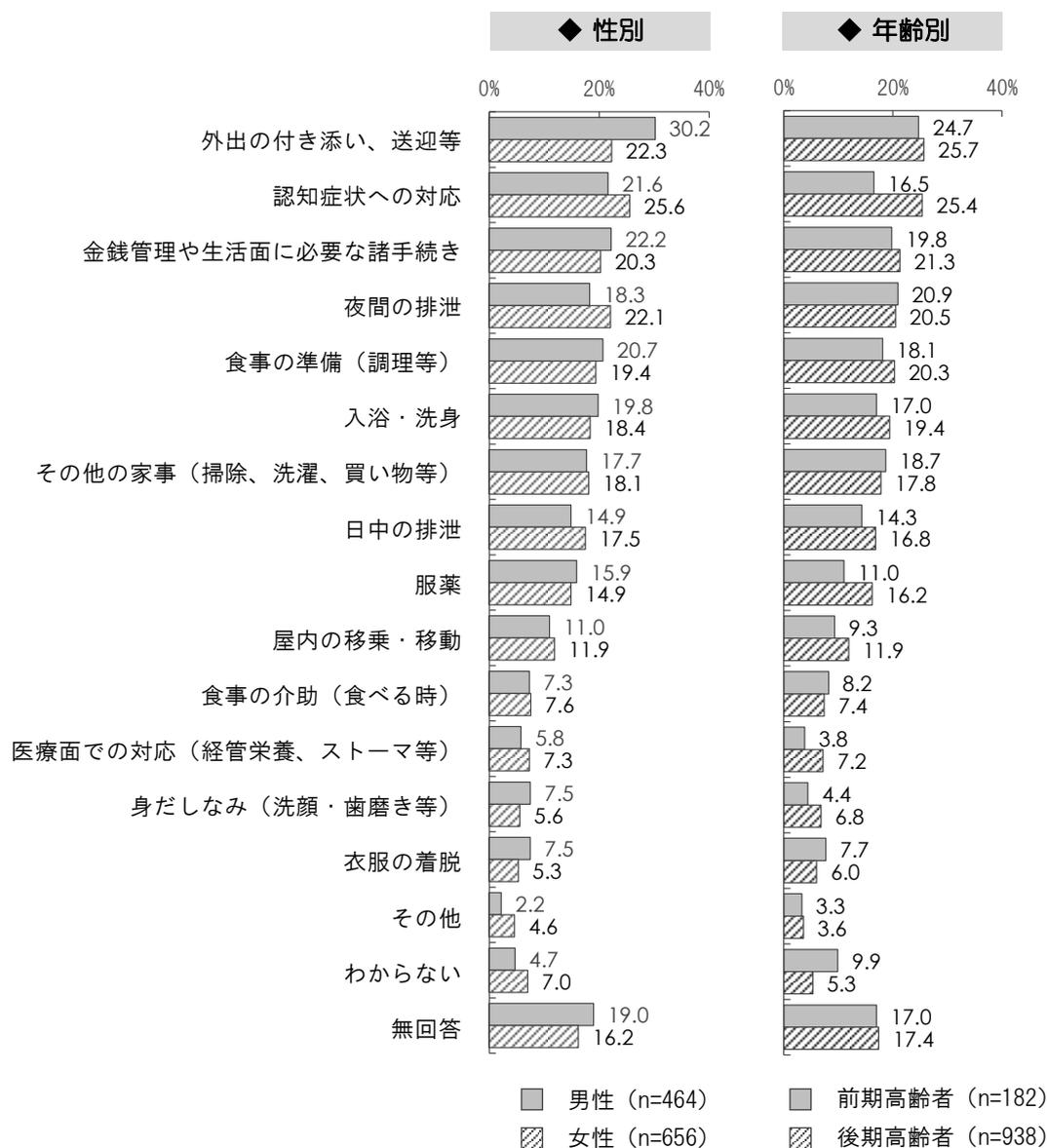
行っている介護の内容（145 ページ参照）と比べると、順位の差はあるものの、要支援認定者等では上位4項目は同じとなっている。一方、要介護認定者では「認知症状への対応」が8番目から2番目に上がっており、不安を感じる度合いが大きいことがうかがえる。

【経年比較：要介護認定者のみ】



経年比較でみると、多くの項目で前回の平成29年の割合を下回っている。特に、「夜間の排泄」においては10.0ポイント、「認知症への対応」においては6.1ポイント減少している。一方、今回、最も割合が多かった「外出の付き添い、送迎等」は0.7ポイント減少したのみで、3番目に多い「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」では、逆に2.1ポイント増加している。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別】



要介護認定者の結果を性別にみると、多くの項目で性別による差異がさほど大きくない中、「外出の付き添い、送迎等」においては、《女性》が22.3%であるのに対し、《男性》は30.2%と、7.9ポイントの差がみられる。

要介護認定者の結果を年齢別にみると、こちらも多くの項目で年齢別による差異がさほど大きくない中、「認知症状への対応」においては、《前期高齢者》が16.5%であるのに対し、《後期高齢者》は25.4%と、8.9ポイントの差がみられる。

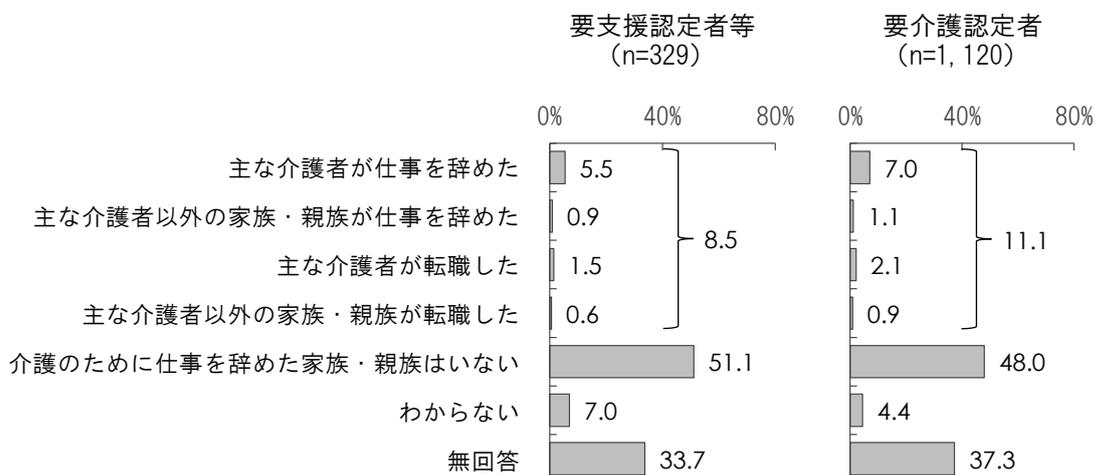
【クロス集計：要介護認定者：要介護度別・現在の住まい別】

要介護認定者	介護者が不安に感じる介護等 (%)						調査数 (人)	現在の住まい別
	外出の付き添い、送迎等	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	食事の準備（調理等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	入浴・洗身	認知症状への対応		
全体	25.5	17.9	19.9	21.1	19.0	23.9	1,120	
要介護1	27.3	20.2	19.7	20.2	16.4	18.8	421	
要介護2	27.7	20.8	23.0	22.5	20.8	27.1	365	
要介護3	25.6	16.7	21.8	25.6	22.4	31.4	156	
要介護4	21.1	9.2	11.9	15.6	18.3	22.9	109	
要介護5	10.1	5.8	13.0	17.4	18.8	23.2	69	
自宅	26.7	19.3	20.9	20.4	19.9	24.0	960	
親族の家	25.0	21.4	28.6	21.4	28.6	46.4	28	
高齢者対応の賃貸住宅	21.7	4.3	21.7	39.1	4.3	17.4	23	
有料老人ホーム	22.0	6.8	3.4	22.0	8.5	22.0	59	
軽費老人ホーム・ケアハウス	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	4	
病院	11.4	5.7	8.6	25.7	20.0	20.0	35	
	11.4	5.7	8.6	25.7	20.0	20.0		
	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0		
	22.0	6.8	3.4	22.0	8.5	22.0		
	21.7	4.3	21.7	39.1	4.3	17.4		
	25.0	21.4	28.6	21.4	28.6	46.4		
	26.7	19.3	20.9	20.4	19.9	24.0		
	10.1	5.8	13.0	17.4	18.8	23.2		
	21.1	9.2	11.9	15.6	18.3	22.9		
	25.6	16.7	21.8	25.6	22.4	31.4		
	27.7	20.8	23.0	22.5	20.8	27.1		
	27.3	20.2	19.7	20.2	16.4	18.8		
	25.5	17.9	19.9	21.1	19.0	23.9		
	11.4	5.7	8.6	25.7	20.0	20.0		
	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0		
	22.0	6.8	3.4	22.0	8.5	22.0		
	21.7	4.3	21.7	39.1	4.3	17.4		
	25.0	21.4	28.6	21.4	28.6	46.4		
	26.7	19.3	20.9	20.4	19.9	24.0		
	10.1	5.8	13.0	17.4	18.8	23.2		
	21.1	9.2	11.9	15.6	18.3	22.9		
	25.6	16.7	21.8	25.6	22.4	31.4		
	27.7	20.8	23.0	22.5	20.8	27.1		
	27.3	20.2	19.7	20.2	16.4	18.8		
	25.5	17.9	19.9	21.1	19.0	23.9		
	11.4	5.7	8.6	25.7	20.0	20.0		
	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0		
	22.0	6.8	3.4	22.0	8.5	22.0		
	21.7	4.3	21.7	39.1	4.3	17.4		
	25.0	21.4	28.6	21.4	28.6	46.4		
	26.7	19.3	20.9	20.4	19.9	24.0		
	10.1	5.8	13.0	17.4	18.8	23.2		
	21.1	9.2	11.9	15.6	18.3	22.9		
	25.6	16.7	21.8	25.6	22.4	31.4		
	27.7	20.8	23.0	22.5	20.8	27.1		
	27.3	20.2	19.7	20.2	16.4	18.8		
	25.5	17.9	19.9	21.1	19.0	23.9		
	11.4	5.7	8.6	25.7	20.0	20.0		
	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0		
	22.0	6.8	3.4	22.0	8.5	22.0		
	21.7	4.3	21.7	39.1	4.3	17.4		
	25.0	21.4	28.6	21.4	28.6	46.4		
	26.7	19.3	20.9	20.4	19.9	24.0		
	10.1	5.8	13.0	17.4	18.8	23.2		
	21.1	9.2	11.9	15.6	18.3	22.9		
	25.6	16.7	21.8	25.6	22.4	31.4		
	27.7	20.8	23.0	22.5	20.8	27.1		
	27.3	20.2	19.7	20.2	16.4	18.8		
	25.5	17.9	19.9	21.1	19.0	23.9		
	11.4	5.7	8.6	25.7	20.0	20.0		
	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0		
	22.0	6.8	3.4	22.0	8.5	22.0		
	21.7	4.3	21.7	39.1	4.3	17.4		
	25.0	21.4	28.6	21.4	28.6	46.4		
	26.7	19.3	20.9	20.4	19.9	24.0		
	10.1	5.8	13.0	17.4	18.8	23.2		
	21.1	9.2	11.9	15.6	18.3	22.9		
	25.6	16.7	21.8	25.6	22.4	31.4		
	27.7	20.8	23.0	22.5	20.8	27.1		
	27.3	20.2	19.7	20.2	16.4	18.8		
	25.5	17.9	19.9	21.1	19.0	23.9		
	11.4	5.7	8.6	25.7	20.0	20.0		
	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0		
	22.0	6.8	3.4	22.0	8.5	22.0		
	21.7	4.3	21.7	39.1	4.3	17.4		
	25.0	21.4	28.6	21.4	28.6	46.4		
	26.7	19.3	20.9	20.4	19.9	24.0		
	10.1	5.8	13.0	17.4	18.8	23.2		
	21.1	9.2	11.9	15.6	18.3	22.9		
	25.6	16.7	21.8	25.6	22.4	31.4		
	27.7	20.8	23.0	22.5	20.8	27.1		
	27.3	20.2	19.7	20.2	16.4	18.8		
	25.5	17.9	19.9	21.1	19.0	23.9		
	11.4	5.7	8.6	25.7	20.0	20.0		
	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0		
	22.0	6.8	3.4	22.0	8.5	22.0		
	21.7	4.3	21.7	39.1	4.3	17.4		
	25.0	21.4	28.6	21.4	28.6	46.4		
	26.7	19.3	20.9	20.4	19.9	24.0		
	10.1	5.8	13.0	17.4	18.8	23.2		
	21.1	9.2	11.9	15.6	18.3	22.9		
	25.6	16.7	21.8	25.6	22.4	31.4		
	27.7	20.8	23.0	22.5	20.8	27.1		
	27.3	20.2	19.7	20.2	16.4	18.8		
	25.5	17.9	19.9	21.1	19.0	23.9		
	11.4	5.7	8.6	25.7	20.0	20.0		
	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0		
	22.0	6.8	3.4	22.0	8.5	22.0		
	21.7	4.3	21.7	39.1	4.3	17.4		
	25.0	21.4	28.6	21.4	28.6	46.4		
	26.7	19.3	20.9	20.4	19.9	24.0		
	10.1	5.8	13.0	17.4	18.8	23.2		
	21.1	9.2	11.9	15.6	18.3	22.9		
	25.6	16.7	21.8	25.6	22.4	31.4		
	27.7	20.8	23.0	22.5	20.8	27.1		
	27.3	20.2	19.7	20.2	16.4	18.8		
	25.5	17.9	19.9	21.1	19.0	23.9		
	11.4	5.7	8.6	25.7	20.0	20.0		
	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0		
	22.0	6.8	3.4	22.0	8.5	22.0		
	21.7	4.3	21.7	39.1	4.3	17.4		
	25.0	21.4	28.6	21.4	28.6	46.4		
	26.7	19.3	20.9	20.4	19.9	24.0		
	10.1	5.8	13.0	17.4	18.8	23.2		
	21.1	9.2	11.9	15.6	18.3	22.9		
	25.6	16.7	21.8	25.6	22.4	31.4		
	27.7	20.8	23.0	22.5	20.8	27.1		
	27.3	20.2	19.7	20.2	16.4	18.8		
	25.5	17.9	19.9	21.1	19.0	23.9		
	11.4	5.7	8.6	25.7	20.0	20.0		
	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0		
	22.0	6.8	3.4	22.0	8.5	22.0		
	21.7	4.3	21.7	39.1	4.3	17.4		
	25.0	21.4	28.6	21.4	28.6	46.4		
	26.7	19.3	20.9	20.4	19.9	24.0		
	10.1	5.8	13.0	17.4	18.8	23.2		
	21.1	9.2	11.9	15.6	18.3	22.9		
	25.6	16.7	21.8	25.6	22.4	31.4		
	27.7	20.8	23.0	22.5	20.8	27.1		
	27.3	20.2	19.7	20.2	16.4	18.8		
	25.5	17.9	19.9	21.1	19.0	23.9		
	11.4	5.7	8.6	25.7	20.0	20.0		
	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0		
	22.0	6.8	3.4	22.0	8.5	22.0		
	21.7	4.3	21.7	39.1	4.3	17.4		
	25.0	21.4	28.6	21.4	28.6	46.4		
	26.7	19.3	20.9	20.4	19.9	24.0		
	10.1	5.8	13.0	17.4	18.8	23.2		
	21.1	9.2	11.9	15.6	18.3	22.9		
	25.6	16.7	21.8	25.6	22.4	31.4		
	27.7	20.8	23.0	22.5	20.8	27.1		
	27.3	20.2	19.7	20.2	16.4	18.8		
	25.5	17.9	19.9	21.1	19.0	23.9		
	11.4	5.7	8.6	25.7	20.0	20.0		
	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0		
	22.0	6.8	3.4	22.0	8.5	22.0		
	21.7	4.3	21.7	39.1	4.3	17.4		

《要支援認定者等：問 55・要介護認定者：問 25》

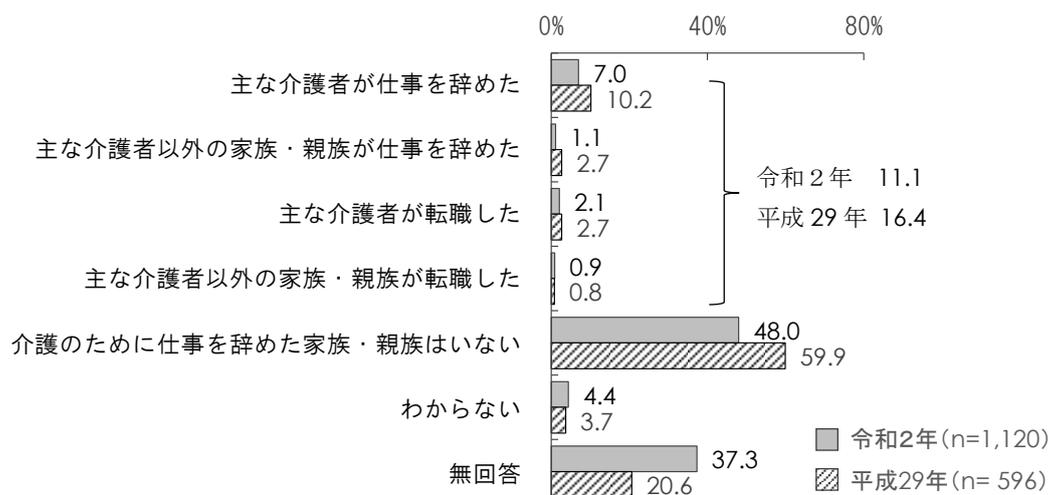
ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。（複数回答可）

【単純集計】



調査対象者の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた家族・親族の有無は、要支援認定者等・要介護認定者ともに「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が約半数を占めている。また、『辞めた・転職した（主な介護者が仕事を辞めた＋主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた＋主な介護者が転職した＋主な介護者以外の家族・親族が転職した）』は要支援認定者では8.5%、要介護認定者では11.1%と、1割を超えている。

【経年比較：要介護認定者のみ】



経年比較でみると、「無回答」の割合が大きく増えているので、一概には比べられないが、『辞めた・転職した（主な介護者が仕事を辞めた＋主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた＋主な介護者が転職した＋主な介護者以外の家族・親族が転職した）』は16.4%から11.1%に、5.3ポイント少なくなっている。

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：介護者別・介護者の性別・介護者の年代別】

	調査数（人）	離職の有無（％）							
		主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	親族が転職した	介護のためには仕事を辞めた	家族・親族はいない	わからない	無回答
全体	329	5.5	0.9	1.5	0.6	51.1	7.0	33.7	
主な介護者	配偶者	124	1.6	2.4	1.6	0.0	53.2	8.1	33.9
	子	142	10.6	0.0	1.4	0.7	63.4	6.3	17.6
	子の配偶者	10	0.0	0.0	10.0	10.0	30.0	0.0	50.0
	孫	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	兄弟・姉妹	7	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	42.9
	その他	19	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3	10.5	63.2
介護者の性別	男性	115	6.1	1.7	1.7	1.7	54.8	7.0	27.8
	女性	183	6.0	0.5	1.6	0.0	55.7	7.1	29.0
介護者の年代	20代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0
	40代	24	8.3	0.0	0.0	0.0	58.3	16.7	16.7
	50代	89	9.0	0.0	3.4	1.1	64.0	3.4	19.1
	60代	50	12.0	0.0	0.0	2.0	60.0	4.0	22.0
	70代	67	1.5	0.0	1.5	0.0	55.2	11.9	29.9
	80代以上	63	1.6	4.8	1.6	0.0	41.3	4.8	47.6
	わからない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

	調査数（人）	離職の有無（％）							
		主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	親族が転職した	介護のためには仕事を辞めた	家族・親族はいない	わからない	無回答
全体	1,120	7.0	1.1	2.1	0.9	48.0	4.4	37.3	
主な介護者	配偶者	470	6.2	1.5	0.6	1.3	43.8	3.6	43.6
	子	436	9.4	1.1	4.1	0.5	57.1	4.6	23.9
	子の配偶者	67	4.5	0.0	0.0	0.0	68.7	3.0	23.9
	孫	5	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0
	兄弟・姉妹	27	11.1	0.0	0.0	3.7	55.6	7.4	25.9
	その他	32	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	15.6	34.4
介護者の性別	男性	335	9.6	1.2	2.1	0.0	49.3	6.0	32.5
	女性	693	6.3	1.0	2.2	1.3	52.8	3.6	33.5
介護者の年代	20代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	30代	7	0.0	0.0	14.3	0.0	71.4	0.0	14.3
	40代	77	15.6	1.3	7.8	1.3	58.4	2.6	14.3
	50代	186	6.5	1.1	3.8	0.0	58.1	7.0	23.7
	60代	224	8.0	1.3	1.8	0.4	56.7	3.6	28.6
	70代	296	7.1	0.3	0.7	1.0	49.0	2.4	39.5
	80代以上	207	5.3	2.4	0.5	1.9	36.7	6.3	48.8
	わからない	7	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3	14.3

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）
サンプル数が1桁の項目については識別していない。

主な介護者別にみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は、主要な介護者である《配偶者》と《子》において、要支援認定者等では9.0ポイント、要介護認定者では3.2ポイントの差がみられ、《子》の方がそれぞれ多くなっている。

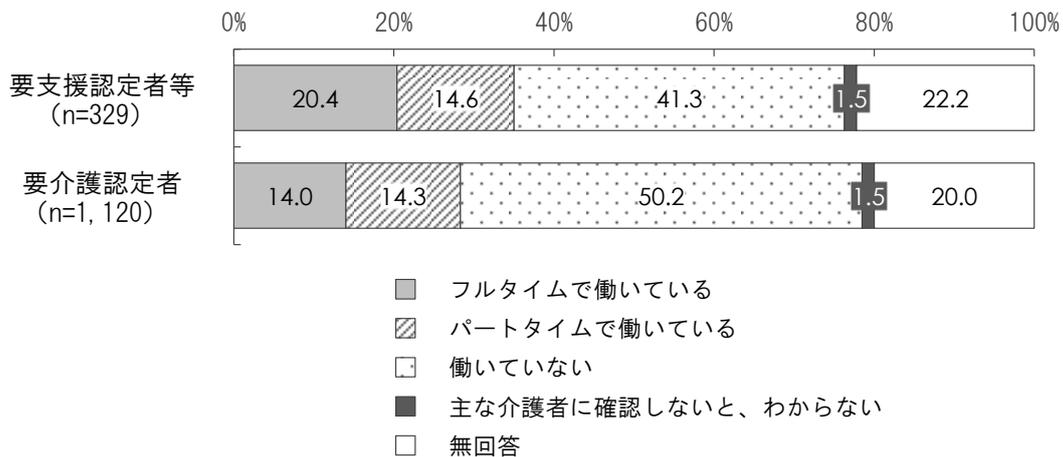
介護をしている人の性別でみると、要支援認定者等・要介護認定者ともに、さほど大きな差はみられない。

介護をしている人の年齢別でみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は要支援認定者等では《60代》で、要介護認定者では《40代》でそれぞれ1割以上となっており、比較的多くなっている。

《要支援認定者等：問 56・要介護認定者：問 26》

主な介護者の方の現在の勤務形態を教えてください。(単数回答)

【単純集計】



主な介護者の現在の勤務形態は、「働いていない」が要支援認定者等では 41.3%で約 4 割、要介護認定者では 50.2%で約 5 割と、最も多くなっている。一方、「パートタイムで働いている」はともに 14%台で、「フルタイムで働いている」は、要支援認定者等においては 20.4%であるのに対し、要介護認定者では 14.0%と、6.4 ポイントの差がみられる。

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：介護者別・介護者の性別・介護者の年代別】

		調査数（人）	現在の勤務形態（%）				
			フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	わからない 主な介護者に確認しないと、	無回答
要支援認定者等							
全体		329	20.4	14.6	41.3	1.5	22.2
主な介護者	配偶者	124	8.9	7.3	66.1	0.0	17.7
	子	142	35.9	25.4	27.5	2.1	9.2
	子の配偶者	10	40.0	20.0	10.0	0.0	30.0
	孫	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	兄弟・姉妹	7	0.0	0.0	71.4	0.0	28.6
	その他	19	0.0	0.0	26.3	10.5	63.2
介護者の性別	男性	115	27.0	9.6	45.2	0.9	17.4
	女性	183	17.5	19.7	44.8	1.6	16.4
介護者の年代	20代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	40代	24	37.5	20.8	20.8	4.2	16.7
	50代	89	40.4	20.2	29.2	3.4	6.7
	60代	50	28.0	28.0	26.0	0.0	18.0
	70代	67	4.5	10.4	68.7	0.0	16.4
	80代以上	63	3.2	1.6	65.1	0.0	30.2
	わからない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

		調査数（人）	現在の勤務形態（%）				
			フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	わからない 主な介護者に確認しないと、	無回答
要介護認定者							
全体		1,120	14.0	14.3	50.2	1.5	20.0
主な介護者	配偶者	470	3.2	8.1	69.4	1.3	18.1
	子	436	29.4	21.6	37.8	1.1	10.1
	子の配偶者	67	9.0	28.4	55.2	0.0	7.5
	孫	5	0.0	40.0	20.0	0.0	40.0
	兄弟・姉妹	27	3.7	14.8	59.3	3.7	18.5
	その他	32	15.6	6.3	18.8	12.5	46.9
介護者の性別	男性	335	23.9	8.4	53.7	2.4	11.6
	女性	693	10.7	18.5	53.7	1.3	15.9
介護者の年代	20代	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	30代	7	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3
	40代	77	39.0	23.4	24.7	3.9	9.1
	50代	186	33.9	25.8	28.5	0.5	11.3
	60代	224	14.3	22.3	54.9	2.2	6.3
	70代	296	4.1	8.8	70.9	0.3	15.9
	80代以上	207	1.4	3.4	66.7	2.4	26.1
	わからない	7	14.3	0.0	14.3	0.0	71.4

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）
サンプル数が1桁の項目については識別していない。

主な介護者別にみると、《配偶者》では、要支援認定者等・要介護認定者ともに、「働いていない」が7割近くを占めている。一方、《子》と《子の配偶者》では、要支援認定者等において「フルタイムで働いている」が最も多く、要介護認定者では「働いていない」が最も多くなっている。

介護をしている人の性別でみると、要支援認定者等・要介護認定者ともに、性別に関わらず「働いていない」が半数前後で最も多くなっているが、就労形態においては《男性》では「フルタイムで働いている」方が、《女性》では「パートタイムで働いている」方がそれぞれ多く、性別による違いがみられる。

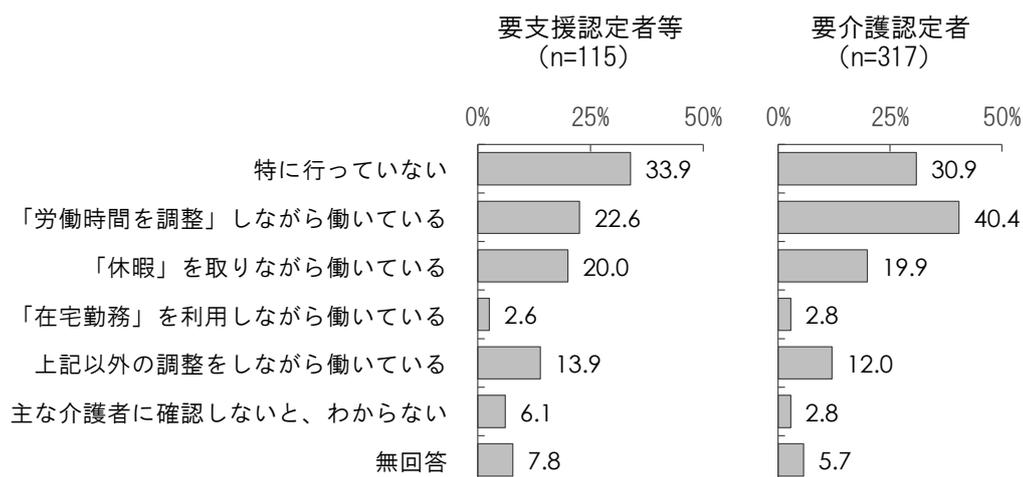
介護をしている人の年齢別でみると、要支援認定者等においては「フルタイムで働いている」が《40代》から《60代》までで比較的多くなっているが、要介護認定者においては《60代》では14.3%と、《50代》の半分以下となっており、「働いていない」が54.9%と、半数以上を占めている。

要支援認定者等：問 56・要介護認定者：問 26 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方のみ

《要支援認定者等：問 56-1・要介護認定者：問 26-1》

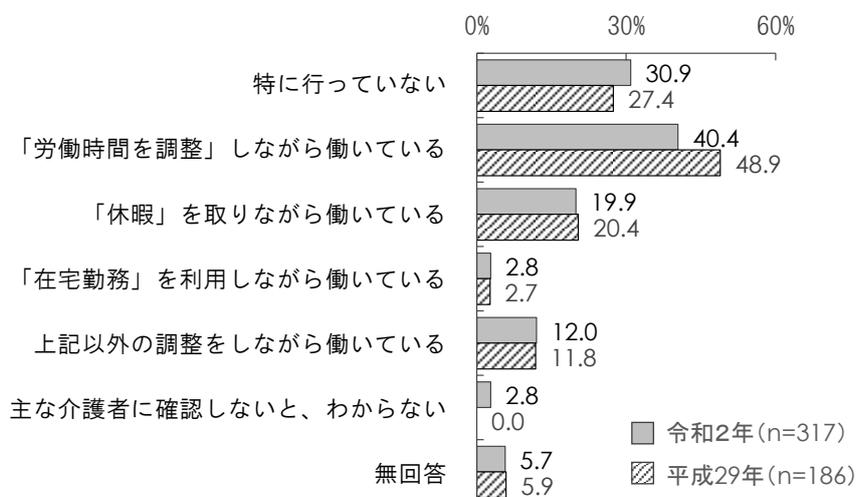
主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(複数回答可)

【単純集計】



主な介護者が介護のためにしている働き方についての調整等は、要支援認定者等において「特に行っていない」が 33.9%と最も多く、「『労働時間を調整』しながら働いている」、「『休暇』を取りながら働いている」が続く。一方、要介護認定者においては「『労働時間を調整』しながら働いている」が 40.4%と最も多く、「特に行っていない」、「『休暇』を取りながら働いている」が続く。

【経年比較：要介護認定者のみ】



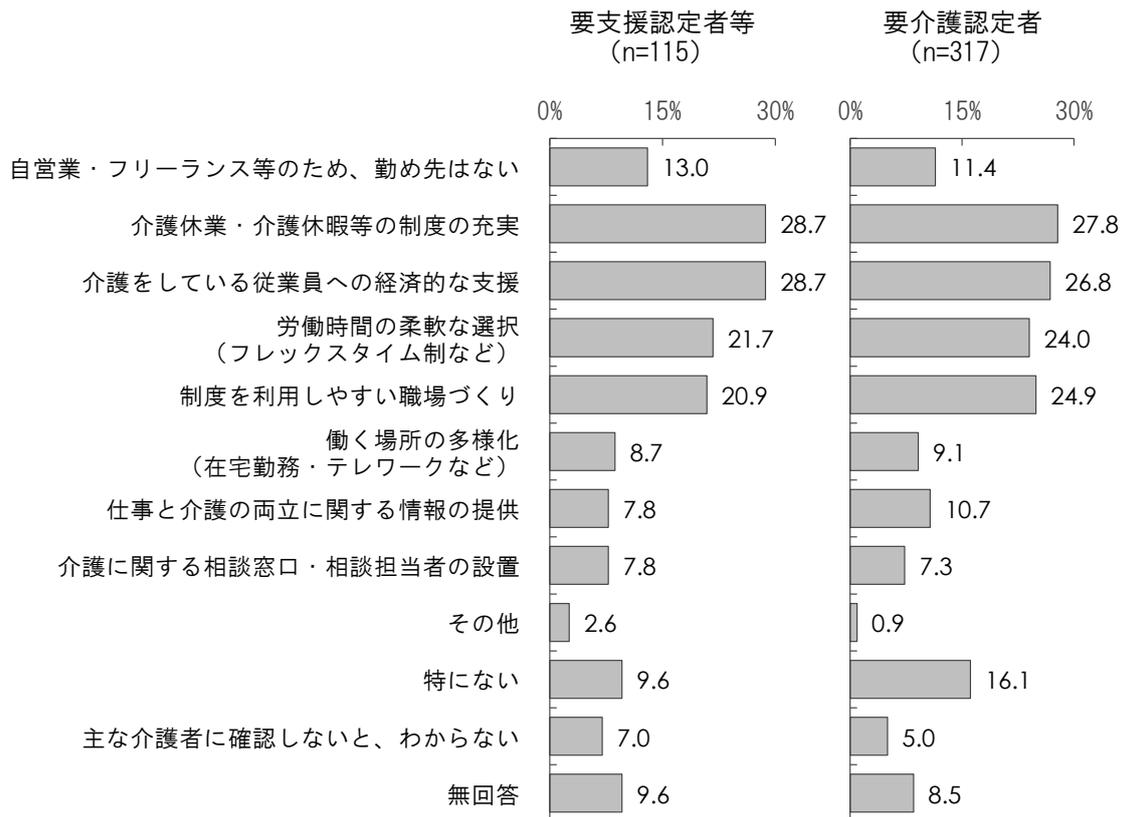
経年比較でみると、今回の方が「『労働時間を調整』しながら働いている」が 8.5 ポイント減少し、「特に行っていない」が 3.5 ポイント増加している以外は、大きな差異はみられない。

要支援認定者等：問 56・要介護認定者：問 26 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方のみ

《要支援認定者等：問 56-2・要介護認定者：問 26-2》

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（複数回答可：3つまで）

【単純集計】



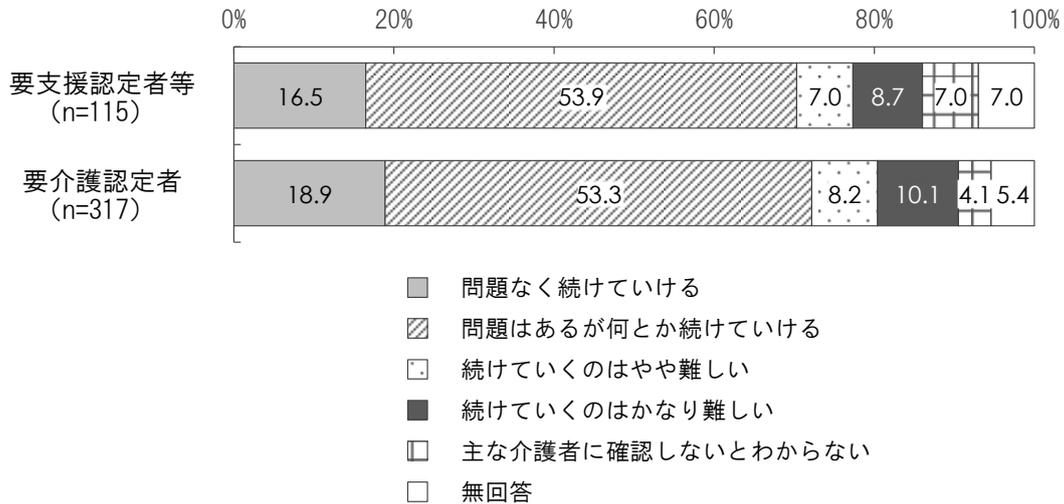
主な介護者が考える仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は、要支援認定者等・要介護認定者ともに「介護休業・介護休暇等の制度の充実」と「介護をしている従業員への経済的な支援」が2割後半、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」と「制度を利用しやすい職場づくり」が2割前半で、この4項目に回答が分散しており、類似した結果となっている。

要支援認定者等：問 56・要介護認定者：問 26 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方のみ

《要支援認定者等：問 56-3・要介護認定者：問 26-3》

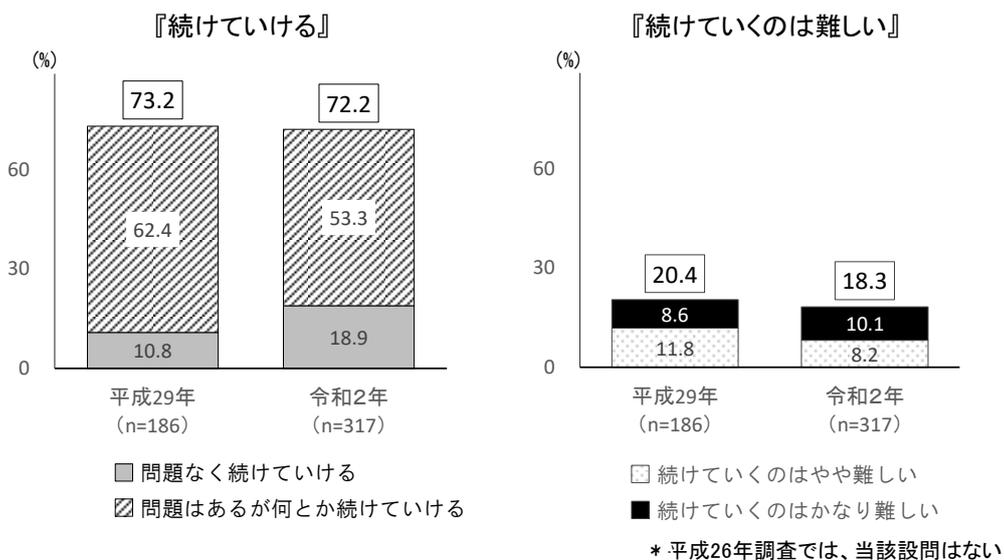
主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(単数回答)

【単純集計】



主な介護者は今後も働きながら介護を続けていけそうかは、要支援認定者等・要介護認定者ともに「問題はあるが何とか続けていける」が53%台と、過半数を占めている。他の項目の割合も同程度の数値となっており、類似している。

【経年比較：要介護認定者のみ】

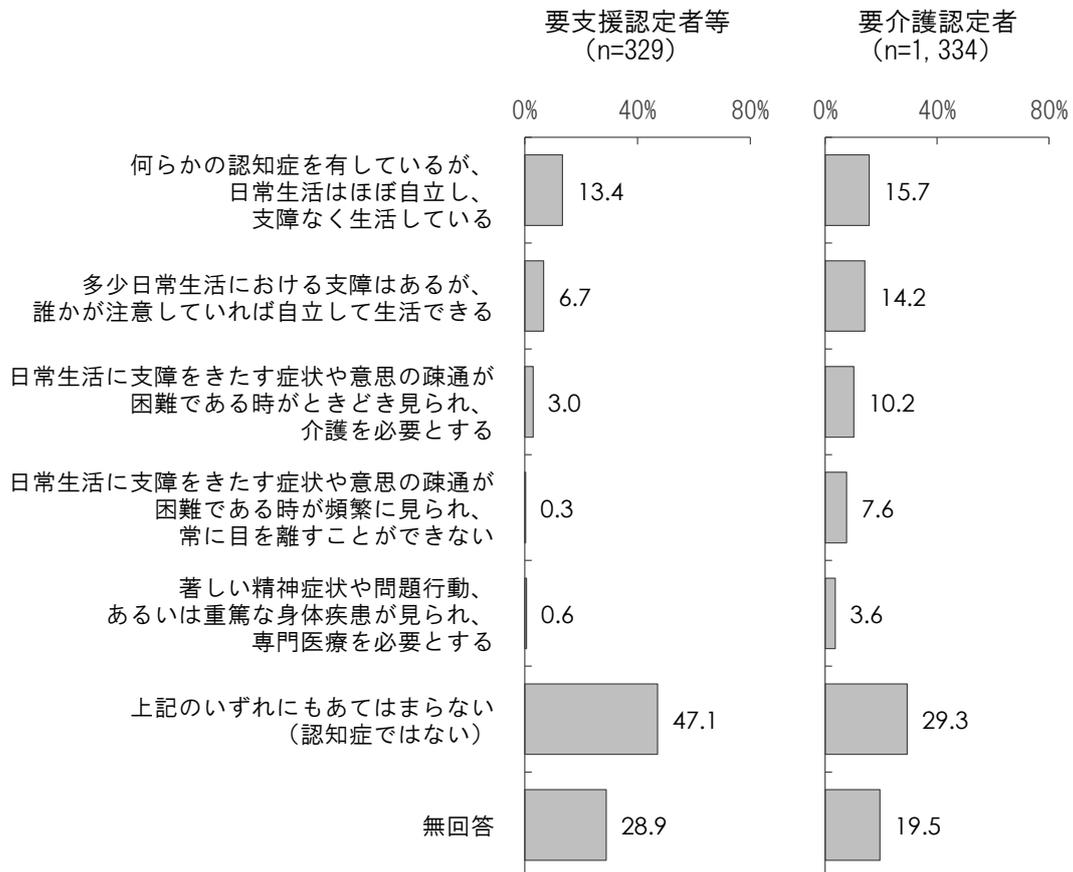


経年比較でみると、「問題なく続けていける」は、今回の方が8.1ポイント増加しているが、『続けていける(問題なく続けていける+問題があるが何とか続けていける)』及び『続けていくのは難しい(続けていくのはやや難しい+続けていくのはかなり難しい)』でみると、さほど大きな差異はみられない。

《要支援認定者等：問 57・要介護認定者：問 27》

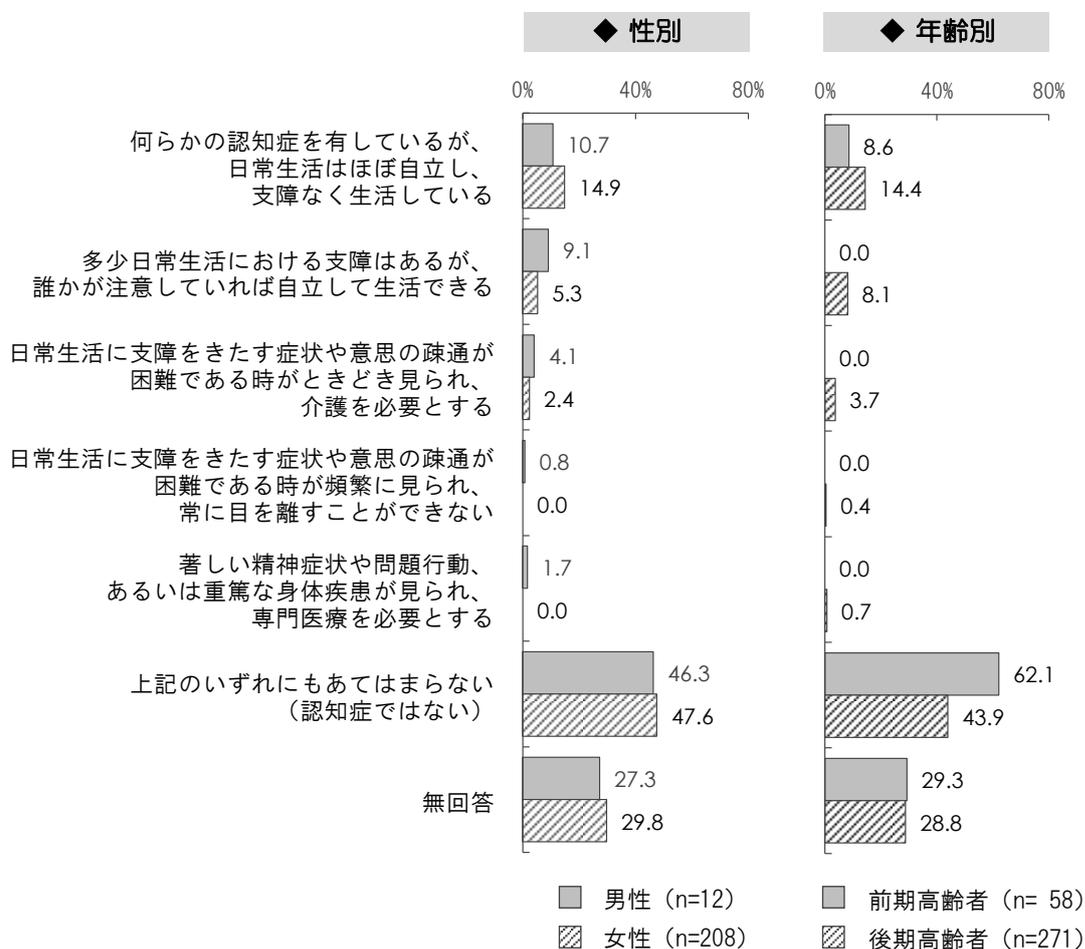
介護を受けている方の認知症の程度についてお答えください。（単数回答）

【単純集計】



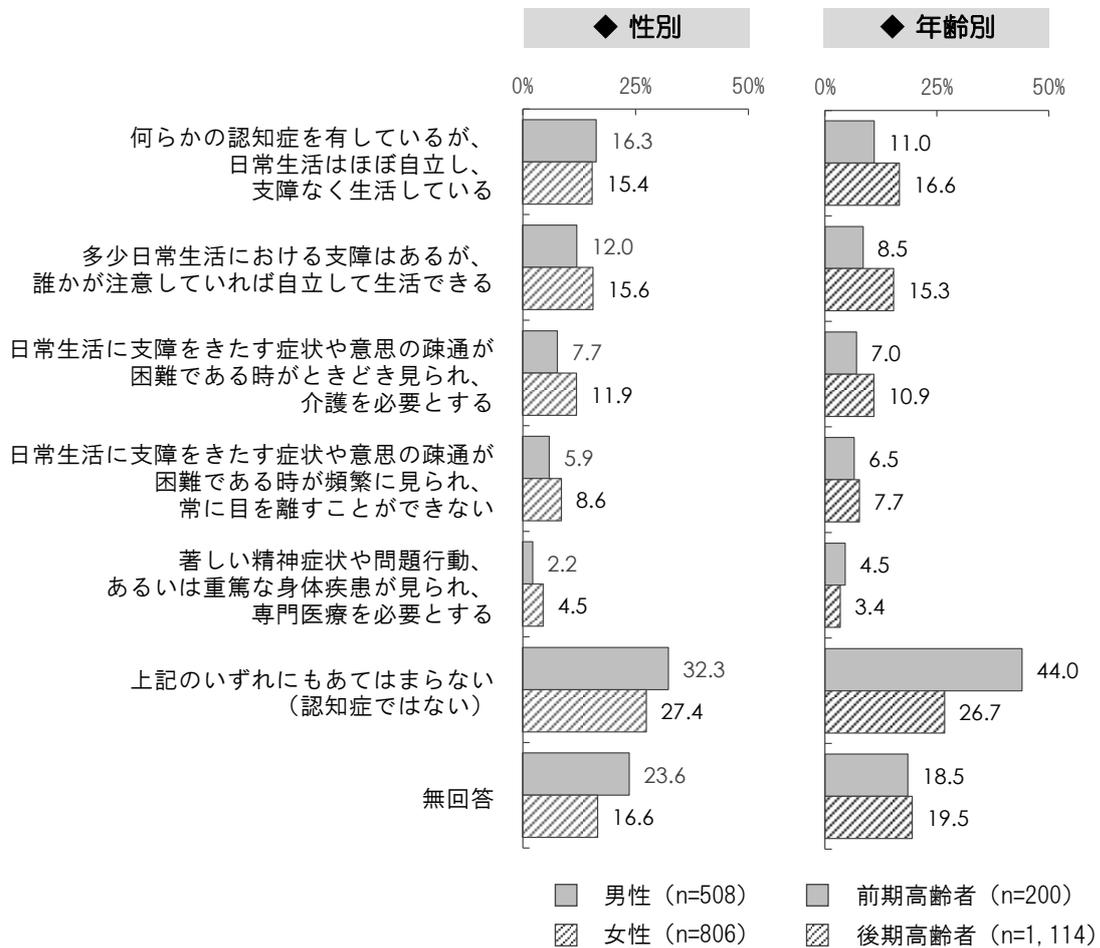
介護を受けている方の認知症の程度については、各症状の割合は要介護認定者の方が数ポイントずつ多くなっているが、要支援認定者等・要介護認定者ともに類似した順番・傾向がみられ、「上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」が最も多く、「何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している」、「多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる」が続く。

【クロス集計：要支援認定者等：性別・年齢別】



要支援認定者等の結果を性別にみると、5ポイント以上の大きな差異はみられない。
 要支援認定者等の結果を年齢別にみると、《前期高齢者》においては「何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している」が8.6%あるものの、その他の症状は皆無で、「上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」が62.1%と多く、回答が集中している。

【クロス集計：要介護認定者：性別・年齢別】



要介護認定者の結果を性別にみると、各症状においては《女性》の方が割合の多い項目が多く、そのため「上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」においては、《男性》が32.3%で、《女性》より4.9ポイント多くなっている。

要介護認定者の結果を年齢別にみると、性別以上に、各症状においては《後期高齢者》の方が割合の多い項目が多く、そのため「上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」においては、《前期高齢者》が44.0%で、《後期高齢者》より17.3ポイント多くなっている。

【クロス集計：要支援認定者等・要介護認定者：要支援度別・要介護度別 / 記入者別】

要支援認定者等	(人)調査数	認知症の程度 (%)						
		何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している	多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる	日常生活に支障をきたす症状や意思の疎通が困難である時がときどき見られ、介護を必要とする	日常生活に支障をきたす症状や意思の疎通が困難である時が頻繁に見られ、常に目を離すことができない	著しい精神症状や問題行動、あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	左記のいずれにもあてはまらない(認知症ではない)	無回答
全体	121	10.7	11.6	2.5	0.0	0.0	47.9	27.3
要支援度別								
総合事業対象者	19	21.1	0.0	0.0	0.0	5.3	47.4	26.3
要支援1	121	10.7	11.6	2.5	0.0	0.0	47.9	27.3
要支援2	189	14.3	4.2	3.7	0.5	0.5	46.6	30.2
記入者								
調査対象者 本人	93	10.8	10.8	1.1	1.1	1.1	47.3	28.0
主な介護者となっている家族・親族	13	23.1	7.7	7.7	0.0	0.0	38.5	23.1
主な介護者以外の家族・親族	114	17.5	5.3	5.3	0.0	0.0	49.1	21.9
その他	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7

要介護認定者	(人)調査数	認知症の程度 (%)						
		何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支障なく生活している	多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる	日常生活に支障をきたす症状や意思の疎通が困難である時がときどき見られ、介護を必要とする	日常生活に支障をきたす症状や意思の疎通が困難である時が頻繁に見られ、常に目を離すことができない	著しい精神症状や問題行動、あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	左記のいずれにもあてはまらない(認知症ではない)	無回答
全体	1,334	15.7	14.2	10.2	7.6	3.6	29.3	19.5
要介護度別								
要介護1	430	17.4	18.8	5.6	0.9	0.7	32.3	24.2
要介護2	389	18.0	16.7	11.1	4.9	2.1	31.6	15.7
要介護3	204	14.7	12.3	16.2	15.7	5.9	21.1	14.2
要介護4	166	15.7	7.2	15.1	13.3	3.0	27.1	18.7
要介護5	125	4.8	3.2	8.0	17.6	15.2	28.0	23.2
記入者								
調査対象者 本人	430	14.2	9.0	1.6	0.5	0.8	44.7	29.2
主な介護者となっている家族・親族	204	19.0	20.3	14.4	8.3	2.9	25.0	10.0
主な介護者以外の家族・親族	166	11.9	28.6	16.7	7.1	4.8	14.3	16.7
その他	125	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	11.1

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）
サンプル数が1桁の項目については識別していない。

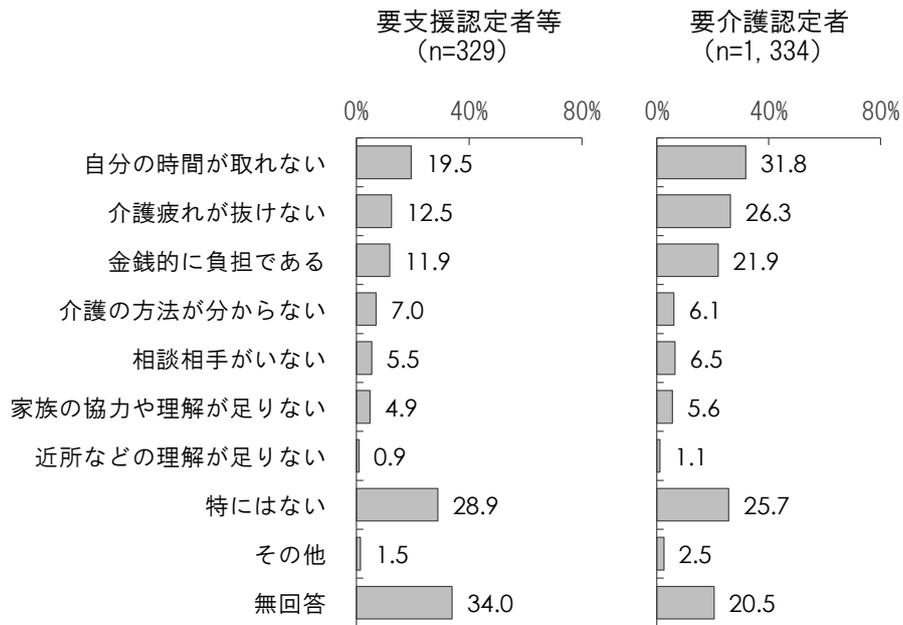
要支援度・要介護度別にみると、要支援認定者等ではあまり傾向がみられないが、要介護認定者では、要介護度が高くなるほど「多少日常生活における支障はあるが、誰かが注意していれば自立して生活できる」が少なくなり、介護を必要とする各症状の項目が概ね増加する傾向がみられる。また、《要介護5》においては「著しい精神症状や問題行動、あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする」が15.2%と、全体平均よりも11.6ポイント多くなっている。

記入者別にみると、要介護認定者においては、《調査対象者 本人》は「上記のいずれにもあてはまらない（認知症ではない）」が44.7%と、4割以上を占めているが、《主な介護者となっている家族・親族》や《主な介護者以外の家族・親族》では何かしら症状のある項目への回答が比較的多くなっている。

《要支援認定者等：問 58・要介護認定者：問 28》

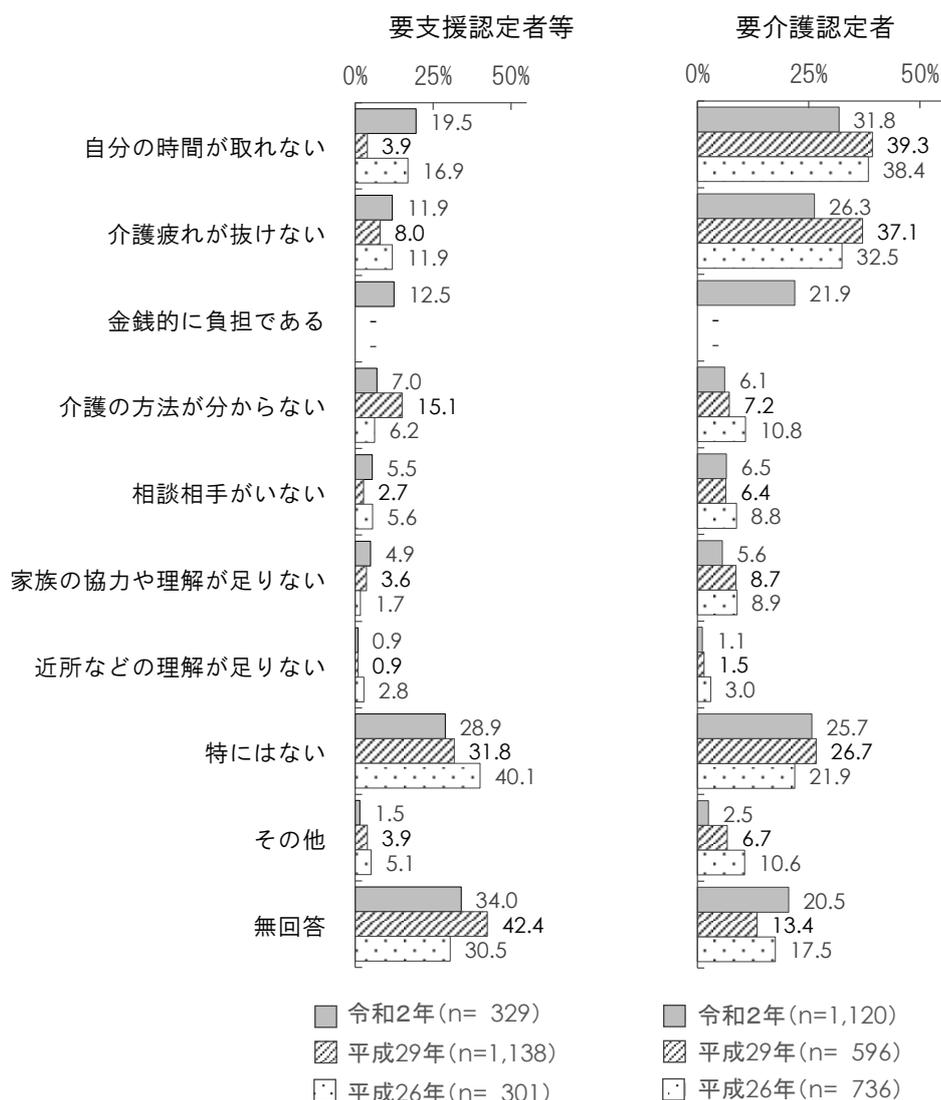
主な介護者の方が特に困っていることを選んでください。
 （複数回答可：3つまで）

【単純集計】



主な介護者の方が特に困っていることは、要支援認定者等においては「特にはない」が 28.9% で最も多く、「自分の時間が取れない」、「介護疲れが抜けない」が続く。一方、要介護認定者においては「自分の時間が取れない」が 31.8% と最も多く、「介護疲れが抜けない」、「特にはない」が続く。特に、要介護認定者においては、困っている内容の上位 3 項目と 4 番目の「介護の方法が分からない」とでは、15 ポイント以上の差がみられ、困っている内容がある程度明確化している。

【経年比較】



※「金銭的に負担である」は、令和2年に新規に追加した項目

経年比較でみると、要支援認定者等では「特にはない」が毎回、減少しており、各項目が比較的増加している。また、要介護認定者においては、今回、「金銭的に負担である」が新規に追加されたためか、全般的に各項目の割合は減少しているものが多い。特に、「介護疲れが抜けない」は10.8ポイント少なくなっている。

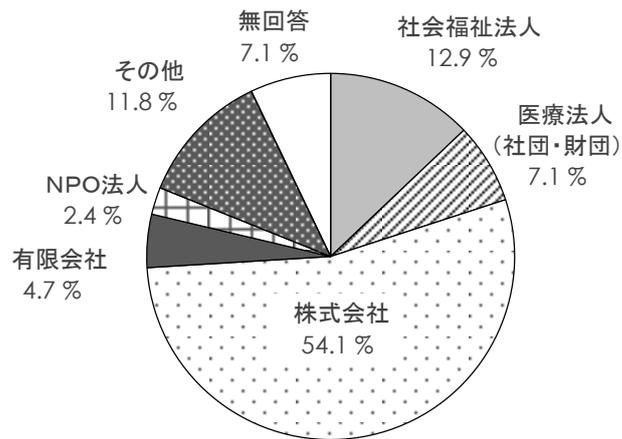
Ⅲ 調査の結果（介護保険サービス供給量）

1 法人の概要

《介護保険サービス供給量：事前設問》

法人の種類（単数回答）

【単純集計】



法人の種類は、「株式会社」が54.1%と、過半数を占めて最も多く、次いで「社会福祉法人」が12.9%、「その他」が11.8%などとなっている。

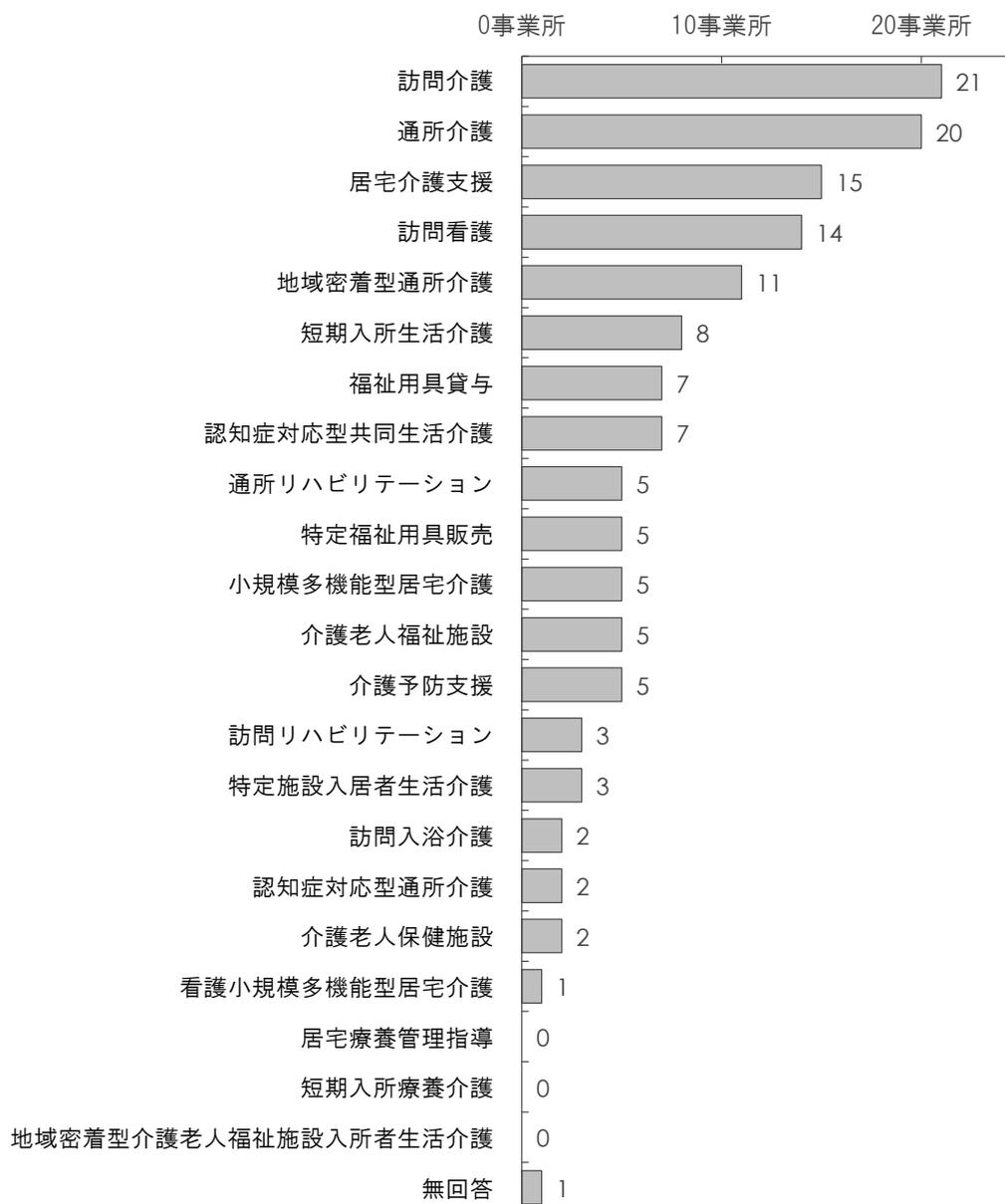
2 法人の事業展開について

《介護保険サービス供給量：問1》

サービスごとの職員数などについておたずねします。提供している介護保険サービスの番号に○をつけ、職員数（令和2年1月1日現在）と平成31年（令和元年）の1年間における採用者数、退職者数をお答えください。

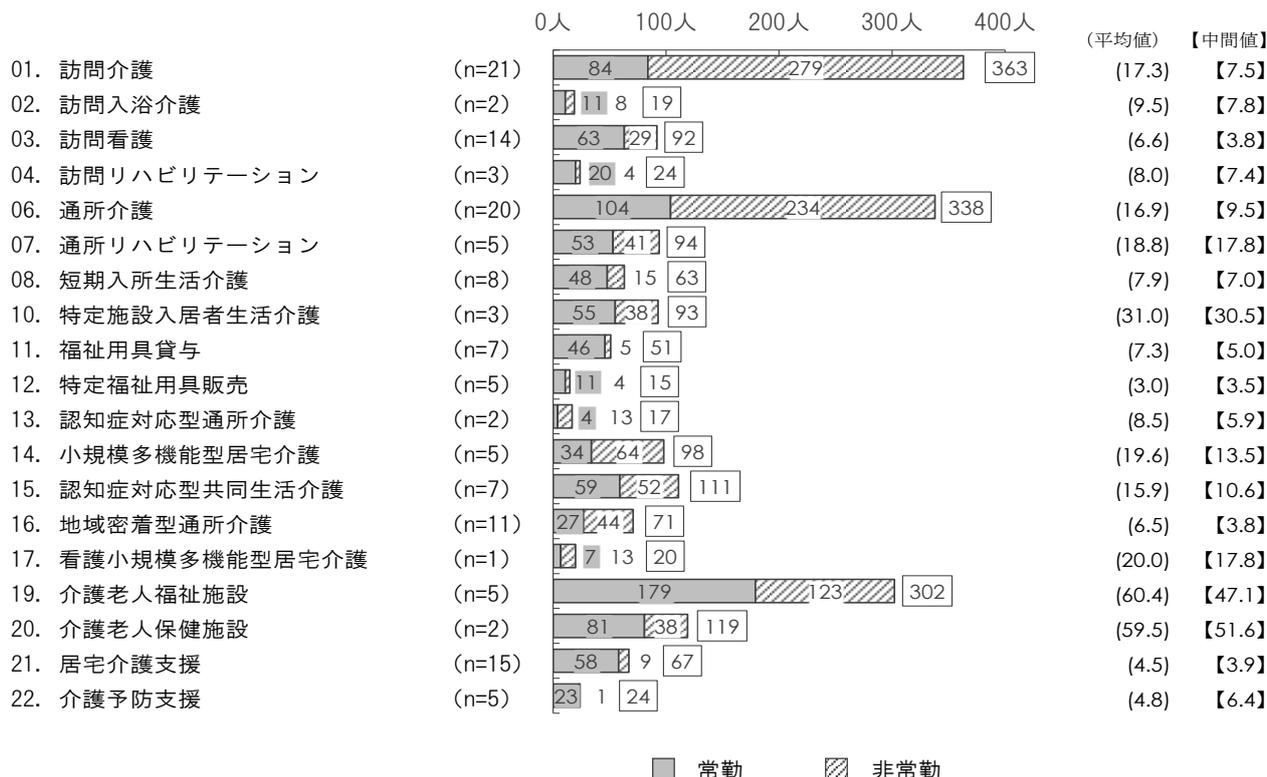
（提供している介護保険サービス：複数回答可、その他は数値記入）

【単純集計：提供している介護保険サービス】

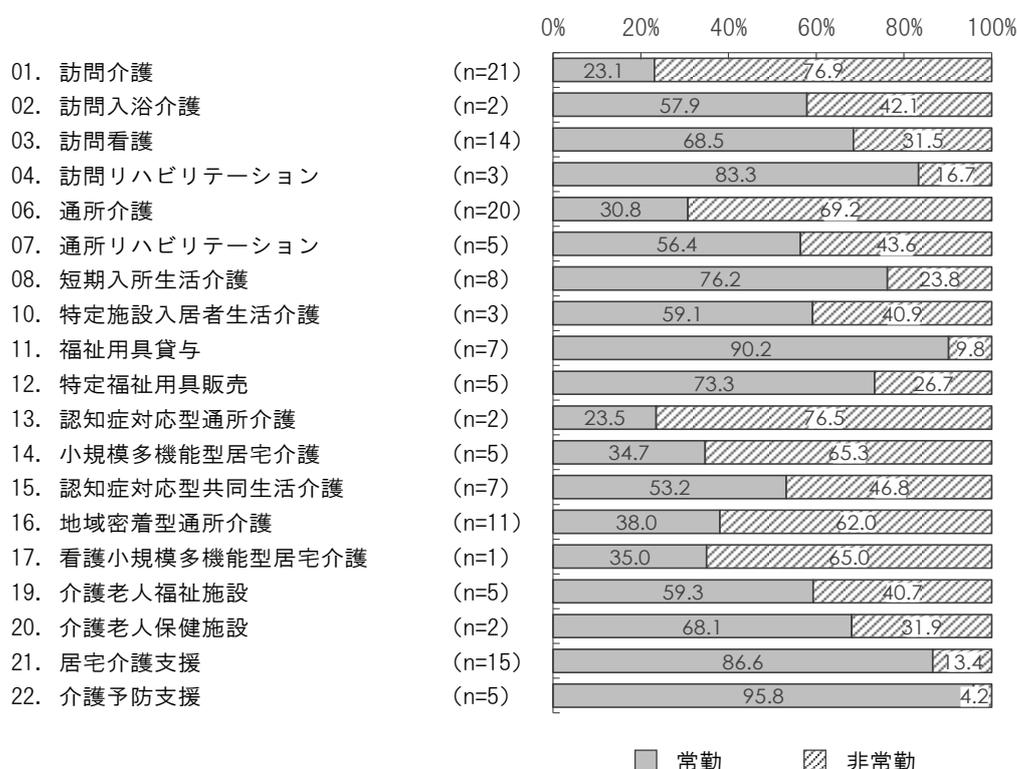


今回、回答いただいた85事業所における提供している介護保険サービスの種類は、「訪問介護」が21事業所と最も多く、次いで「通所介護」が20事業所、「居宅介護支援」が15事業所などとなっている。

【単純集計：職員数】



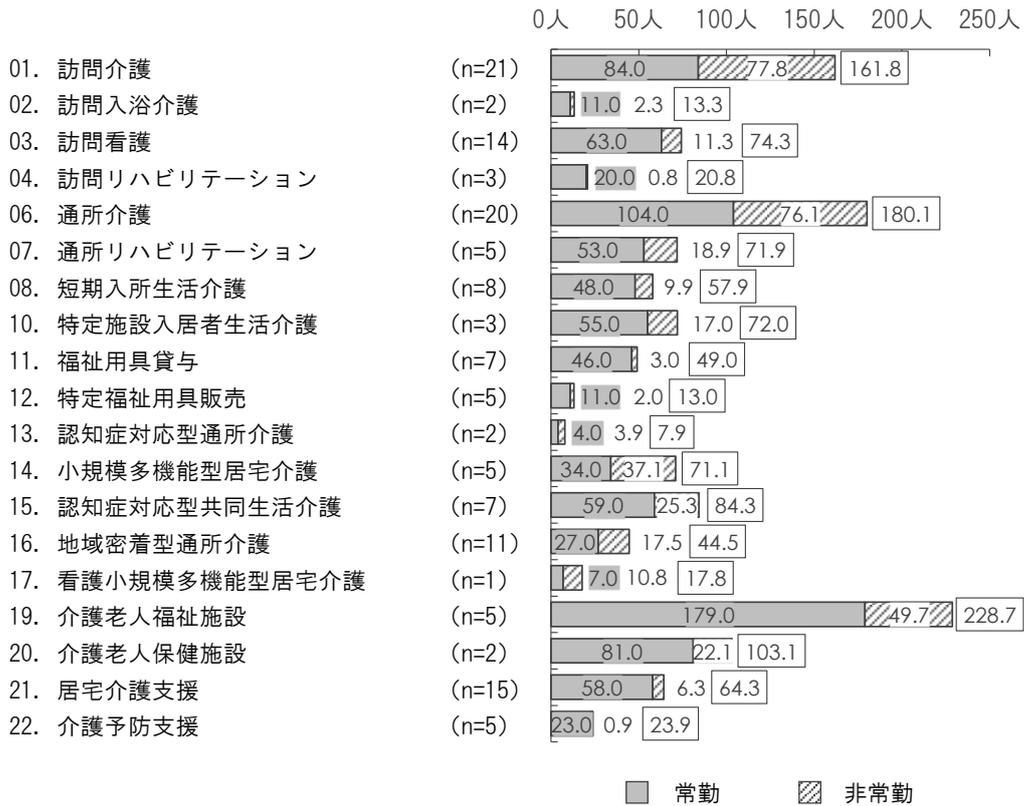
【単純集計：常勤・非常勤の割合】



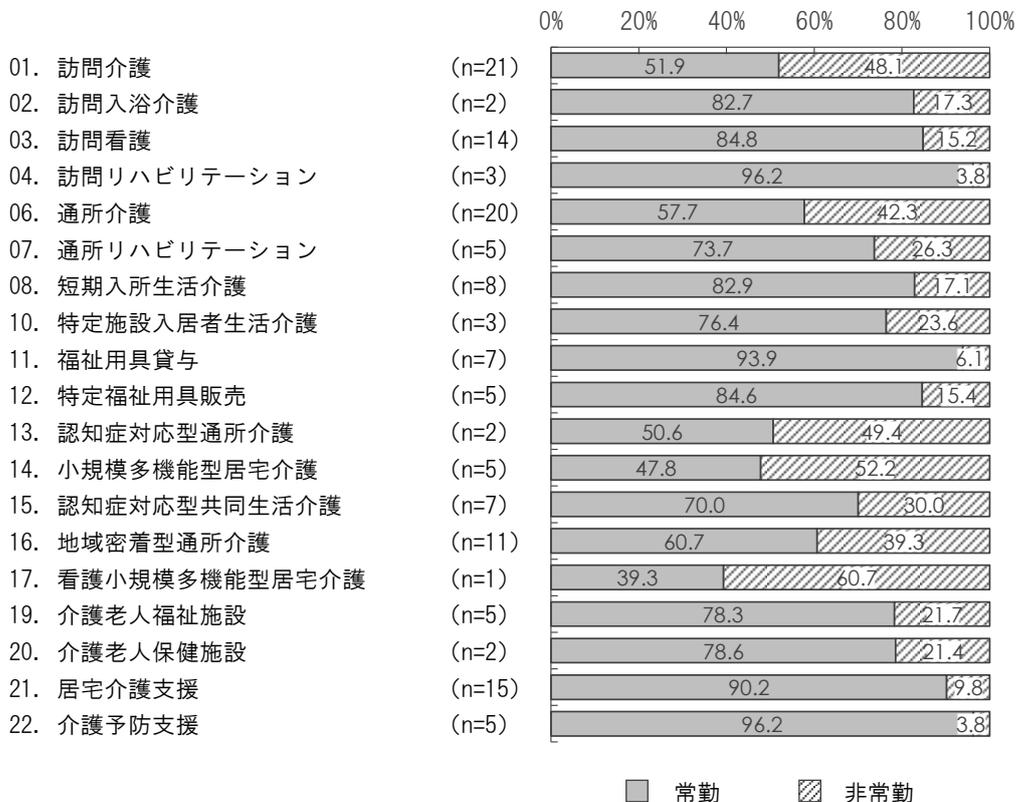
職員数は、《01. 訪問介護》、《06. 通所介護》、《19. 介護老人福祉施設》において300人を超えて多く、平均値では、《19. 介護老人福祉施設》と《20. 介護老人保健施設》といった施設系で多くなっている。また、中央値では、平均値との差が大きい《01. 訪問介護》や《19. 介護老人福祉施設》では、事業所によって規模の大小が大きいことがうかがえる。

常勤・非常勤の割合をみると、《04. 訪問リハビリテーション》、《11. 福祉用具貸与》、《21. 居宅介護支援》、《22. 介護予防支援》において「常勤」が8割を超えて多くなっている。

【単純集計：常勤換算数】

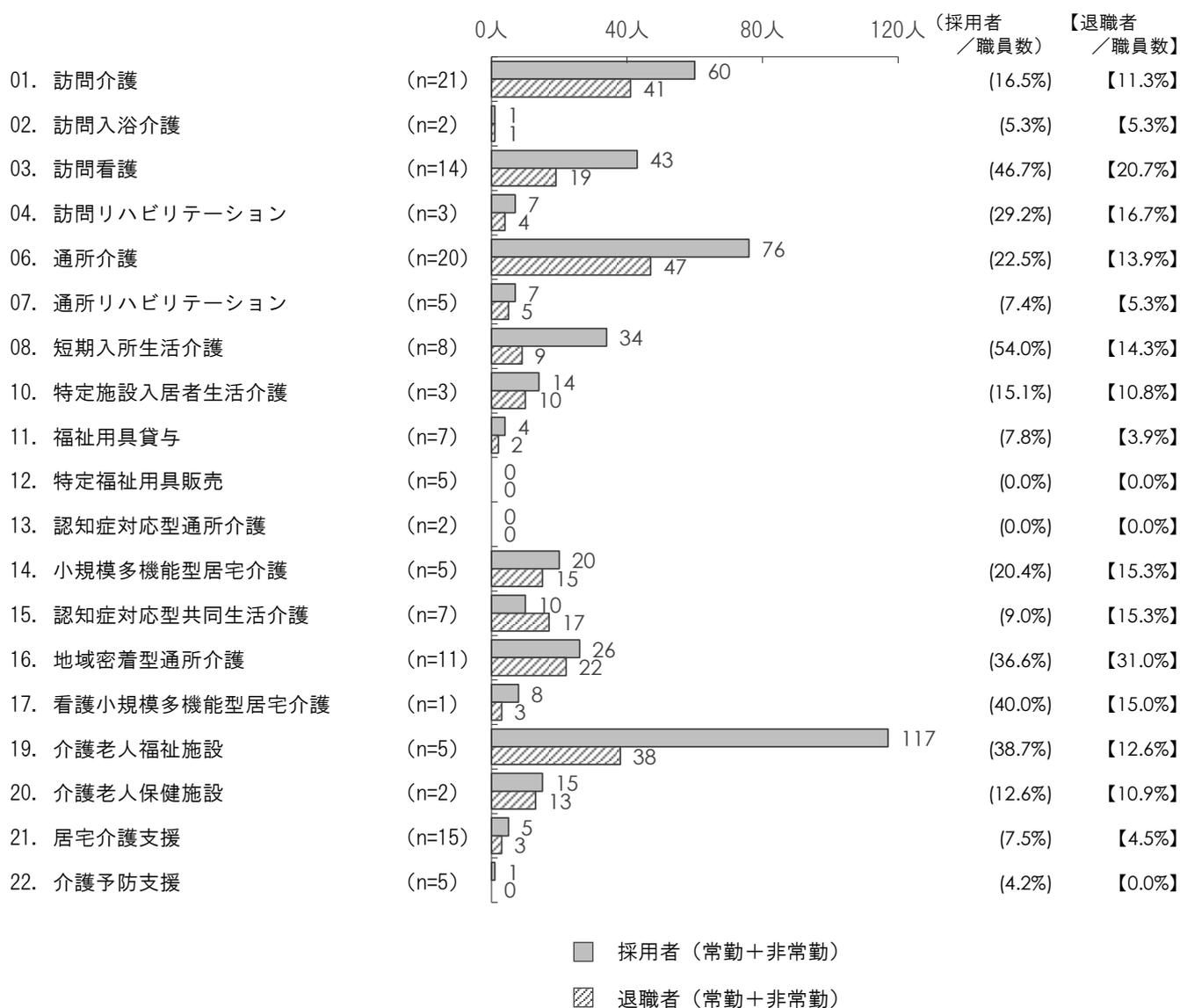


【単純集計：常勤・非常勤の割合】



常勤換算数は、《19. 介護老人福祉施設》において228.7人と、唯一200人を超えて多くなっている。常勤・非常勤の割合をみると、《14. 小規模多機能型居宅介護》、《17. 看護小規模多機能型居宅介護》において「非常勤」が常勤を上回っている。

【単純集計：採用者数・退職者数】

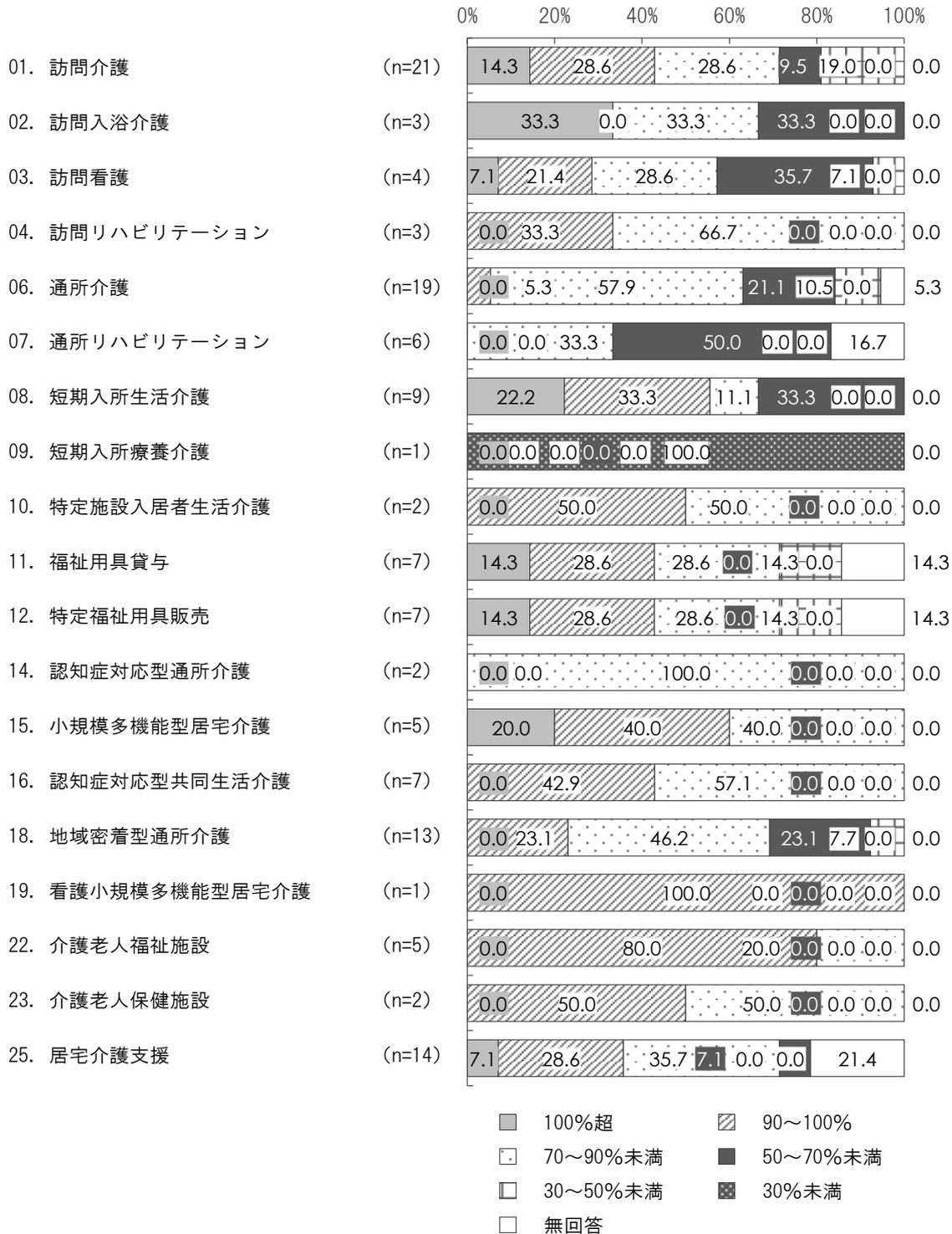


採用者数は、《01. 訪問介護》、《06. 通所介護》、《19. 介護老人福祉施設》において60人を超えて多くなっているものの、退職者も多くなっている。
 採用率（採用者／職員数）で見ると、《08. 短期入所生活介護》が54.0%で最も多く、次いで《03. 訪問看護》が46.7%となっている。また、退職率（退職者／職員数）で見ると、《16. 地域密着型通所介護》が31.0%で最も多く、唯一3割を超えている。

《介護保険サービス供給量：問2》

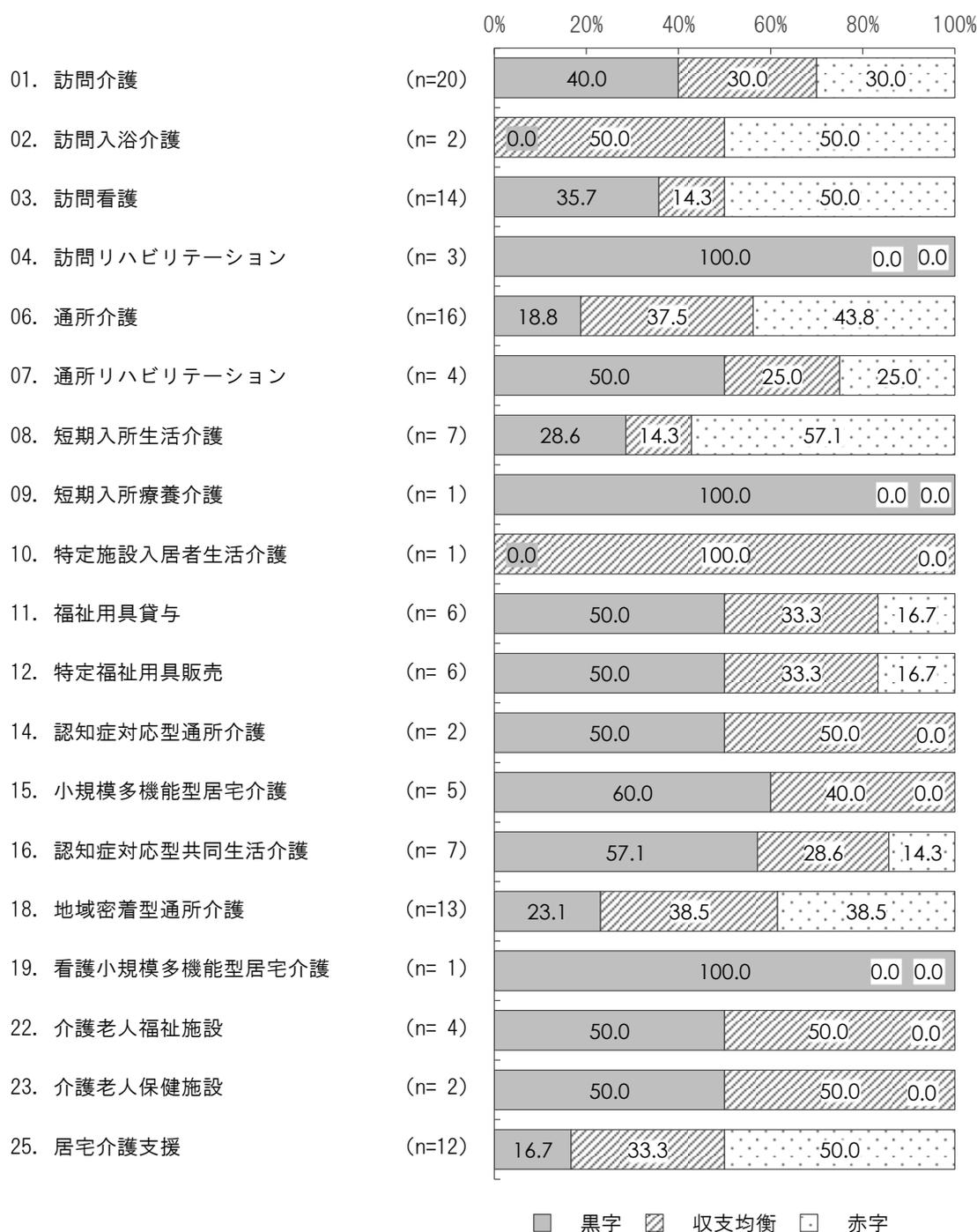
介護保険サービスについておたずねします。サービスごとの平成31年度(令和元年度)の平均稼働率と収支見込及び今後の事業予定をお答えください。
(実施している介護保険サービス：複数回答可、その他は単数回答)

【単純集計：平均稼働率】



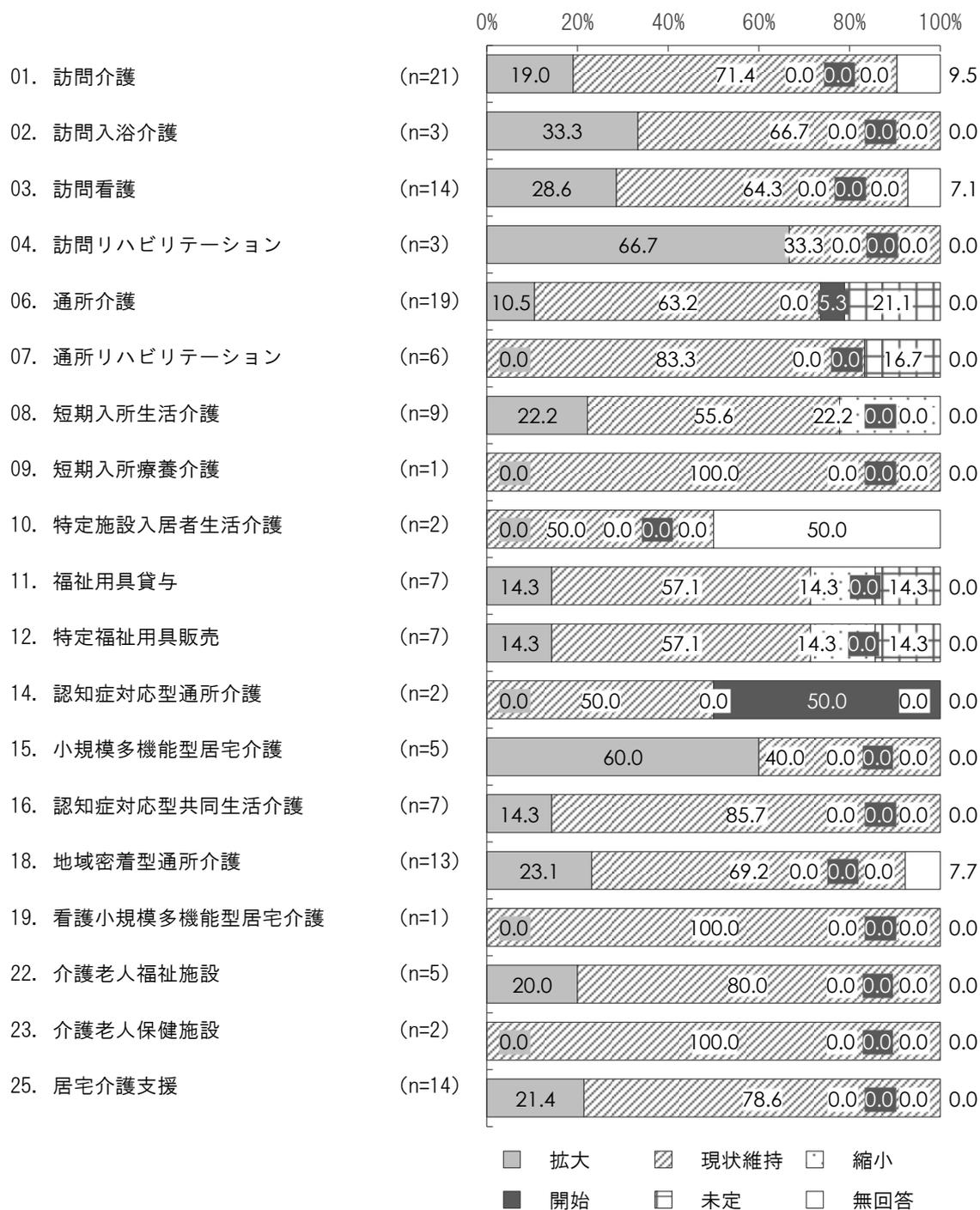
平均稼働率は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、《04.訪問リハビリテーション》、《15.小規模多機能型居宅介護》、《16.認知症対応型共同生活介護》、《22.介護老人福祉施設》において『70%以上(70~90%未満+90~100%+100%超)』が100.0%となっている。

【単純集計：収支見込】



「未定」や「無回答」を除いた収支見込をみると、3事業所以上の回答があったサービスのうち、《04. 訪問リハビリテーション》、《15. 小規模多機能型居宅介護》、《16. 認知症対応型共同生活介護》において「黒字」が半数を超えて多くなっている。一方、「赤字」が最も多いのは《08. 短期入所生活介護》で57.1%と、約6割近くとなっている。

【単純集計：今後の事業予定】



今後の事業予定は、3事業以上の回答があったサービスのうち、《04. 訪問リハビリテーション》、《15. 小規模多機能型居宅介護》において「拡大」が6割を超えて多くなっている。

【単純集計：拡大・縮小・開始・廃止の予定時期】

			令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年以降	予定時期 無回答
拡大	01. 訪問介護	(n=4)	2	2	-	-	-	-
	02. 訪問入浴介護	(n=1)	-	1	-	-	-	-
	03. 訪問看護	(n=4)	1	-	-	-	-	3
	04. 訪問リハビリテーション	(n=2)	1	-	-	-	-	1
	06. 通所介護	(n=2)	1	-	-	1	-	-
	08. 短期入所生活介護	(n=2)	-	1	-	-	-	1
	11. 福祉用具貸与	(n=1)	-	-	-	-	-	1
	12. 特定福祉用具販売	(n=1)	-	-	-	-	-	1
	15. 小規模多機能型居宅介護	(n=3)	-	1	-	1	-	1
	16. 認知症対応型共同生活介護	(n=1)	-	-	-	-	-	1
	18. 地域密着型通所介護	(n=3)	-	2	1	-	-	-
	22. 介護老人福祉施設	(n=1)	-	1	-	-	-	-
25. 居宅介護支援	(n=3)	-	2	-	-	-	1	
縮小	08. 短期入所生活介護	(n=2)	-	1	-	-	-	1
	11. 福祉用具貸与	(n=1)	-	-	-	-	-	1
	12. 特定福祉用具販売	(n=1)	-	-	-	-	-	1
開始	06. 通所介護	(n=1)	-	-	1	-	-	-
	14. 認知症対応型通所介護	(n=1)	-	-	1	-	-	-

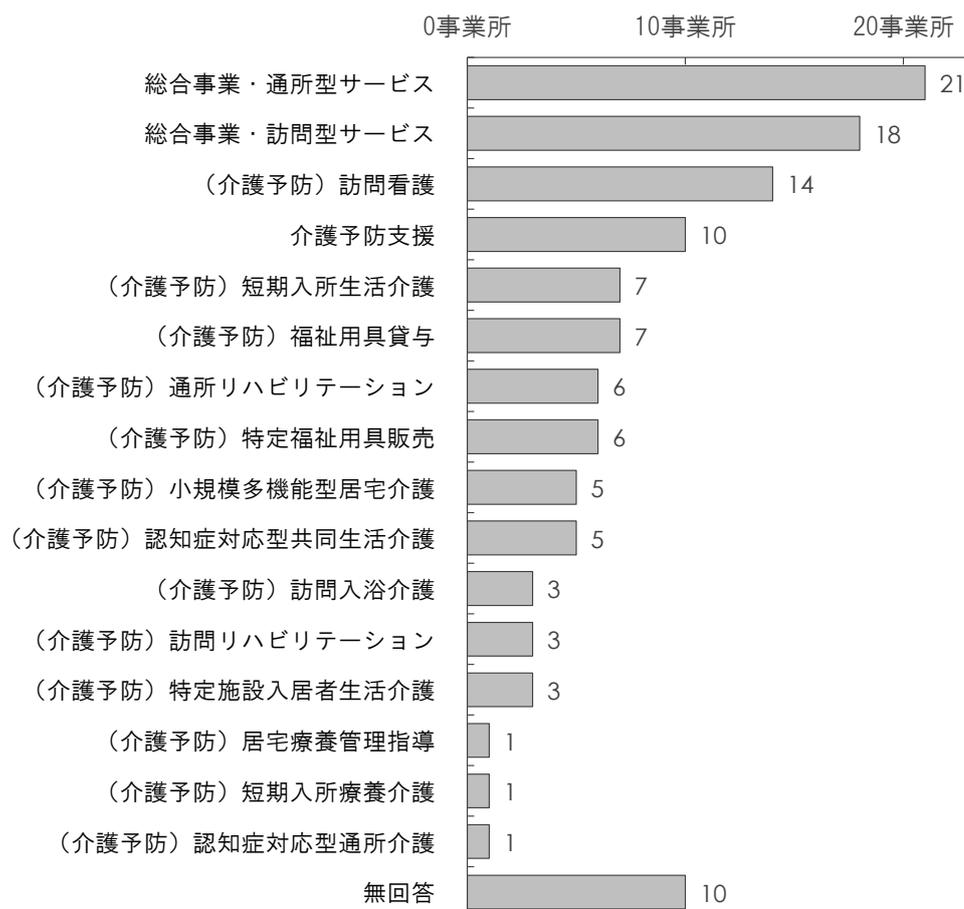
拡大・縮小・開始・廃止の予定時期は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、拡大において「令和2年」が4サービスで5事業所、「令和3年」が7サービスで10事業所、「令和4年」が1サービスで1事業所、「令和5年」が2サービスで2事業所となっており、第8期計画が開始される令和3年に拡大する事業所が多くみられる。

また、新たに開始を検討している事業所が、《06.通所介護》と《14.認知症対応型通所介護》において、「令和4年」にそれぞれ1事業所ずつとなっている。

《介護保険サービス供給量：問3》

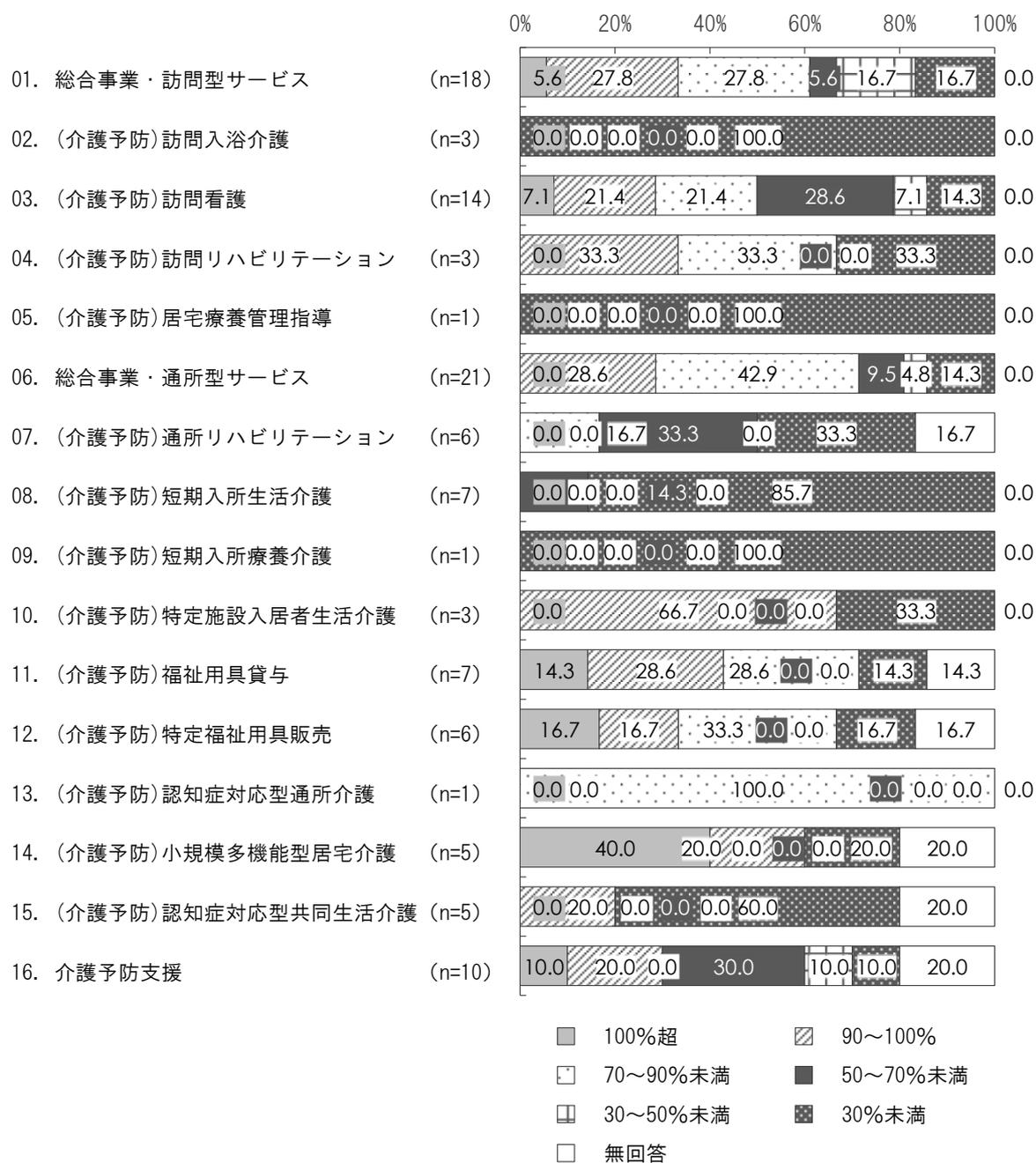
介護予防サービスについておたずねします。サービスごとの平成31年(令和元年)度の平均稼働率と今後の事業予定をお答えください。
 (実施している介護予防サービス：複数回答可、その他は単数回答)

【単純集計：実施している介護予防サービス】



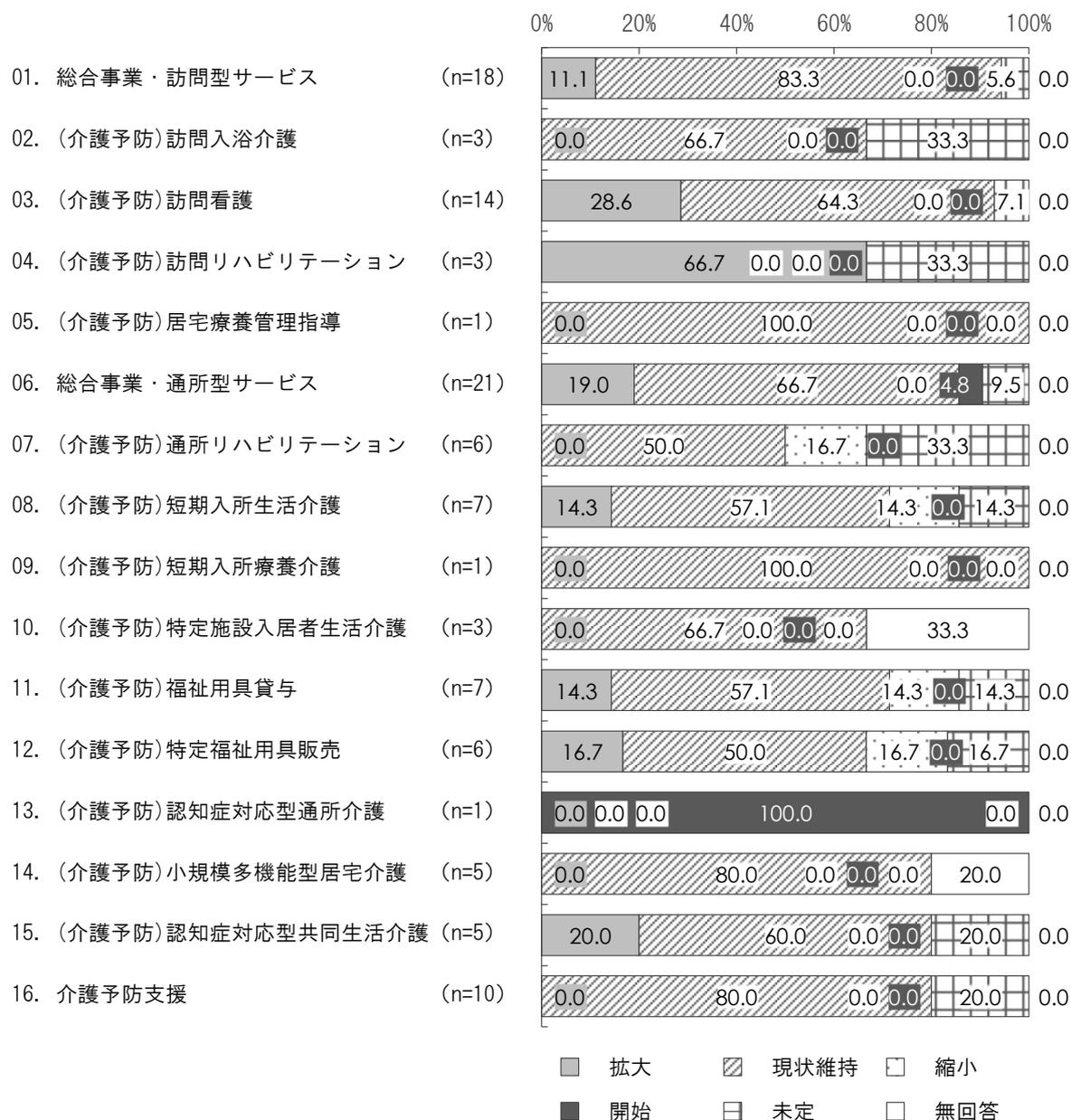
今回、回答いただいた85事業所における提供している介護予防サービスの種類は、「総合事業・通所型サービス」が21事業所で最も多く、次いで「総合事業・訪問型サービス」が18事業所、「(介護予防) 訪問看護」が14事業所などとなっている。

【単純集計：平均稼働率】



平均稼働率は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、《06. 総合事業・通所型サービス》、《11. (介護予防)福祉用具貸与》において『70%以上（70~90%未満+90~100%+100%超）』が7割を超えて多くなっている。

【単純集計：今後の事業予定】



※「廃止」と回答した事業所がいなかったため、グラフには非掲載としています。

今後の事業予定は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、《04. (介護予防)訪問リハビリテーション》において「拡大」が66.7%と多くなっている。

【単純集計：拡大・縮小・開始・廃止の予定時期】

			令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年以降	無回答
拡大	01. 総合事業・訪問型サービス	(n=2)	2	-	-	-	-	-
	03. (介護予防)訪問看護	(n=4)	1	-	-	-	-	3
	04. (介護予防)訪問リハビリテーション	(n=2)	1	-	-	-	-	1
	06. 総合事業・通所型サービス	(n=4)	1	1	1	1	-	-
	08. (介護予防)短期入所生活介護	(n=1)	-	-	-	-	-	1
	11. (介護予防)福祉用具貸与	(n=1)	-	-	-	-	-	1
	12. (介護予防)特定福祉用具販売	(n=1)	-	-	-	-	-	1
	15. (介護予防)認知症対応型共同生活介護	(n=1)	-	-	-	-	-	1
開始	06. 総合事業・通所型サービス	(n=1)	-	-	1	-	-	-
	13. (介護予防)認知症対応型通所介護	(n=1)	-	-	1	-	-	-
縮小	07. (介護予防)通所リハビリテーション	(n=1)	-	-	-	-	-	1
	08. (介護予防)短期入所生活介護	(n=1)	-	1	-	-	-	-
	11. (介護予防)福祉用具貸与	(n=1)	-	-	-	-	-	1
	12. (介護予防)特定福祉用具販売	(n=1)	-	-	-	-	-	1

拡大・縮小・開始・廃止の予定時期は、3事業所以上の回答があったサービスのうち、拡大において「令和2年」が4サービスで5事業所、「令和3年」、「令和4年」、「令和5年」がそれぞれ1サービスで1事業所ずつとなっている。

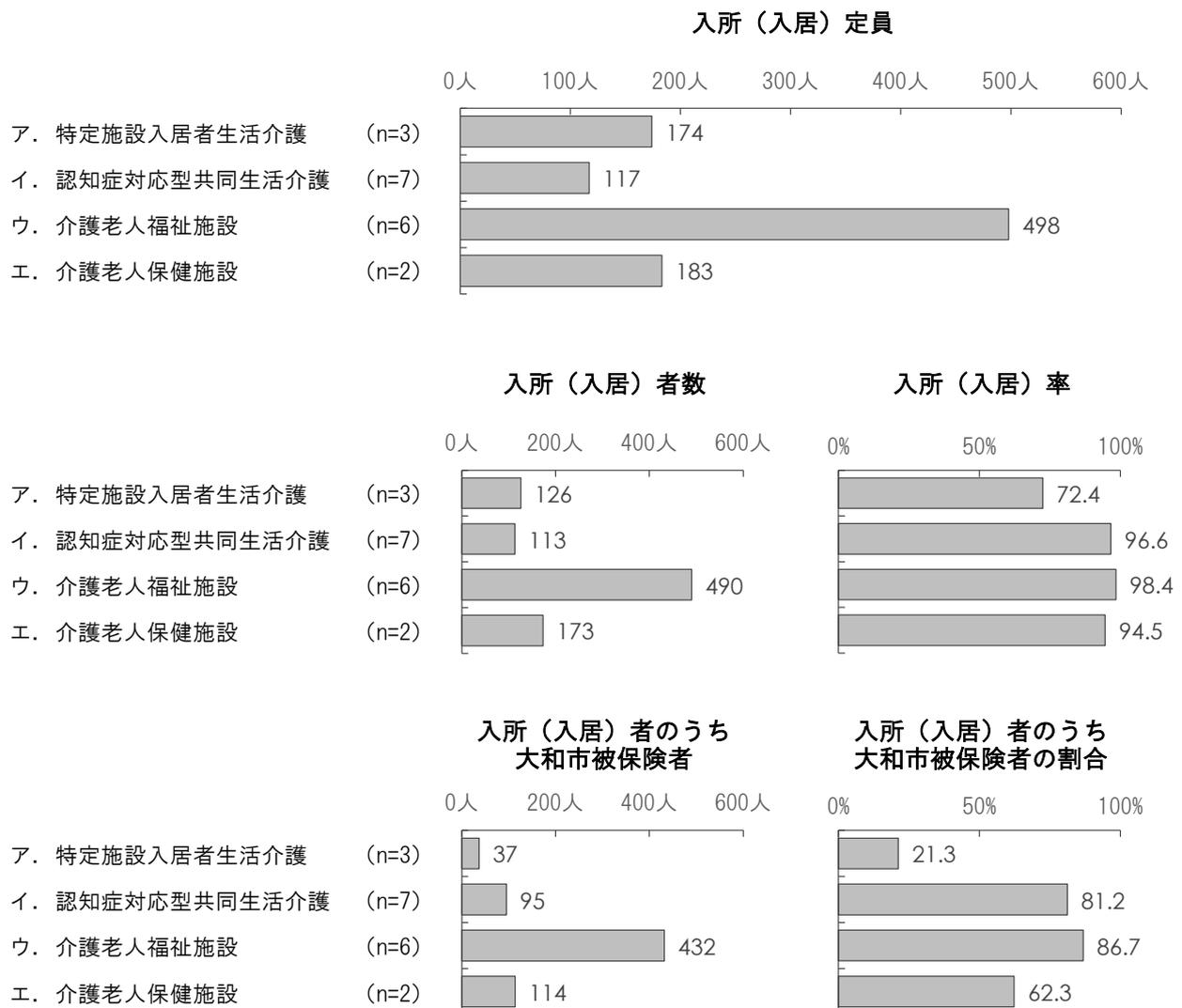
また、新たに開始を検討している事業所が、《06. 総合事業・通所型サービス》と《13. (介護予防)認知症対応型通所介護》において、「令和4年」にそれぞれ1事業所ずつとなっている。

特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設を運営している方におうかがいします。

《介護保険サービス供給量：問4》

提供しているサービスの記号に○をつけ、入居（入所）定員と入居（入所）者数（令和2年1月1日現在）、そのうちの大和市の被保険者数についてお答えください。また、喀痰吸引、胃瘻が必要な方、人工透析のための送迎が必要な方についてお答えください。なお、介護予防の指定も受けている場合は、合算してお答えください。（数値記入）

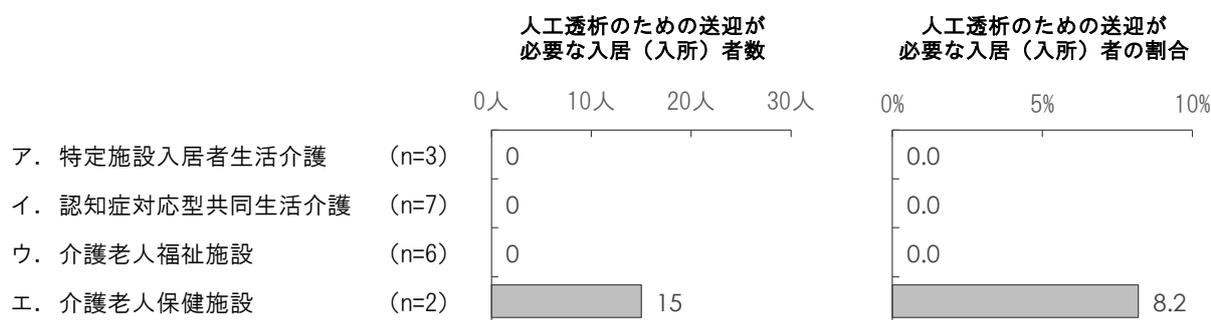
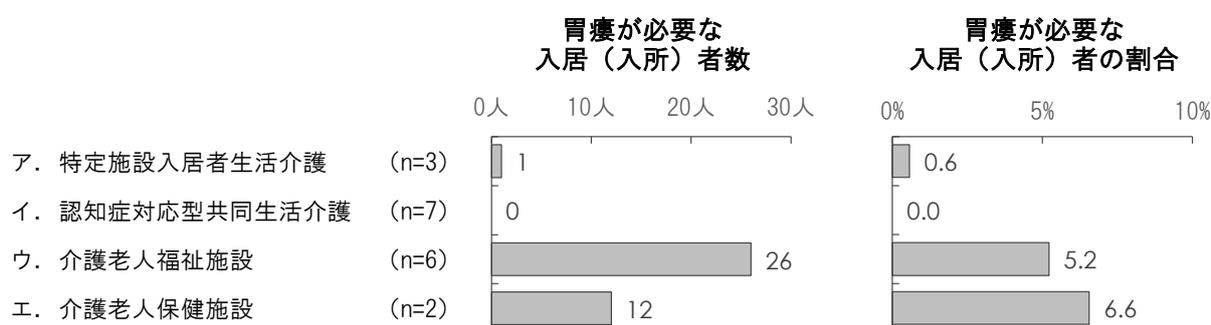
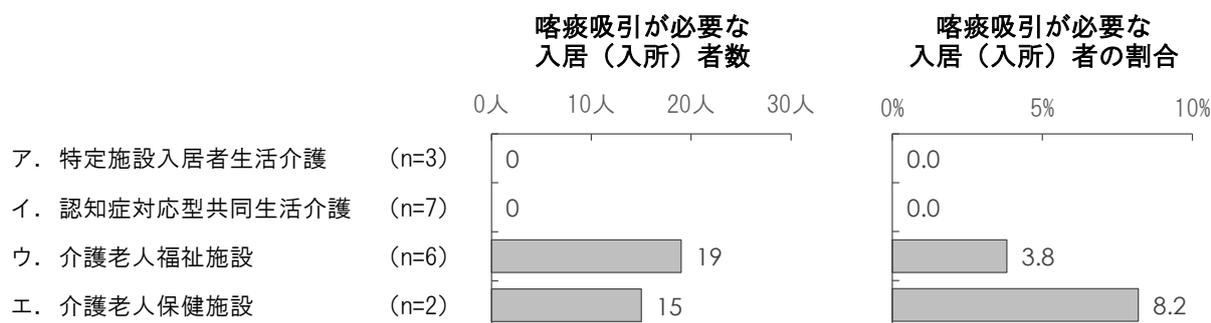
【単純集計】



入所（入居）定員は、《ウ. 介護老人福祉施設》において498人と、突出して多くなっている。入所（入居）率は、多くが100%の入居率に近いなか、《ア. 特定施設入居者生活介護》においては72.4%と、やや低くなっている。

入所（入居）者のうち大和市被保険者の割合は、《ア. 特定施設入居者生活介護》、《エ. 介護老人保健施設》で低いものの、その他の施設においては8割を超えて多くなっている。

【単純集計】



喀痰吸引が必要な入居（入所）者数は、《ウ. 介護老人福祉施設》、《エ. 介護老人保健施設》において15人以上となっている。入居（入所）者に対する割合は、《エ. 介護老人保健施設》において8.2%と高くなっている。

胃瘻が必要な入居（入所）者数は、《ウ. 介護老人福祉施設》、《エ. 介護老人保健施設》において多くなっている。入居（入所）者に対する割合は、6%前後となっている。

人工透析のために送迎が必要な入居（入所）者数は、《エ. 介護老人保健施設》において15人となっている。入居（入所）者に対する割合は、8.2%となっている。

《介護保険サービス供給量：問5》

大和市において、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院の新設・増床（転換含む）の希望がある場合、その年月及び床数をお答えください。
(数値記入)

【単純集計】

介護老人福祉施設（1事業所）
令和3年10月 転換： 4床 1事業所

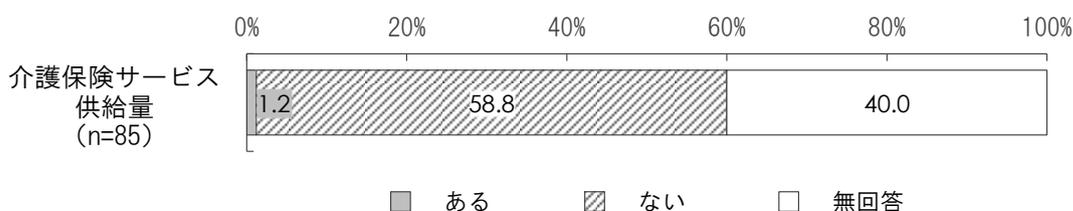
※介護老人保健施設、介護医療院の新設・増設・転換の希望がある事業所はありませんでした。

介護老人福祉施設の新設・増設・転換予定がある事業所は1事業所で、令和3年10月に4床転換を予定している。

《介護保険サービス供給量：問6》

定期巡回・随時対応型訪問介護看護への新規参入を検討したことがありますか。
（単数回答）

【単純集計】



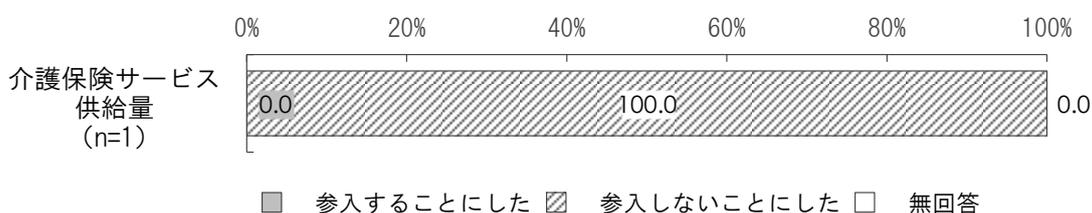
定期巡回・随時対応型訪問介護看護への新規参入の検討経験の有無は、「ある」は1事業所で1.2%、「ない」が58.8%となっている。

介護保険サービス供給量：問6で「ある」と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問6-1》

検討した結果はどのようになりましたか。（単数回答）

【単純集計】

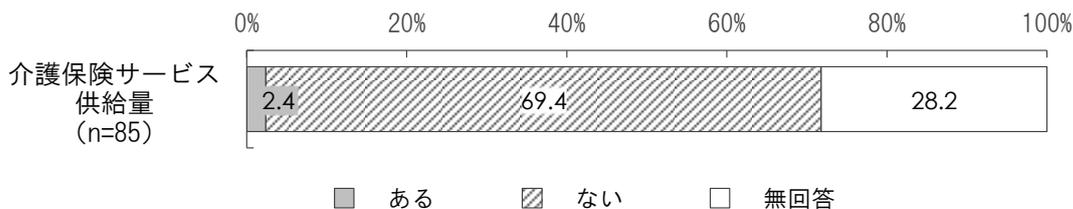


定期巡回・随時対応型訪問介護看護への新規参入を検討した結果、「参加しないことにした」との回答で、新規参入はなかなか厳しいことがうかがえる。

《介護保険サービス供給量：問7》

地域支援事業における介護予防事業のひとつである人員等を緩和した訪問型サービスAに参入意向がありますか。また、参入意向がある場合、予定時期についてお答えください。(単数回答)

【単純集計】



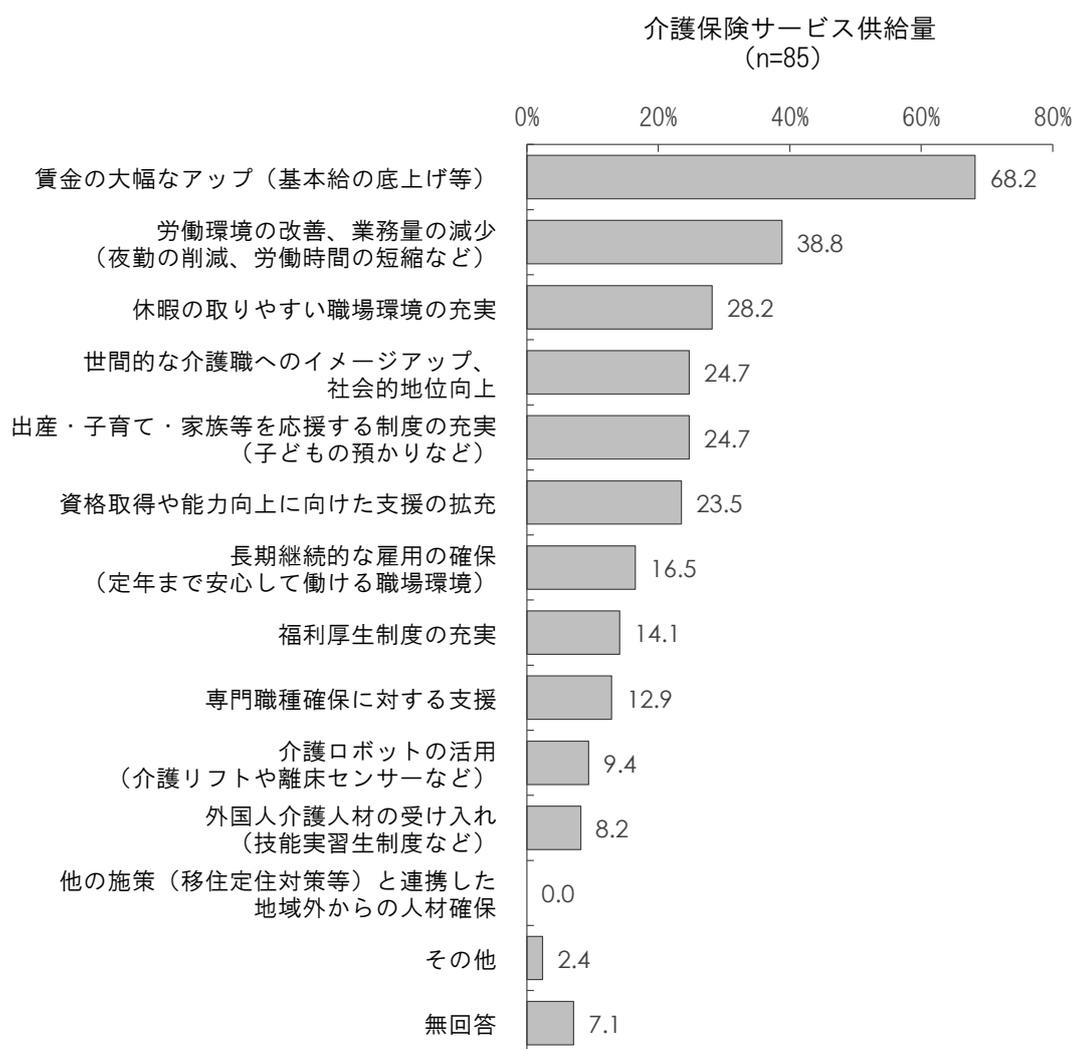
「ある」と回答した事業所数	2事業所
令和2年頃	1事業所
(予定時期) 無回答	1事業所

訪問型サービスAへの参入意向は、「ある」が2事業所で2.4%、「ない」が69.4%となっている。また、新規参入意向がある2事業所のうち、1事業所は令和2年の今年中における参入意向がある。

《介護保険サービス供給量：問8》

介護人材不足の打開策として、有効であるとお考えの取組をお知らせください。
（複数回答可：3つまで）

【単純集計】



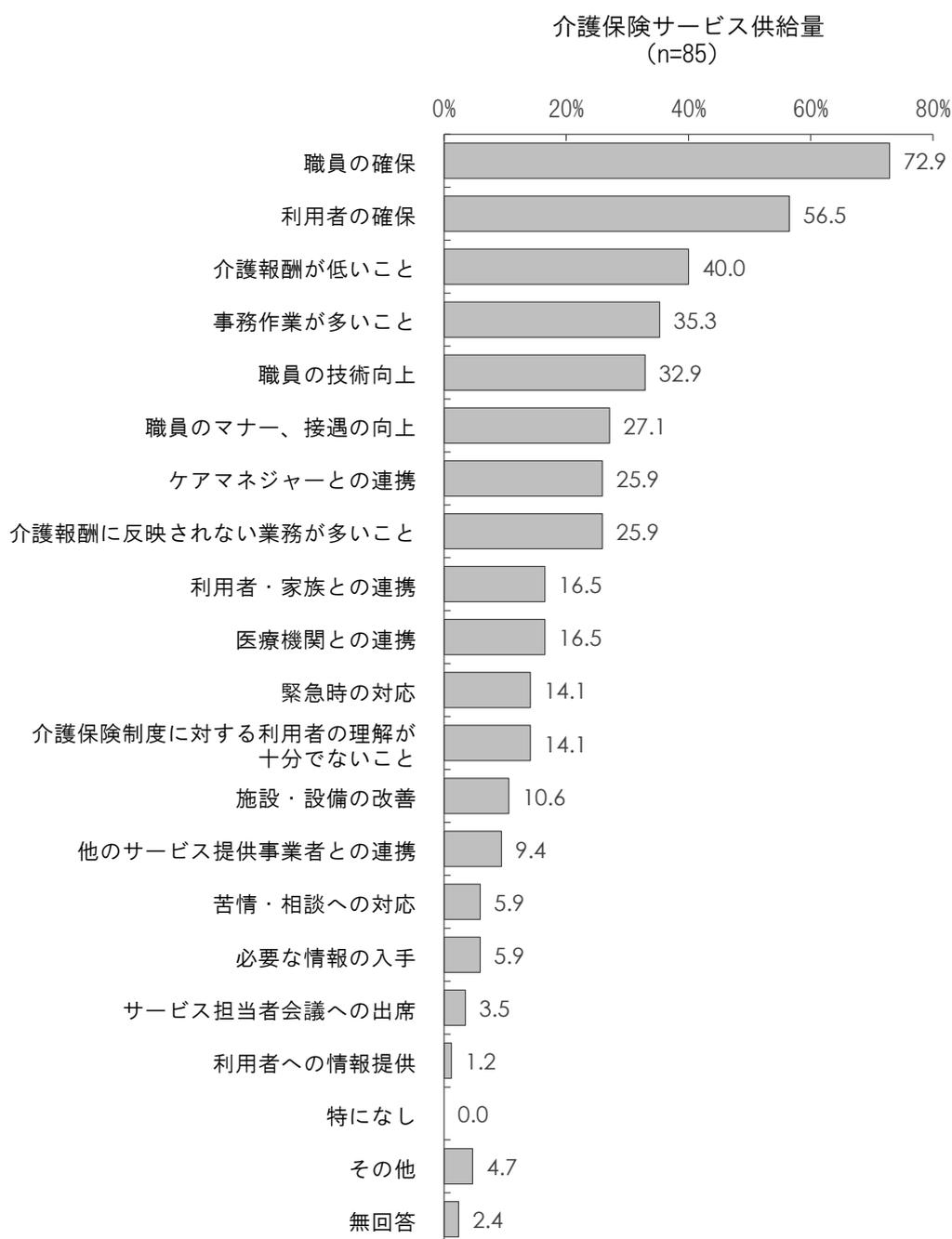
介護人材不足の打開策として有効だと考える取組は、「賃金の大幅なアップ（基本給の底上げ等）」が68.2%と、約7割を占めて突出して多く、次いで「労働環境の改善、業務量の減少（夜勤の削減、労働時間の短縮など）」が38.8%、「休暇の取りやすい職場環境の充実」が28.2%などとなっている。

3 事業所の経営状況について

《介護保険サービス供給量：問 10》

法人が介護保険事業を運営していくうえでの課題をお教えてください。
(複数回答可：5つまで)

【単純集計】

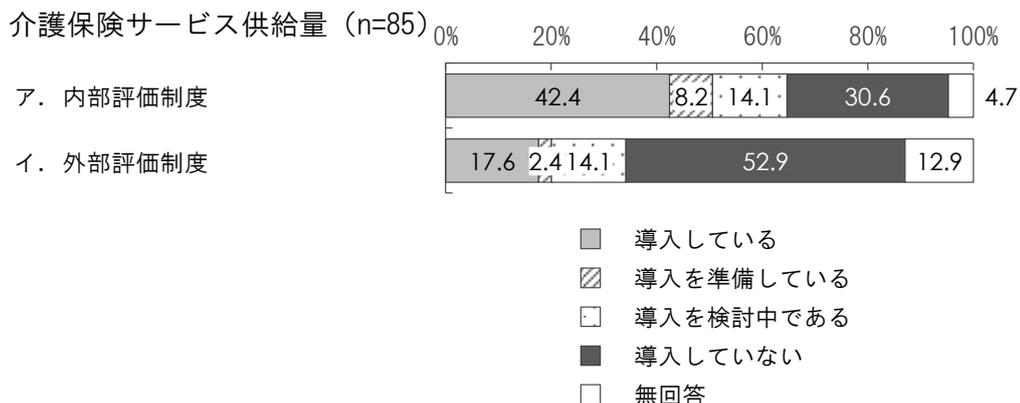


介護保険事業を運営していくうえでの課題は、「職員の確保」が 72.9%と、7割以上を占めて突出して多く、次いで「利用者の確保」が 56.5%、「介護報酬が低いこと」が 40.0%などとなっている。

《介護保険サービス供給量：問 11》

事業所では、評価制度を導入していますか。（それぞれ単数回答）

【単純集計】

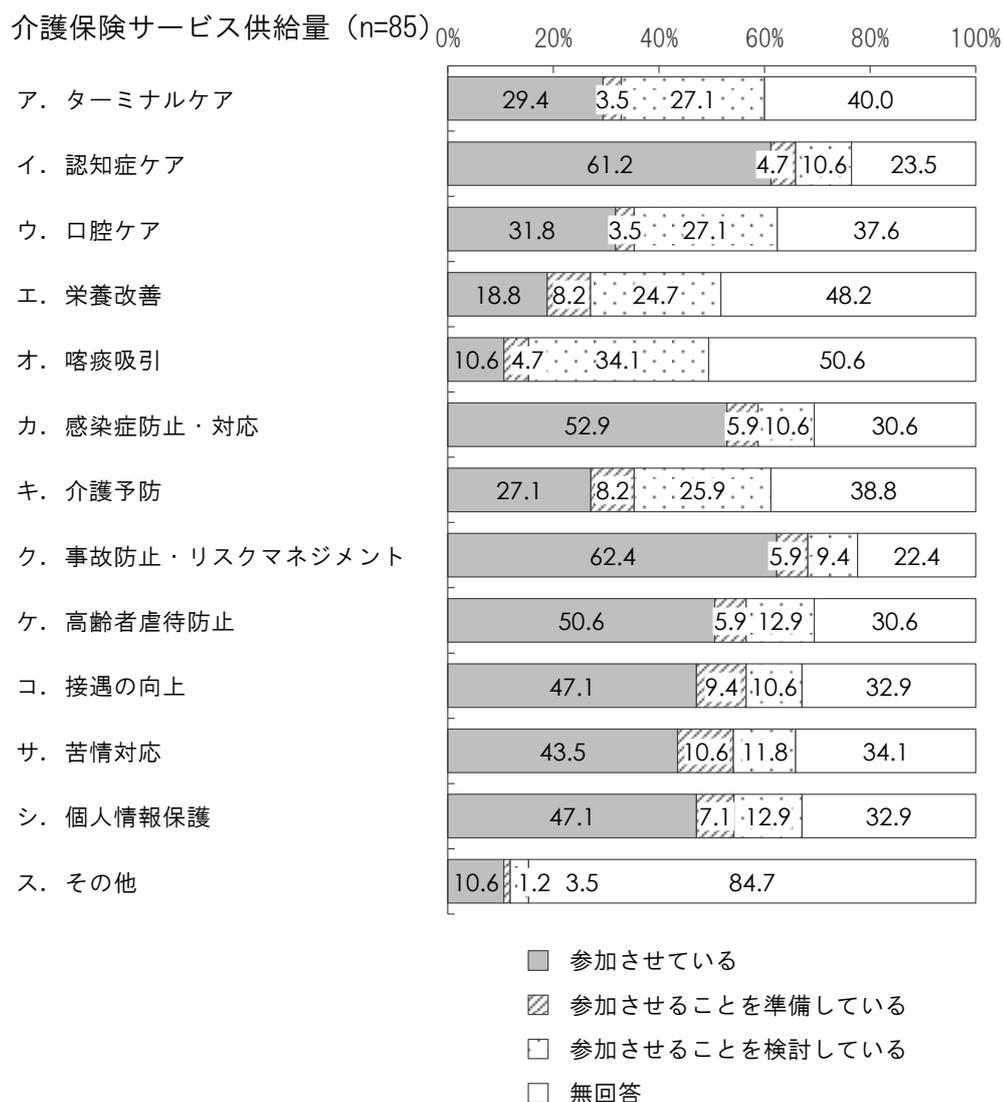


評価制度の導入状況は、《ア．内部評価制度》において「導入している」が42.4%と最も多く、次いで「導入していない」が30.6%、「導入を検討中である」が14.1%などとなっている。一方、《イ．外部評価制度》において「導入していない」が52.9%で過半数を占めて多く、次いで「導入している」が17.6%、「導入を検討中である」が14.1%などとなっている。

《介護保険サービス供給量：問 12》

平成31年（令和元年）度における事業所の職員の研修への参加状況と今後の予定をおたずねします。（それぞれ単数回答）

【単純集計】

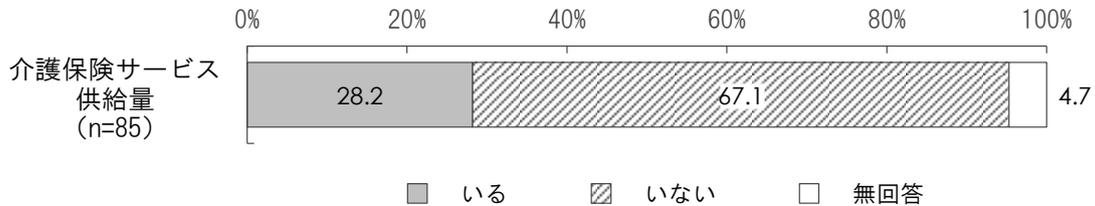


職員の研修への参加状況と今後の予定は、《イ. 認知症ケア》、《カ. 感染症防止・対応》、《ク. 事故防止・リスクマネジメント》、《ケ. 高齢者虐待防止》の4項目において「参加させている」が半数を超えて多くなっている。また、「参加させている」が最も少ない項目は《オ. 喀痰吸引》で10.6%と、約1割に留まっている。

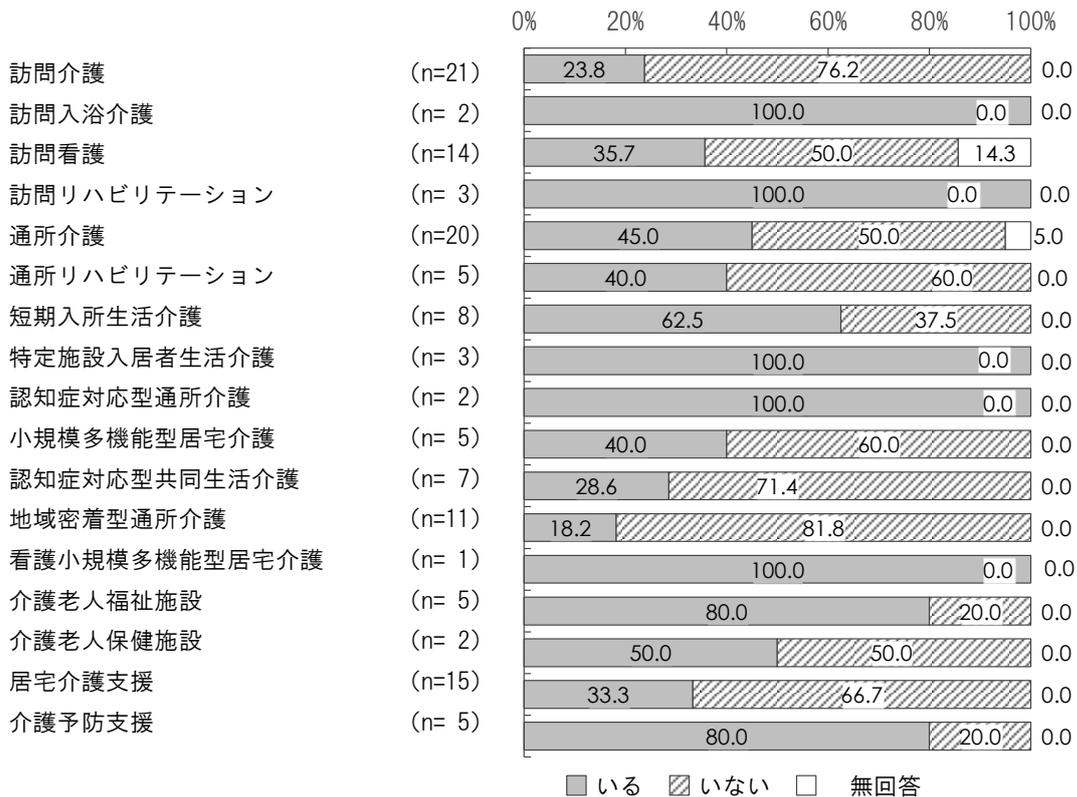
《介護保険サービス供給量：問 13》

事業所には喀痰吸引ができる介護職員はいますか。（それぞれ単数回答）

【単純集計：喀痰吸引ができる介護職員の有無】



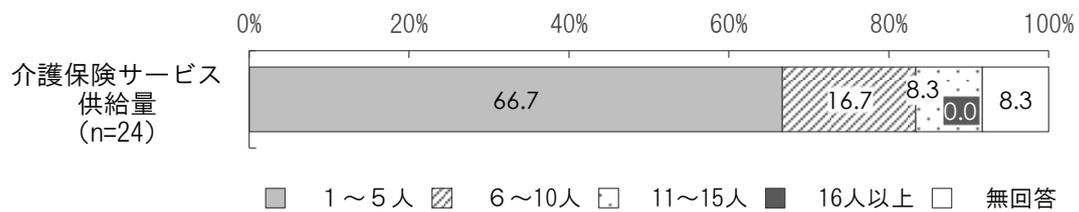
【クロス集計：介護サービス種類別】



喀痰吸引ができる介護職員の有無は、「いない」が 67.1%であるのに対し、「いる」は 28.2%と、約 3 割に留まっている。

介護サービス種類別にみると、3 事業所以上の回答があったサービスのうち、「いる」が半数を超えているサービスは《訪問リハビリテーション》、《短期入所生活介護》、《特定施設入所者生活介護》、《介護老人福祉施設》、《介護予防支援》の 5 つとなっている。

【単純集計：喀痰吸引ができる介護職員の人数】

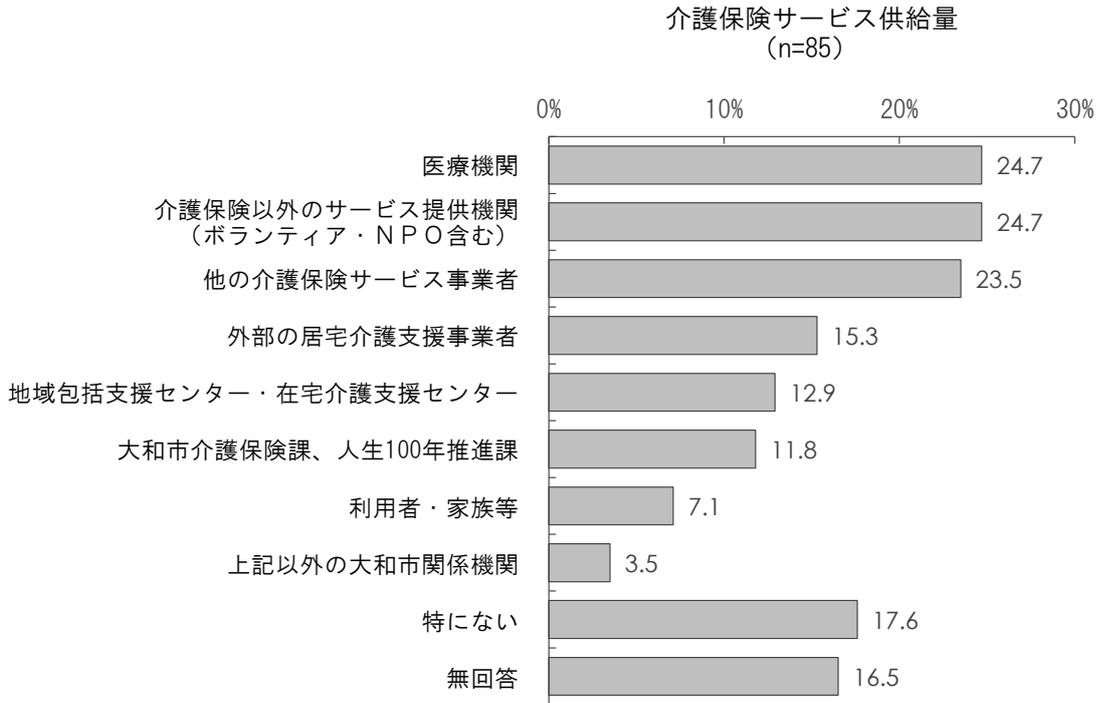


喀痰吸引ができる介護職員の人数は、「1～5人」が66.7%と、約7割近くを占めて最も多く、次いで「6～10人」が16.7%、「11～15人」が8.3%となっている。

《介護保険サービス供給量：問 14》

連携が不十分とお考えの外部の諸機関等をお知らせください。
 （複数回答可：3つまで）

【単純集計】



連携が不十分と考える外部の諸機関等は、「医療機関」、「介護保険以外のサービス提供機関（ボランティア・NPO含む）」がそれぞれ 24.7%と最も多く、次いで「他の介護保険サービス事業者」が僅差で 23.5%、「特にない」が 17.6%などとなっている。

【クロス計：介護サービス種類別】

	調査数(人)	連携が不十分と考えている外部の諸機関等(%)										
		医療機関	介護保険以外のサービス提供機関 (ボランティア・NPO含む)	他の介護保険サービス事業者	外部の居宅介護支援事業者	地域包括支援センター・在宅介護支援センター	大和市介護保険課 人生100年推進課	利用者・家族等	大和市関係課・人生100年推進課以外の	特にな	無回答	
全体	85	24.7	24.7	23.5	15.3	12.9	11.8	7.1	3.5	17.6	16.5	
介護サービスの種類	訪問介護	21	33.3	38.1	23.8	14.3	14.3	14.3	9.5	4.8	14.3	14.3
	訪問入浴介護	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	訪問看護	14	21.4	21.4	28.6	28.6	21.4	28.6	0.0	7.1	0.0	14.3
	訪問リハビリテーション	3	0.0	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	通所介護	20	25.0	40.0	5.0	15.0	10.0	5.0	5.0	0.0	10.0	30.0
	通所リハビリテーション	5	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	短期入所生活介護	8	25.0	62.5	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5
	特定施設入居者生活介護	3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	福祉用具貸与	7	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	57.1	28.6
	特定福祉用具販売	5	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	20.0
	認知症対応型通所介護	2	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小規模多機能型居宅介護	5	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護	7	14.3	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3
	地域密着型通所介護	11	54.5	27.3	45.5	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1
	看護小規模多機能型居宅介護	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	介護老人福祉施設	5	40.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	介護老人保健施設	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
居宅介護支援	15	33.3	40.0	33.3	26.7	13.3	6.7	0.0	0.0	6.7	13.3	
介護予防支援	5	40.0	60.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

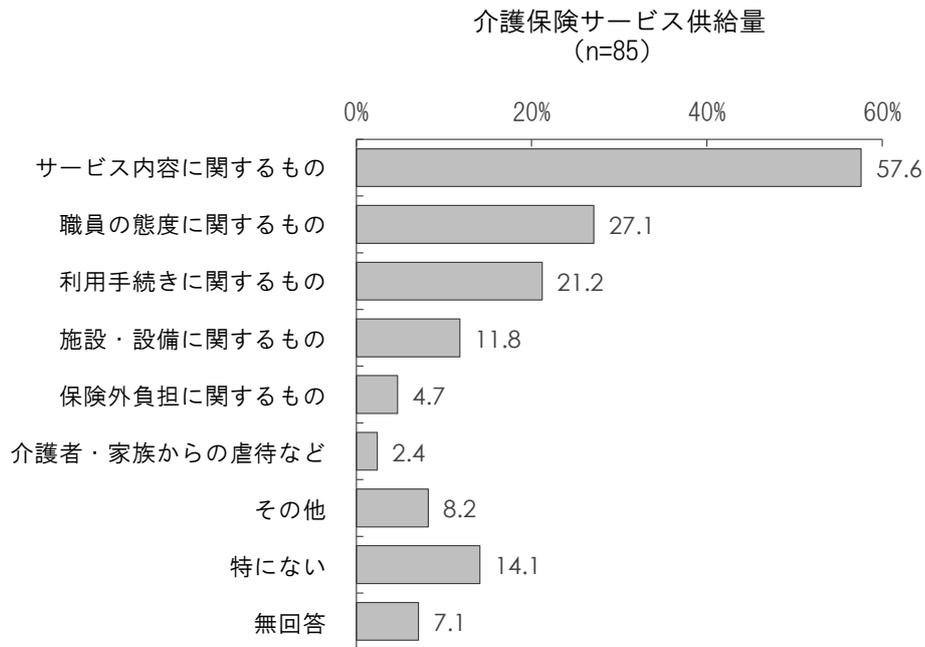
※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目(無回答除く) サンプル数が1桁の項目については識別していない。

介護サービス種類別にみると、3事業所以上の回答があったサービスのうち、《地域密着型通所介護》において「医療機関」が54.5%と、全体平均の2倍以上となっている。また、《訪問看護》と《居宅介護支援》においては全体平均よりも5ポイント以上多い項目が4つずつあり、連携が不足していると考えている機関が多方面にわたっていることがうかがえる。

《介護保険サービス供給量：問 15》

利用者・契約者やその家族からの苦情や相談はどのようなものが多いですか。
 （複数回答可：3つまで）

【単純集計】

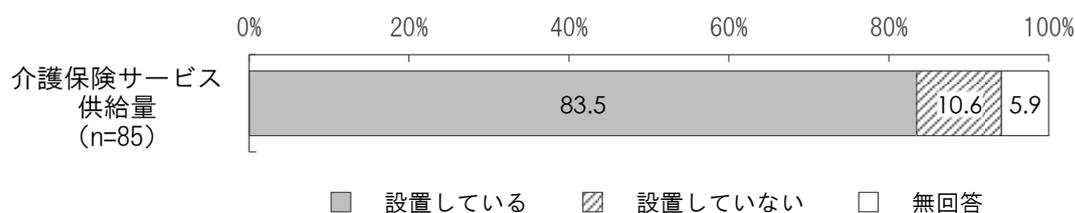


利用者・契約者やその家族からの苦情や相談で多いものは、「サービス内容に関するもの」が 57.6%と突出して多く、次いで「職員の態度に関するもの」が 27.1%、「利用の手続きに関するもの」が 21.2%などとなっている。

《介護保険サービス供給量：問 16》

事業所では、苦情や相談の解決のために特別な機関等を設置していますか。
(単数回答)

【単純集計】



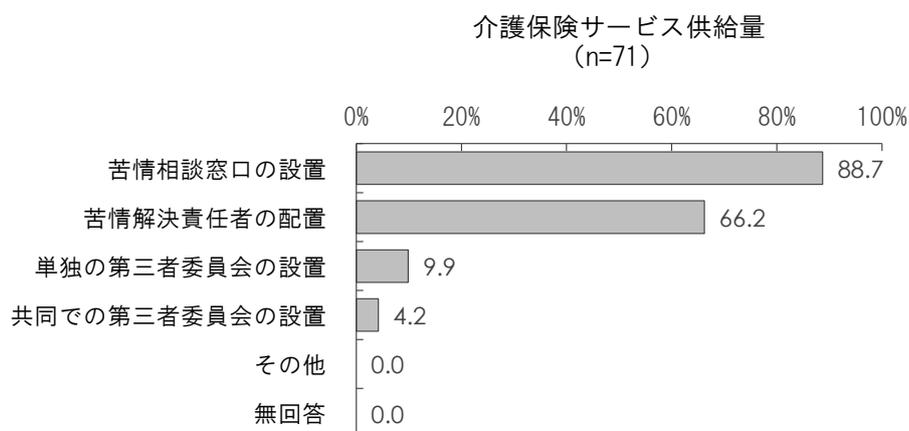
苦情や相談の解決のための特別な機関等の設置状況は、「設置している」が 83.5%で大半を占めており、一方、「設置していない」は 10.6%の約 1 割に留まっている。

介護保険サービス供給量：問 16 で「設置している」と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問 16-1》

特別機関はどのようなものですか。(複数回答可)

【単純集計】



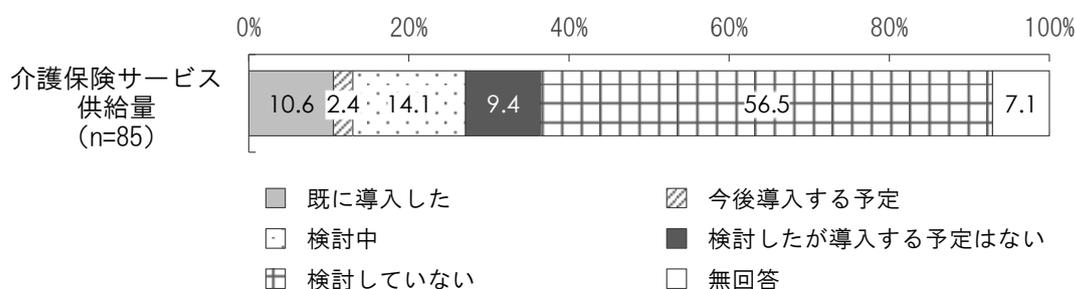
苦情や相談の解決のための特別機関は、「苦情相談窓口の設置」が 88.7%と最も多く、次いで「苦情解決責任者の配置」が 66.2%で、この 2 項目で大半を占めている。一方、「単独の第三者委員会の設置」や「共同での第三者委員会の設置」は 1 割以下に留まっている。

4 介護ロボットの導入について

《介護保険サービス供給量：問 17》

介護ロボットの導入を検討したことがありますか。（単数回答）

【単純集計】



【クロス集計：介護サービス種類別】

	調査数（人）	介護ロボットの導入の検討状況 (%)					
		既に導入した	今後導入する予定	検討中	検討したが導入する予定はない	検討していない	無回答
全体	85	24.7	24.7	23.5	15.3	12.9	16.5
訪問介護	21	9.5	0.0	14.3	9.5	61.9	4.8
訪問入浴介護	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
訪問看護	14	7.1	7.1	0.0	0.0	71.4	14.3
訪問リハビリテーション	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
通所介護	20	25.0	0.0	10.0	10.0	50.0	5.0
通所リハビリテーション	5	60.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
短期入所生活介護	8	25.0	0.0	37.5	0.0	25.0	12.5
特定施設入居者生活介護	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
福祉用具貸与	7	14.3	0.0	14.3	14.3	57.1	0.0
特定福祉用具販売	5	20.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0
認知症対応型通所介護	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小規模多機能型居宅介護	5	20.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0
認知症対応型共同生活介護	7	28.6	0.0	28.6	14.3	28.6	0.0
地域密着型通所介護	11	9.1	9.1	9.1	9.1	54.5	9.1
看護小規模多機能型居宅介護	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護老人福祉施設	5	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居宅介護支援	15	33.3	0.0	6.7	6.7	53.3	0.0
介護予防支援	5	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0

※白抜き部分は全体に比べて+5.0ポイント以上、網掛けの部分は全体に比べて-5.0ポイント以上の差がある項目（無回答除く）
サンプル数が1桁の項目については識別していない。

介護ロボットの導入の検討経験の有無は、「検討していない」が56.5%と過半数を占め、「検討中」が14.1%、「既に導入した」が10.6%の順となっている。

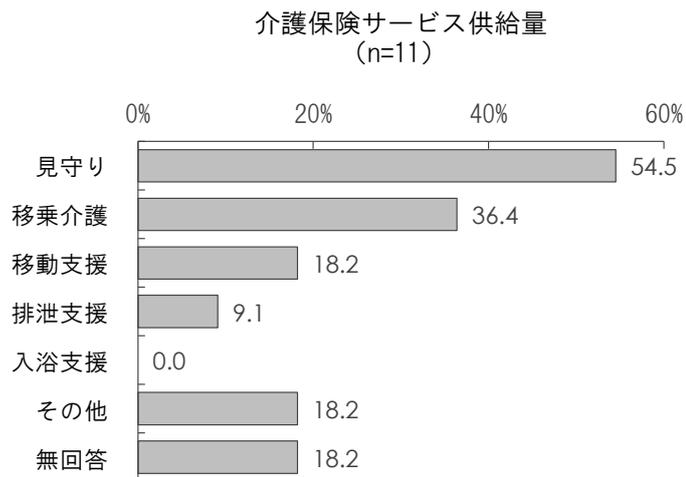
介護サービス種類別にみると、3事業所以上の回答があったサービスのうち、《居宅介護支援》において「既に導入した」が33.3%と全体平均よりも5ポイント以上多くなっている。

介護保険サービス供給量：問 17 で「既に導入した」または「今後導入する予定」と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問 17-1》

導入、または導入予定の介護ロボットの用途を教えてください。
(複数回答可)

【単純集計】



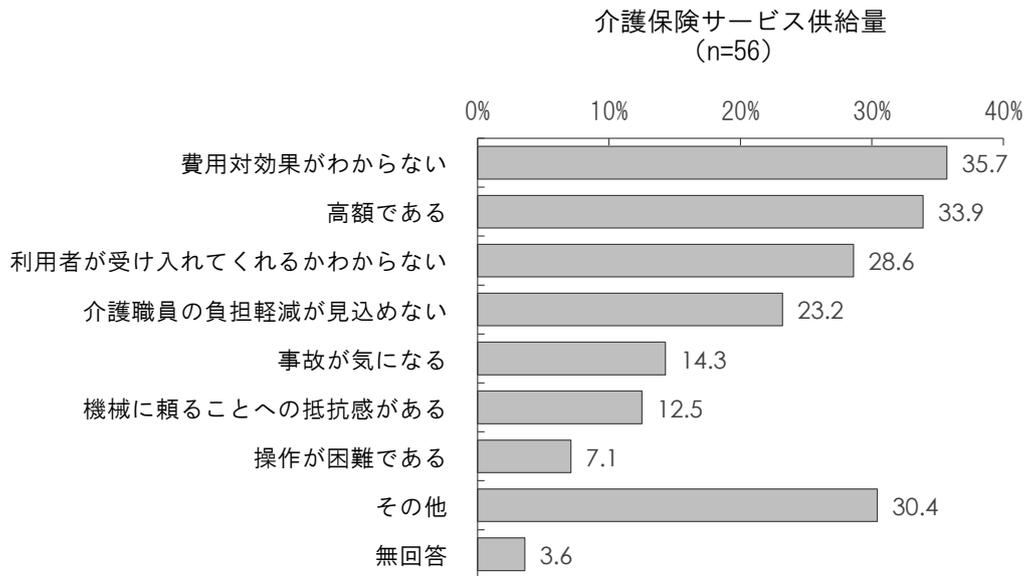
導入、または導入予定の介護ロボットの用途は、「見守り」が 54.5%と最も多く、次いで「移乗介護」が 36.4%、「移動支援」、「その他」がそれぞれ 18.2%などとなっている。

介護保険サービス供給量：問 17 で「検討したが導入する予定はない」または「検討していない」と回答した事業所のみ

《介護保険サービス供給量：問 17-2》

介護ロボットを導入しない理由は何ですか。（複数回答可）

【単純集計】



※その他の具体的な内容（抜粋）：必要ない、サービス内容と合わない、運営している本部が導入しない、衛生面や管理が難しい

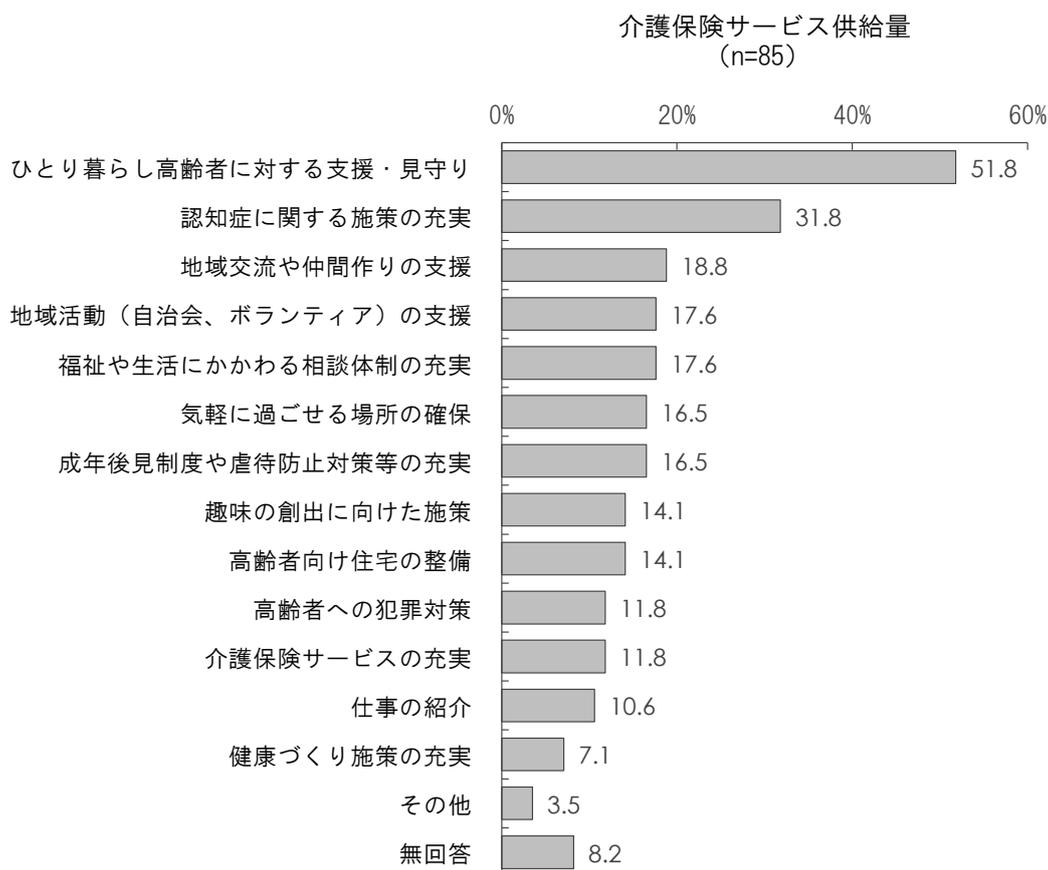
介護ロボットを導入しない理由は、「費用対効果がわからない」が 35.7%と最も多く、次いで「高額である」が 33.9%、「その他」が 30.4%の順となっており、2 割以上の項目が 5 つあり、理由が比較的多岐にわたっている。

5 高齢者施策等について

《介護保険サービス供給量：問 18》

大和市で充実すべきであるとお考えの高齢者施策等をお知らせください。
(複数回答可：3つまで)

【単純集計】



大和市で充実すべきであるとお考えの高齢者施策等は、「ひとり暮らし高齢者に対する支援・見守り」が 51.8%と、唯一半数以上で最も多く、次いで「認知症に関する施策の充実」が 31.8%、「地域交流や仲間作りの支援」が 18.8%などとなっている。

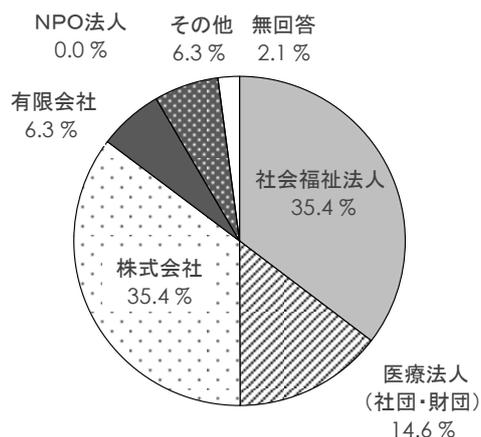
IV 調査の結果（居宅介護支援事業所）

1 事業所の概要

《居宅介護支援事業所：事前設問》

法人の種類（単数回答）

【単純集計】



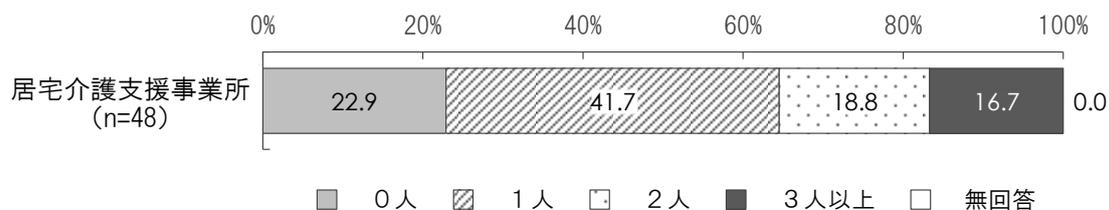
法人の種類は、「社会福祉法人」、「株式会社」がそれぞれ 35.4%と最も多く、次いで「医療法人（社団・財団）」が 14.6%、「有限会社」、「その他」がそれぞれ 6.3%となっている。

サービス事業者全体（165 ページ）の結果と比較すると、居宅介護支援事業者のみでは「社会福祉法人」が多くなり、「株式会社」が少なくなっている。

《居宅介護支援事業所：事前設問》

主任ケアマネジャーの人数（単数回答）

【単純集計】



主任ケアマネジャーの人数は、「1人」が 41.7%で約 4 割を占め、次いで「0人」が 22.9%、「2人」が 18.8%などとなっている。

2 ケアプラン作成について

《居宅介護支援事業所：問1》

事業者の職員数と、担当している利用者数をお答えください。(数値記入)

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=48)	ケアマネジャー数	担当利用者数	ケアマネジャー 1人あたりの担当 利用者数
常勤	150 人	4,417 人	29.4 人
非常勤	19 人	315 人	16.6 人

常勤のケアマネジャーは150人で、担当利用者数は4,417人となっている。非常勤のケアマネジャーは19人で、担当利用者数は315人となっている。ケアマネジャー1人あたりの担当利用者数は、常勤29.4人、非常勤16.6人と、常勤が非常勤の1.7倍以上となっている。

《居宅介護支援事業所：問2》

受け持っている利用者のうち、喀痰吸引、胃瘻、人工透析が必要な方は何人いますか。(数値記入)

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=48)	担当利用者数	必要な利用者数	割合
喀痰吸引	4,732 人	30 人	0.6%
胃瘻	4,732 人	31 人	0.7%
人工透析	4,732 人	97 人	2.0%

担当利用者のうち、喀痰吸引が必要な利用者は30人(0.6%)、胃瘻が必要な利用者は31人(0.7%)、人工透析が必要な利用者は97人(2.0%)となっている。

《居宅介護支援事業所：問3》

受け持っている利用者のうち、区分支給限度額を超えてサービスを利用している方は何人いますか。（数値記入）

【単純集計】

	担当利用者数	区分支給限度額を超えている利用者数	割合
居宅介護支援事業所 (n=48)	4,732 人	79 人	1.7%

担当利用者のうち、区分支給限度額を超えてサービスを利用している利用者は 79 人 (1.7%) となっている。

《居宅介護支援事業所：問4》

受け持っている利用者のうち、訪問型サービスAの利用意向がある方は何人いますか。（数値記入）

【単純集計】

	担当利用者数	訪問型サービスAの利用意向がある利用者数	割合
居宅介護支援事業所 (n=48)	4,732 人	47 人	1.0%

担当利用者のうち、訪問型サービスAの利用意向がある利用者は 47 人 (1.0%) となっている。

《居宅介護支援事業所：問5・問6》

受け持っている利用者のうち、施設等への入所を希望している方は何人いますか。(数値記入)

施設等への入所を希望している人のうち、ケアマネジャーの視点からも施設入所が望ましいと思われる方は何人いますか。(数値記入)

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=48)	担当利用者の意向		ケアマネジャーの視点	
	人数	割合	人数	割合
担当利用者数	4,732人	—	4,732人	—
入所希望者数	298人	6.3%	217人	4.6%
希望する施設の種別 (重複回答があったため、合計は入所希望者数と合致しない)				
①介護老人福祉施設	150人	3.2%	131人	2.8%
②介護老人保健施設	13人	0.3%	13人	0.3%
③介護療養型医療施設	5人	0.1%	5人	0.1%
④介護医療院	0人	0.0%	0人	0.0%
⑤認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	24人	0.5%	24人	0.5%
⑥特定施設 (介護付有料老人ホーム)	90人	1.9%	21人	0.4%
⑦高齢者対応の賃貸住宅 (サービス付き高齢者向け住宅含む)	17人	0.4%	16人	0.3%

担当利用者のうち、施設等への入所を希望している利用者は298人(6.3%)となっている。一方で、ケアマネジャーの視点からも施設入所が望ましいと思われる利用者は217人(4.6%)と、やや少なくなっており、担当利用者とケアマネジャーとで若干の乖離がみられる。希望数施設別にみると、「①介護老人福祉施設」への入所希望が多く、3.2%となっている。

《居宅介護支援事業所：問7》

施設等への入所を希望している方のうち、地域密着型サービスや在宅サービスを充実させることで在宅生活が継続できそうな利用者は何人いますか。また、上記のうち、特に定期巡回・随時対応型訪問介護看護を充実させることで、在宅生活が継続できそうな利用者は何人いますか。（数値記入）

【単純集計】

居宅介護支援事業所 (n=48)	人数	割合
入所希望者数	298人	—
地域密着型サービスなどを充実させることで在宅生活が継続できそうな入所希望者数	66人	22.1%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護を充実させることで在宅生活が継続できそうな入所希望者数	34人	11.4%

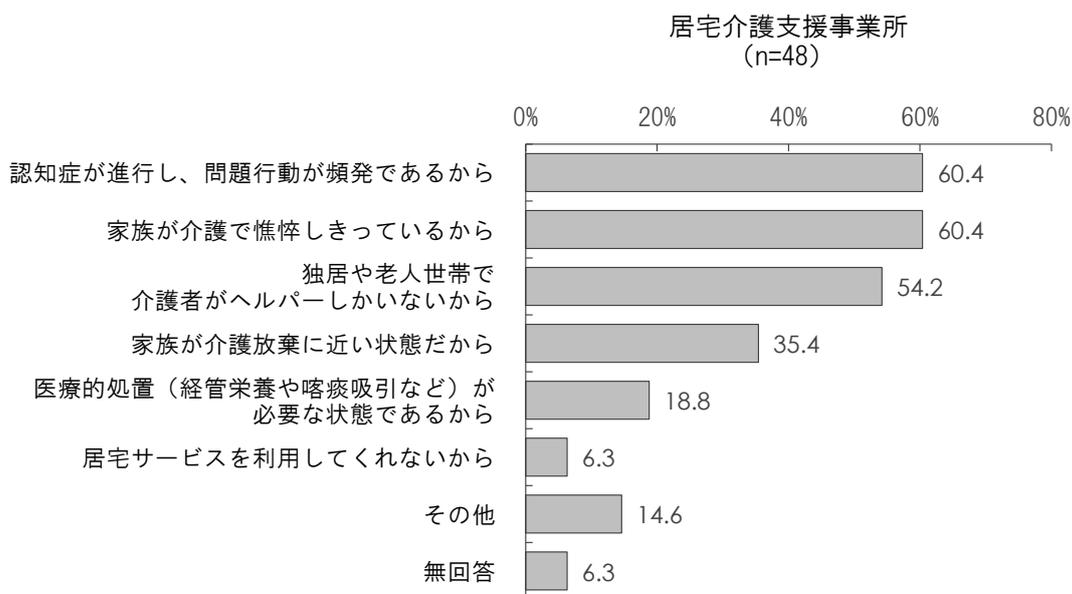
施設等への入所を希望している担当利用者のうち、地域密着型サービスや在宅サービスを充実させることで在宅生活が継続できそうな利用者は66人（22.1%）となっている。

また、特に定期巡回・随時対応型訪問介護を充実させることで在宅生活が継続できそうな利用者は34人（11.4%）となっている。

《居宅介護支援事業所：問8》

地域密着型サービスなどが充実しても、施設等への入所が望ましいと思う利用者の入所理由について、該当する番号に○をしてください。(複数回答可)

【単純集計】



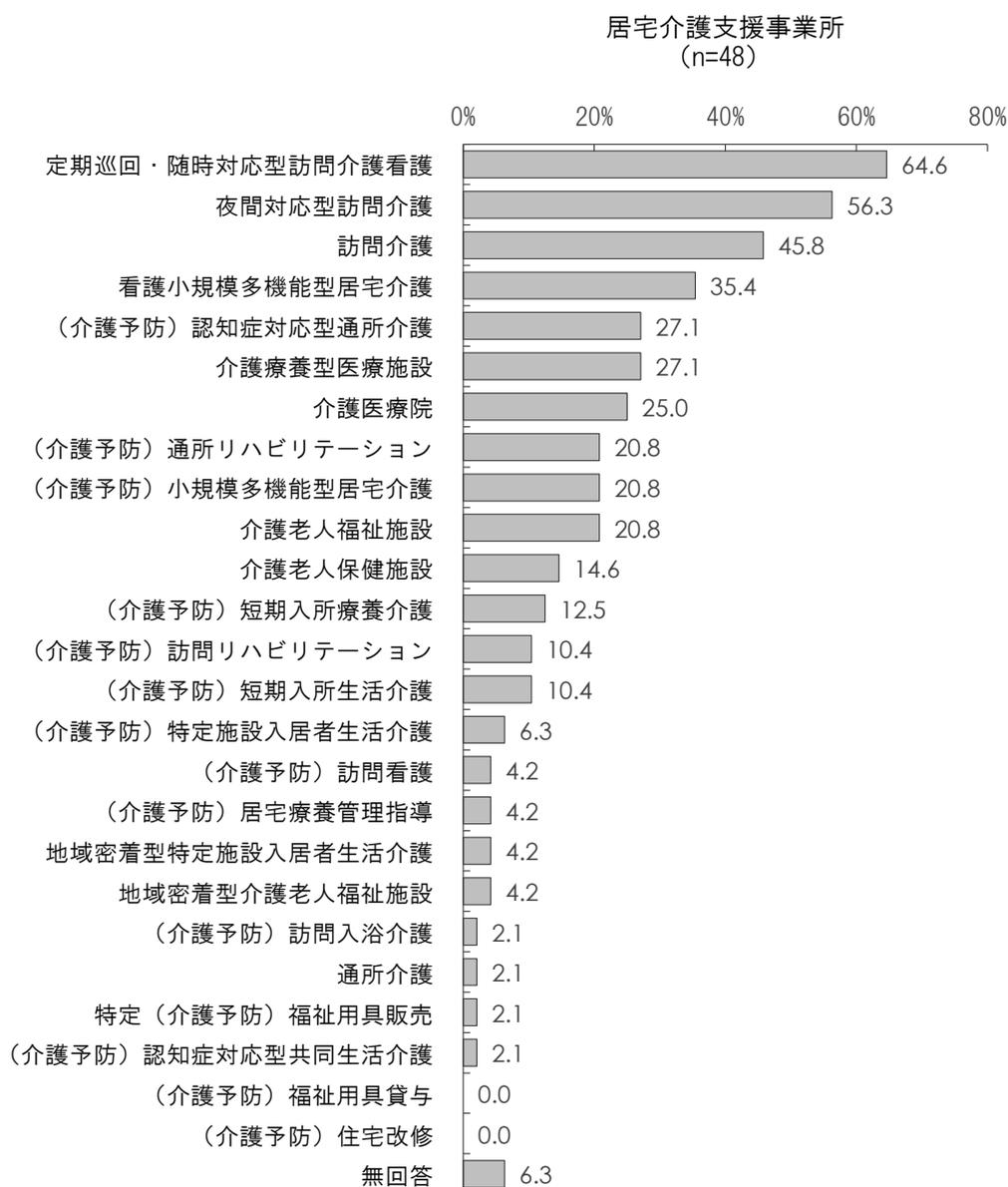
地域密着型サービスなどが充実しても、施設等への入所が望ましいと思う利用者の入所理由は、「認知症が進行し、問題行動が頻発であるから」、「家族が介護で憔悴しきっているから」がそれぞれ 60.4%と最も多く、次いで「独居や老人世帯で介護者がヘルパーしかいないから」が 54.2%と、半数以上の項目が3つもあり、在宅サービスへの移行が難しい部分がかがえる。

3 本市の介護サービスについて

《居宅介護支援事業所：問9》

大和市中で、事業所が不足していると思う介護（介護予防）サービスはありますか。市全体で不足していると思うサービスと地区によって不足していると思うサービスを書き込んでください。（それぞれ複数回答可）

【単純集計：市全体で不足していると思うサービス】



大和市中全体で不足していると思うサービスは、「定期巡回・随時対応型訪問介護」が 64.6% と 6 割以上を占めて多く、次いで「夜間対応型訪問介護」が 56.3%、「訪問介護」が 45.8% などとなっている。

【単純集計：地区別で不足していると思うサービス】

A地区：下鶴間地区

- ・夜間対応型訪問介護 5
- ・訪問介護 3
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 3
- ・看護小規模多機能型居宅介護 2
- ・介護医療院 2

B地区：中央林間地区

- ・夜間対応型訪問介護 4
- ・訪問介護 2
- ・通所リハビリテーション 2
- ・看護小規模多機能型居宅介護 2
- ・介護医療院 2

C地区：南林間地区

- ・夜間対応型訪問介護 4
- ・訪問介護 2
- ・看護小規模多機能型居宅介護 2
- ・介護医療院 2

D地区：鶴間地区

- ・夜間対応型訪問介護 5
- ・訪問介護 3
- ・介護医療院 2

F地区：上草柳地区

- ・訪問介護 4
- ・夜間対応型訪問介護 4

G地区：中央地区

- ・訪問介護 3
- ・夜間対応型訪問介護 3

J地区：福田北地区

- ・訪問介護 8
- ・通所リハビリテーション 2
- ・短期入所生活介護 2
- ・小規模多機能型居宅介護 2

K地区：福田南地区

- ・訪問介護 6
- ・短期入所生活介護 3

E地区：深見大和地区

- ・訪問介護 4
- ・短期入所生活介護 2
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 2
- ・夜間対応型訪問介護 2

H地区：桜丘地区

- ・訪問介護 6
- ・短期入所生活介護 2
- ・夜間対応型訪問介護 2

I地区：和田地区

- ・訪問介護 7
- ・短期入所生活介護 3



居宅支援事業所 (n=48)

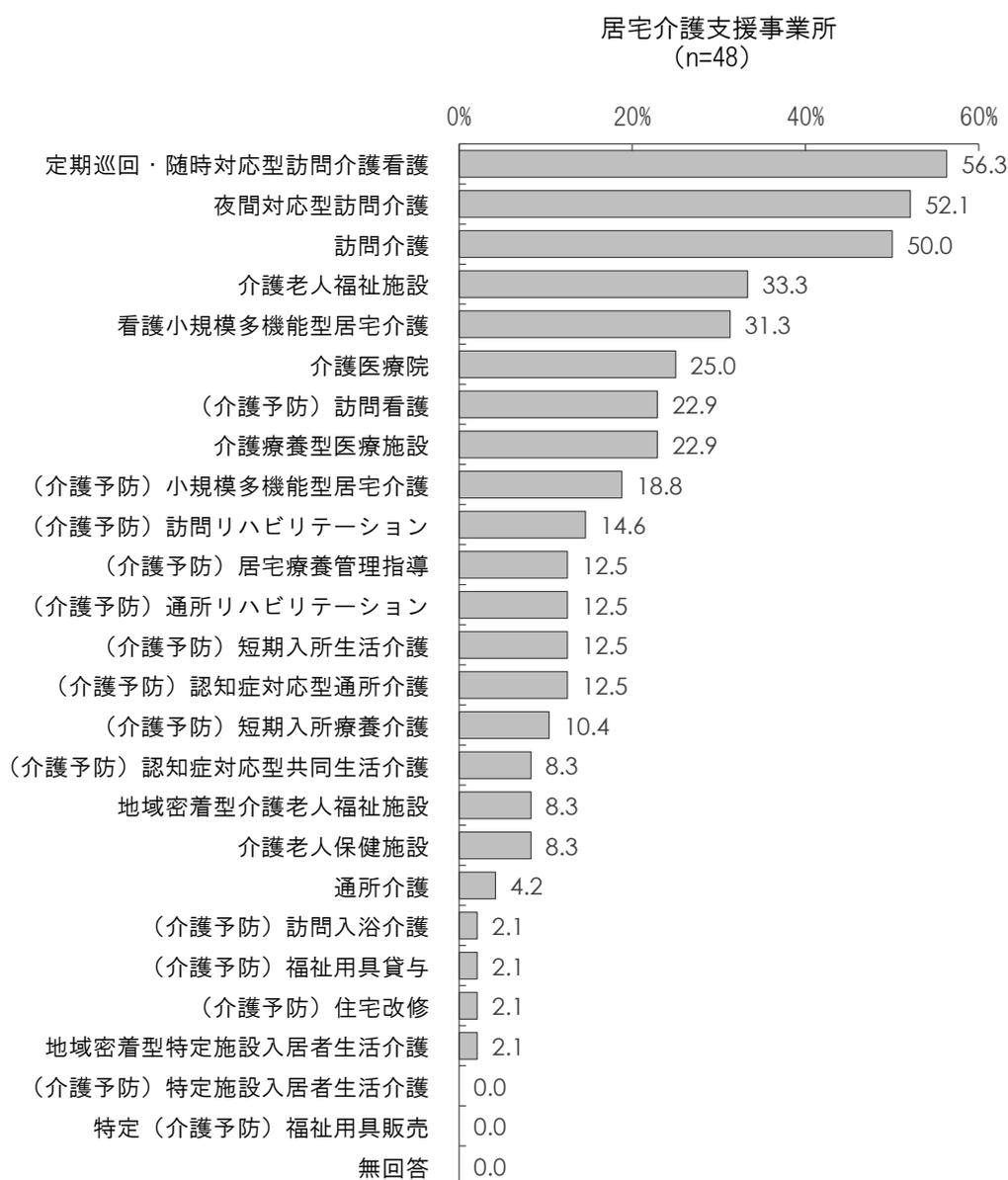
※数値は、不足を指摘した事業所数 (2事業所以上を掲載)

地区別で不足していると思うサービスは、A～D地区において「夜間対応型訪問介護」が最も多く、E・H～K地区において「訪問介護」が最も多くなっている。F～G地区においては「夜間対応型訪問介護」、「訪問介護」が共に最も多くなっている。他にも、「看護小規模多機能型居宅介護」がA～C地区、「介護医療院」がA～D地区で多く、「短期入所生活介護」がE・H～K地区において多くなっており、各日常生活圏域で、不足していると思われるサービスが多岐にわたっていることがうかがえる。

《居宅介護支援事業所：問 10》

それでは、今後の大和市で、特に需要の増加が見込まれる介護保険サービスはどれだと考えますか。（複数回答可：5つまで）

【単純集計】



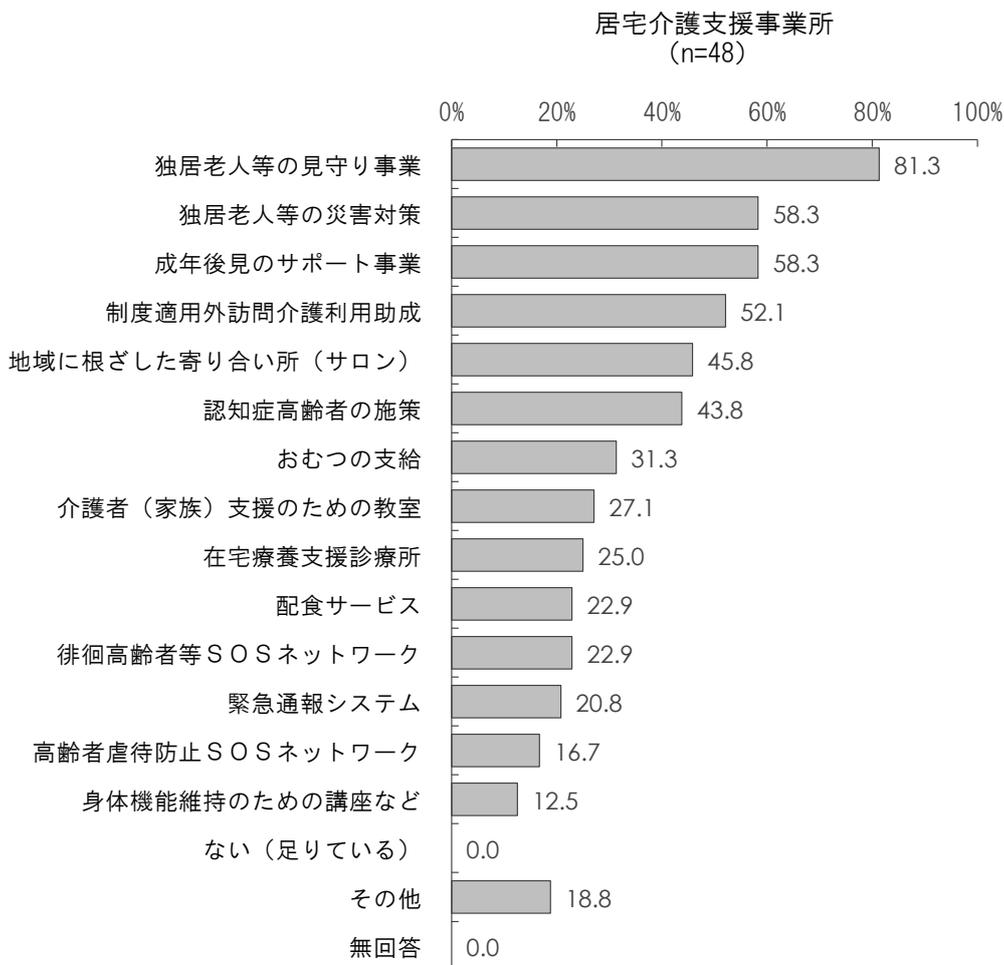
今後の大和市で特に需要の増加が見込まれる介護保険サービスは、「定期巡回・随时対応型訪問介護」が 56.3%と最も多く、次いで「夜間対応型訪問介護」が 52.1%、「訪問介護」が 50.0% などとなっており、不足していると思われるサービス（203 ページ）が上位を占めている。

4 高齢者施策等について

《居宅介護支援事業所：問 11》

今後充実した方が良い、もしくは、新規に望まれる介護保険制度外のサービスはありますか。(複数回答可)

【単純集計】

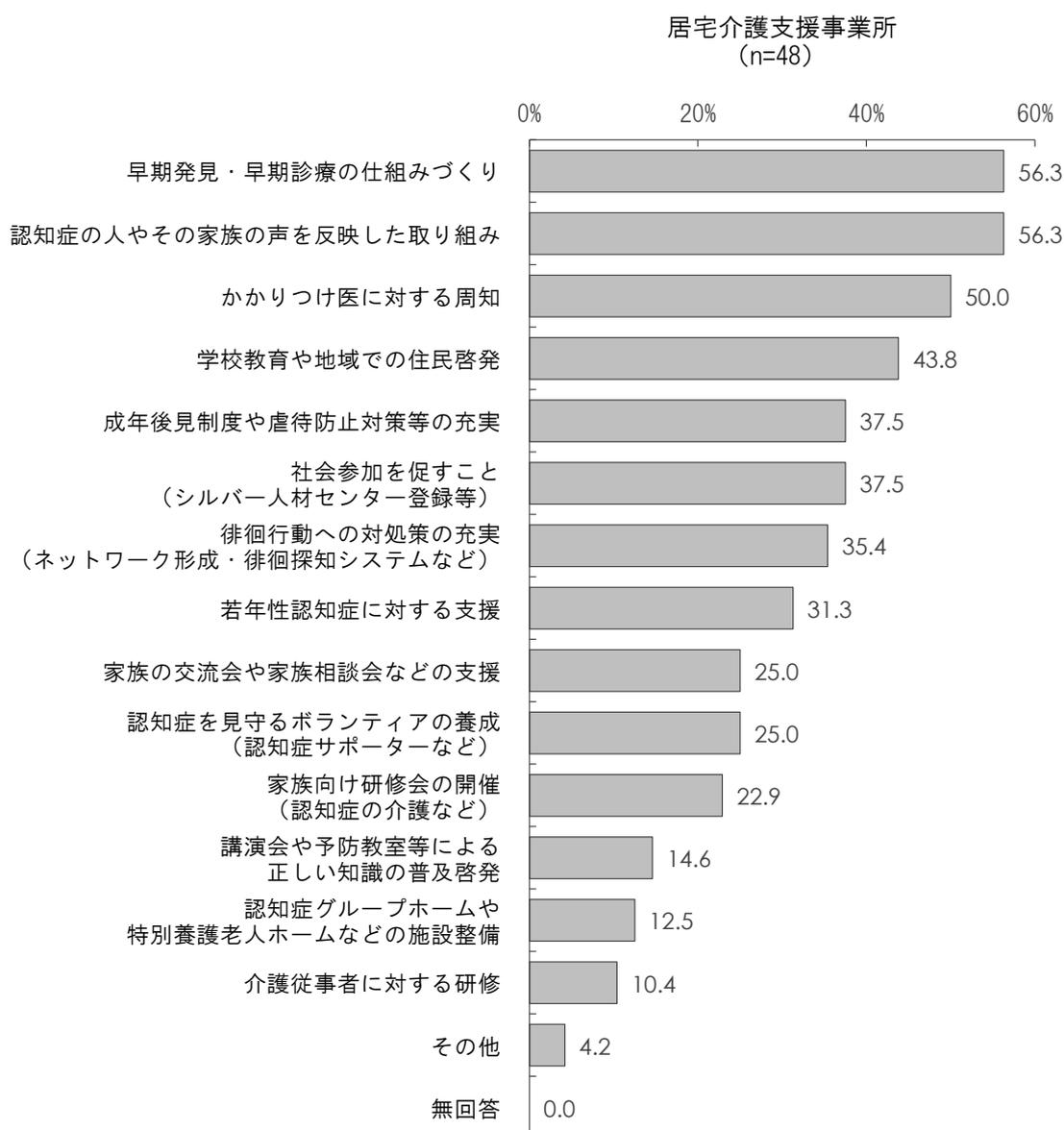


今後充実した方が良い、もしくは、新規に望まれる介護保険制度外のサービスは、「独居老人等の見守り事業」が 81.3%と突出して多く、次いで「独居老人等の災害対策」、「成年後見のサポート事業」がそれぞれ 58.3%、「制度適用外訪問介護利用助成」が 52.1%などとなっている。

《居宅介護支援事業所：問 12》

認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。（複数回答可：5つまで）

【単純集計】



認知症対策を進めていくうえで、重点を置くべきと考えることは、「早期発見・早期診療の仕組みづくり」、「認知症の人やその家族の声を反映した取り組み」がそれぞれ 56.3%と最も多く、次いで「かかりつけ医に対する周知」が 50.0%、「学校教育や地域での住民啓発」が 43.8% などとなっている。

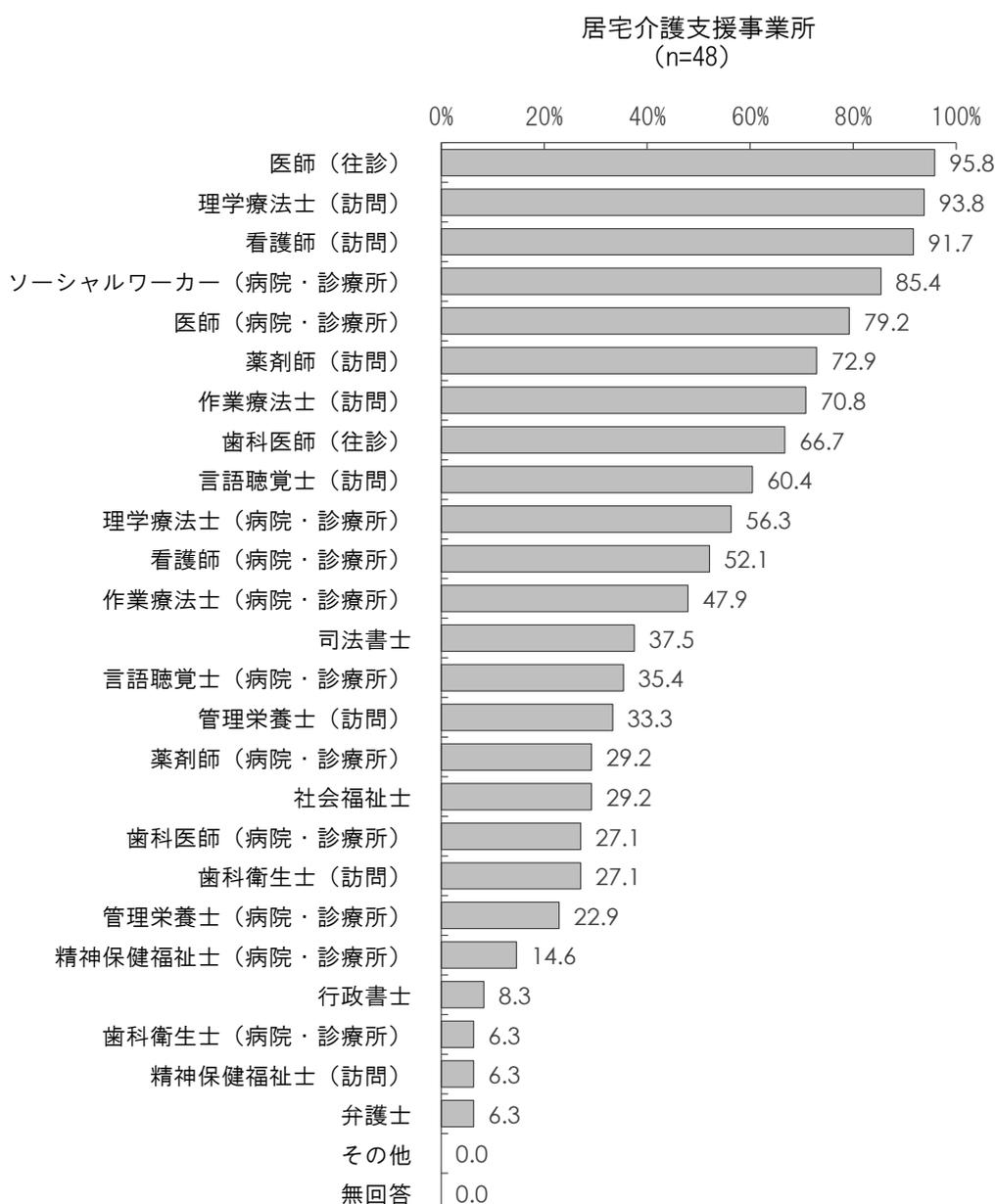
高齢者全般の調査結果（106 ページ）と比較すると、「早期発見・早期診療の仕組みづくり」や「認知症の人やその家族の声を反映した取り組み」はいずれの調査結果においても上位になっているが、「かかりつけ医に対する周知」は高齢者全般では 20%台で、順位も 8 番目前後となっており、事業所と高齢者との意識の差がみられる。

5 医療・介護関係者との情報共有について

《居宅介護支援事業所：問 13》

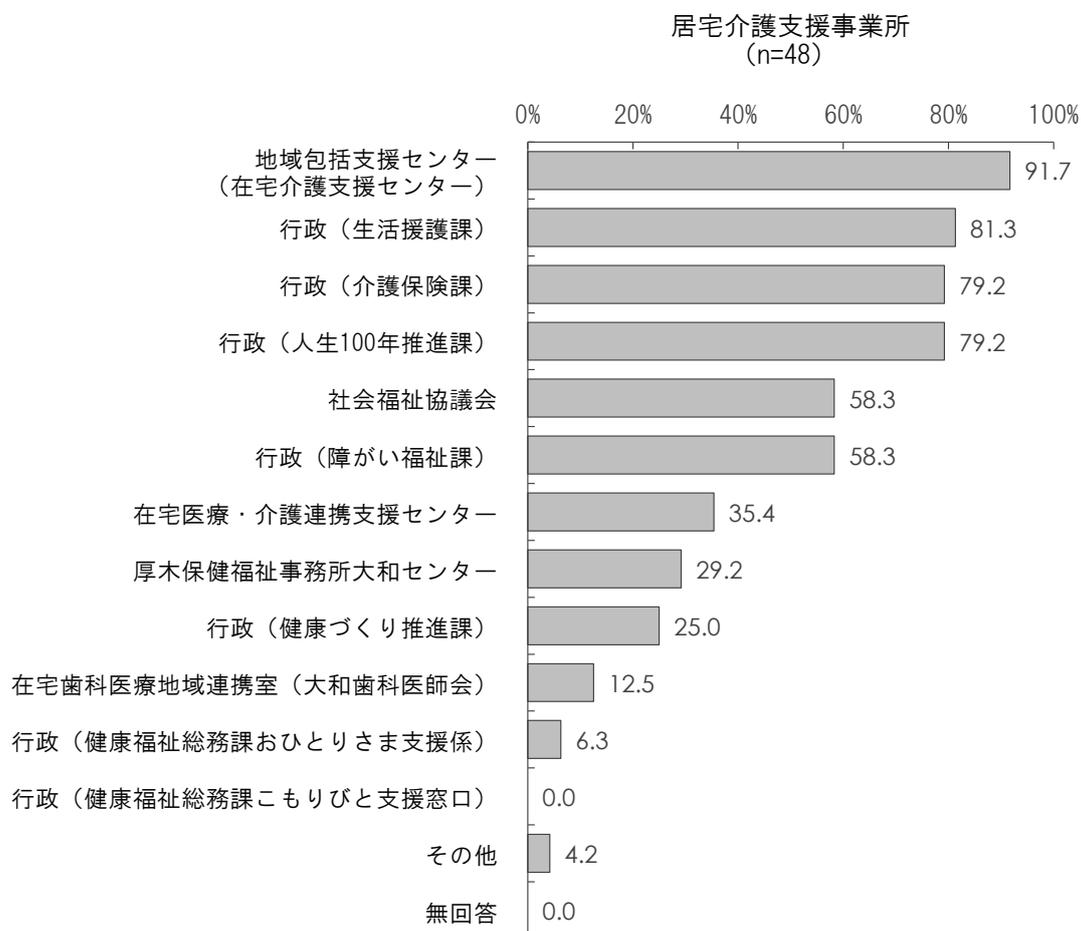
現在、利用者を支援する際に連携している職種（機関）はどのような職種（機関）ですか。（それぞれ複数回答可）

【単純集計：利用者を支援する際に連携している職種】



利用者を支援する際に連携している職種は、「医師（往診）」が95.8%と最も多く、次いで「理学療法士（訪問）」が93.8%、「看護師（訪問）」が91.7%などとなっており、半数を超える職種が25項目のうち11項目あり、多方面で連携していることがうかがえる。

【単純集計：利用者を支援する際に連携している機関】

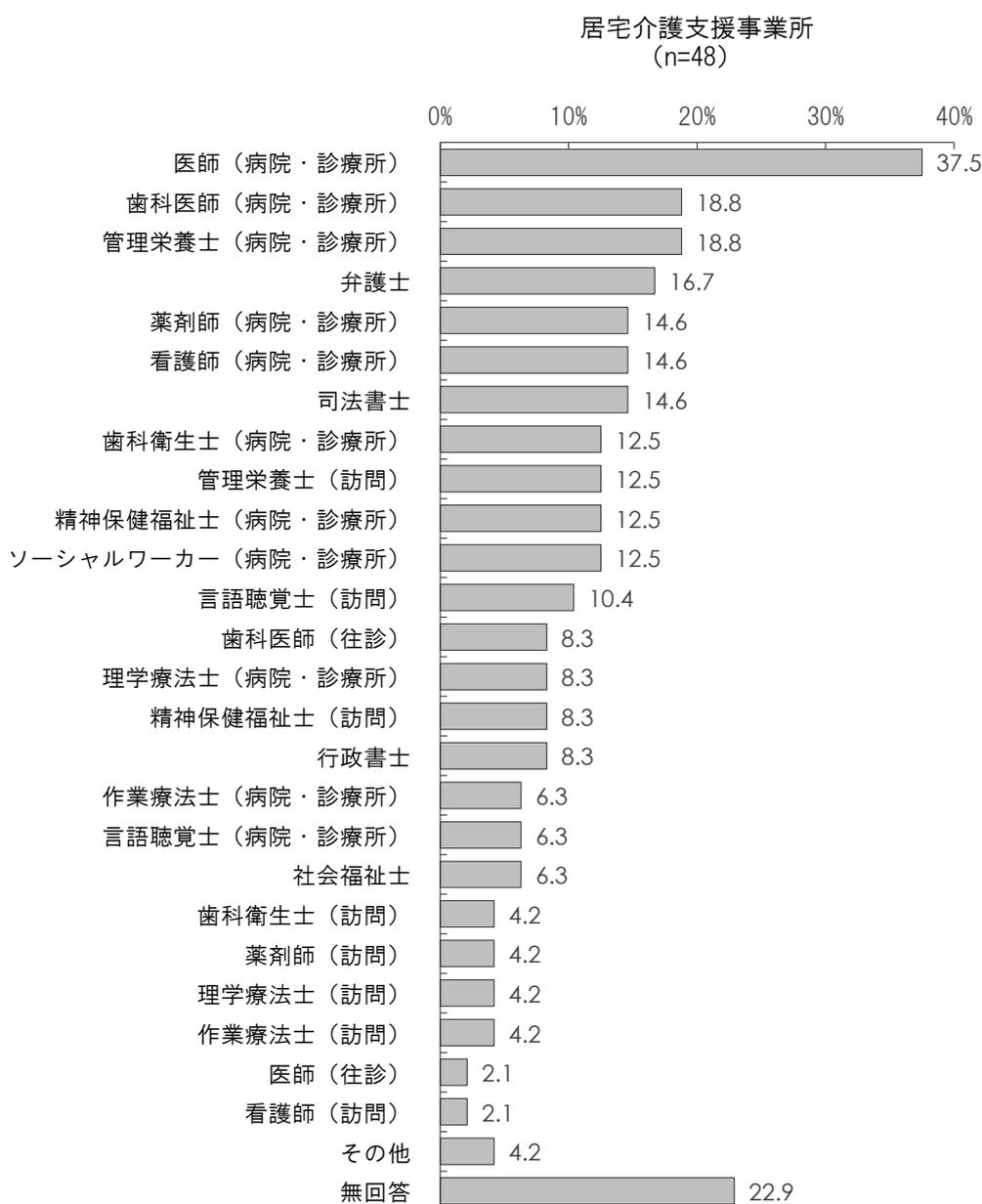


利用者を支援する際に連携している機関は、「地域包括支援センター（在宅介護支援センター）」が91.7%と最も多く、次いで「行政（生活援護課）」が81.3%、「行政（介護保険課）」、「行政（人生100年推進課）」がそれぞれ79.2%などとなっており、半数を超える機関が12項目のうち6項目あり、機関においても多方面で連携していることがうかがえる。

《居宅介護支援事業所：問 14》

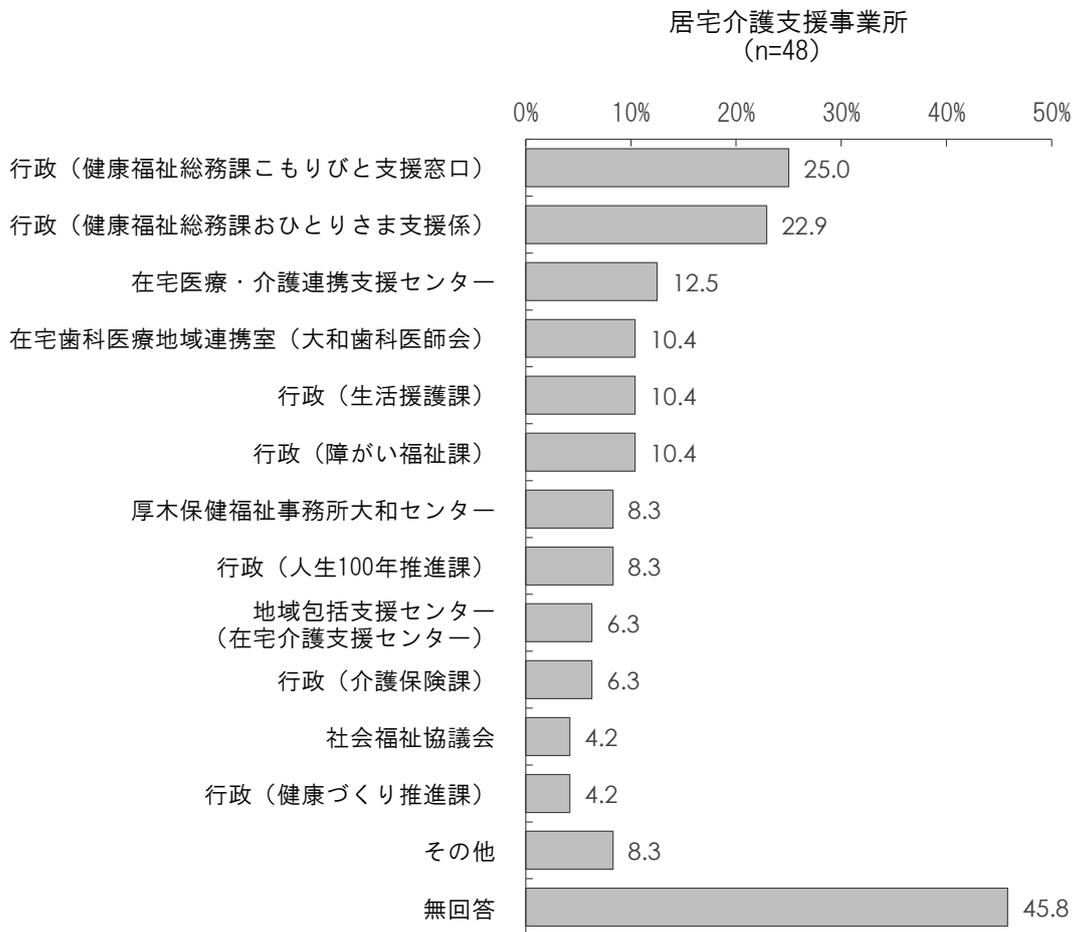
現在、連携が必要と考えられるが、連携ができていない職種（機関）はどのような職種（機関）ですか。（それぞれ複数回答可）

【単純集計：連携が必要と考えられるが、連携ができていない職種】



連携が必要と考えられるが、連携ができていない職種は、「医師（病院・診療所）」が 37.5% と突出して多く、次いで「歯科医師（病院・診療所）」、「管理栄養士（病院・診療所）」がそれぞれ 18.8%、「弁護士」が 16.7% などとなっている。

【単純集計：連携が必要と考えられるが、連携ができていない機関】

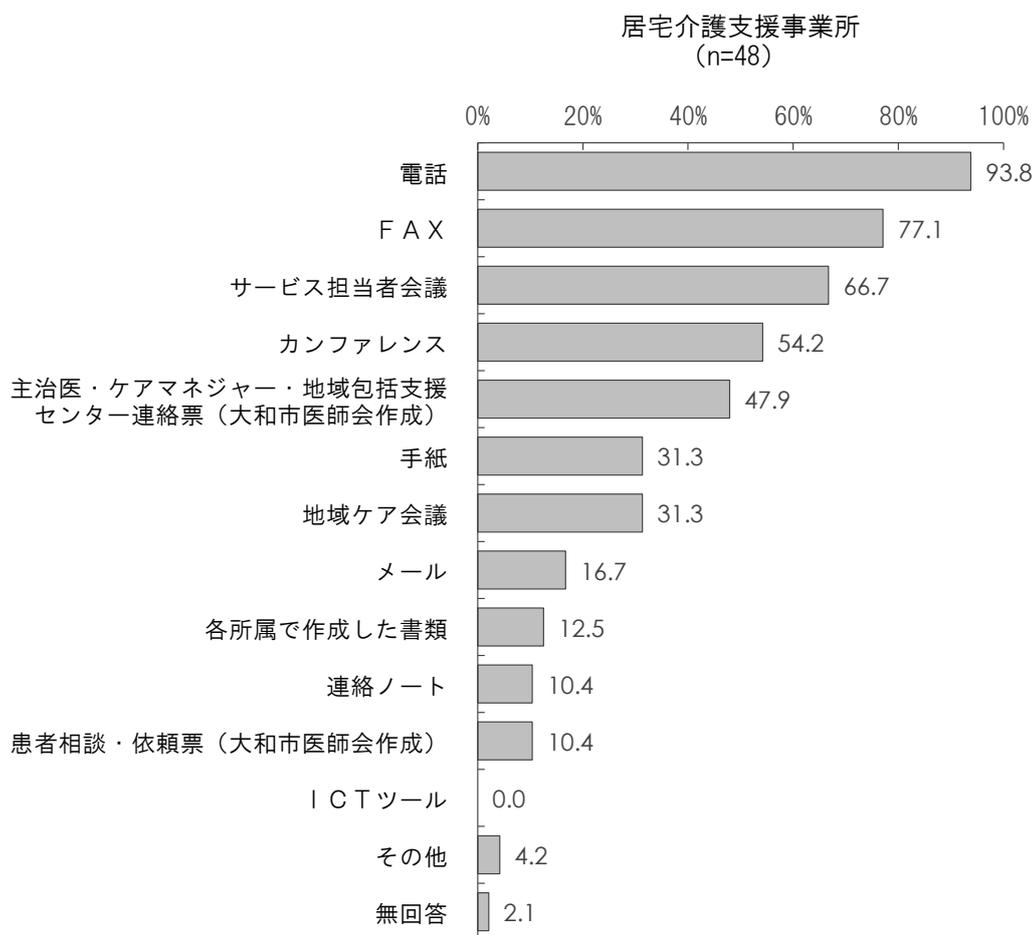


連携が必要と考えられるが、連携ができていない機関は、「行政（健康福祉総務課こもりびと支援窓口）」が 25.0%と最も多く、次いで「行政（健康福祉総務課おひとりさま支援係）」が 22.9%、「在宅医療・介護連携支援センター」が 12.5%などとなっている。

《居宅介護支援事業所：問 15》

連携している機関と、どのような手段で情報を共有していますか。
(複数回答可)

【単純集計】

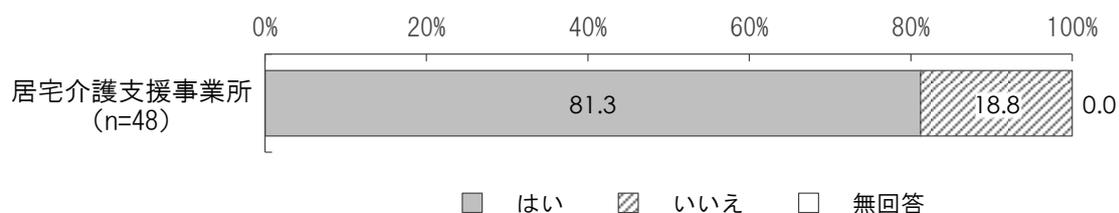


連携している機関と情報を共有する手段は、「電話」が93.8%と最も多く、次いで「F A X」が77.1%、「サービス担当者会議」が66.7%などとなっている。

《居宅介護支援事業所：問 16》

在宅医療・介護連携支援センターが開催する在宅医療・介護連携推進事業研修会に参加したことがありますか。（単数回答）

【単純集計】

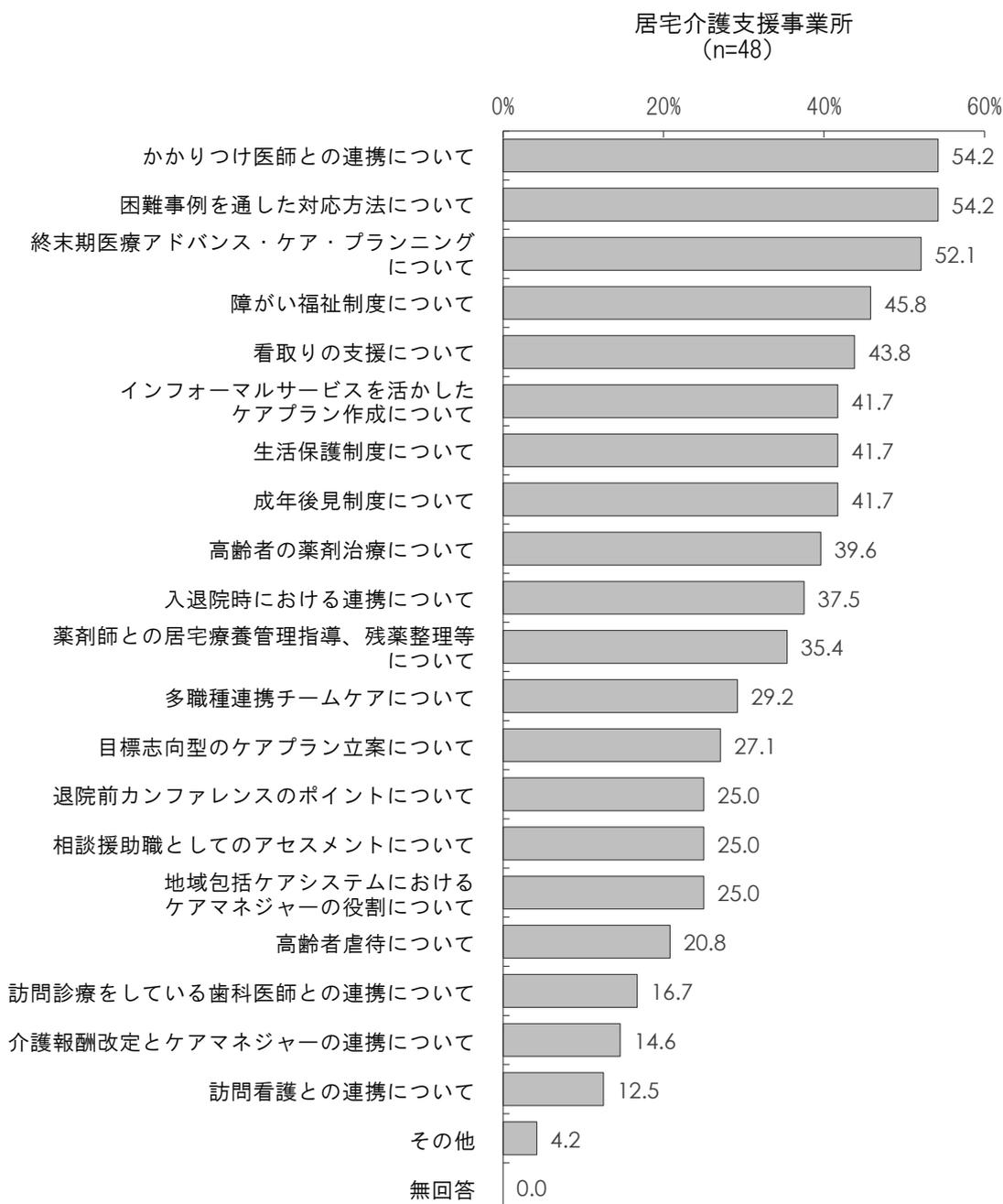


在宅医療・介護連携支援センターが開催する在宅医療・介護連携推進事業研修会への参加経験の有無は、「はい」が81.3%、「いいえ」が18.8%となっている。

《居宅介護支援事業所：問 17》

今後、要支援・要介護認定を受けた方の支援をしていくにあたり、どのような研修があればよいと思いますか。(複数回答可)

【単純集計】

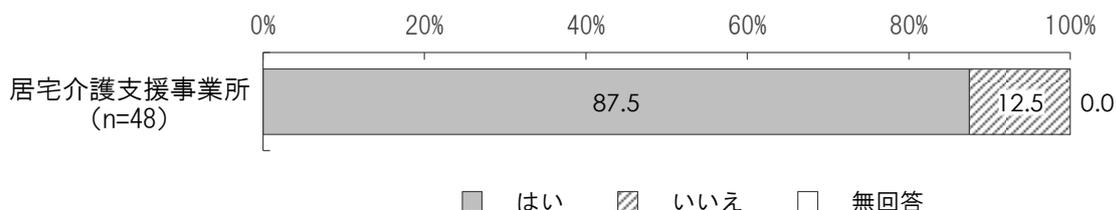


今後、要支援・要介護認定を受けた方の支援をしていくにあたってあればよいと思う研修は、「かかりつけ医師との連携について」、「困難事例を通じた対応方法について」がそれぞれ54.2%と最も多く、次いで「終末期医療アドバンス・ケア・プランニングについて」が52.1%、「障がい福祉制度について」が45.8%などとなっており、半数以上の項目が3割以上となっており、研修に対するニーズが多岐にわたっていることがうかがえる。

《居宅介護支援事業所：問 18》

看取りの支援をされたことはありますか。（単数回答）

【単純集計】

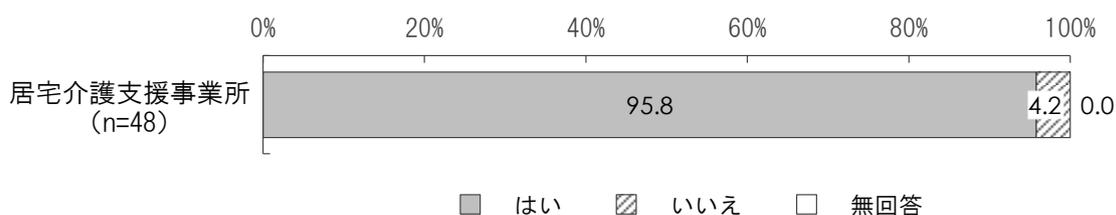


看取りの支援経験の有無は、「はい」が87.5%と大半を占めており、「いいえ」は12.5%で1割台に留まっている。

《居宅介護支援事業所：問 19》

大和市で統一した入退院支援マニュアルがあるといいと思いますか。
（単数回答）

【単純集計】



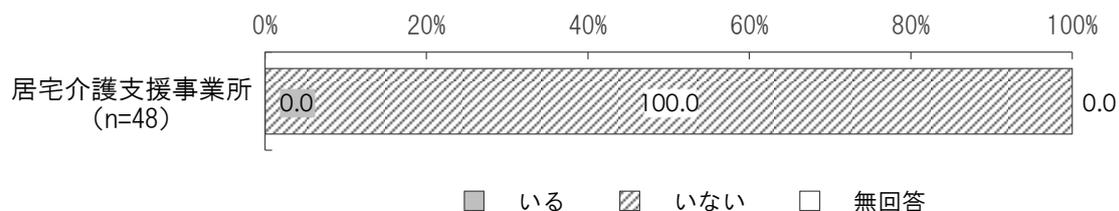
大和市で統一した入退院支援マニュアルがあると思うかは、「はい」が95.8%で大半を占め、「いいえ」は僅か4.2%となっている。

6 介護ロボット(自動排泄処理装置)について

《居宅介護支援事業所：問 21》

受け持っている利用者のうち、自動排泄処理装置を利用している方はいますか。
(単数回答)

【単純集計】

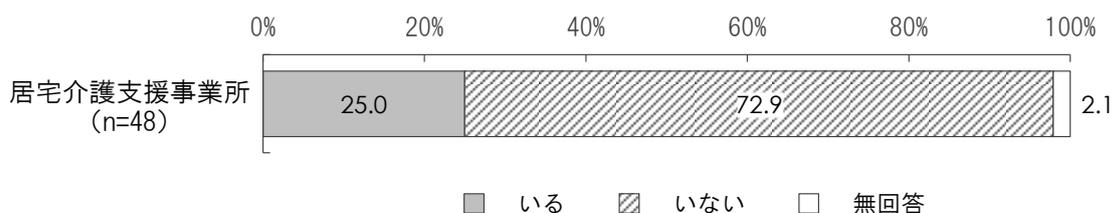


自動排泄処理装置を利用している担当利用者の有無は、「いない」が100.0%で、利用者は皆無となっている。

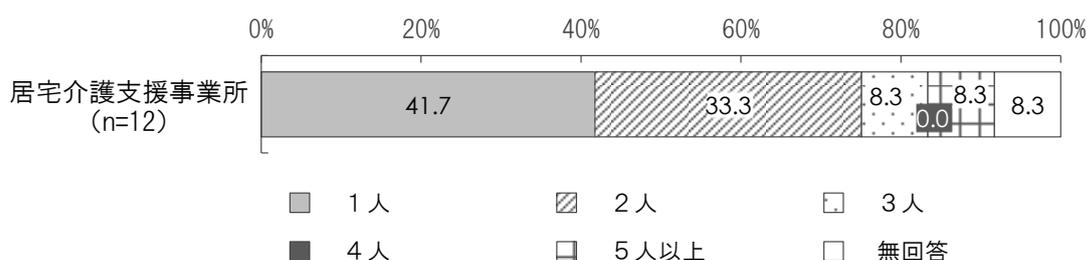
《居宅介護支援事業所：問 22》

受け持っている利用者のうち、現在、自動排泄処理装置を利用していない方で、今後利用するとよい(介護者の負担が軽減される)と思う利用者はいますか。
(それぞれ単数回答)

【単純集計：今後自動排泄処理装置を利用するとよいと思う利用者の有無】



【単純集計：今後、自動排泄処理装置を利用するとよいと思う利用者の人数】



受け持っている利用者のうち、現在、自動排泄処理装置を利用していない方で、今後利用するとよい(介護者の負担が軽減される)と思う利用者の有無は、「いる」が25.0%、「いない」が72.9%となっている。

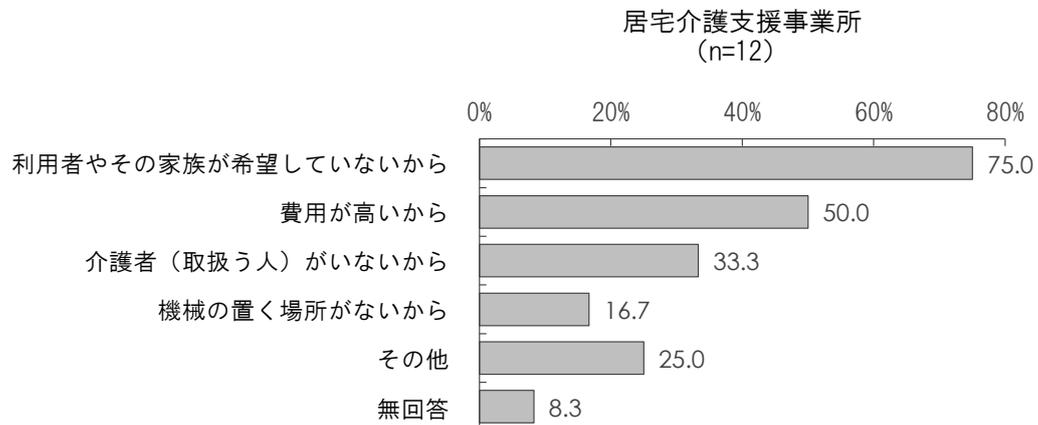
受け持っている利用者のうち、現在、自動排泄処理装置を利用していない方で、今後利用するとよい(介護者の負担が軽減される)と思う利用者の人数は、「1人」が41.7%と最も多く、次いで「2人」が33.3%、「3人」、「5人以上」がそれぞれ8.3%となっている。

居宅介護支援事業所：問 22 で「いる」と回答した事業所のみ

《居宅介護支援事業所：問 22－1》

現在、自動排泄処理装置を利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

【単純集計】

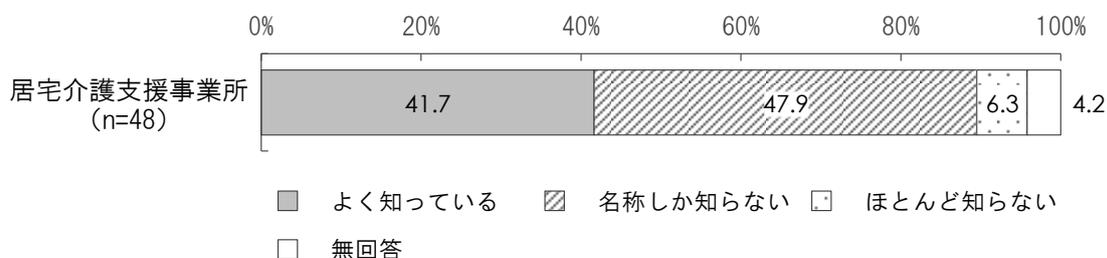


現在、自動排泄処理装置を利用していない理由は、「利用者やその家族が希望していないから」が75.0%と最も多く、次いで「費用が高いから」が50.0%、「介護者（取扱う人）がないから」が33.3%などとなっている。

《居宅介護支援事業所：問 23》

ケアマネジャーは、自動排泄処理装置のことをどの程度ご存知ですか。
（単数回答）

【単純集計】



自動排泄処理装置についてのケアマネジャーの認知状況は、「名称しか知らない」が47.9%と最も多く、次いで「よく知っている」が41.7%、「ほとんど知らない」が6.3%となっている。

居宅介護支援事業所：問 23 で「名称しか知らない」または「ほとんど知らない」と回答した事業所のみ

《居宅介護支援事業所：問 23-1》

自動排泄処理装置の説明会・体験会等が開催されれば、参加したいと思いませんか。（単数回答）

【単純集計】



自動排泄処理装置の説明会・体験会等への参加意向は、「参加したい」が92.3%で大半を占め、「参加したくない」は7.7%で、1割未満となっている。

V 資料編

大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための
実態調査の実施について

令和2年2月

大和市では、本市が将来に向けて計画期間中に取り組むべき高齢者施策や介護保険施策について示した「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」(第7期計画)を平成30年3月に策定し、現在、計画の達成に向けて、様々な事業を実施しているところです。

この計画は3年ごとに策定しており、現在、令和3年度から令和5年度までの第8期計画策定のため、準備を進めています。

この計画の策定に際し、本市にお住まいの65歳以上の皆さまの福祉施策に対する考え方や生活環境などを把握するための調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査は、要介護・要支援の認定を受けていない65歳以上の方の中から、無作為に5,000人を抽出し、ご協力をお願いしています(要介護・要支援の認定を受けている方については、別途調査をお願いしています)。

ご返送いただいた調査票につきましては、計画の基礎データとして使用し、皆さまでご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査へのご協力をお願いいたします。

大和市 高齢福祉課長
介護保険課長

【ご記入のお願い】

- 1 この調査は、令和2年1月1日現在の状況でお答えください。
- 2 ご本人様のご記入することが難しい場合は、ご家族または介護を行っている方が、ご本人様の立場でご回答いただくなど、ご協力をお願いいたします。また、入院等により一時的にご不在の場合には、ご自宅に戻られることを前座にご回答くださいますようお願いいたします。
- 3 回答は、当てはまる番号を○印で囲んでいただき、「その他」を選択された場合は具体的な内容をご記入ください。
- 4 一部の方にお答えいただく質問がございます。その場合は当てはまる方のみ、お答えください。
- 5 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**2月28日(金)まで**に投函してください。また、調査票以外のものは同封しないようお願いいたします。
- 6 調査内容や記入の仕方など、ご不明の点がございましたら、下記担当までご連絡ください。

大和市健康福祉部高齢福祉課 電話：260-5611 FAX：260-1156
大和市健康福祉部介護保険課 給付係 電話：260-5168 FAX：260-5158

～ 個人情報の取り扱いについて ～

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご一読ください。
本調査票のご返送を先向きして、下記にご同意いただいたものとして扱わせていただきます。

記

■ 個人情報保護及び活用目的について

本調査は、本市における第8期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定において、皆様の福祉施策に対する考え方や生活環境などを把握することを目的としています。

本調査で得られた情報につきましては、第8期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定と実態評価の目的以外には利用いたしません。

ただし、第8期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定時及び実績評価時に本調査で得られたデータを活用するに当たり、厚生労働省の管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

■ 調査票の回答内容の取扱いについて

調査票にご回答頂いた情報は、適切に管理させていただきます。

■ 本調査の結果と介護保険課で保有している個人データの利用について

本調査では、調査票に付番することで、無作為に抽出された中のご回答された調査票が判別できるようにしています。介護保険課で保有している個人データと、本調査の回答内容を組み合わせることによって得られるデータを、第8期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定のための基礎資料として使用させていただきます。当該データをご本人の許可なく、目的以外の使用は致しません。

以上

※本調査は、厚生労働省が策定した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」に準じており、国で作成された質問をそのまま使用しています。

はしめに、あなたのご家族や生活状況についておたずねします。

問1 ご家族の世帯構成は、次のどれですか。【Oは1つ】
 1 ひとり暮らし 2 夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）
 3 夫婦二人暮らし（配偶者は64歳以下） 4 子と同居（本人を含め、計 人）
 5 その他（具体的に： ）

問2 あなたは、普段の生活でとなたかの介護・介助が必要ですか。【Oは1つ】
 1 介護・介助は必要ない
 2 どなたかからの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
 3 現在、どなたかからの介護を受けている
 （介護認定を受けずに、家族などの介護を受けている場合も含む）

問2-1 問2で「3」と回答した方にお問します。
 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。【Oはいくつでも】

1 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	2 心臓病
3 がん（悪性新生物）	4 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）
5 関節の病気（リウマチ等）	6 認知症（アルツハイマー病等）
7 パーキンソン病	8 糖尿病
9 腎疾患（透析）	10 視覚・聴覚障がい
11 骨折・転倒	12 脊椎損傷
13 高齢による衰弱	14 その他（具体的に： ）
15 不明	

問2-2 問2で「3」と回答した方にお問します。
 主にどなたの介護・介助を受けていますか（受けたいですか）。【Oはいくつでも】

1 配偶者（夫・妻）	2 息子
3 娘	4 子の配偶者
5 孫	6 兄弟・姉妹
7 その他（具体的に： ）	

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。【Oは1つ】
 1 大変苦しい 2 やや苦しい 3 ふつう
 4 ややゆとりがある 5 大変ゆとりがある

問4 ご自身は次のどれですか。【Oは1つ】
 1 持家（一戸建て） 2 持家（集合住宅）
 3 公営賃貸住宅 4 民間賃貸住宅（一戸建て）
 5 民間賃貸住宅（集合住宅） 6 社宅・宿舍
 7 その他（具体的に： ）

からだを動かすことについておたずねします。

問5 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。【Oは1つ】
 1 できるし、している 2 できるけどしていない
 3 できない

問6 椅子に座った状態から、何もつかまらずに立ち上がっていますか。【Oは1つ】
 1 できるし、している 2 できるけどしていない
 3 できない

問7 15分位続けて歩いていますか。【Oは1つ】
 1 できるし、している 2 できるけどしていない
 3 できない

問8 過去1年間に転んだ経験がありますか。【Oは1つ】
 1 何度もある 2 1度ある 3 ない

問9 転倒に対する不安は大きいですか。【Oは1つ】
 1 とても不安である 2 やや不安である
 3 あまり不安でない 4 不安でない

問10 外出の頻度をお教えください。【Oは1つ】
 1 ほとんど外出しない 2 週1回
 3 週2～4回 4 週5回以上

問11 昨年と比べて、外出の回数が減っていますか。【Oは1つ】
 1 とても減っている 2 減っている
 3 あまり減っていない 4 減っていない

食べることにしておたずねします。

問12 身長と体重をお教えください。【数字で記入してください】
 身長： cm kg
 体重： kg

問13 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。【Oは1つ】
 1 はい 2 いいえ

問14 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。）【Oは1つ】
 1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
 3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問22 日常生活で困っていることや不安に感じていることはありますか。【Oは1つ】

- 1 はい 2 いいえ

問22-1 問22で「はい」と回答した方にお聞きます。

それは、具体的にどのようなことですか。【Oはいくつでも】

- 1 買い物
- 2 ゴミ出し
- 3 部屋の掃除
- 4 布団直し
- 5 食事の調理
- 6 食事の片付け
- 7 洗濯
- 8 電球交換などの簡単な補修作業
- 9 家具の移動
- 10 季節の衣類・器具の出し入れ
- 11 卓巾しりなど庭の手入れ
- 12 通院時などの送迎
- 13 外出時の支援
- 14 安否の見守り
- 15 話し相手がない
- 16 転びやすいつま先履 (室内の段差、手すりがない等)
- 17 預貯金の出し入れ
- 18 土地や家屋などの財産管理・相続
- 19 契約トラブルや詐欺 (強引な訪問販売・電話販売など)
- 20 その他 (具体的に:)

問22-1-1 問22-1で「1」～「15」と回答した方にお聞きます。

これらの支援を受ける場合、1回の依頼につき、どの程度の料金負担が適当と考えますか。【Oは1つ】

- 1 無料
- 2 100 円程度
- 3 300 円程度
- 4 500 円程度
- 5 1,000 円程度
- 6 それ以上

地域での活動についておたずねします。

問23 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。【Oは1つずつ】

例) ●活動	週4回以上	週2〜3回	週1回	月に1〜3回	年に数回	参加しない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事 (シルバー人材センターなど)	1	2	3	4	5	6
⑨地区社会福祉協議会(ミニサロン)	1	2	3	4	5	6

問15 どなたかと食事をする機会はありますか。【Oは1つ】

- 1 毎日ある
- 2 週に何度かある
- 3 月に何度かある
- 4 年に何度かある
- 5 ほとんどない

毎日の生活についておたずねします。

問16 物忘れが多いと感じますか。【Oは1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問17 バスや電車を使得って1人で外出していますか (自家用車でも可)。【Oは1つ】

- 1 できるし、している
- 2 できるけどしていない
- 3 できない

問18 自分で食品・日用品の買物をしていますか。【Oは1つ】

- 1 できるし、している
- 2 できるけどしていない
- 3 できない

問19 自分で食事の用意をしていますか。【Oは1つ】

- 1 できるし、している
- 2 できるけどしていない
- 3 できない

問20 自分で請求書の支払いをしていますか。【Oは1つ】

- 1 できるし、している
- 2 できるけどしていない
- 3 できない

問21 自分で預貯金の出し入れをしていますか。【Oは1つ】

- 1 できるし、している
- 2 できるけどしていない
- 3 できない

問 24 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。【Oは1つ】

- 1 是非参加したい
- 2 参加してもよい
- 3 参加したくない
- 4 既に参加している

問 25 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営側(お世話役)として参加してみたいと思いませんか。【Oは1つ】

- 1 是非参加したい
- 2 参加してもよい
- 3 参加したくない
- 4 既に参加している

→ 問 25-1 問 24 または問 25 で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。
どのような活動に参加したい(参加してもよい)ですか。【Oはいくつでも】

- 1 ボランティアのグループ
- 2 スポーツ関係のグループやクラブ
- 3 趣味関係のグループ
- 4 学習・教養サークル
- 5 老人クラブ
- 6 自治会
- 7 収入のある仕事
- 8 地区社会福祉協議会(ミニサロン)
- 9 その他(具体的に:)

→ 問 25-1-1 問 25 で「1」ボランティアのグループと回答した方にお聞きします。

家事支援(30分程度)のボランティアを行う場合、1回の依頼につき、どの程度の対価が適当と考えますか。【Oは1つ】

- 1 無料
- 2 100円程度
- 3 300円程度
- 4 500円程度
- 5 1,000円程度
- 6 それ以上

たすけあい(あなたとまわりの人の「たすけあい」)についておたずねします。

- 問 26 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は誰ですか。【Oはいくつでも】
- 1 配偶者
 - 2 同居の子ども
 - 3 別居の子ども
 - 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫
 - 5 近隣
 - 6 友人
 - 7 その他(具体的に:)
 - 8 そのような人はいない

- 問 27 あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげるのは誰ですか。【Oはいくつでも】
- 1 配偶者
 - 2 同居の子ども
 - 3 別居の子ども
 - 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫
 - 5 近隣
 - 6 友人
 - 7 その他(具体的に:)
 - 8 そのような人はいない

問 28 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。【Oはいくつでも】

- 1 配偶者
- 2 同居の子ども
- 3 別居の子ども
- 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5 近隣
- 6 友人
- 7 その他(具体的に:)
- 8 そのような人はいない

問 29 反対に、看病や世話をしてあげる人は誰ですか。【Oはいくつでも】

- 1 配偶者
- 2 同居の子ども
- 3 別居の子ども
- 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5 近隣
- 6 友人
- 7 その他(具体的に:)
- 8 そのような人はいない

健康についておたずねします。

問 30 現在のあなたの健康状態はいかがですか。【Oは1つ】

- 1 とてもよい
- 2 まあよい
- 3 あまりよくない
- 4 よくない

問 31 現在の程度幸せですか。
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)【Oは1つ】

とても不幸 ← 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 幸せ

問 32 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。【Oは1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問 33 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがありましたか。【Oは1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問 34 タバコは吸っていますか。【Oは1つ】

- 1 ほぼ毎日吸っている
- 2 時々吸っている
- 3 吸っていたが、やめた
- 4 もともと吸っていない

問 35 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【〇はいくつでも】

- 1 ない
- 2 高血圧
- 3 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
- 4 心臓病
- 5 糖尿病
- 6 高脂血症(脂質異常)
- 7 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)
- 8 胃腸・肝臓・胆のうの病気
- 9 腎臓・前立腺の病気
- 10 腎疾患(透析)
- 11 筋骨格の病気(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
- 12 変形性関節疾患
- 13 膠原病(関節リウマチ含む)
- 14 外傷(転倒・骨折等)
- 15 がん(悪性新生物)
- 16 血液・免疫の病気
- 17 うつ病
- 18 認知症(アルツハイマー病等)
- 19 パーキンソン病
- 20 難病(パーキンソン病を除く)
- 21 目の病気
- 22 耳の病気
- 23 その他(具体的に:)

介護保険制度等についておたずねします。

問 36 介護保険料の負担について、どのように感じていますか。【〇は1つ】

- 1 負担に感じる
- 2 やや負担に感じる
- 3 あまり負担に感じない
- 4 負担とは感じない

問 37 介護保険料の額は、市民の利用が見込まれる介護保険サービスの量によって決まります。今後の保険料とサービスのあり方について、あなたはどのようにお考えですか。

【〇は1つ】

- 1 保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む
- 2 保険料も介護保険サービスも現状のままで良い
- 3 保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい
- 4 わからない
- 5 その他(具体的に:)

問 38 現在、どこで暮らしていますか。【〇は1つ】

- 1 自宅
- 2 親族の家
- 3 高齢者対応の賃貸住宅(サービス付き高齢者向け住宅含む)
- 4 有料老人ホームなど
- 5 軽費老人ホーム・ケアハウス
- 6 病院
- 7 その他(具体的に:)

問 39 介護が必要になったときに、どこで暮らしていきたいですか。【〇は1つ】

- 1 自宅
- 2 親族の家
- 3 高齢者用の施設等 → 該当するアへのどれかを選択してください。
ア 高齢者対応の賃貸住宅(サービス付高齢者向け住宅)や有料老人ホームなど
イ 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)などの介護保険施設
ウ その他(具体的に:)
4 わからない

認知症施策等についておたずねします。

問 40 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。【〇は1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問 41 認知症に関する相談窓口を知っていますか。【〇は1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問 42 大和市が認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。【〇は5つまで】

- 1 早期発見・早期診療の仕組みづくり
- 2 講演会や予防教室等による正しい知識の普及啓発
- 3 家族の交流会や家族相談会などの支援
- 4 家族向け研修会の開催(認知症の介護・コミュニケーション方法など)
- 5 はいかい行動への対策の充実
(ネットワーク形成・はいかい探知システム・声かけ運動など)
- 6 認知症を見守るボランティアの養成(認知症サポーターなど)
- 7 学校教育や地域での住民啓発
- 8 成年後見制度や虐待防止対策等の充実
- 9 かかりつけ医に対する周知
- 10 介護従事者に対する研修
- 11 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備
- 12 若年性認知症に対する支援
- 13 社会参加を促すこと(シルバー人材センター登録・ボランティア等)
- 14 認知症の人やその家族の声を反映した取り組み
- 15 その他(具体的に:)

大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための 実態調査の実施について

令和2年2月
大和市では、本市が将来に向けて計画期間中に取り組むべき高齢者施策や介護保険施策について示した「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」(第7期計画)を平成30年3月に策定し、現在、計画の達成に向けて、様々な事業を実施しているところです。

この計画は3年ごとに策定しており、現在、令和3年度から令和5年度までの第8期計画策定のため、準備を進めています。

この計画の策定に際し、本市にお住まいの要支援認定を受けている皆さま及び介護予防・日常生活支援総合事業対象者(以下「事業対象者」という)の皆さまの福祉施策に対する考え方や生活環境などの把握と、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」・「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方の検討のための調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査は、**令和2年1月1日現在で要支援認定を受けている方及び事業対象者の方の中から無作為に2,000人の方を抽出し、ご協力をお願いしています。**

ご返送いただいた調査票につきましては、計画の基礎データとして使用し、皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査へのご協力をお願いいたします。

大和市 高齢福祉課長
介護保険課長

【ご記入のお願い】

- 1 この調査は、**令和2年1月1日現在**の状況でお答えください。
- 2 ご本人様にご記入することが難しい場合は、ご家族または介護を行っている方が、ご本人様の立場でご回答いただくなど、ご協力をお願いいたします。また、入院等により一時的にご不在の場合には、ご自宅に戻られることを前提にご回答くださいますようお願いいたします。
- 3 回答は、当ではまる番号を○印で囲んでいただき、“その他”を選択された場合は具体的な内容をご記入ください。
- 4 一語の方にお答えいただく質問がございます。その場合は当ではまる方のみ、お答えください。
- 5 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**2月28日(金)まで**に投函してください。また、調査票以外のものは同封しないようお願いいたします。
- 6 調査内容や記入の仕方など、ご不明の点がございましたら、下記担当までご連絡ください。

大和市 健康福祉部 高齢福祉課 電話：260-5611 FAX：260-1156
大和市 健康福祉部 介護保険課 給付係 電話：260-5168 FAX：260-5158

～ 個人情報の取り扱いについて ～

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご一読ください。
本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとして扱わせていただきます。

記

■ 個人情報の保護及び活用の目的について

本調査は、本市における第8期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定において、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」・「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方の検討のほか、皆様の福祉施策に対する考え方や生活環境などを把握することを目的としています。

本調査で得られた情報につきましては、第8期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定と実績評価の目的以外には利用いたしません。

ただし、第8期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定時及び実績評価時に本調査で得られたデータを活用するに当たり、厚生労働省の管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

■ 調査票の回答内容の取扱いについて

調査票にご回答頂いた情報は、適切に管理させていただきます。

■ 本調査の結果と介護保険課で保有している個人データの利用について

本調査では、調査票に付番することで、無作為に抽出された中のどなたが回答された調査票が判別できるようにしています。介護保険課で保有している要介護認定調査に係る要介護認定データ等の個人データと、本調査の回答内容を組み合わせたことで得られるデータを、第8期大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定のための基礎資料として使用させていただきます。当該データをご本人の許可なく、目的以外の使用は致しません。

以上

※本調査は、厚生労働省が策定した「介護予防・日常生活圏域二一三調査」、「在宅介護実態調査」に準じており、国で作成された説明をそのまま使用しています。

事前設問 この調査票に記入される方はどなたですか。【Oは1つ】

- 1 調査対象者 ご本人
- 2 主な介護者となつている家族・親族
- 3 主な介護者以外の家族・親族
- 4 その他（具体的に： ）

はじめに、あなたのご家族や生活状況についておたずねします。

問1 ご家庭の世帯構成は、次のどれですか。【Oは1つ】

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦二人暮らし（配偶者は65歳以上）
- 3 夫婦二人暮らし（配偶者は61歳以下）
- 4 子と同居（本人を含め、計 人）
- 5 その他（具体的に： ）

問2 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。【Oは1つ】

- 1 大変苦しい
- 2 やや苦しい
- 3 ぶつう
- 4 ややゆとりがある
- 5 大変ゆとりがある

問3 ご自宅は次のどれですか。【Oは1つ】

- 1 持家（一戸建て）
- 2 持家（集合住宅）
- 3 公営賃貸住宅
- 4 民間賃貸住宅（一戸建て）
- 5 民間賃貸住宅（集合住宅）
- 6 社宅・宿舍
- 7 その他（具体的に： ）

からだを動かすことについておたずねします。

問4 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。【Oは1つ】

- 1 できるし、している
- 2 できるだけしていない
- 3 できない

問5 椅子に座った状態から、何もつかまらずに立ち上がっていますか。【Oは1つ】

- 1 できるし、している
- 2 できるだけしていない
- 3 できない

問6 15分位続けて歩いていきますか。【Oは1つ】

- 1 できるし、している
- 2 できるだけしていない
- 3 できない

問7 過去1年間に転んだ経験がありますか。【Oは1つ】

- 1 何度もある
- 2 1度ある
- 3 ない

問8 転倒に対する不安は大きいですか。【Oは1つ】

- 1 とても不安である
- 2 やや不安である
- 3 あまり不安でない
- 4 不安でない

問9 外出の頻度をお教えください。【Oは1つ】

- 1 ほとんど外出しない
- 2 週1回
- 3 週2～4回
- 4 週5回以上

問10 昨年と比べて、外出の回数が減っていますか。【Oは1つ】

- 1 とても減っている
- 2 減っている
- 3 あまり減っていない
- 4 減っていない

食べることについておたずねします。

問11 身長と体重をお教えください。【数字で記入してください】

身長	体重	cm	kg
□	□	□	□

問12 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。【Oは1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問13 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。）【Oは1つ】

- 1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問14 どなたかと食事をする機会がありますか。【Oは1つ】

- 1 毎日ある
- 2 週に何度かある
- 3 月に何度かある
- 4 年に何度かある
- 5 ほとんどない

毎日の生活についておたずねします。

問15 物忘れが多いと感じますか。【Oは1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問16 バスや電車を使って1人で外出していただけますか（自家用車で可）。【Oは1つ】

- 1 できるし、している
- 2 できるだけしていない
- 3 できない

問17 自分で食品・日用品の買物をしていますか。【Oは1つ】

- 1 できるし、している
- 2 できるだけしていない
- 3 できない

地域での活動についておたずねします。

問 22 以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか。【Oは1つずつ】

例) ●●活動	週 4回以上	週 2~3回	週 1回	月 1~3回	年 に数回	い ない 参加 して
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事 (シルバー人材センターなど)	1	2	3	4	5	6
⑨地区社会福祉協議会(ミニサロン)	1	2	3	4	5	6

問 23 地域住民の有志によって、健康づくりの活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思えますか。【Oは1つ】

- 1 是非参加したい
- 2 参加してもよい
- 3 参加したくない
- 4 既に参加している

問 24 地域住民の有志によって、健康づくりの活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営側(お世話役)として参加してみたいと思えますか。【Oは1つ】

- 1 是非参加したい
- 2 参加してもよい
- 3 参加したくない
- 4 既に参加している

問 18 自分で食事の用意をしていますか。【Oは1つ】

- 1 できるし、している
- 2 できるけどしていない
- 3 できない

問 19 自分で請求書の支払いをしていますか。【Oは1つ】

- 1 できるし、している
- 2 できるけどしていない
- 3 できない

問 20 自分で預貯金の出し入れをしていますか。【Oは1つ】

- 1 できるし、している
- 2 できるけどしていない
- 3 できない

問 21 日常生活で困っていることや不安に感じていることはありませんか。【Oは1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問 21-1 問 21で「1」はいと回答した方にお聞きします。それは、具体的にどのようなことですか。【Oはいくつでも】

- 1 買い物
- 2 ゴミ出し
- 3 部屋の掃除
- 4 布団直し
- 5 食事の調理
- 6 食事の片付け
- 7 洗濯
- 8 電球交換などの簡単な補修作業
- 9 家具の移動
- 10 季節の衣類・器具の出し入れ
- 11 卓上しりなど庭の手入れ
- 12 通院時などの送迎
- 13 外出時の支援
- 14 安否の聞き取り
- 15 話し相手がいない
- 16 転びやすい住環境(室内の段差、手すりが無い等)
- 17 預貯金の出し入れ
- 18 土地や家屋などの財産管理・相続
- 19 契約トラブルや詐欺(強引な訪問販売・電話販売など)
- 20 その他(具体的に:)

問 21-1-1 問 21-1で「1」~「15」は回答した方にお聞きします。これらの支援を受ける場合、1回の依頼につき、どの程度の料金負担が適当と考えますか。【Oは1つ】

- 1 無料
- 2 100 円程度
- 3 300 円程度
- 4 500 円程度
- 5 1,000 円程度
- 6 それ以上

- 問24-1 問23または問24で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。
どのような活動に参加したい(参加してもよい)ですか。【Oはいくつでも】
- | | |
|---------------|--------------------|
| 1 ボランティアのグループ | 2 スポーツ関係のグループやクラブ |
| 3 趣味関係のグループ | 4 学習・教養サークル |
| 5 老人クラブ | 6 自治会 |
| 7 収入のある仕事 | 8 地区社会福祉協議会(ミニサロン) |
| 9 その他(具体的に:) | |

- 問24-1-1 問24で「1 ボランティアのグループ」と回答した方にお聞きします。
家事支援(30分程度)のボランティアを行う場合、1回の依頼につき、
どの程度の対価が適当と考えますか。【Oは1つ】
- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1 無料 | 2 100円程度 | 3 300円程度 |
| 4 500円程度 | 5 1,000円程度 | 6 それ以上 |

たすけあい(あなたとまわりの人の「たすけあい」)についておたずねします。

- 問25 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は誰ですか。【Oはいくつでも】
- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他(具体的に:) | 8 そのような人はいない | |

- 問26 あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は誰ですか。【Oはいくつでも】
- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他(具体的に:) | 8 そのような人はいない | |

- 問27 あなたが病気で数日間意識込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。
【Oはいくつでも】
- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他(具体的に:) | 8 そのような人はいない | |

- 問28 反対に、看病や世話をしてあげる人は誰ですか。【Oはいくつでも】
- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 配偶者 | 2 同居の子ども | 3 別居の子ども |
| 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5 近隣 | 6 友人 |
| 7 その他(具体的に:) | 8 そのような人はいない | |

健康についておたずねします。

- 問29 現在のあなたの健康状態はいかがですか。【Oは1つ】
- | | |
|-----------|--------|
| 1 とてもよい | 2 まあよい |
| 3 あまりよくない | 4 よくない |

- 問30 現在の程度幸せですか。
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)【Oは1つ】
- | | | | | | | | | | | |
|-------|----|----|-------|----|----|----|----|----|----|-----|
| とても不幸 | ← | → | とても幸せ | | | | | | | |
| 0点 | 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 | 6点 | 7点 | 8点 | 9点 | 10点 |

- 問31 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
【Oは1つ】
- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

- 問32 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しむ感じが
ありましたか。【Oは1つ】
- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

- 問33 タバコは吸っていますか。【Oは1つ】
- | | |
|--------------|--------------|
| 1 ほぼ毎日吸っている | 2 時々吸っている |
| 3 吸っていたが、やめた | 4 もともと吸っていない |

- 問34 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【Oはいくつでも】
- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1 ない | 2 高血圧 |
| 3 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 4 心臓病 |
| 5 結核病 | 6 高脂血症(脂質異常) |
| 7 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) | 8 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9 腎臓・前立腺の病気 | 10 腎疾患(透析) |
| 11 筋骨格の病気(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) | 12 変形性関節疾患 |
| 13 膠原病(関節リウマチ含む) | 14 外傷(転倒・骨折等) |
| 15 がん(悪性新生物) | 16 血液・免疫の病気 |
| 17 うつ病 | 18 認知症(アルツハイマー病等) |
| 19 パーキンソン病 | 20 糖尿病(パーキンソン病を除く) |
| 21 口の病気 | 22 耳の病気 |
| 23 その他(具体的に:) | |

介護保険制度等についておたずねします。

問 35 介護保険料の負担について、どのように感じていますか。【Oは1つ】

- 1 負担に感じる
- 2 やや負担に感じる
- 3 あまり負担に感じない
- 4 負担とは感じない

問 36 介護保険料の額は、市民の利用が促進される介護保険サービスの量によって決まります。今後の保険料とサービスのあり方について、あなただけのようにお考えですか。

【Oは1つ】

- 1 保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む
- 2 保険料も介護保険サービスも現状のままで良い
- 3 保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい
- 4 その他 (具体的に:)

問 37 介護保険制度をよりよいものにするためには、どのような対策が必要ですか。

【Oは3つまで】

- 1 自宅で生活を続けるための介護保険サービスの種類の拡大 (種類や内容などを具体的に:)
- 2 在宅での介護を支えるための施策の充実
- 3 グループホームなどの地域に密着した小規模施設の増設
- 4 特別養護老人ホームなどの入所施設の増設
- 5 介護保険サービスを担う人材の質向上
- 6 介護保険サービスについての情報提供の充実
- 7 介護保険サービスの苦情・相談への対応の充実
- 8 介護予防の施策の推進
- 9 ケアマネジャーなどの資質の向上
- 10 介護ボランティアの育成・活動支援を通じた地域の支え合いの充実
- 11 その他 (具体的に:)

問 38 現在、どこで暮らしていますか。【Oは1つ】

- 1 自宅
- 2 親族の家
- 3 高齢者対応の賃貸住宅 (サービス付き高齢者向け住宅含む)
- 4 有料老人ホームなど
- 5 軽費老人ホーム・ケアハウス
- 6 病院
- 7 その他 (具体的に:)

問 39 今後、どこで暮らしていきたいですか。【Oは1つ】

- 1 自宅
- 2 親族の家
- 3 高齢者用の施設等 → 該当するア～ウのどれかを選択してください。
- ア 高齢者対応の賃貸住宅 (サービス付き高齢者向け住宅) や有料老人ホームなど
- イ 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) などの介護保険施設
- ウ その他 (具体的に:)
- 4 わからない

問 40 現時点で、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。【Oは1つ】

- 1 入所・入居を検討していない
- 2 入所・入居を検討している
- 3すでに入所・入居申し込みをしている

問 41 現在、利用している介護保険サービス以外の生活支援サービスを教えてください。

【Oはいくつでも】

- 1 配食
- 2 調理
- 3 掃除・洗濯
- 4 買い物 (宅配は含まない)
- 5 ゴミ出し
- 6 外出同行 (通院、買い物など)
- 7 移送サービス (介護、福祉タクシー等)
- 8 見守り、声かけ
- 9 サロンなどの定期的な通いの場
- 10 その他 (具体的に:)
- 11 利用していない

問 42 今後の在宅生活の継続に必要と感じる生活支援サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください。

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスにも含みます。【Oはいくつでも】

- 1 配食
- 2 調理
- 3 掃除・洗濯
- 4 買い物 (宅配は含まない)
- 5 ゴミ出し
- 6 外出同行 (通院、買い物など)
- 7 移送サービス (介護、福祉タクシー等)
- 8 見守り、声かけ
- 9 サロンなどの定期的な通いの場
- 10 その他 (具体的に:)
- 11 特になし

認知症施策等についておたずねします。

問 43 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。【○は1つ】

1 はい	2 いいえ
------	-------

問 44 認知症に関する相談窓口を知っていますか。【○は1つ】

1 はい	2 いいえ
------	-------

問 45 大和市が認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。【○は5つまで】

1 早期発見・早期診療の仕組みづくり	
2 講演会や予防教室等による正しい知識の普及啓発	
3 家族の交流会や家族相談会などの支援	
4 家族向け研修会の開催（認知症の介護・コミュニケーション方法など）	
5 はいいかい行動への対処策の実施（ネットワーク形成・はいいかい探知システム・声かけ運動など）	
6 認知症を見守るボランティアの養成（認知症サポーターなど）	
7 学校教育や地域での住民啓発	
8 成年後見制度や虐待防止対策等の充実	
9 かかりつけ医に対する周知	
10 介護従事者に対する研修	
11 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備	
12 若年性認知症に対する支援	
13 社会参加を促すこと（シルバー人材センター登録・ボランティア等）	
14 認知症の人やその家族の声を反映した取り組み	
15 その他（具体的に：_____）	

介護保険サービス等についておたずねします。

問 46 令和元年12月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービス（介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防訪問型サービス、訪問型サービスA、介護予防通所型サービスを含む）を利用しましたか。【○は1つ】

1 利用した	2 利用していない
--------	-----------

問 46-1 問 46 で「2 利用していない」と回答した方にお聞きします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。【○はいくつでも】

1 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	11 ページの 問 47へ お進みください。
2 本人にサービス利用の希望がない	
3 家族が介護をするため必要がない	
4 以前、利用していたサービスに不満があった	
5 利用料を支払うのが難しい	
6 利用したいサービスが利用できない、身近にない	
7 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	
8 サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	
9 その他（具体的に：_____）	

問 46-2 問 46 で「1 利用した」と回答した方にお聞きします。

現在、利用している介護保険サービスに伴う利用者負担額と施設における居住費や光熱水費、通所介護（デイサービス）などにおける食費等を合わせた1か月あたりの支払総額の概算を教えてください。【○は1つ】

1 5万円未満	2 5万円～1万円未満	3 1万円台
4 2万円台	5 3万円～5万円未満	6 5万円～10万円未満
7 10万円～15万円未満	8 15万円～20万円未満	9 20万円～25万円未満
10 25万円～30万円未満	11 30万円～35万円未満	12 35万円以上

問 46-3 問 46 で「1 利用した」と回答した方にお聞きします。

利用者負担の支払額について、どのようにお感じですか。【○は1つ】

1 負担と感じる	2 やや負担と感じる
3 あまり負担とは感じない	4 負担とは感じない

問 46-4 問 46 で「1 利用した」と回答した方にお聞きします。

現在利用している介護保険サービス全体について、どの程度満足していますか。【○は1つ】

1 満足	2 まあ満足	3 どちらともいえない
4 やや不満	5 不満	

→ 問 46-5 問 46 で「1 利用した」と回答した方で、**在宅サービス**を利用している方にお聞きします。
介護保険サービスを利用することで、あなたの生活にどのような変化がありましたか。
【〇は3つまで】

- 1 自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた
- 2 体調がよくなった
- 3 精神的に楽になった
- 4 家族に対する気兼ねが減った
- 5 外出する機会が増えた
- 6 自分で身の回りのことをしなくなった
- 7 体調が悪くなった
- 8 精神的ストレスが増えた
- 9 家族に対する気兼ねが増えた
- 10 外出する機会が減った
- 11 特に変化はない
- 12 その他（具体的に：)

問 47 現在、訪問診療を利用していますか。※訪問歯科診療や居宅療養管理指導は含みません。
【〇は1つ】

- 1 利用している
- 2 利用していない

介護の状況についておたずねします。

問 48 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。【〇は1つ】

- 1 介護・介助は必要ない
- 2 どなたかからの介護・介助は必要だが、現在を受けていない
- 3 現在、どなたかからの介護を受けている

15ページの問 59 にお答えください。

（介護認定を受けずに、家族などの介護を受けている場合も含む）

→ 問 48-1 問 48 で「3」と回答した方にお聞きします。
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。【〇はいくつでも】

- 1 脳卒中（脳出血・脳梗塞）
- 2 心臓病
- 3 がん（悪性新生物）
- 4 呼吸器の病気（肺炎腫・肺炎等）
- 5 関節の病気（リウマチ等）
- 6 認知症（アルツハイマー病等）
- 7 パーキンソン病
- 8 糖尿病
- 9 腎疾患（透析）
- 10 視覚・聴覚障がい
- 11 骨折・転倒
- 12 脊椎損傷
- 13 高齢による衰弱
- 14 不明
- 15 その他（具体的に：)

→ 問 48-2 問 48 で「3」と回答した方にお聞きします。
ご家族やご親族の方が行っている介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護も含みます）。【〇は1つ】

- 1 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
- 2 週に1～2日ある
- 3 週に3～4日ある
- 4 ほぼ毎日ある

ここからは、主な介護者についておたずねします。

問 49 主な介護者の方は、どなたですか。【〇は1つ】

- 1 配偶者
- 2 子
- 3 子の配偶者
- 4 孫
- 5 兄弟・姉妹
- 6 その他（具体的に：)

問 50 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。【〇は1つ】

- 1 男性
- 2 女性

問 51 令和2年1月1日現在、主な介護者の方の年齢はおいくつですか。【〇は1つ】

- 1 20歳未満
- 2 20代
- 3 30代
- 4 40代
- 5 50代
- 6 60代
- 7 70代
- 8 80代以上
- 9 わからない

問 52 主な介護者の方は、ご本人（調査対象者）と同居されていますか。【〇は1つ】

- 1 同居している
- 2 同居していない

↓ 問 52-1 問 52 で「2 同居していない」と回答した方にお聞きします。
駆けつけるのに、どれくらい時間がかかりますか。（移動手段は問いません）
【〇は1つ】

- 1 同じ敷地内
- 2 15分未満
- 3 15分～30分未満
- 4 30分～1時間未満
- 5 1時間～1時間30分未満
- 6 1時間30分～2時間未満
- 7 2時間以上

問 53 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。【〇はいくつでも】

- [身体介護]
- 1 日中の排泄
 - 2 夜間の排泄
 - 3 食事の介助(食べるとき)
 - 4 入浴・洗身
 - 5 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
 - 6 衣服の着脱
 - 7 屋内の移乗・移動
 - 8 外出の付き添い、送迎等
 - 9 服薬
 - 10 認知症への対応
 - 11 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
- [生活介護]
- 12 食事の準備(調理等)
 - 13 その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
 - 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- [その他]
- 15 その他(具体的に:)
 - 16 わからない

問 54 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。【〇は3つまで】

- [身体介護]
- 1 日中の排泄
 - 2 夜間の排泄
 - 3 食事の介助(食べるとき)
 - 4 入浴・洗身
 - 5 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
 - 6 衣服の着脱
 - 7 屋内の移乗・移動
 - 8 外出の付き添い、送迎等
 - 9 服薬
 - 10 認知症への対応
 - 11 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
- [生活介護]
- 12 食事の準備(調理等)
 - 13 その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
 - 14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- [その他]
- 15 その他(具体的に:)
 - 16 わからない

問 55 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。 ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。【〇はいくつでも】

- 1 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
- 2 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
- 3 主な介護者が転職した
- 4 主な介護者以外の家族・親族が転職した
- 5 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
- 6 わからない

13

問 56 主な介護者の方の現在の勤務形態を教えてください。【〇は1つ】

- 1 フルタイムで働いている
- 2 パートタイムで働いている
- 3 働いていない
- 4 主な介護者に確認しないと、わからない

※「パートタイム」とは、「週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

→問 56-1 問 56 で「1 フルタイム」または「2 パートタイム」回答した方にお聞きします。
 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。【〇はいくつでも】

- 1 特に行っていない
- 2 介護のために「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら働いている
- 3 介護のために「休暇(半休や介護休暇等)」を取りながら働いている
- 4 介護のために「在宅勤務」を利用しながら働いている
- 5 介護のために「2～4以外の調整をしながら働いている
- 6 主な介護者に確認しないと、わからない

→問 56-2 問 56 で「1 フルタイム」または「2 パートタイム」回答した方にお聞きします。
 主な介護者の方は、勤め先からのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。【〇は3つまで】

- 1 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 2 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 3 制度を利用しやすい職場づくり
- 4 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
- 5 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
- 6 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 7 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 8 介護をしている従業員への経済的な支援
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特にならない
- 11 主な介護者に確認しないと、わからない

→問 56-3 問 56 で「1 フルタイム」または「2 パートタイム」回答した方にお聞きします。
 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。【〇は1つ】

- 1 問題なく続けていける
- 2 問題はあるが何とか続けていける
- 3 続けていくのはやや難しい
- 4 続けていくのはかなり難しい
- 5 主な介護者に確認しないとわからない

14

問57 介護を受けている方の認知症の程度についてお答えください。【0は1つ】

- 1 何らかの認知症を有しているが、日常生活はほぼ自立し、支離なく生活している
- 2 多少日常生活における支障（道に迷う、金銭の計算を誤る等）はあるが、誰かが注意していただければ自立して生活できる
- 3 日常生活に支障をきたす症状（はいかい、失禁、火の不始末等）や意思の疎通が困難である時がときどき見られ、介護を必要とする
- 4 日常生活に支障をきたす症状（はいかい、失禁、火の不始末等）や意思の疎通が困難である時が頻繁に見られ、常に目を離すことができない
- 5 著しい精神症状や問題行動（妄想、興奮、自傷等）、あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする
- 6 上記1～5のいずれにもあてはまらない。（認知症ではない）

問58 次の中で、主な介護者の方が特に困っていることを選んでください。【0は3つまで】

- 1 介護の方法が分からない
- 2 介護疲れが抜けない
- 3 自分の時間が取れない
- 4 相談相手がいらない
- 5 家族の協力や理解が足りない
- 6 近所などの理解が足りない
- 7 金銭的に負担である
- 8 特にはない
- 9 その他（具体的に： _____)

皆様にお伺いします。ご自由にご意見をお書きください。

問59 大和市の高齢者施策や介護保険などについて、ご意見を自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

..... お忙しいところ調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。.....

～ 個人情報の取り扱いについて ～

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご一読ください。
 本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとして扱わせていただきます。

記

■ 個人情報の保護及び活用目的について
 本調査は、本市における第8期大和市長官報保健福祉計画・介護保険事業計画の策定において、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」「家族等介護者の疲労軽減」の実現に向けた介護サービスの在り方の検討のほか、皆様の福祉施策に対する考え方や生活環境などを把握することを目的としています。

本調査で得られた情報につきましては、第8期大和市長官報保健福祉計画・介護保険事業計画の策定と実施評価の目的以外には利用いたしません。

ただし、第8期大和市長官報保健福祉計画・介護保険事業計画策定時及び実施評価時に本調査で得られたデータを活用するに当たり、厚生労働省の管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

■ 調査票の回答内容の取扱いについて
 調査票にご回答頂いた情報は、適切に管理させていただきます。

■ 本調査の結果と介護保険料で保有している個人データの利用について
 本調査では、調査票に付番することで、無作為に抽出された中でのどなたが回答された調査票が判別できるようにしています。介護保険料に係る要介護認定データ等個人データと、本調査の回答内容を組み合わせることで得られるデータを、第8期大和市長官報保健福祉計画・介護保険事業計画の策定のための基礎資料として使用させていただきます。当該データをご本人の許可なく、目的以外の使用は致しません。

以上

※本調査は、厚生労働省が策定した「在宅介護実態調査」に準じており、国で作成された設問をそのまま使用しています。

大和市長官報保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための実態調査の実施について

令和2年2月

大和市中では、本市が将来に向けて計画期間中に取組むべき高齢者施策や介護保険施策について示した「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期計画）」を平成30年3月に策定し、現在、計画の達成に向けて、様々な事業を実施しているところです。

この計画は3年ごとに策定しており、現在、令和3年度から令和5年度までの第8期計画策定のため、準備を進めています。

この計画の策定に際し、本市にお住まいの要介護認定を受けている皆さまの福祉施策に対する考え方や生活環境などの把握と、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」・「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方の検討のための調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査は、令和2年1月1日現在で要介護認定を受けている方の中から無作為に2,500人の方を抽出し、ご協力をお願いしています。

ご返送いただいた調査票につきましては、計画の基礎データとして使用し、皆さまにご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査へのご協力をお願いいたします。

大和市長官報 介護保険課長

【ご記入のお願い】

- この調査は、令和2年1月1日現在の状況でお答えください。
- ご本人様にご記入することが難しい場合は、ご家族または介護を行っている方が、ご本人様の立場でご回答いただくなど、ご協力をお願いいたします。また、入院等により一時的にご不在の場合には、ご自宅に戻られることを前提にご回答くださいますようお願いいたします。
- 回答は、当ではまる番号を○印で囲んでいただき、「その他」を選択された場合は具体的な内容をご記入ください。
- 一部の方にお答えいただく質問がございます。その場合は当ではまる方のみ、お答えください。
- ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**2月28日（金）まで**に投函してください。また、調査票以外のものは同封しないようお願いいたします。
- 調査内容や記入の仕方など、ご不明の点がございましたら、下記担当までご連絡ください。

大和市長官報 健康福祉部 介護保険課 給付係電話：260-5168 FAX：260-5158

事前設問 この調査票に記入される方はどなたですか。【〇は1つ】

- 1 調査対象者 ご本人
- 2 主な介護者となつている家族・親族
- 3 主な介護者以外の家族・親族
- 4 その他(具体的に:)

はじめに、あなたのご家族や生活状況についておたずねします。

問1 ご家庭の世帯構成は、次のどれですか。【〇は1つ】

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦二人暮らし(配偶者は65歳以上)
- 3 夫婦二人暮らし(配偶者は64歳以下)
- 4 子と同居(本人を含め、計 人)
- 5 その他(具体的に:)

問2 ご自宅は次のどれですか。【〇は1つ】

- 1 持家(一戸建て)
- 2 持家(集合住宅)
- 3 公営賃貸住宅
- 4 民間賃貸住宅(一戸建て)
- 5 民間賃貸住宅(集合住宅)
- 6 社宅・宿舍
- 7 その他(具体的に:)

問3 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【〇はいくつでも】

- 1 脳血管疾患(脳卒中)
- 2 心疾患(心臓病)
- 3 悪性新生物(がん)
- 4 呼吸器疾患
- 5 腎疾患(透析)
- 6 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
- 7 膠原病(関節リウマチを含む)
- 8 変形性関節疾患
- 9 認知症
- 10 パーキンソン病
- 11 難病(パーキンソン病を除く)
- 12 糖尿病
- 13 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)
- 14 その他(具体的に:)
- 15 なし
- 16 わからない

介護保険制度等についておたずねします。

問4 介護保険料の負担について、どのように感じていますか。【〇は1つ】

- 1 負担を感じる
- 2 やや負担を感じる
- 3 あまり負担に感じない
- 4 負担とは感じない

問5 介護保険料の額は、市民の利用が見込まれる介護保険サービスの量によって決まります。今後の保険料とサービスのあり方について、あなたはどのようにお考えですか。【〇は1つ】

- 1 保険料は高くても、介護保険サービスの充実を望む
- 2 保険料も介護保険サービスも現状のままで良い
- 3 保険料は低く抑え、介護保険サービスは必要最低限でよい
- 4 その他(具体的に:)

問6 介護保険制度をよりよいものにするためには、どのような対策が必要ですか。【〇は3つまで】

- 1 自宅で生活を続けるための介護保険サービスの種類の拡大(種類や内容などを具体的に:)
- 2 在宅での介護を支えるための施策の充実
- 3 グループホームなどの地域に密着した小規模施設を増設
- 4 特別養護老人ホームなどの入所施設を増設
- 5 介護保険サービスを担う人材の資質の向上
- 6 介護保険サービスについての情報提供の充実
- 7 介護予防サービスの苦情・相談への対応の充実
- 8 介護予防の施策の推進
- 9 ケアマネジャーなどの資質の向上
- 10 介護ボランティアの育成・活動支援を通じた地域との連携の充実
- 11 その他(具体的に:)

問7 現在、どこで暮らしていますか。【〇は1つ】

- 1 自宅
- 2 親族の家
- 3 高齢者対応の賃貸住宅(サービス付き高齢者向け住宅含む)
- 4 有料老人ホーム
- 5 軽費老人ホーム・ケアハウス
- 6 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
- 7 病院
- 8 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設(老健)、介護療養型医療施設、介護医療院
- 9 その他(具体的に:)

問8 今後、どこで暮らしていきたいですか。【〇は1つ】

- 1 自宅
- 2 親族の家
- 3 高齢者用の施設等 → 該当するア～ウのどれかを選択してください。
- ア 有料老人ホームなど（高齢者対応の賃貸住宅を含む）
- イ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの介護保険施設
- ウ その他（具体的に：)
- 4 わからない

問9 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。【〇は1つ】

- 1 入所・入居は検討していない
- 2 入所・入居を検討している
- 3すでに入所・入居申し込みをしている

問10 現在、利用している介護保険サービス以外の生活支援サービスを教えてください。【〇はいくつでも】

- 1 配食
- 2 調理
- 3 掃除・洗濯
- 4 買い物（宅配は含まない）
- 5 ゴミ出し
- 6 外出同行（通院、買い物など）
- 7 移送サービス（介護、福祉タクシー等）
- 8 見守り、声かけ
- 9 サロンなどの定期的な通いの場
- 10 その他（具体的に：)
- 11 利用していない

問11 今後の在宅生活の維持に必要と感じる生活支援サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。

※介護保険以外の支援・サービスともを含みます。【〇はいくつでも】

- 1 配食
- 2 調理
- 3 掃除・洗濯
- 4 買い物（宅配は含まない）
- 5 ゴミ出し
- 6 外出同行（通院、買い物など）
- 7 移送サービス（介護、福祉タクシー等）
- 8 見守り、声かけ
- 9 サロンなどの定期的な通いの場
- 10 その他（具体的に：)
- 11 特になし

認知症施策等についておたずねします。

問12 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。【〇は1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問13 認知症に関する相談窓口を知っていますか。【〇は1つ】

- 1 はい
- 2 いいえ

問14 大和市が認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。【〇は5つまで】

- 1 早期発見・早期診療の仕組みづくり
- 2 講演会や予防教室等による正しい知識の普及啓発
- 3 家族の交流会や家族相談会などの支援
- 4 家族向け研修会の開催（認知症の介護・コミュニケーション方法など）
- 5 はいいかい行動への対処策の充実（ネットワーク形成・はいいかい探知システム・声かけ運動など）
- 6 認知症を見守るボランティアの養成（認知症サポーターなど）
- 7 学校教育や地域での住民啓発
- 8 成年後見制度や虐待防止対策等の充実
- 9 かかりつけ医に対する周知
- 10 介護従事者に対する研修
- 11 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備
- 12 若年性認知症に対する支援
- 13 社会参加を促すこと（シルバー人材センター登録・ボランティア等）
- 14 認知症の人やその家族の声を反映した取り組み
- 15 その他（具体的に：)

介護保険サービス等についておたずねします。

問 15 令和元年12月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しましたか。【○は1つ】

1 利用した

2 利用していない

問 15-1 問 15 で「2 利用していない」と回答した方にお聞きします。
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。【○はいくつでも】

1 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない

2 本人にサービス利用の希望がない

3 家族が介護をするため必要ない

4 以前、利用していたサービスに不満があった

5 利用料を支払うのが難しい

6 利用したいサービスが利用できない、身近にない

7 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため

8 サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない

9 その他(具体的に:)

6ページの
問 16へ
お進みください。

問 15-2 問 15 で「1 利用した」と回答した方にお聞きします。
現在、利用している介護保険サービスに伴う利用者負担額と施設における居住費や光熱水費、通所介護(デイサービス)などにおける食費等を合わせた1か月あたりの支払総額の概算を教えてください。【○は1つ】

1 5千円未満	2 5千円～1万円未満	3 1万円台
4 2万円台	5 3万円～5万円未満	6 5万円～10万円未満
7 10万円～15万円未満	8 15万円～20万円未満	9 20万円～25万円未満
10 25万円～30万円未満	11 30万円～35万円未満	12 35万円以上

問 15-3 問 15 で「1 利用した」と回答した方にお聞きします。
利用者負担の支払額について、どのようにお感じですか。【○は1つ】

1 負担と感じる

2 やや負担と感じる

3 あまり負担とは感じない

4 負担とは感じない

問 15-4 問 15 で「1 利用した」と回答した方にお聞きします。
現在利用している介護保険サービス全体について、どの程度満足していますか。【○は1つ】

1 満足

2 まあ満足

3 どちらともいえない

4 やや不満

5 不満

問 15-5 問 15 で「1 利用した」と回答した方で、在宅サービスを利用している方にお聞きします。
介護保険サービスを利用することで、あなたの生活にどのような変化がありましたか。【○は3つまで】

1 自分で身の回りのことができ、生活に意欲が出てきた

2 体調がよくなった

3 精神的に楽になった

4 家族に対する気兼ねが減った

5 外出する機会が増えた

6 自分で身の回りのことをしなくなった

7 体調が悪くなった

8 精神的ストレスが増えた

9 家族に対する気兼ねが増えた

10 外出する機会が減った

11 特に変化はない

12 その他(具体的に:)

問 16 現在、訪問診療を利用していますか。※訪問歯科診療や居宅療養管理指導は含みません。【○は1つ】

1 利用している

2 利用していない

介護の状況についておたずねします。

問 17 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。【○はいくつでも】

1 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)

2 心臓病

3 がん(悪性新生物)

4 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)

5 関節の病気(リウマチ等)

6 認知症(アルツハイマー病等)

7 パーキンソン病

8 糖尿病

9 腎疾患(透析)

10 視覚・聴覚障がい

11 骨折・転倒

12 脊椎損傷

13 高齢による衰弱

14 不明

15 その他(具体的に:)

問 18 ご家族やご親族の方が行っている介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族からの介護も含みます)。【○は1つ】

1 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない

2 週に1～2日ある

3 週に3～4日ある

4 ほぼ毎日ある

ここからは、主な介護者についておたずねします。

問 19 主な介護者の方は、どなたですか。【Oは1つ】

1 配偶者	2 子	3 子の配偶者
4 孫	5 兄弟・姉妹	6 その他（具体的に： ）

問 20 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。【Oは1つ】

1 男性	2 女性
------	------

問 21 令和2年1月1日現在、主な介護者の方の年齢はおいくつですか。【Oは1つ】

1 20歳未満	2 20代	3 30代
4 40代	5 50代	6 60代
7 70代	8 80代以上	9 わからない

問 22 主な介護者の方は、ご本人(調査対象者)と同居されていますか。【Oは1つ】

1 同居している	2 同居していない
----------	-----------

↓
 問 22-1 問 22 で「2 同居していない」と回答した方にお聞きします。
 駆けつけるのに、どれくらい時間がかかりますか。(移動手段は問いません) 【Oは1つ】

1 同じ敷地内	2 15分未満
3 15分～30分未満	4 30分～1時間未満
5 1時間～1時間30分未満	6 1時間30分～2時間未満
7 2時間以上	

問 23 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。【Oはいくつでも】

【身体介護】	
1 日中の排泄	2 夜間の排泄
3 食事の介助(食べるとき)	4 入浴・洗身
5 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6 衣服の着脱
7 屋内の移乗・移動	8 外出の付き添い、送迎等
9 服薬	10 認知症状への対応
11 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	
【生活介護】	
12 食事前の準備(調理等)	13 その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
【その他】	
15 その他(具体的に：)	
16 わからない	

問 24 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じている介護等について、ご回答ください。(現状で行っていない方は問いません)。【Oは3つまで】

【身体介護】	
1 日中の排泄	2 夜間の排泄
3 食事の介助(食べるとき)	4 入浴・洗身
5 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6 衣服の着脱
7 屋内の移乗・移動	8 外出の付き添い、送迎等
9 服薬	10 認知症状への対応
11 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	
【生活介護】	
12 食事前の準備(調理等)	13 その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
【その他】	
15 その他(具体的に：)	
16 わからない	

問 25 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。
 ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。【Oはいくつでも】

1 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3 主な介護者が転職した
4 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6 わからない

大和市 介護保険サービス供給量調査

ご協力をお願い

日頃、市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
 令和2年2月
 さて、大和市では平成30年3月に策定した「大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期）」に基づき、介護保険をはじめとして、高齢者の保健福祉施策を推進しているところですが、この計画期間が平成31年度（令和元年度）までとされていることから、現在、第8期の新たな計画策定に向けた取り組みを進めています。

つきましては、新たな計画の策定に向けて、**大和市内の介護保険サービスを提供している全ての事業者**（みなし指定や給付実績のない事業者は除く）の現状や今後の意向把握のため、この度、「大和市 介護保険サービス供給量調査」を実施させていただきます。また、居宅介護支援事業の登録がある事業所につきましては、介護サービスを提供されている方の実態などを把握するための「大和市居宅介護支援事業所調査」を併せて実施させていただきます。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた調査内容は、計画策定・計画実施のために活用するものであり、個々の回答内容を漏らしたり、他の目的に利用することは一切ございません。

また、要介護・要支援（事業対象者）の認定を受けている方には、別途、「大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための実態調査」を行っております。利用者からお問い合わせがあった場合は、介護保険課へご案内いただくようご説明いただければ幸いです。

~~~~ ご回答にあたってのお願い ~~~~

1. 質問には、令和2年1月1日現在についてお答えください。
2. この調査票は、1法人に対して、1通送付いたします。そのため、同一法人で複数の介護保険のサービスを実施している場合は、法人ごとに実施しているサービスについてこの調査票にご回答ください。
3. 回答は、あてはまる番号を○で囲むか、数値等をご記入ください。
4. ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**2月28日（金）**までに郵便ポストに投函ください。よろしくお願いいたします。
5. 調査内容や記入方法などについて、ご不明の点がございましたら、下記の担当までご連絡ください。

大和市 健康福祉部 介護保険課 給付係  
 電話 046 (260) 5168 FAX 046 (260) 5158

### I 貴法人の概要をおたずねします

|     |          |
|-----|----------|
| 法人名 |          |
| 電話  | 連絡先(担当者) |

#### 法人の種類【ひとつだけに○】

1. 社会福祉法人
2. 医療法人(社団・財団)
3. 株式会社
4. 有限会社
5. NPO 法人
6. その他( )

※ この欄は記入しなくない場合は、無記名のままご結構です。

以下は、大和市での実施分のみをお答えください。

II 貴法人の事業展開についておたずねします

問1. サービスごとの職員数などについておたずねします。提供している介護保険サービスの番号に○をつけ、職員数(令和2年1月1日現在)と平成31年(令和元年)の1年間における採用者数、退職者数をお答えください。

※短数のサービスの職務を兼務する(していた)場合は、主に従事する(していた)サービスに算入してください。

※非常勤職員数は、常勤換算数に併せて、( )内に非常勤実人数をご記入ください。

| サービス種別<br>(介護予防も含めて)    | 職員数(人) |                 | 採用者数(人) |     | 退職者数(人) |     |
|-------------------------|--------|-----------------|---------|-----|---------|-----|
|                         | 常勤     | 非常勤<br>(非常勤実人数) | 常勤      | 非常勤 | 常勤      | 非常勤 |
| 1 訪問介護                  | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 2 訪問入浴介護                | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 3 訪問看護                  | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 4 訪問リハビリテーション           | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 5 居宅療養管理指導              | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 6 通所介護                  | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 7 通所リハビリテーション           | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 8 短期入所生活介護              | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 9 短期入所療養介護              | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 10 特定施設入居者生活介護          | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 11 福祉用具貸与               | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 12 特定福祉用具販売             | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 13 認知症対応型通所介護           | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 14 小規模多機能型居宅介護          | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 15 認知症対応型共同生活介護         | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 16 地域密着型通所介護            | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 17 看護小規模多機能型居宅介護        | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 18 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 19 介護老人福祉施設             | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 20 介護老人保健施設             | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 21 居宅介護支援               | ( )    | ( )             |         |     |         |     |
| 22 介護予防支援               | ( )    | ( )             |         |     |         |     |

問2. 介護保険サービスについておたずねします。サービスごとの平成31年度(令和元年)の平均稼働率と収支見込み及び今後の事業予定をお答えください。

① 現在実施しているサービスと令和3年度から令和5年度の3年間に新たに事業展開を予定しているサービスの番号に○をつけてください。

② 平均稼働率は、平成31年(令和元年)度の見込みをお答えください。なお、届け出されている登録定員数(利用・入所定員)が職に充てられている、または、雇用している職員でサービス提供できる最大の利用者数等を常に有している場合を100%とし、それ以上の利用希望を受け、サービス提供できずに断っている(他事業所を紹介している等)場合を100%超としてください。

③ 収支見込みは、介護予防の当該サービスも合算し、平成31年(令和元年)度の見込みをお答えください。④「今後の事業予定」は、令和3年度から令和5年度の3年間の予定と「拡大」「縮小」「開始」「終了」を回答した場合は、その実施時期が明らかであれば、時期もお答えください(未定の場合は記入不要です)。

※「今後の事業予定」については、何らその予定を拘束するものではなく、また、事業指針を担保するものではありません。

| サービス種別                  | 平成31年(令和元年)年度 |         | 令和3年度~令和5年度 |        |
|-------------------------|---------------|---------|-------------|--------|
|                         | 平均稼働率         | 収支見込み   | 平均稼働率       | 収支見込み  |
| サービス種別                  | 1. 100%超      | 1. 黒字   | 1. 拡大       | その予定時期 |
|                         | 2. 90~100%    | 2. 収支均衡 | 2. 現状維持     |        |
|                         | 3. 70~90%未満   | 3. 赤字   | 3. 縮小       |        |
|                         | 4. 50~70%未満   | 4. 未定   | 4. 開始       |        |
|                         | 5. 30~50%未満   |         | 5. 廃止       |        |
|                         | 6. 30%未満      |         | 6. 未定       |        |
| 1 訪問介護                  | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 2 訪問入浴介護                | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 3 訪問看護                  | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 4 訪問リハビリテーション           | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 5 居宅療養管理指導              | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 6 通所介護                  | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 療養通所介護                  | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 7 通所リハビリテーション           | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 8 短期入所生活介護              | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 9 短期入所療養介護              | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 10 特定施設入居者生活介護          | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 11 福祉用具貸与               | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 12 特定福祉用具販売             | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 13 夜間対応型訪問介護            | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 14 認知症対応型通所介護           | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 15 小規模多機能型居宅介護          | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 16 認知症対応型共同生活介護         | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 17 定期巡回・随時対応型訪問介護看護     | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 18 地域密着型通所介護            | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 19 看護小規模多機能型居宅介護        | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 20 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 21 地域密着型介護老人福祉施設        | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 22 介護老人保健施設             | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 24 介護支援                 | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |
| 25 居宅介護支援               | 1・2・3・4・5・6   | 1・2・3・4 | 1・2・3・4・5・6 | 令和 年頃  |

問3. 介護予防サービスについておたずねします。サービスごとの平成31年(令和元年)度の平均稼働率と今後の事業予定をお答えください。

- ① 現在実施しているサービスと令和3年度から令和5年度の3年間に新たに事業展開を予定しているサービスの番号に○をつけてください。
- ② 平均稼働率は、平成31年(令和元年)度の見込みをお答えください。なお、届け出されている登録定員数(利用・入所等定員)が概に満たされている。または、雇用している職員でサービス提供できる最大の利用者数を常に有している場合を100%とし、それ以上の利用希望を受け、サービス提供ができずに断っている(他事業所を紹介している等)場合は100%超としてください。
- ③ 「今後の事業予定」は、令和3年度から令和5年度の3年間の予定と「拡大」「縮小」「開始」「中止」を回答した場合は、その実施時期が明らかであれば時期もお答えください(未定の場合は記入不要です)。  
※「今後の事業予定」については、何らその予定を拘束するものではなく、また、事業指定を担保するものではありません。

| サービス種別<br>(介護予防サービス) | 平成31年(令和元年)度 |             | 令和2年度～令和5年度 |       |
|----------------------|--------------|-------------|-------------|-------|
|                      | 平均稼働率        | 今後の事業予定     | 令和2年度       | 令和5年度 |
| 1 総合事業・訪問型サービス       | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 2 訪問入浴介護             | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 3 訪問看護               | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 4 訪問リハビリテーション        | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 5 居宅療養管理指導           | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 6 総合事業・通所型サービス       | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 7 通所リハビリテーション        | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 8 短期入所生活介護           | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 9 短期入所療養介護           | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 10 特定施設入居者生活介護       | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 11 福祉用具貸与            | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 12 特定福祉用具販売          | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 13 認知症対応型通所介護        | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 14 小規模多機能型居宅介護       | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 15 認知症対応型共同生活介護      | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |
| 16 介護予防支援            | 1・2・3・4・5・6  | 1・2・3・4・5・6 | 令和          | 年頃    |

問4. 特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護老人保健施設を運営している方におたずねします。

提供しているサービスの記号に○をつけ、入居(入所)定員と入居(入所)者数(令和2年1月1日現在)、そのうちの大和市の被保険者数についてお答えください。また、喀痰吸引、胃腸が必要な方、人工透析のための送迎が必要なお答えください。なお、介護予防の指定も受けている場合は、合算してお答えください。

| サービス種別<br>(介護予防も含めて) | 入居(入所)定員(人) | 入居(入所)者数(人) | うち大和市被保険者数(人) | 喀痰吸引が必要な入居(入所)者数(人) | 胃腸が必要な入居(入所)者数(人) | 人工透析のための送迎が必要な入居(入所)者数(人) |
|----------------------|-------------|-------------|---------------|---------------------|-------------------|---------------------------|
| ア 特定施設入居者生活介護        |             |             |               |                     |                   |                           |
| イ 認知症対応型共同生活介護       |             |             |               |                     |                   |                           |
| ウ 介護老人福祉施設           |             |             |               |                     |                   |                           |
| エ 介護老人保健施設           |             |             |               |                     |                   |                           |

問5. 大和市において、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院の新設・増床(転換含む)の希望がある場合、その年月及び床数をお答えください。※介護保険施設の新設・増床・転換については、計画との整合性を図る必要があるため、事業指定を担保するものではありません。

| 介護老人福祉施設 | 希望年月       |                    | 予定床数 |
|----------|------------|--------------------|------|
|          | 令和( )年( )月 | (新設、増床、転換のいずれかに○を) |      |
| 介護老人福祉施設 | 令和( )年( )月 | (新設、増床、転換のいずれかに○を) | ( )床 |
| 介護老人保健施設 | 令和( )年( )月 | (新設、増床、転換のいずれかに○を) | ( )床 |
| 介護医療院    | 令和( )年( )月 | (新設、増床、転換のいずれかに○を) | ( )床 |

問6. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護への新規参入を検討したことがありますか。【○は1つ】

1. ある……→ 2. ない

問6-1. 「1. ある」と答えた方におたずねします。  
 検討した結果はどのようになりましたか。【○は1つ】  
 1. 参入することにした……参入時期 平成( )年( )月  
 2. 参入しないことにした

問7. 地域支援事業における介護予防事業のひとつである人員等を緩和した訪問型サービスAに  
 参入意向がありますか。また、参入意向がある場合、予定時期についてお答えください。  
 【〇は1つ】

1. ある ⇒ 令和( )年( )月頃  
 2. ない ⇒ ない場合はその理由をお答えください。  
 参入意向がない理由 ( )

問8. 介護人材不足の打開策として、有効であるとお考えの取組をお知らせください。【〇は3つまで】

1. 賃金の大幅なアップ（基本給の底上げ等）
2. 労働環境の改善、業務量の減少（夜勤の削減、労働時間の短縮など）
3. 長期継続的な雇用の確保（定年まで安心して働ける職場環境）
4. 外国人介護人材の受け入れ（技能実習生制度など）
5. 他の施設（移住定住対策等）と連携した地域外からの人材確保
6. 介護ロボットの活用（介護リフトや離床センサーなど）
7. 専門職種確保に対する支援
8. 資格取得や能力向上に向けた支援の拡充
9. 世間的な介護職へのイメージアップ、社会的地位向上
10. 休暇の取りやすい職場環境の充実
11. 福利厚生制度の充実
12. 出産・子育て・家族等を応援する制度の充実（子どもの預かりなど）
13. その他（具体的に )

問9. 介護人材不足の打開策として、すでにされている、または今後予定されている取組がございまし  
 たらお知らせください。【取組がある場合のみ記載】

( )

Ⅲ 貴事業所の経営状況についておたずねします

問10. 貴法人が介護保険事業を運営していくうえでの課題をお教えてください。【〇は5つまで】

1. 利用者の確保
2. 利用者への情報提供
3. 職員の確保
4. 職員の技術向上
5. 職員のマナー、接遇の向上
6. 利用者・家族との連携
7. 他のサービス提供事業者との連携
8. ケアマネジャーとの連携
9. 医療機関との連携
10. 施設・設備の改善
11. 介護報酬が低いこと
12. 介護報酬に反映されない業務が多いこと
13. 事務作業が多いこと
14. 苦情・相談への対応
15. 緊急時の対応
16. 必要な情報の入手
17. 介護保険制度に対する利用者の理解が十分でないこと
18. サービス担当者会議への出席
19. 特になし
20. その他 ( )

問11. 貴事業所では、評価制度を導入していますか。【ア・イそれぞれ、〇は1つ】

|   |        |                           |                            |
|---|--------|---------------------------|----------------------------|
| ア | 内部評価制度 | 1. 導入している<br>3. 導入を検討中である | 2. 導入を準備している<br>4. 導入していない |
| イ | 外部評価制度 | 1. 導入している<br>3. 導入を検討中である | 2. 導入を準備している<br>4. 導入していない |

問12. 平成 31 年(令和元年)度における貴事業所の職員研修への参加状況と今後の予定をおたずねします。

| 項目               | 参加させている | 参加させることを準備している | 参加させることを検討している |
|------------------|---------|----------------|----------------|
| ア ターミナルケア        | 1       | 2              | 3              |
| イ 認知症ケア          | 1       | 2              | 3              |
| ウ 口腔ケア           | 1       | 2              | 3              |
| エ 栄養改善           | 1       | 2              | 3              |
| オ 嚥嚥吸引           | 1       | 2              | 3              |
| カ 感染症防止・対応       | 1       | 2              | 3              |
| キ 介護予防           | 1       | 2              | 3              |
| ク 事故防止・リスクマネジメント | 1       | 2              | 3              |
| ケ 高齢者虐待防止        | 1       | 2              | 3              |
| コ 接遇の向上          | 1       | 2              | 3              |
| サ 苦情対応           | 1       | 2              | 3              |
| シ 個人情報保護         | 1       | 2              | 3              |
| ス その他 ( )        | 1       | 2              | 3              |

問13. 貴事業所には嚥嚥吸引ができる介護職員はいますか。【Oは1つ】

1. いる ( ) 人) 2. いない

問14. 連携が不十分とお考えの外部の諸機関等をお知らせください。【Oは3つまで】

- 利用者・家族等
- 大和市介護保険課、高齢福祉課
- 2以外の大和市関係機関(具体的に: )
- 地域包括支援センター・在宅介護支援センター
- 外部の居宅介護支援事業者
- 他の介護保険サービス事業者
- 医療機関
- 介護保険以外のサービス提供機関(ボランティア・NPO含む)
- 特にない

問15. 利用者・契約者やその家族からの苦情や相談はどのようなものが多いですか。【Oは3つまで】

- サービス内容に関するもの
- 利用手続きに関するもの
- 職員の態度に関するもの
- 施設・設備に関するもの
- 床ずれ負担に関するもの
- 介護者・家族からの虐待など
- その他(具体的に )
- 特にない

問16. 貴事業所では、苦情や相談の解決のために特別な機関等を設置していますか。【Oは1つ】

1. 設置している ( ) 2. 設置していません

「1. 設置している」と答えた方におたずねします。

問 16-1. 特別機関はどのようなものですか。【Oはいくつでも】

- 苦情解決責任者の配置
- 苦情相談窓口の設置
- 共同での第三者委員会の設置
- 単独の第三者委員会の設置
- その他(具体的に )

「2. 設置していません」と答えた方におたずねします。

問 16-2. 苦情・相談にはどのように対応していますか。

IV 介護ロボットの導入についておたずねします

問17. 介護ロボットの導入を検討したことがありますか。【Oは1つ】

1. 既に導入した 2. 今後導入する予定

3. 検討中

4. 検討したが導入する予定はない 5. 検討していません

「1. 既に導入した」または「2. 今後導入する予定」と答えた方におたずねします。

問 17-1. 導入、または導入予定の介護ロボットの用途、機種を教えてください。【Oはいくつでも】

- 移乗介護
- 移動支援
- 排泄支援
- 見守り
- 入浴支援
- その他(具体的に )

【メーカー ( ) 製品名 ( )  
メーカー ( ) 製品名 ( )  
メーカー ( ) 製品名 ( )

「4. 検討したが導入する予定はない」または「5. 検討していません」と答えた方におたずねします。

問 17-2. 介護ロボットを導入しない理由は何ですか。【Oはいくつでも】

- 高額である
- 費用対効果が見えない
- 介護職員の負担軽減が見込めない
- 事故が気になる
- 操作が困難である
- 機体に関することへの抵抗感がある
- 利用者が受け入れてくれるかわからない
- その他(具体的に )

V 高齢者施策等についておたずねします

問18. 大和市中で充実すべきであるとお考えの高齢者施策等をお知らせください。[〇は3つまで]

- 1. 趣味の創出に向けた施策
- 2. 地域活動(自治会、ボランティア)の支援
- 3. ひとり暮らし高齢者に対する支援・見守り
- 4. 高齢者向け住宅の整備
- 5. 地域交流や仲間作りの支援
- 6. 気軽に過ごせる場所の確保
- 7. 健康づくり施策の充実
- 8. 認知症に関する施策の充実
- 9. 仕事の紹介
- 10. 高齢者への犯罪対策
- 11. 成年後見制度や虐待防止対策等の充実
- 12. 福祉や生活にかかわる相談体制の充実
- 13. 介護保険サービスの充実
- 14. その他(具体的に )

問19. 大和市の高齢者施策や介護保険などについて、ご意見をご自由にお書きください。

Blank response area for question 19.

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。  
ご記入いただいた調査票は同封の封筒に入れ、2月28日(金)までに  
郵便ポストに投函してください。よろしくお願いいたします(切手は不要です)。

## 大和市居宅介護支援事業所調査

※ 以下は、令和2年1月1日現在でお答えください。

### I 貴事業所の概要をおたずねします

|                                              |                |
|----------------------------------------------|----------------|
| 事業所名                                         | 連絡先(担当者)       |
| 電話                                           |                |
| 法人の種類【ひとつだけ○】※ この欄は記入しなくても構いません。無記名のままで結構です。 |                |
| 1. 社会福祉法人                                    | 2. 医療法人(社団・財団) |
| 4. 有株式会社                                     | 5. NPO 法人      |
| 3. 株式会社                                      | 6. その他( )      |
| 主任ケアマネジャーの人数 ( ) 人                           |                |

### II ケアプラン作成についておたずねします

問1. 貴事業者の職員数と、担当している利用者数をお答えください。

|                  |      |           |
|------------------|------|-----------|
| ケアマネジャー常勤 ( ) 人  | によって | 利用者 ( ) 人 |
| ケアマネジャー非常勤 ( ) 人 | によって | 利用者 ( ) 人 |

問2. 受け持っている利用者のうち、喀痰吸引、胃瘻、人工透析が必要な方は何人いますか。  
( ) 内に人数をお書きください。

|        |            |
|--------|------------|
| 利用者のうち | 喀痰吸引：( ) 人 |
| 利用者のうち | 胃瘻：( ) 人   |
| 利用者のうち | 人工透析：( ) 人 |

問3. 受け持っている利用者のうち、区分支給限度額を超えてサービスを利用している方は何人いますか。( ) 内に人数をお書きください。

|        |       |
|--------|-------|
| 利用者のうち | ( ) 人 |
|--------|-------|

問4. 受け持っている利用者のうち、訪問型サービスAの利用意向がある方は何人いますか。  
( ) 内に人数をお書きください。

|        |       |
|--------|-------|
| 利用者のうち | ( ) 人 |
|--------|-------|

問5. 受け持っている利用者のうち、施設等への入所を希望している方は何人いますか。( ) 内に人数をお書きください。

|                                    |                 |
|------------------------------------|-----------------|
| 利用者のうち ( ) 人                       |                 |
| 内訳 ①介護老人福祉施設 ( ) 人                 | ②介護老人保健施設 ( ) 人 |
| ③介護療養型医療施設 ( ) 人                   | ④介護医療院 ( ) 人    |
| ⑤認知症対応型共同生活介護(グループホーム) ( ) 人       |                 |
| ⑥特定施設(介護付有料老人ホーム) ( ) 人            |                 |
| ⑦高齢者対応の賃貸住宅(サービス付き高齢者向け住宅含む) ( ) 人 |                 |

問6. 施設等への入所を希望している人のうち、ケアマネジャーの視点からも施設入所が望ましいと思われる方は何人いますか。( ) 内に人数をお書きください。

|                                    |                 |
|------------------------------------|-----------------|
| 入所希望者のうち、( ) 人                     |                 |
| 内訳 ①介護老人福祉施設 ( ) 人                 | ②介護老人保健施設 ( ) 人 |
| ③介護療養型医療施設 ( ) 人                   | ④介護医療院 ( ) 人    |
| ⑤認知症対応型共同生活介護(グループホーム) ( ) 人       |                 |
| ⑥特定施設(介護付有料老人ホーム) ( ) 人            |                 |
| ⑦高齢者対応の賃貸住宅(サービス付き高齢者向け住宅含む) ( ) 人 |                 |

問7. 施設等への入所を希望している人のうち、地域密着型サービスや在宅サービスを充実させることで在宅生活が継続できそうな利用者は何人いますか。また、上記のうち、特に定期巡回・随時対応型訪問介護看護を充実させることで、在宅生活が継続できそうな利用者は何人いますか。  
( ) 内に人数をお書きください。

|                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------|
| ① 地域密着型サービスや在宅サービスを充実させることで、在宅生活が継続できそうな利用者<br>入所希望者うち、( ) 人                  |
| ② 上記①の在宅生活が継続できそうな利用者うち、特に定期巡回・随時対応型訪問介護看護を<br>充実させることで、在宅生活が継続できそうな利用者 ( ) 人 |

問8. 地域密着型サービスなどが充実しても、施設等への入所が望ましいと思う利用者の入所理由について、該当する番号に○をしてください。【○はいくつでも】

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| 1. 認知症が進行し、問診行動が頻発であるから          | ( ) |
| 2. 居宅サービスを利用していただけないから           | ( ) |
| 3. 医療的処置(経管栄養や喀痰吸引など)が必要な状態であるから | ( ) |
| 4. 知居や老人世帯で介護者がヘルパーしかいないから       | ( ) |
| 5. 家族が介護で憔悴しきっているから              | ( ) |
| 6. 家族が介護放棄に近い状態だから               | ( ) |
| 7. その他(具体的に)                     | ( ) |

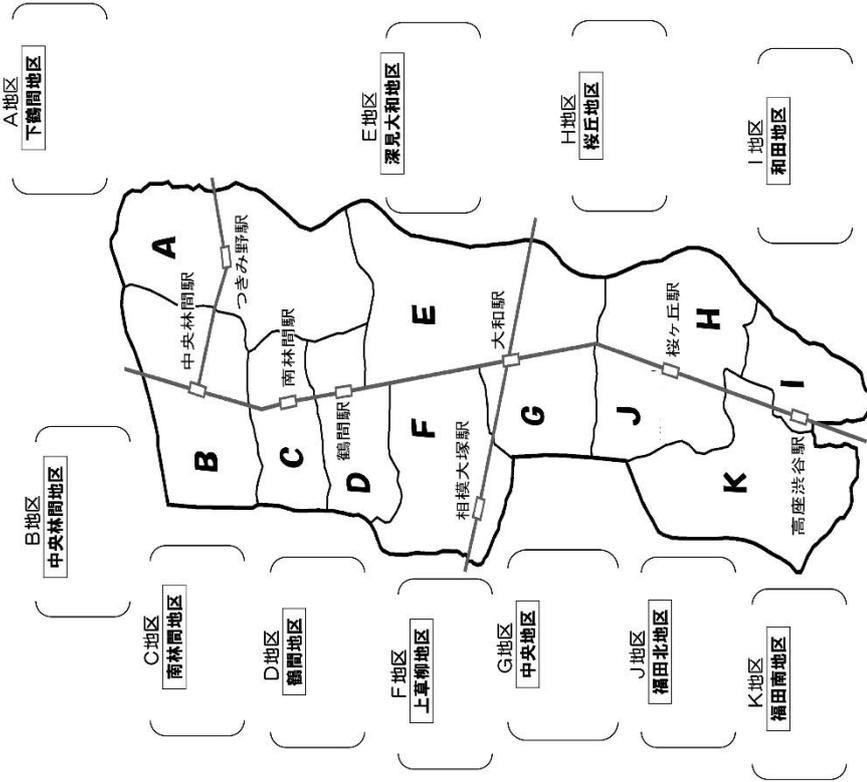
III 本市の介護サービスについておたずねします

問9. 大和市中、真事業所が不足していると思う介護(介護予防)サービスはありますか。市全体で不足していると思うサービスの番号を次の地図下段に、地区によって不足していると思うサービスがある場合はA~K地区それぞれのカッコ内に番号で書き込んでください。【Oはいくつでも】

1. 訪問介護
2. 介護予防訪問入浴介護
3. 介護予防訪問看護
4. 介護予防訪問リハビリテーション
5. 介護予防居宅療養管理指導
6. 通所介護
7. 介護予防通所リハビリテーション
8. 介護予防短期入居生活介護
9. 介護予防通所介護
10. 介護予防特定施設入居者生活介護
11. 介護予防福祉用具貸与
12. 特定介護予防福祉用具販売
13. 介護予防住宅改修
14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
15. 夜間対応型訪問介護
16. 介護予防認知症対応型通所介護
17. 介護予防小規模多機能型居宅介護
18. 介護予防認知症対応型共同生活介護
19. 地域密着型特定施設入居者生活介護
20. 地域密着型介護老人福祉施設
21. 看護小規模多機能型居宅介護
22. 介護老人福祉施設
23. 介護老人保健施設
24. 介護療養型医療施設
25. 介護医療院

問10. それでは、今後の大和市中、特に需要の増加が見込まれる介護保険サービスはどれだと考えますか。【Oは5つまで】

1. 訪問介護
2. 介護予防訪問入浴介護
3. 介護予防訪問看護
4. 介護予防訪問リハビリテーション
5. 介護予防居宅療養管理指導
6. 通所介護
7. 介護予防通所リハビリテーション
8. 介護予防短期入居者生活介護
9. 介護予防通所介護
10. 介護予防特定施設入居者生活介護
11. 介護予防福祉用具貸与
12. 特定介護予防福祉用具販売
13. 介護予防住宅改修
14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
15. 夜間対応型訪問介護
16. 介護予防認知症対応型通所介護
17. 介護予防小規模多機能型居宅介護
18. 介護予防認知症対応型共同生活介護
19. 地域密着型特定施設入居者生活介護
20. 地域密着型介護老人福祉施設
21. 看護小規模多機能型居宅介護
22. 介護老人福祉施設
23. 介護老人保健施設
24. 介護療養型医療施設
25. 介護医療院



大和市全体で不足していると思う介護サービス

IV 高齢者施策等についておたずねします

問11. 今後充実した方が良い、もしくは、新規に望まれる介護保険制度外のサービスはありますか。該当する番号に○をしてください。【○はいくつでも】

1. 配食サービス
2. 在宅療養支援診療所
3. 独居老人等の災害対策
4. 独居老人等の見守り事業
5. おむつの支給
6. 地域に根ざした寄り合い所（サロン）
7. 介護者（家族）支援のための教室
8. 身体機能維持のための講座など
9. 制度適用外訪問介護利用助成
10. 徘徊高齢者等SOSネットワーク
11. 成住後見のサポート事業
12. 緊急通報システム
13. 高齢者虐待防止SOSネットワーク
14. 認知症高齢者の施策
15. ない（足りている）
16. その他（具体的に )

問12. 認知症対策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきと考えますか。

【○は5つまで】

1. 早期発見・早期診療の仕組みづくり
2. 講演会や予防教室等による正しい知識の普及啓発
3. 家族の交流会や家族相談会などの支援
4. 家族向け研修会の開催（認知症の介護・コミュニケーション方法など）
5. 徘徊行動への対処策の充実（ネットワーク形成・徘徊検知システム・声かけ運動など）
6. 認知症を見守るボランティアの養成（認知症サポーターなど）
7. 学校教育や地域での住民啓発
8. 成年後見制度や虐待防止対策等の充実
9. かかりつけ医に対する周知
10. 介護従事者に対する研修
11. 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備
12. 若年性認知症に対する支援
13. 社会参加を促すこと（シルバー人材センター登録・ボランティア等）
14. 認知症の人やその家族の声を反映した取り組み
15. その他（具体的に )

5

V 医療・介護関係者との情報共有についておたずねします

問13. 現在、利用者を支援する際に連携している職種（機関）はどのような職種（機関）ですか。該当する番号に○をしてください。【○はいくつでも】

- 【職種】
1. 医師（病院・診療所）
  2. 医師（往診）
  3. 歯科医師（病院・診療所）
  4. 歯科医師（往診）
  5. 歯科衛生士（病院・診療所）
  6. 歯科衛生士（訪問）
  7. 薬剤師（病院・診療所）
  8. 薬剤師（訪問）
  9. 看護師（病院・診療所）
  10. 看護師（訪問）
  11. 理学療法士（病院・診療所）
  12. 理学療法士（訪問）
  13. 作業療法士（病院・診療所）
  14. 作業療法士（訪問）
  15. 言語聴覚士（病院・診療所）
  16. 言語聴覚士（訪問）
  17. 管理栄養士（病院・診療所）
  18. 管理栄養士（訪問）
  19. 精神保健福祉士（病院・診療所）
  20. 精神保健福祉士（訪問）
  21. ソーシャルワーカー（病院・診療所）
  22. 弁護士
  23. 司法書士
  24. 社会福祉士
  25. 行政書士
  26. その他（具体的に )
- 【機関】
1. 在宅歯科医療地域連携室（大和歯科医師会）
  2. 地域包括支援センター（在宅介護支援センター）
  3. 社会福祉協議会
  4. 厚木保健福祉事務所大和センター
  5. 在宅医療・介護連携支援センター
  6. 行政（生活支援課）
  7. 行政（障がい福祉課）
  8. 行政（健康福祉総務課おひとりさま支援係）
  9. 行政（健康福祉総務課こもりひと支援窓口）
  10. 行政（健康づくり推進課）
  11. 行政（介護保険課）
  12. 行政（高齢福祉課）
  13. その他（具体的に )

6

問14. 現在、連携が必要と考えられるが、連携ができていない職種(機関)はどのような職種(機関)ですか。該当する番号に○をしてください。【○はいくつでも】

- 【職種】
1. 医師(病院・診療所)
  2. 歯科医師(病院・診療所)
  3. 歯科医師(住診)
  4. 歯科衛生士(病院・診療所)
  5. 歯科衛生士(訪問)
  6. 薬剤師(病院・診療所)
  7. 薬剤師(訪問)
  8. 看護師(病院・診療所)
  9. 看護師(訪問)
  10. 理学療法士(病院・診療所)
  11. 理学療法士(訪問)
  12. 作業療法士(病院・診療所)
  13. 作業療法士(訪問)
  14. 言語聴覚士(病院・診療所)
  15. 言語聴覚士(訪問)
  16. 言語聴覚士(訪問)
  17. 管理栄養士(病院・診療所)
  18. 管理栄養士(訪問)
  19. 精神保健福祉士(病院・診療所)
  20. 精神保健福祉士(訪問)
  21. ソーシャルワーカー(病院・診療所)
  22. 弁護士
  23. 司法書士
  24. 社会福祉士
  25. 行政書士
  26. その他(具体的に )
- 【機関】
1. 在宅歯科医療地域連携室(大和歯科医師会)
  2. 地域包括支援センター
  3. 社会福祉協議会
  4. 厚木保健福祉事務所大和センター
  5. 在宅医療・介護連携支援センター
  6. 行政(生活支援課)
  7. 行政(障がい福祉課)
  8. 行政(健康福祉総務課おひとりさま支援係)
  9. 行政(健康福祉総務課こもろびと支援窓口)
  10. 行政(健康づくり推進課)
  11. 行政(介護保険課)
  12. 行政(高齢福祉課)
  13. その他(具体的に )

問15. 連携している機関と、どのような手段で情報を共有していますか。該当する番号に○をしてください。【○はいくつでも】

1. 電話
2. FAX
3. メール
4. 手紙
5. カンファレンス
6. サービス担当者会議
7. 地域ケア会議
8. ICTツール(ツール名: )
9. 連絡ノート
10. 各所属で作成した書類
11. 主治医・ケアマネジャー・地域包括支援センター連絡票(大和市医師会作成)
12. 患者相談・依頼票(大和市医師会作成)
13. その他(具体的に )

問16. 在宅医療・介護連携支援センターが開催する在宅医療・介護連携推進事業研修会に参加したことがありますか。【○は1つ】

1. はい
2. いいえ

問17. 今後、要支援・要介護認定を受けた方の支援をしていくにあたり、どのような研修があればよいと思いますか。該当する番号に○をしてください。【○はいくつでも】

1. 入退院時における連携について
2. かかりつけ医師との連携について
3. 訪問診療をしている歯科医師との連携について
4. 薬剤師との在宅療養管理指導、残薬整理等について
5. 高齢者の薬物治療について
6. 訪問看護との連携について
7. 退院前カンファレンスのポイントについて
8. 終末期医療アドバンス・ケア・プランニングについて
9. 看取りの支援について
10. 困難事例を通じた対応方法について
11. 目標志向型のケアプラン立案について
12. 相談援助職としてのアセスメントについて
13. 多職種連携チームケアについて
14. 介護報酬改定とケアマネジャーの連携について
15. インフォーマルサービスを活かしたケアプラン作成について
16. 地域包括ケアシステムにおけるケアマネジャーの役割について
17. 生活保護制度について
18. 障がい福祉制度について
19. 成年後見制度について
20. 高齢者虐待について
21. その他(具体的に )

問18. 看取りの支援をされたことはありますか。【○は1つ】

1. はい
2. いいえ

問19. 大和市で統一した入退院支援マニュアルがあると思いますか。【○は1つ】

1. はい
2. いいえ

問20-1. 問20で「2. いいえ」と回答した事業所にお聞かせください。  
その理由をご記入ください。

問20. 今後、在宅医療・介護連携支援センターに期待することがありましたら、ご記入ください。

V 介護ロボット(自動排泄処理装置)についておたずねします

近年、介護の負担を軽減する様々な器具や機械(介護ロボット)が開発されています。取り分け、介護の負担が大きいとされる排泄処理については、便も尿も自動で排泄処理することができる自動排泄処理装置が開発されています。

平成28年度に実施した前回の調査によると、要介護4、5の方の日常の介護で負担になっていることは、「排泄の介助」という回答が最も多くなっています。そこで、便と尿が自動的に吸引される自動排泄処理装置についてお聞きします。

**自動排泄処理装置とは**・・・この質問では、介護保険の福祉用具貸与の対象となる便と尿を吸引するもの(要介護4、5の人が対象)を指すこととします。

**利用料**：装置を購入することもできますが、介護保険制度の福祉用具貸与として、レンタルすることもできます(本体以外に別途付属品や消耗品等が必要な場合があります)。  
 本体購入価格は50万円程度、本体レンタル料は月額5千円程度(本人負担1割の場合)



イメージ図：

資料：「安心介護」  
 ホームページ

問21. 受け持っている利用者のうち、自動排泄処理装置を利用している方はいますか。【〇は1つ】

1. いる⇒( ) 人      2. いない

問22. 受け持っている利用者のうち、現在、自動排泄処理装置を利用していない方で、今後利用する  
 とよい(介護者の負担が軽減される)と思う利用者はいますか。【〇は1つ】

1. いる⇒( ) 人      2. いない

→ 問23-1. 問23で「1. いる」と回答した事業所にお聞きします。

現在、自動排泄処理装置を利用していない理由は何ですか。【〇はいくつでも】

1. 費用が高いから      2. 利用者やその家族が希望していないから  
 3. 介護者(取扱う人)がないから      4. 機械の置く場所がないから  
 5. その他(具体的に )

問23. ケアマネジャーは、自動排泄処理装置のことをどの程度ご存知ですか。【〇は1つ】

1. よく知っている      2. 名称しか知らない      3. ほとんど知らない

→ 問24-1. 問24で「2. 名称しか知らない」または「3. ほとんど知らない」と回答した事業所にお聞きします。

自動排泄処理装置の説明会・体験会等が開催されれば、参加したいと思いませんか。【〇は1つ】

1. 参加したい      2. 参加したくない

問24. 居宅介護支援業務の遂行に関して、ご意見を自由ににお書きください。

(Empty box for providing opinions on home care support services)

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。  
 ご記入いただいた調査票は同封の封筒に入れ、2月28日(金)までに郵便ポストに投函してください(お願いいたします(切手は不要です))。

大和市  
 健康福祉部 介護保険課      給付係      電話 046 (260) 5168      FAX 046 (260) 5158  
 健康福祉部 高齢福祉課      高齢福祉係      電話 046 (260) 5611      FAX 046 (260) 1156

**大和市 高齢者保健福祉計画 介護保険  
事業計画(第8期)策定のための実態調査**

令和2年8月

発行：大和市 人生100年推進課 / 介護保険課

**《人生100年推進課》**

〒242-0004 神奈川県大和市鶴間一丁目31番7号 大和市保健福祉センター内  
TEL:046-260-5611 / FAX:046-260-1156

**《介護保険課》**

〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間一丁目1番1号  
TEL:046-260-5169 / FAX:046-260-5158